

令和 2 年度使用小学校用教科用図書

選 定 資 料  
(案)

令和元年 6 月

広島県教育委員会

## はじめに

広島県教育委員会は、令和2年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書の「選定資料」について、広島県教科用図書選定審議会に対して諮問し、このたび答申されました。

この答申に基づき選定資料を作成しましたので、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第10条の規定により送付します。

教科用図書は、学校教育において、教科の主たる教材として使用される重要なものです。

そのため、教育基本法や学校教育法で示された教育の理念や目標及び学習指導要領における各教科の目標や内容等に則り、本県の児童生徒に最も適切な教科用図書を採択することが必要です。

各採択権者においては、この資料を活用して教科用図書の調査研究を十分に行い、適正かつ公正な採択を行ってください。

令和元年6月

広島県教育委員会

# 目 次

教科用図書選定資料について	1
国 語	2
書 写	17
社 会	27
地 図	43
算 数	48
理 科	64
生 活	79
音 楽	99
図画工作	111
家 庭	119
保 健	130
英 語	147
道 徳	162

## 教科用図書選定資料について

### 1 観点及び視点の設定について

この選定資料は、文部科学省の「小学校用教科書目録（平成 32 年度使用）」に記載された教科用図書について、種目別に、次の五つの観点に基づいて調査研究を行い、特徴を一覧表にしたものです。

- |      |               |
|------|---------------|
| 観点 1 | 基礎・基本の定着      |
| 観点 2 | 主体的に学習に取り組む工夫 |
| 観点 3 | 内容の構成・配列・分量   |
| 観点 4 | 内容の表現・表記      |
| 観点 5 | 言語活動の充実       |

小学校においては、令和 2 年度から学習指導要領の全面実施となります。この学習指導要領では、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かし特色ある教育活動を展開する中で児童に生きる力を育むことが示されています。また、学習の基盤となる資質・能力の一つとして挙げられている言語能力の向上を、児童の学びの質の向上や資質・能力の育成に関わる重要な課題として受け止め、重視していくことが求められています。

さらに、広島県では、平成 27 年度から広島版「学びの変革」アクション・プランに基づく、主体的な学びの創造を目指して取り組んできました。

そのため、観点 2 として、「主体的に学習に取り組む工夫」、観点 5 として「言語活動の充実」を設定しています。

なお、それぞれの観点の下に、種目ごとに学習指導要領の目標に基づき視点を設定しています。

### 2 記載の順序

選定資料に記載している順序は、文部科学省の「小学校用教科書目録（平成 32 年度使用）」に登載されている発行者番号順とし、発行者名は次の略称で表しています。

番号	略称	発行者名	番号	略称	発行者名
2	東書	東京書籍株式会社	38	光村	光村図書出版株式会社
4	大日本	大日本図書株式会社	46	帝国	株式会社帝国書院
9	開隆堂	開隆堂出版株式会社	61	啓林館	株式会社新興出版社啓林館
11	学図	学校図書株式会社	116	日文	日本文教出版株式会社
15	三省堂	株式会社三省堂	207	文教社	株式会社文教社
17	教出	教育出版株式会社	208	光文	株式会社光文書院
26	信教	一般社団法人信州教育出版社	224	学研	株式会社学研教育みらい
27	教芸	株式会社教育芸術社	232	廣あかつき	廣済堂あかつき株式会社



## 【国語】

## 国 語

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	新しい国語
11	学	図	みんなと学ぶ 小学校 国語
17	教	出	ひろがる言葉 小学校国語
38	光	村	国語

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方	各単元における目標の示し方
		②	言葉の特徴や使い方に関する事項	語彙を豊かにするための語句の示し方
		③	情報の扱い方に関する事項	導入の工夫、辞典の具体例、索引の使い方、調べる活動
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	興味・関心を高めるための工夫	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名、題材、内容
		⑤	課題解決的な学習を実施するための工夫	課題と学習の進め方
		⑥	見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	学習過程の構成、資料、評価活動
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦	単元や資料等の配列	配列の特徴・単元数、領域ごとのページ数
		⑧	伝統と文化に関する内容の記述	伝統的な言語文化に関する単元数・単元名・取り上げられている作品等
(エ)	内容の表現・表記	⑨	本文記述との適切な関連付けがなされた図表等の活用	文章と図表等との関連について考えさせる記述
		⑩	巻頭の示し方	巻頭の示し方と内容
(オ)	言語活動の充実	⑪	考えを伝え合うなどして話し合う活動の工夫	単元名、例示されているテーマ・議題、話し合いの形態
		⑫	学校図書館機能の利活用	学校図書館等の利活用の仕方について示されている内容

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	①単元の目標の示し方
<b>方法</b>	各単元における目標の示し方

第6学年 読むこと 説明的な文章				
	単元名	教材名	目標	目標の示し方
			☆は単元の目標 □は学習目標	
東書	○ 筆者の論の進め方を確かめよう	○ 「イースター島にはなぜ森林がないのか」	☆ 論の進め方をとらえる（「言葉の力」） □ 「イースター島にはなぜ森林がないのか」を読んで、筆者の論の進め方について考えよう。	☆ 各単元の教材文の前の導入ページに目標を示している。 □ 「言葉の力」の目標を示し、具体的な目標を示している。
学図	○ 視野を広げて読もう	○ 「AIで言葉と向き合う」	☆ 事例や筆者の主張をもとに、要旨をとらえ、見方を広げたり考えを深めたりしましょう。 ☆ 事例どうしのつながりを確かめ、筆者の論の進め方をとらえましょう。	☆ 各単元の冒頭に目標を示している。 □ 二つの項目にして明確に示している。
教出	○ 筆者の考えを読み、説明の仕方の特徴をとらえよう	○ 「雪は新しいエネルギー」	☆ 筆者の考えを読み、説明の仕方の特徴をとらえよう。 □ 筆者のいいたいことをとらえ、説明の仕方の特徴について考えよう。	☆ 各単元の冒頭に目標を示している。 □ 巻頭の「六年生で学ぶこと」のページに各単元の目標を示している。
光村	○ 筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えを発表しよう	○ 「笑うから楽しい」 ○ 「時計の時間と心の時間」	☆ 筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えを発表しよう。 □ 筆者の主張を伝えるために、どのような言葉が使われているか確かめよう。 □ 筆者の主張と、それを支える事例の関係をとりえ、自分の考えをまとめよう。	☆ 各単元の冒頭に目標を示している。 □ 具体的な目標を示している。

【国語】

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	②言葉の特徴や使い方に関する事項
<b>方法</b>	語彙を豊かにするための語句の示し方

	資料名	内容	示し方
東書	○ 「言葉の広場」	○ 人物の行動や気持ち, 性格を表す言葉	○ 「人物の行動」(61語), 「人物の気持ち」(54語), 「人物のせいにかく」(52語)の3項目に分けて示している。
学図	○ 「言葉のへや」	○ 行動を表す言葉	○ 話す(17語), 聞く(6語), 書く(5語), 読む(4語), 見る(5語), 思う(3語), 調べる(5語), その他(3語)などの項目に分けて示している。
教出	○ 「言葉の木」	○ 行動を表す言葉	○ 行動を表す言葉として, 「くらす」(7語), 「動く」(8語), 「かかわる」(7語), 「つたえ合う」(8語)の4項目に分けて示している。
光村	○ 「言葉のたから箱」	○ 考えや気持ちをつたえる言葉	○ 人物を表す言葉(10語), 物や事からの様子を表す言葉(10語), 考え方を表す言葉(6語), 気持ちを表す言葉(25語)の4項目に分けて示している。

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	③情報の扱い方に関する事項
<b>方法</b>	導入の工夫, 辞典の具体例, 索引の使い方, 調べる活動

第4学年 漢字辞典の使い方		
単元名	内容	
東書 漢字辞典の使い方	導入の工夫	漢字辞典は, 漢字の読み方, 成り立ち, 意味などについて説明した辞書であると述べ, 二人の人物の吹き出しに, 読み方が分からない「連」の漢字について, 漢字辞典で読み方を調べることができるという会話を示している。
	辞典の具体例	○ 「連」の掲載ページの具体例に次の五つの注釈 ・部首・画数 ・読み方(音はかたかな, 訓はひらがな) ・筆順 ・成り立ち・意味 ・その漢字が使われた言葉(「連歌」など五つの語)
	索引の使い方	①「部首さく引」を使ってさがす 例) 連:「しんにょう」 ②「総画さく引」を使ってさがす 例) 求: 画数なら七画 ③「音訓さく引」を使ってさがす 例) 努:「努」の音読み「ど」
	調べる活動	○ ——線部の漢字の読み方を三種類のさく引を使って調べましょう。 ・目が覚める, 漢字を覚える, 感覚がなくなる ・かぜを治す, 国を治める, 明治時代, 全治一か月 ○ 次の漢字を使った言葉にはどのようなものがあるか, 漢字辞典を使って調べましょう。 ・発, 重, 登, 神 ○ どのような漢字を調べるときに, どのさく引が便利だったか, 話し合しましょう。



【国語】

学 図	漢字辞典の使い方	導入の工夫	漢字辞典を使うと、漢字の部首や画数、読み方、成り立ち、意味などを知ることができるということを記述し、「約」の部首、画数、読み方、成り立ち、意味を漢字辞典を使って確かめましょうという流れになっている。
		辞典の具体例	○ 「約」の掲載ページの具体例に次の五つの注釈 ・そのページにのっている漢字 ・部首をのぞいた画数・総画数 ・その漢字がどうしてできたかの説明 ・漢字の意味 ・その漢字が上についた熟語（「約数」など二つの語）
		索引の使い方	①部首さくいんを使って引く 例) 三画 ②音訓さくいんを使って引く 例) チョウ ③総画さく引を使って引く 例) 十一画
		調べる活動	○ 漢字辞典の三つの引き方を使って、次の——線部の漢字について、読み方や部首、画数を調べましょう。 ・部首さくいんで（国旗、旗ざお、松竹梅、松原） ・音訓さくいんで（反省、文部科学省、雀く） ・総画さくいんで（力士、力仕事、競争、競馬）
教 出	漢字辞典の引き方	導入の工夫	二人の人物と鳥の吹き出しに、「治」の漢字の読みを国語辞典では調べられないが漢字辞典では調べられること、漢字辞典では音訓の読み方や成り立ち、その漢字を用いた様々な言葉が調べられることを示している。
		辞典の具体例	○ 「治」の掲載ページの具体例に次の五つの注釈 ・部首・部首以外の部分の画数 ・総画数 ・漢字の読み方 ・漢字の成り立ちや意味 ・「治」を使った言葉の例（「治まる」など三つの語）
		索引の使い方	①部首さくいん 例) 治：さんずい ②総画さくいん 例) 治：八画 ③音訓さくいん 例) 治：おさーまる、おさーめる、なおーす、なおーる、ジ、チ
		調べる活動	○ 次の＝線の漢字を自分の調べやすい方法で調べ、友達とどの調べ方が調べやすかったか、話し合ってみましょう。いくつかの調べ方が思いうかんだ場合は、どうしてその方法をえらんだのか、考えましょう。（訓、以外、子孫、前兆、家臣、達筆、城下町、刷る、奈落、読本、帰省、塩田、良心、直径、達人）
光 村	漢字辞典の使い方	導入の工夫	二羽の鳥のイラストの吹き出しに、「飛」の漢字の成り立ちや読み方に対する疑問を示し、漢字の読み方や成り立ちや意味、使い方等を知りたいときに漢字辞典を使うとよいことを記述している。
		辞典の具体例	○ 「飛」の掲載ページの具体例に①～④の記号を付し下段に次の四つの注釈 ①読み方 ②成り立ち ③意味 ④その漢字を使った語句（「飛球」など三つの語）
		索引の使い方	①「音訓さくいん」で引く（音訓引き）例) 湖：訓はみずうみ ②「部首さくいん」で引く（部首引き）例) 信：部首は「にんべん」 ③「総画さくいん」で引く（総画引き）例) 世：読み方も部首も分からないときは、「総画さくいん」
		調べる活動	○ 次の漢字の画数を数え、漢字辞典を引いてたしかめましょう。（写、曲、発、起、陽、遊） ○ 漢字辞典を使って、——線部の漢字の読み方、意味、使い方を調べましょう。（校庭で、東西南北をたしかめる。古いお社を見る。愛読書は、「マザー＝テレサ」という本だ。昨夜、旅行の計画を立てた。物事の本を正す。青年が、城の近くを歩いている。）

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名，題材，内容

第5学年 話すこと・聞くこと			
	単元名	題材	内容
東書	○ 問題を解決するために話し合おう	○ 身の回りにある問題。	○ 学習の見通し ①議題を決める。 ②話し合いの計画を立てる。 ③グループで話し合う。 (意図を明確にしながらか計画的に話し合う)
学図	○ テーマを決めて討論しよう	○ より良い考え方はどっち？	○ 学習の見通し ①討論の進め方を確かめよう ②論題と役わりを決めよう ③立論を考えよう ④立論を発表しよう ⑤討論会をしよう ⑥ふり返ろう
教出	○ 考えを広げるために、立場を決めて話し合おう	○ AIとの暮らし	○ 学習の進め方 ①テーマを決めて、調べる。 ②話し合いの準備をする。 ③「ミニディベート」を行う。 ④感想を交流する。
光村	○ たがいの立場を明確にして、話し合おう	○ よりよい学校生活のために	○ 学習の進め方 ①学校生活の中から、議題を決める。 ②自分の立場を明確にする。 ③話し合いのしかたを確かめ、進行計画を立てる。 ④計画にそって、グループで話し合う。 ⑤話し合ったことをクラスで共有し、感想を伝え合う。

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤課題解決的な学習を実施するための工夫
方法	課題と学習の進め方

第3学年 読むこと 物語文「モチモチの木」			
	単元名	課題	学習の進め方（手引き）
東 書	○ 想ぞうしたことをつたえ合おう	○ 物語の中心人物である豆太は、どのようなせいかくの人物なのだろう。	〈友だちと伝え合おう〉 ○ 豆太がどのようなせいかくの人物なのかを想ぞうして、想ぞうしたことを友だちとつたえ合おう。 ・豆太のせいかくを想ぞうしよう。 ・豆太について想ぞうしたことを友だちとつたえ合おう。 ・豆太について友だちとつたえ合い、どんなことを感じましたか。
学 図	○ 人物の変化を読もう	○ 場面のうつりかわりから、人物のせいかくや気持ちの変化を想像しましょう。 ○ 人物のかわったところとかわっていないところをたしかめましょう。	〈絵を比べながら読もう〉 ○ 場面のうつりかわりから、人物のせいかくや気持ちの変化を想像しましょう。人物のかわったところとかわっていないところをたしかめましょう。 ・全体を見通そう ・豆太のせいかくと気持ちを考えよう ・人物の変化をたしかめよう ・考えを発表しよう ・絵をくらべながら読もう
教 出	○ 登場人物の気持ちをそうぞうしながら読もう	○ 豆太の気持ちを考えながら読もう。 ○ この物語のおもしろいところをしょうかいしよう。	〈「おすすめ図書カード」を作ろう〉 ○ 登場人物の気持ちをそうぞうしながら読もう ・主な登場人物をたしかめましょう ・豆太の気持ちの変化や、場面ごとの豆太について自分が思ったことや考えたことをまとめ、話し合ひましょう。 ・物語のはじめと終わりの豆太の変化について、自分の考えとその理由を話し合ひましょう。 ・この物語のおもしろいところをしょうかいし合ひましょう。 ・「おすすめ図書カード」を作ろう
光 村	登場人物について、話し合おう	○ 「モチモチの木」とはどんな木なのでしょう。 ○ この物語には、「豆太」という男の子が出てきます。「豆太」はどんな人物でしょうか。	〈友だちと交流しよう〉 ○ 登場人物について、話し合おう ・せいかくを表す言葉や、気持ちを表す言葉に気をつけましょう。 ・「豆太」について考えたことを友だちとつたえ合い、考えを深めましょう。 ・物語を読んだら、友だちと交流して、登場人物や物語についての考えを深めましょう。

【国語】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥見通しを立てたり，振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方法	学習過程の構成，資料，評価活動

第4学年 書くこと 「新聞作り」

	単元名	目的	学習過程	資料	評価活動
東書	○ みんなで新聞を作ろう	○ 学校やクラスで起きた出来事取材してグループで新聞を作る。	①新聞作りの計画を立てる。 ②取材して，記事を書く。 ③わり付けをする。 ④新聞を完成させる。	・出来上がり新聞の例 ・記事の下書きの例 ・新聞のわりつけの例 ・グループ活動のイメージイラスト ・「言葉の力」 [付録]新聞のわり付け	友達のグループ新聞を読んで感想を伝え合う。
学図	○ ほうこくしたいことを新聞にまとめて書こう	○ 社会見学に行き分かったことをグループごとに新聞にまとめる。	①取材の計画を立てよう ②資料を整理しよう ③新聞にまとめよう ④新聞を読み合おう ※事前に「レッスン」として新聞について学習する。	・出来上がり新聞の例 ・取材カード ・記事カード ・わりつけの例 ・話し合い活動のイメージイラスト	新聞を読み合い，良いところを伝え合う。
教出	○ 新聞を作ろう	○ 写真や図表を効果的に使って，わかりやすい新聞を作る。	①知らせたいことを決め，調べる。 ②記事のわりつけを考える。 ③・④記事を下書きし，読み返してせいしよする。 ⑤新聞を読み合う。	・新聞とは何か ・わりつけ用紙 ・話し合い活動のイメージイラスト ・出来上がり新聞の例 ・「ここが大事」	ろうかなどにはって読み合う。
光村	○ 事実を分かりやすくほうこくしよう	○ 自分たちが伝えたいことをグループで考え，新聞にまとめる。	①新聞のとくちょうをたしかめよう。 ②どんな新聞を作るかを話し合おう。 ③取材をしよう。 ④わりつけについて話し合おう。 ⑤記事を書こう。 ⑥新聞を仕上げよう。 ⑦読み合って，感想を伝えよう。	・新聞の特徴 ・テーマの例 ・取材の仕方 ・わりつけの例 ・話し合い活動のイメージイラスト ・記事の下書きの例 ・出来上がり新聞の例 ・感想交流の例	ろうかにはってふせんを用意し，いろいろな人に感想を書いてもらう。

【国語】

<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑦単元や資料等の配列
<b>方法</b>	配列の特徴・単元数、領域ごとのページ数

	配列の特徴・単元数	領域ごとのページ数							
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年から第4学年までは、上下巻の2冊構成、第5学年及び第6学年は1冊である。</li> <li>○ 第2学年以上の各巻の巻頭に、「国語の学習の進め方」「〇年で学習する言葉の力」を設けてあり、年間を通じて「何を、どのように学ぶか」が見通せるようになっている。</li> <li>○ 各領域の単元を「つかむ」「取り組む」「ふり返る」の課題解決的な3ステップで組織してある。</li> <li>○ 年間総単元数 第1学年：6単元(下巻のみ) 第2学年～第6学年：10単元</li> </ul>	知識・技能	言葉	110	157	150	150	142	128
			情報	32	61	114	84	61	100
			言語文化	16	44	26	48	54	34
		話すこと・聞くこと	57	28	36	30	27	39	
		書くこと	85	191	186	172	166	146	
		読むこと	85	136	138	140	136	136	
		入門期	105						
		学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上下巻の2冊構成である。</li> <li>○ 説明文教材の後に「書くこと」の教材が設定されている。</li> <li>○ 第6学年には、「読むこと」と「書くこと」、「書くこと」と「話すこと・聞くこと」の領域を有機的に関連させた複合単元が設定されている。</li> <li>○ 年間総単元数 第1・2学年：10～14単元 第3・4学年：11～12単元 第5・6学年：10～11単元 (第6学年はそのうち二つが複数領域にまたがる。)</li> </ul>	知識・技能	言葉	137	203	215	218
情報	26				91	83	83	56	52
言語文化	14				53	43	49	52	46
話すこと・聞くこと	16			24	37	35	22	25	
書くこと	35			38	50	47	38	55	
読むこと	91			138	107	125	123	134	
入門期	55								
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上下巻の2冊構成である。</li> <li>○ 一つの領域に集中して学習する単元と、各領域の学習を組み合わせ、総合的に展開する単元を配列している。</li> <li>○ 年間総単元数 第1学年：7単元(下巻のみ) 第2学年：15単元 第3学年：13単元 第4学年：14単元 第5学年及び第6学年：10単元</li> </ul>			知識・技能	言葉	144	203	201	181
		情報	0		36	42	84	73	47
		言語文化	19		14	42	25	30	32
		話すこと・聞くこと	12	68	38	50	32	50	
		書くこと	74	114	172	164	178	119	
		読むこと	103	160	139	145	148	131	
		入門期	94						
		光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年から第4学年までは、上下巻の2冊構成、第5学年及び第6学年は1冊である。</li> <li>○ 一つの領域に集中して学習する単元と、各領域の学習を組み合わせ、総合的に展開する単元を配列している。</li> <li>○ 教科書全体が「単元」「小単元」「コラム」「特設単元」で構成されている。</li> <li>○ 年間総単元数 第1学年：7単元(下巻のみ)</li> </ul>	知識・技能	言葉	95	197	199	216
情報	28				43	66	74	46	25
言語文化	28				39	40	39	49	54
話すこと・聞くこと	16			21	21	21	23	20	
書くこと	52			62	69	61	58	56	

【国語】

第2学年：9単元 第3学年及び第4学年：8単元 第5学年及び第6学年：7単元	読むこと	84	140	145	154	129	132
	入門期	91					

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑧伝統と文化に関する内容の記述
<b>方法</b>	伝統的な言語文化に関する単元数・単元名・取り上げられている作品等

	学年	単元の数	単元名	取り上げられている作品等
東書	1・2	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ かぞえうた</li> <li>○ かんじのはなし</li> <li>○ ことばであそぼう</li> <li>○ むかしばなしをたのしもう</li> <li>○ 言いつたえられているお話を知ろう</li> <li>○ きせつの足音（春・夏）</li> <li>○ きせつの足音（秋・冬）</li> <li>○ むかし話をしょうかいしよう</li> <li>○ おばあちゃんに聞いたよ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数字</li> <li>・ 象形文字，指事文字</li> <li>・ 回文</li> <li>・ 「かちかち山」「ももたろう」「花さかじいさん」</li> <li>・ 「だいだらぼうのお話」</li> <li>・ 「ちょうちょう」「うみ」</li> <li>・ 「うさぎ」「雪」</li> <li>・ 「かさこじぞう」</li> <li>・ 十二支，小の月，いろはうた，いろはがるた，きょう土かるた 等</li> </ul>
	3・4	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 慣用句を使おう</li> <li>○ きせつの足音（春・夏）</li> <li>○ きせつの足音（秋・冬）</li> <li>○ 俳句に親しむ</li> <li>○ ことわざと故事成語</li> <li>○ 季節の足音（春・夏）</li> <li>○ 季節の足音（秋・冬）</li> <li>○ 百人一首の世界</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ねこの手もかりたい」「道草を食う」「馬が合う」</li> <li>・ 「たんぽぽ」「いるか」</li> <li>・ 「赤とんぼ」，俳句</li> <li>・ 俳句</li> <li>・ 「さるも木から落ちる」「五十歩百歩」</li> <li>・ 「てんとうむし」，俳句</li> <li>・ 俳句，短歌，「手紙」</li> <li>・ 百人一首 等</li> </ul>
	5・6	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 季節の足音（春・夏）</li> <li>○ 古文に親しむ</li> <li>○ 季節の足音（秋・冬）</li> <li>○ 古文のえがく四季</li> <li>○ 心が動いたことを三十一音で表そう</li> <li>○ 季節の足音（春・夏）</li> <li>○ 言葉は変わる</li> <li>○ 漢文に親しむ</li> <li>○ 日本の文字</li> <li>○ 季節の足音（秋・冬）</li> <li>○ いにしえの言葉に学ぶ</li> <li>○ 心が動いたことを十七音で表そう</li> <li>○ 日本の伝統芸能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「五月」，俳句</li> <li>・ 「竹取物語」「平家物語」「徒然草」「おくのほそ道」</li> <li>・ 「風のあと」，俳句</li> <li>・ 「枕草子」</li> <li>・ 短歌</li> <li>・ 「春の河」，俳句</li> <li>・ 「竹取物語」</li> <li>・ 「百聞は一見に如かず」「論語」「諸葛亮の言葉」「春暁」</li> <li>・ 「万葉集」万葉がな，ひらがな，かたかな</li> <li>・ 俳句，短歌，「ふるさと」</li> <li>・ 「昔の人からの手紙」</li> <li>・ 児童が作った俳句</li> <li>・ 能，狂言，人形浄瑠璃，歌舞伎，落語 等</li> </ul>
学図	1・2	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ むかしばなしを よもう</li> <li>○ おはなしがいっぱい</li> <li>○ きせつのだより（春）</li> <li>○ かん字のでき方</li> <li>○ きせつのだより（夏）</li> <li>○ ことばであそぼう</li> <li>○ むかしのものがたりをたのしもう</li> <li>○ きせつのだより（秋）</li> <li>○ きせつのだより（冬）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「さるじぞう」</li> <li>・ 「わらしべちょうじゃ」「かちかちやま」 等</li> <li>・ 春の動植物，春の七草</li> <li>・ 象形文字，指事文字，会意文字</li> <li>・ 夏の動植物，いえの中のなつ</li> <li>・ いろはうた</li> <li>・ 「ヤマタノオロチ」</li> <li>・ 秋の動植物，秋の七草</li> <li>・ 冬の動植物，冬の遊び 等</li> </ul>
	3・4	6 (13)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ きせつのだより（春）</li> <li>○ 言葉のひびきやリズムを楽しもう 俳句</li> <li>○ きせつのだより（夏）</li> <li>○ きせつのだより（秋）</li> <li>○ きせつのだより（冬）</li> <li>○ 漢字のでき方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春の行事</li> <li>・ 俳句</li> <li>・ 夏の行事</li> <li>・ 秋の行事</li> <li>・ 冬の行事</li> <li>・ 象形文字，指示文字，会意文字，形声文字</li> </ul>

【国語】

教 出	3 ・ 4	7  (13)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ きせつのはたより (春)</li> <li>○ 季節のはたより (夏)</li> <li>○ 言葉のひびきやリズムを楽しもう 短歌</li> <li>○ 季節のはたより (秋)</li> <li>○ 昔から言い伝えられてきた言葉にふれよう ことわざ・故事成語</li> <li>○ 日本各地の短歌</li> <li>○ 季節のはたより (冬)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春を表現する言葉, 俳句</li> <li>・ 夏を表現する言葉, 俳句</li> <li>・ 短歌</li> <li>・ 秋を表現する言葉, 俳句</li> <li>・ ことわざ, 故事成語</li> <li>・ 短歌</li> <li>・ 冬を表現する言葉, 俳句</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
	5 ・ 6	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 季節のはたより (春)</li> <li>○ 季節のはたより (夏)</li> <li>○ 言葉のいずみ 言葉の文化を体験しよう</li> <li>○ 方言と共通語</li> <li>○ 人形劇</li> <li>○ 季節のはたより (秋)</li> <li>○ 豊かに表現しよう 俳句・短歌を作ろう</li> <li>○ 季節のはたより (冬)</li> <li>○ 言葉の文化を体験しよう 文語詩</li> <li>○ 言葉のいずみ 日本語の文字の歴史</li> <li>○ 季節のはたより (春)</li> <li>○ 言葉のいずみ 漢字の成り立ち</li> <li>○ 季節のはたより (夏)</li> <li>○ 季節のはたより (秋)</li> <li>○ 言葉の文化を体験しよう 狂言 漢詩</li> <li>○ 季節のはたより (冬)</li> <li>○ 伝統芸能に親しもう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春を表現する言葉, 俳句</li> <li>・ 夏を表現する言葉, 俳句</li> <li>・ 「宇治拾遺物語」</li> <li>・ 方言, 共通語</li> <li>・ 「木竜うるし」</li> <li>・ 秋を表現する言葉, 俳句</li> <li>・ 児童の作った短歌</li> <li>・ 冬を表現する言葉, 俳句</li> <li>・ 「やしの実」</li> <li>・ 万葉集, ひらがな, かたかな</li> <li>・ 二十四節気 (春)「春の小川」</li> <li>・ 象形文字, 指事文字, 会意文字, 形声文字</li> <li>・ 二十四節気 (夏), 「夏は来ぬ」</li> <li>・ 二十四節気 (秋), 「もみじ」</li> <li>・ 「盆山」「尋胡隠君」</li> <li>・ 二十四節気 (冬), 「冬景色」</li> <li>・ 「盆山」</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
	1 ・ 2	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ としよかんへいこう にほんのおはなし</li> <li>○ かんじのはじまり</li> <li>○ ぶんか</li> <li>○ ぶんか しりとりであそぼう</li> <li>○ 文化 言葉あそびをしよう</li> <li>○ 文化 いなばのしろうさぎ</li> <li>○ 場面や人物の様子をくわしく読もう かさこじぞう</li> <li>○ 文化 むかしのあそび</li> <li>○ むかしのお話を読もう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「わらしべちょうじゃ」「かぐやひめ」など</li> <li>・ 象形文字, 指事文字</li> <li>・ 「天にのぼったおげやさん」</li> <li>・ しりとり</li> <li>・ 「いろはうた」「おてだまうた」</li> <li>・ 「古事記」</li> <li>・ 「かさこじぞう」</li> <li>・ かるた</li> <li>・ 「三びきのこぶた」など</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
3 ・ 4	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化 俳句に親しむ</li> <li>○ きせつを言葉を集めよう</li> <li>○ 文化 ことわざ・慣用句</li> <li>○ 文化 十二支と月のよび名</li> <li>○ 文化 短歌の世界</li> <li>○ 登場人物のせいとかや, 気持ちを想像して読もう ぞろぞろ</li> <li>○ 文化 「月」のつく言葉</li> <li>○ 文化 故事成語</li> <li>○ 文化 雪</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 俳句</li> <li>・ 俳句</li> <li>・ ことわざ, 慣用句</li> <li>・ 十二支, 時刻, 方角, 月のよび名</li> <li>・ 短歌</li> <li>・ 落語「ぞろぞろ」</li> <li>・ 「中秋の名月」「お月見」など</li> <li>・ 「五十歩百歩」「漁夫の利」「蛇足」「矛盾」</li> <li>・ 唱歌, 詩, 俳句, 短歌</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>	
5 ・ 6	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化 漢文に親しむ</li> <li>○ 文化 鳥</li> <li>○ 俳句を作ろう</li> <li>○ 短歌や俳句を楽しもう</li> <li>○ 文化 「古典」を楽しむ</li> <li>○ 日本の伝統芸能</li> <li>○ 付録 附子 (狂言)</li> <li>○ 文化 春はあけぼの</li> <li>○ 文化 雨</li> <li>○ 文化 「知恵の言葉」を集めよう</li> <li>○ 文化 言葉は時代とともに</li> <li>○ 言葉 日本語の文字</li> <li>○ 付録 伝えられてきた作品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「春暁」「静夜思」「論語」「大学」</li> <li>・ 俳句, 短歌, 鳥に関わる言葉</li> <li>・ 児童が作った俳句</li> <li>・ 短歌, 俳句, 川柳</li> <li>・ 「竹取物語」「平家物語」「伊曾保物語」</li> <li>・ 能, 狂言, 人形浄瑠璃, 歌舞伎</li> <li>・ 「附子」</li> <li>・ 「枕草子」</li> <li>・ 雨に関わる言葉, 短歌, 俳句, 詩</li> <li>・ 教訓, おまじない, ことわざ など</li> <li>・ 「万葉集」, 短歌, 俳句, 「坊っちゃん」「杜子春」</li> <li>・ 万葉仮名, 平仮名, 片仮名</li> <li>・ 「徒然草」「おくのほそ道」「アイヌ神謡集」</li> <li>・ 「おもしろし」</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>	
		○ 付録 日本生まれの漢字 国字	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 畑, 働</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>	

【国語】

光 村	1 ・ 2	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ おむすびころりん</li> <li>○ ことばをたのしもう</li> <li>○ かん字のはなし</li> <li>○ むかしばなしをよもう</li> <li>○ きいてたのしもう わらしべちょうじゃ</li> <li>○ きせつのことば はるがいっぱい</li> <li>○ 聞いてたのしもう いなばのしろうさぎ</li> <li>○ きせつのことば なつがいっぱい</li> <li>○ ことばあそびをしよう</li> <li>○ きせつのことば 秋がいっぱい</li> <li>○ 聞いて楽しもう</li> <li>○ きせつのことば 冬がいっぱい</li> <li>○ ことばを楽しもう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おむすびころりん」</li> <li>・言葉遊び、早口言葉</li> <li>・象形文字、指事文字</li> <li>・「ジャックと豆の木」「きたかぜとたいよう」</li> <li>・「わらしべちょうじゃ」</li> <li>・春の動植物、「はながさいた」</li> <li>・「いなばのしろうさぎ」</li> <li>・夏の動植物、「みんな」</li> <li>・かぞえうた、いろはうた など</li> <li>・秋の動植物、「やま」</li> <li>・「せかい一の話」</li> <li>・冬の動植物、「ゆき」</li> <li>・回文</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
	3 ・ 4	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ きせつの言葉 春のくらし</li> <li>○ 声に出して楽しもう 俳句を楽しもう</li> <li>○ きせつの言葉 夏のくらし</li> <li>○ きせつの言葉 秋のくらし</li> <li>○ つたわる言葉 ことわざ・故事成語</li> <li>○ 声に出して楽しもう 短歌を楽しもう</li> <li>○ きせつの言葉 冬のくらし</li> <li>○ 知ると楽しい「故事成語」</li> <li>○ きせつの言葉 春の楽しみ</li> <li>○ 声に出して楽しもう 短歌・俳句に親しもう(一)</li> <li>○ 季節の言葉 夏の楽しみ</li> <li>○ 季節の言葉 秋の楽しみ</li> <li>○ 伝わる言葉 慣用句</li> <li>○ 声に出して楽しもう 短歌・俳句に親しもう(二)</li> <li>○ 季節の言葉 冬の楽しみ</li> <li>○ 百人一首に親しもう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みどり」、春の言葉</li> <li>・俳句、いろはうた</li> <li>・「はなび」、夏の言葉</li> <li>・「虫の声」、秋の言葉</li> <li>・「笑う門には福来る」「五十歩百歩」など</li> <li>・短歌</li> <li>・「ゆき」、冬の言葉</li> <li>・「杞憂」「登竜門」「蛇足」「蛭雪の功」</li> <li>・春の行事、言葉、俳句</li> <li>・短歌、俳句</li> <li>・夏の行事、言葉、俳句、短歌</li> <li>・秋の行事、言葉、短歌</li> <li>・「羽をのばす」など</li> <li>・短歌、俳句</li> <li>・冬の行事、言葉、俳句、春の七草</li> <li>・短歌、俳句</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
	5 ・ 6	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 季節の言葉 春の空</li> <li>○ 言葉をよりすぐって俳句を作ろう 日常を十七音で</li> <li>○ 声に出して読もう 古典の世界(一)</li> <li>○ 季節の言葉 夏の夜</li> <li>○ 季節の言葉 秋の夕暮れ</li> <li>○ 伝えられてきた文化 古典芸能の世界-語りで伝える</li> <li>○ 声に出して読もう 古典の世界(二)</li> <li>○ 季節の言葉 冬の朝</li> <li>○ 落語に親しもう</li> <li>○ 季節の言葉 春のいぶき</li> <li>○ 言葉を選んで、短歌を作ろう たのしみは</li> <li>○ 声に出して楽しもう 天地の文</li> <li>○ 季節の言葉 夏のさかり</li> <li>○ 季節の言葉 秋深し</li> <li>○ 表現の工夫をとらえて読み、それを いかして書こう 『鳥獣戯画』を読む</li> <li>○ 伝えられてきた文化 古典芸能の世界-演じて伝える</li> <li>○ 季節の言葉 冬のおとずれ</li> <li>○ 言葉 仮名の由来</li> <li>○ 時代をこえて伝わる古典</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「枕草子」、春の言葉、俳句</li> <li>・俳句</li> <li>・「竹取物語」「平家物語」「徒然草」「おくのほそ道」</li> <li>・「枕草子」、夏の言葉、俳句</li> <li>・「枕草子」、秋の言葉、俳句</li> <li>・落語</li> <li>・「論語」「春暁」</li> <li>・「枕草子」、冬の言葉、俳句</li> <li>・「寿限無」「まんじゅうこわい」</li> <li>・二十四節気(春)、春の短歌、俳句</li> <li>・短歌</li> <li>・「天地の文」</li> <li>・二十四節気(夏)、夏の短歌、俳句</li> <li>・二十四節気(秋)、秋の短歌、俳句</li> <li>・「鳥獣人物戯画」</li> <li>・狂言、能、歌舞伎、人形浄瑠璃、「柿山伏」</li> <li>・二十四節気(冬)、冬の短歌、俳句</li> <li>・万葉仮名、平仮名、片仮名</li> <li>・「古事記」「万葉集」「竹取物語」「枕草子」「源氏物語」「平家物語」「徒然草」「御伽草子」「おくのほそ道」「東海道中膝栗毛」</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>



【国語】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨本文記述との適切な関連付けがなされた図表等の活用
方法	文章と図表等との関連について考えさせる記述

第5学年		
	単元名及び内容	文章と図表等との関連について考えさせる記述
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「書き手の意図を考えよう 新聞記事を読み比べよう」</li> <li>・ 同じ出来事について、それぞれの新聞記事はどのように伝えているのか、記事と写真との関係に注意しながら、書き手の意図を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新聞の紙面「記事の構成」</li> <li>○ 写真「アップ」「ロング」</li> <li>○ 「A社の記事」「B社の記事」</li> <li>・ 記事と写真の関係を読み取ろう。 A社とB社の写真の役割について、書き手の意図と関係付けながら考えましょう。 写真がけいさいされていなかった場合と比べて考えてみましょう。</li> <li>・ 紙面の印象や、記事に対する読み手の興味はどう変わるでしょうか。</li> <li>・ 記事の内容を理解するのに、ちがいはあるでしょうか。</li> <li>・ 書き手のメッセージの伝わり方は、どう変わるでしょうか。 A社の写真とB社の写真を入れかえたらどうなるか考えてみましょう。</li> </ul>
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「新聞の情報を読み取ろう」</li> <li>・ 記事と写真・図表を結び付けて新聞記事を読み、書き手の意図をとらえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新聞の紙面「記事の構成」</li> <li>○ 「A社の記事」「B社の記事」</li> <li>・ 記事の構成をとらえよう 写真・図表 記事の内容や関係することがらを、より分かりやすく伝えるためにそえたもの。</li> <li>・ 二つの新聞記事を読み比べよう 見出しや本文、使っている写真、図表などのちがいから、書き手の意図を考えましょう。</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「多様な情報を読み、根拠となる資料にもとづいて、考えを深めよう」</li> <li>・ 「世界遺産 白神山地からの提言―意見文を書こう」の二つの説明文と七つの資料を読んで、自然保護についての自分の意見を根拠となる資料に基づいて書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真「ブナの森におおわれた白神山地」「ブナの森の中」「カモシカ」「クマゲラ」「イヌワシ」「シラガミクワガタ」「トガクシソウ」「アオモリマンテマ」</li> <li>○ 地図「白神山地の位置と世界遺産登録地域」</li> <li>○ 資料2 「入山届出書の例」</li> <li>○ 資料3 「新聞記事より」</li> <li>○ 資料4 棒グラフ「暗門の滝をおとずれた観光客数の変化」</li> <li>・ できるだけたくさんの資料を比べて自分の考えの根拠をはっきりさせよう。</li> <li>・ 「資料3」から、人が核心地域に入ると、自然にえいきょうが出てしまう場合も考えられるな。</li> <li>・ 〈ふり返ろう〉 複数の資料を比べながら読み、自分の考えをまとめることができたか。 自分の考えをまとめたり、伝えたりするために資料を活用することができたか。</li> </ul>

【国語】

光 村	<p>○ 「資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書く」</p> <p>・「固有種が教えてくれること」を読み、資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして意見文を書く。</p>	<p>○ 資料1 地図・表「日本とイギリスの陸生ほ乳類」</p> <p>○ 資料2 年表・図「日本列島の成り立ち」</p> <p>○ 資料3・4 図「1年間の平均気温」「標高」</p> <p>○ 資料5 写真「絶滅したとされる動物」</p> <p>○ 資料6 棒グラフ「天然林等面積の推移」</p> <p>○ 資料7 折れ線グラフ「全国のニホンカモシカほかく数」</p> <p>・文章の中で用いられている図表やグラフ、写真を、文章との関わりに注意して読もう。</p> <p>・それぞれ、文章のどの部分と対応し、何が読み取れるか。</p> <p>・それらの資料があることには、どのような効果があるか。</p> <p>・図表などの効果を考えるとき 〈筆者の立場から考える〉 筆者は、この図表を示すことで、何を伝えたいのではないか。</p> <p>〈読み手の立場から考える〉 もし、このグラフがなかったら―。 文章と図表を合わせると、―ということが言える。</p>
--------	---	---

<b>観点</b>	<b>(工) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑩巻頭の示し方
<b>方法</b>	巻頭の示し方と内容

巻頭の示し方と内容		
東 書	学習の進め方	○ 国語の学習の進め方 *第2学年以上 ・「つかむ」、「取り組む」「ふり返る」という学習過程を示している。
	つきたい力・学習すること	○ □年で学習する言葉の力(折込ページ) *第2学年以上に掲載 ・「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域に分け、各単元で身につける言葉の力を一覧で示している。 ・1年間で頑張りたいことやできるようになりたいことを合わせて記載している。
	前学年の学年のふり返り	● □年(前学年)で学習した☆言葉の力(巻末) ・「話す・聞く」「書く」「読む」の3項目で示している。
学 図	前学年の学習のふり返り	○ □年生の国語の学習を始めましょう *第3学年以上 ・「言葉の働き・使い方」「関係づけ・整理のしかた」「伝えられてきた言葉」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の6項目で示している。
	つきたい力・学習すること	○ □年生でつきたい力(折込ページ) *第3学年以上 ・「知識及び技能」を3項目に分け指導事項を示し、下に単元名を示している。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域に分け、指導事項と単元名を示している。 ・「学びに向かう力、人間性等」の目標を示している。
	学習の進め方	○ 国語の学習の進め方を確かめよう ・「つかむ」、「見方や考え方を学ぶ」、「まとめる・ふり返る」、「広げる」という学習過程を示している。
教 出	つきたい力・学習すること	○ □年生で学ぶこと ・「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域に分け、「単元名」「めあて」「ここが大事」を示し、学習順に道で繋ぎ、地図として示している。 ・「言語」「漢字の広場」「文化」「読書」ごとに、単元のつながりを示している。
	学習の進め方	● 「話す・聞く」「書く」の単元の最初のページには、「見通しをもとう」から「ふり返ろう」まで単元の学習過程を示している。
光 村	学習の進め方	○ 国語の学びを見わたそう *第2学年以上 ・「初めに」、「読む」「書く」「話す・聞く」、「ふりかえる」、「学習や生活にいかす」という学習過程を示している。
	つきたい力・学習すること	○ □年生で学習すること(折込ページ) *第2学年以上 ・「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域ごとに、教材名・身につけたい力(たいせつ)・学習用語を示している。

【国語】

前学年の学習のふり返り	○ □年生（前学年）の学びを確かめよう ・学習することの下に、「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域ごとに学習過程に沿って示している。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩, 目次は除く。</li> <li>・●: 他社は巻頭で示している内容で, 巻頭以外で示しているものを記載。</li> </ul>	

<b>観点</b>	<b>(才) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	①考えを伝え合うなどして話し合う活動の工夫
<b>方法</b>	単元名, 例示されているテーマ・議題, 話し合いの形態

		第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
<b>東書</b>	単元名	グループの合言葉を決めよう	学校についてしょうか いすることを考えよう	問題を解決するために 話し合おう	話し合って考えを深め よう
	テーマ 議題	運動会の練習をみんな でがんばれるような今 月のグループの合言葉	入学する子たちに, 学 校のどんなところをし ょうかいしたいか	高学年の図書館利用を 増やすために図書委員 会でどんな取り組みを すればよいか	観光案内では, 方言と 共通語のどちらを使う のがよいか
	形態	グループでの話し合い	グループの提案をもと にクラス全体で話し合 う	グループでの話し合い	グループでの話し合い
<b>学図</b>	単元名	やくわりを決めて話し 合おう	問題解決のために話し 合おう	テーマを決めて討論し よう	立場を決めて討論しよ う
	テーマ 議題	3組がもっとなかよく なるためのクラスレク をみんなで考えよう	安全に登下校するた めには, どうしたらよいか	学校の昼食はお弁当に したほうがよい	地球環境を守るために, 私たちに何ができるか
	形態	クラス全体での話し 合い(学級会)	グループで作成した安 全マップをもとに, ク ラス全体で話し合う	討論会	パネルディスカッショ ン
<b>教出</b>	単元名	役割を決めて話し合 う	目的や進め方をたしか めて話し合おう	考えを広げるために, 立場を決めて話し合 おう	立場を決めて, 主張を 明確にしよう
	テーマ 議題	ほけん室を表す絵文字 を考える	ちいきの人と楽しむ新 スポーツをよりよくす る	AI とのくらし	災害から身を守るた めには何が必要か
	形態	グループでの話し 合い	クラス全体での話し 合い	ミニディベート	パネルディスカッショ ン
<b>光村</b>	単元名	進行を考えながら話し 合おう	役わりをいしきしなが ら話し合おう	たがいの立場を明確に して, 話し合おう	目的や条件に応じて, 計画的に話し合おう
	テーマ 議題	一年生が本をすきにな ってくれるような, 読み 聞かせの本を決める	ちいきの学習でお世話 になった方へのお礼の 会で何をするか	階段やわたりろう下を きれいに保つために, 何 ができるか	交流週間に, 一年生と どんな遊びをしたらよ いかを班ごとに考える
	形態	班での話し 合い	クラス全体での話し 合い	グループでの話し 合い後 クラスで共有	グループでの話し 合い後 クラスで共有

<b>観点</b>	(才) 言語活動の充実
<b>視点</b>	⑫学校図書館機能の利活用
<b>方法</b>	学校図書館等の利活用の仕方について示されている内容

	単元名 (ページ数)	内容
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年上「としょかんはどんなところ」(2)</li> <li>○ 第2学年上「としょかんへ行こう」(4)</li> <li>○ 第3学年上「図書館へ行こう」(4)</li> <li>○ 第3学年下「目次やさくいんを活用しよう」(2)</li> <li>○ 第4学年上「図書館へ行こう」(4)</li> <li>○ 第4学年下「目的に合わせて調べよう」(2)</li> <li>○ 第5学年「図書館へ行こう」(4)</li> <li>○ 第6学年「図書館へ行こう」(4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館での約束</li> <li>・図書館での約束と本のなかま分け, 司書の先生</li> <li>・本のなかま分け (日本十進分類法)</li> <li>・百科事典や図鑑などの調べ方</li> <li>・日本十進分類法 (NDC) の仕組み</li> <li>・本のラベルの数字と分類</li> <li>・百科事典の調べ方</li> <li>・引用の仕方</li> <li>・日本十進分類法 (NDC) の仕組みと活用の仕方, 請求記号</li> <li>・日本十進分類法 (NDC), 地域の図書館, 資料館, 科学館等の活用の仕方</li> </ul>
<b>学 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年上「ほんをよもう」(2)</li> <li>○ 第1学年下「ずかんをつかってしらべよう」(2)</li> <li>○ 第2学年上「ずかんをつかってまとめよう」(2) 資料編「図書かんに行って読もう」(2)</li> <li>○ 第3学年上「百科事典」を引いて調べよう (2) 資料編「学校図書館で本をさがそう」(2)</li> <li>○ 第4学年上「百科事典」を使って, 調べることを決めよう (2) 資料編「地いきの図書館を利用しよう」(2)</li> <li>○ 第5学年上「年鑑」を使って調べよう (2)</li> <li>○ 第6学年上資料編「目的に応じて調べよう」(2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室の利用, 約束</li> <li>・「目次」や「索引」</li> <li>・図鑑の調べ方, 図鑑を使ったまとめ方</li> <li>・本の見つけ方</li> <li>・百科事典について, 百科事典の使い方</li> <li>・本の分類と分類記号, 本のつくり</li> <li>・百科事典の調べ方</li> <li>・地域の図書館の利用, 本の探し方 (館内案内図, パソコン検索, 司書)</li> <li>・「年鑑」の統計資料の調べ方</li> <li>・図書館, 博物館や資料館, インターネット, 取材での調べ方</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年上「としょかんへいこう」(2)</li> <li>○ 第2学年上「図書館で本をさがそう」(4)</li> <li>○ 第3学年上「本で調べよう」(4)</li> <li>○ 第4学年上「分類をもとに本を見つけよう」(4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の利用</li> <li>・図書館マップによる本の分類, 本の探し方</li> <li>・目次や索引の使い方, 前書き・後書き, 奥付「読書カード」の書き方</li> <li>・本の分類 (日本十進分類法と分類記号, 本のラベルの見方)</li> </ul>
<b>光 村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年上「としょかんへいこう」(2)</li> <li>○ 第1学年上「としょかんとなかよし」(2)</li> <li>○ 第2学年上「図書館たんけん」(2)</li> <li>○ 第3学年上「図書館たんていだん」(2)</li> <li>○ 第3学年下コラム「科学読み物での調べ方」(1)</li> <li>○ 第4学年上「図書館の達人になろう」(2)</li> <li>○ 第4学年下コラム「百科事典での調べ方」(1)</li> <li>○ 第5学年「図書館を使いこなそう」(2)</li> <li>○ 第6学年「地域の施設を活用しよう」(2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の利用, 約束</li> <li>・本の探し方</li> <li>・図書館の本の分け方・並べ方</li> <li>・本の分類, 本のつくり</li> <li>・目次や検索の調べ方, 奥付について</li> <li>・地域の図書館での本の探し方 (ラベル, 本の紹介コーナー, 案内図, 検索用コンピュータ, 本以外の資料)</li> <li>・見出し語の見つけ方 (背, 索引の巻, ページ)</li> <li>・日本十進分類法, 調べ方 (百科事典, 司書の先生, インターネットで検索), 記録の例</li> <li>・公共図書館, 文学館, 博物館・資料館, 記録カードの書き方</li> </ul>

【書写】

# 書 写

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	新しい書写
11	学	図	みんなと学ぶ
17	教	出	小学 書写
38	光	村	書写
116	日	文	小学書写

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	単元の目標の示し方, 目標の数
		② 姿勢, 点画の書き方, 用具の扱いの示し方	正しい姿勢, 点画の書き方, 用具の扱い方の写真・イラストの示し方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 課題解決的な学習を実施するための工夫	学習過程の示し方と構成
(ウ)	内容の構成・配列・分量	④ 単元等の配列・分量	各学年の総ページ数, 毛筆教材数, 硬筆教材数, 硬筆記入欄のページ数
		⑤ 伝統と文化に関する内容の記述	書写の歴史に関する資料等の内容とページ数, 伝統的な言語文化に関する内容とページ数
(エ)	内容の表現・表記	⑥ 配色, レイアウト等表現・表記の工夫	筆順の示し方, 紙面構成等
(オ)	言語活動の充実	⑦ 学習や日常生活に生かす言語活動の工夫	各教科等の学習や日常生活に生かす単元名, 教材数及び教材例

【書写】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	単元の目標の示し方と目標の数

第6学年「字配り・配列」		
	単元名 (ページ数)	目標の示し方 (数)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 用紙に合った文字の大きさ (2)</li> <li>○ 文字の大きさと配列 (小筆) (2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ㊦～㊧を比べて、用紙に合った大きさと文字を書くにはどうしたらよいか考えましょう。</li> <li>○ 次の文を、どのような配列で書くと読みやすくなるか考えましょう。 (2)</li> </ul>
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字の大きさと配列「実りの秋」 (4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 用紙に対する文字の大きさと配列を考えて書こう。 (1)</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字の大きさと配列, 点画のつながり (3)</li> <li>○ 文字の大きさと配列, 点画のつながり (小筆) (2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 用紙に対する文字の大きさと配列, 点画のつながりに気をつけて書こう。</li> <li>○ 用紙に対する文字の大きさと配列, 点画のつながりに気をつけて書こう。 (2)</li> </ul>
光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字の配列                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用紙に合った文字の大きさと配列 (2)</li> <li>・ 伝えるって、どういうこと? (2)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 用紙に合った文字の大きさと配列を考えよう。</li> <li>○ 分かりやすいのは、㊦と㊧のどちらだろう。 (2)</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行の中心と字間・行間 (1)</li> <li>○ 文字の大きさと余白 (2)</li> <li>○ 配列 (2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読みやすく書く方法を考えて書こう。</li> <li>○ 用紙に合った文字の大きさを考えて書こう。</li> <li>○ 文字の大きさと配列を考えて書こう。 (3)</li> </ul>

【書写】

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	②姿勢，点画の書き方，用具の扱いの示し方
<b>方法</b>	正しい姿勢，点画の書き方，用具の扱い方の写真・イラストの示し方

	学年	正しい姿勢(ページ数)	点画の書き方(ページ数)	用具の扱い方(ページ数)
<b>東 書</b>	1	○ 字を書く姿勢・手の置き方・足の置き方の写真とイラスト(6)	○ 線のなぞり・とめ・はらい・はね・曲がり・折れ・むすびのイラスト(13)	○ 鉛筆・フェルトペンの持ち方の写真とイラスト(4)
	3	○ 毛筆で机の上で書くとき・立って書くとき・床の上で書くときの姿勢の写真(4)	○ 筆圧，始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・はらい・曲がり・反りの写真とイラスト(11)	○ 筆の持ち方・おろし方，用具の置き方と扱い方，墨のすり方，紙のしまい方，用具の後始末，鉛筆の持ち方・小筆の持ち方・使い方の写真とイラスト(8)
<b>学 図</b>	1	○ 机の上で字を書く姿勢・バインダーで字を書く姿勢，手の置き方・足の置き方の写真とイラスト(4)	○ 線のなぞり・とめ・はらい・はね・曲がり・折れ・折り返し・むすび・そりのイラスト(9)	○ 鉛筆・フェルトペン・サインペン・水筆の持ち方の写真(4)
	3	○ 毛筆で机の上で書くとき・立って書くとき・床の上で書くときの姿勢の写真とイラスト(4)	○ 筆圧・始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・曲がり・はねの写真(7)	○ 筆の持ち方・おろし方，用具の置き方と扱い方，墨の持ち方とすり方，用具の後始末，小筆の持ち方・使い方の写真とイラスト(5)
<b>教 出</b>	1	○ 字を書く姿勢，字を消す時の手の置き方・足の置き方の写真とイラスト(2)	○ 線のなぞり・とめ・はらい・はね・曲がり・折れ・むすびのイラスト(12)	○ 鉛筆・フェルトペンの持ち方の写真とイラスト(4)
	3	○ 毛筆で机の上で書くとき・立って書くとき・床の上で書くときの姿勢の写真とイラスト(3)	○ 筆圧・始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・はらい・はね・曲がりの写真とイラスト(19)	○ 筆の持ち方・おろし方，用具の置き方と扱い方，墨液の扱い方，紙のしまい方，墨のふくませ方，墨の持ち方とすり方，用具の後始末，鉛筆の持ち方・小筆の持ち方・使い方の写真とイラスト(7)

【書写】

光 村	1	○ 字を書く姿勢, 手の置き方, 足の置き方の写真とイラスト (4)	○ 線のなぞり・とめ・はらい・はね・曲がり・折れ・折り返し・むすび・そりのイラスト (10)	○ 鉛筆・フェルトペン・水筆の持ち方, 手の動かし方の写真とイラスト (6)
	3	○ 毛筆・鉛筆で机の上で書くとき, 腕の使い方, 立って書くとき・床の上で書くときの姿勢の写真とイラスト (4)	○ 筆圧・始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・はらい・はね・曲がりの写真とイラスト (14)	○ 筆の持ち方・おろし方, 用具の置き方と扱い方, 紙のしまい方, 墨の持ち方とすり方, 用具の後始末, 鉛筆の持ち方・小筆の持ち方・使い方の写真とイラスト (8)
日 文	1	○ 字を書く姿勢, 手の置き方・足の置き方の写真とイラスト (3)	○ 線のなぞり・とめ・はらい・はね・曲がり・折れ・折り返し・むすび・そりのイラスト (9)	○ 鉛筆・フェルトペン・水筆の持ち方の写真とイラスト (4)
	3	○ 毛筆・鉛筆で机の上で書くとき・立って書くとき・床の上で書くときの姿勢の写真とイラスト (4)	○ 筆圧・始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・はらい・はね・曲がり・反りの写真とイラスト (12)	○ 筆の持ち方・おろし方, 用具の置き方と扱い方, 紙のしまい方, 墨のふくませ方, 墨の持ち方とすり方, 用具の後始末, 鉛筆の持ち方・フェルトペンの持ち方・小筆の持ち方・使い方の写真とイラスト (7)



【書写】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③課題解決的な学習を実施するための工夫
方法	学習過程の示し方と構成

		第4学年	
		学習過程の示し方	構成の特徴
東 書		○ 「見つけよう。→たしかめよう。→生かそう。→話し合おう。→広げよう。」	○ 「どのように学ぶか」を明確にした学習過程で、「書写のかぎ」をキーワードに、課題解決的な学習展開になっている。それぞれの学習過程において視点を示して、生かしたり、話し合ったり、広げたりする構成になっている。
学 図		○ 「1 たしかめて書こう→2 考えて書こう→3 生かして書こう」	○ 1は「学習することは何かな。」「まず、書いてみよう。」、2は「どこをどのように直したらいいのかな。」「練習しよう。」「まとめ書きをしよう。」、3は「試し書きとまとめ書きをくらべよう。」「学習したことを生かして、硬筆で書こう。」「ふり返ろう。」「学習したことを、学校やふだんの生活の中でも生かしてみよう。」と細分化され、何が身に付いたかが実感できる構成になっている。
教 出		○ 「見つける、くらべる→書く、たしかめる→ふり返る、伝え合う→広げる」	○ 7つに細分化され、「ためし書きと教科書の文字をくらべて、自分のめあてを見つけよう。(考えよう)」→「自分のめあてをたしかめて、練習しよう。(ここが大切)」→「学習したことを、他の文字でもたしかめよう(生かそう)」の流れで、教材を比較・検討し、気づいたことを生かして書く構成になっている。
光 村		○ 「考えよう(整った文字の書き方を考えよう。→たしかめよう(書き方をたしかめて、毛筆で書こう。→生かそう(学習したことを、生かして書こう。))」	○ 「考えよう」と「たしかめよう」では課題解決的な学習を行っていく中で、自分で考えたり、確かめたりするだけでなく、友達と話し合う学習展開を設け、対話的な学びを通して、学習を深められるような構成になっている。
日 文		○ 「課題をはっきりさせ、見通しをもつ→学習に取り組む→ふり返り、次の学習にいかす」	○ 「一人で学習(自分で)」「グループで学習(友達どうしで)」と主体的・対話的な学びについて明記している。更に「書写学習の進め方」として「試し書きをする→考える→たしかめる→まとめ書きをする→いかす→ふり返る」と具体的に示している。キャラクターの発言が、児童の「気付き」を促すように設定され、課題解決的な学習展開を行い、目標を達成できたかどうか自己評価を行うことのできる構成になっている。

## 【書写】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	④単元等の配列・分量
方法	各学年の総ページ数，毛筆教材数，硬筆教材数，硬筆記入欄のページ数

	学年	総ページ数	毛筆教材数	硬筆教材数	硬筆記入欄のページ数
東 書	1	49	0	15	27
	2	45	0	13	21
	3	57	10	3	11
	4	53	9	3	12
	5	53	9	4	8
	6	53	9	3	8
学 図	1	50	0	14	26
	2	47	0	10	21
	3	51	7	0	13
	4	59	6	0	22
	5	53	6	0	20
	6	51	5	0	19
教 出	1	49	0	19	9
	2	41	0	9	2
	3	61	9	6	11
	4	61	10	3	9
	5	53	9	4	7
	6	53	7	2	5
光 村	1	45	0	20	21
	2	41	0	15	16
	3	57	10	3	13
	4	53	10	2	11
	5	55	9	2	9
	6	53	11	3	8
日 文	1	40	0	14	16
	2	40	0	20	12
	3	56	11	5	5
	4	56	11	6	3
	5	52	11	7	2
	6	52	10	7	4

【書写】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑤伝統と文化に関する内容の記述
<b>方法</b>	書写の歴史に関する資料等の内容とページ数, 伝統的な言語文化に関する内容とページ数

	書写の歴史に関する資料等の内容 (ページ数)	伝統的な言語文化に関する内容 (ページ数)
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年 どう やって つくるの えんぴつ・けしゴム(1), かきぞめを しよう(2), かん字の はなし(1)</li> <li>○ 第2学年 かきぞめを しよう(2), かん字の なりたち(1)</li> <li>○ 第3学年 どうやって作るの 筆・和紙・すずり・すみ(1), かきぞめをしよう(3・巻末), 筆づくりにこめた思い(1)</li> <li>○ 第4学年 手書き文字と活字(1), 年賀状を書こう(小筆)(1), 書きぞめをしよう(3・巻末), 文字にこめた思い(1)</li> <li>○ 第5学年 書きぞめをしよう(3・巻末), 世界の文字いろいろ(2), 文字にこめた思い(1)</li> <li>○ 第6学年 手書き文字のいろいろな書き方(1), 書き初めをしよう(3・巻末), 日本の文字の歴史(2), 文字にこめた思い(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年 「花さかじいさん」のうた(1)</li> <li>○ 第2学年 いろはうた(1)</li> <li>○ 第3学年 俳句(1)</li> <li>○ 第4学年 短歌(1)</li> <li>○ 第5学年 古文(2), 俳句(1)</li> <li>○ 第6学年 漢詩(1), 漢文(1)</li> </ul>
<b>学 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年 かきぞめを しよう(2)</li> <li>○ 第2学年 なんの形からできたかん字かな?(1), えんぴつはどうやって作られているの?(1), けしゴムはどうやって作られているの?(1), 書きぞめをしよう(2)</li> <li>○ 第3学年 筆はどうやって作られているの?(1), すみはどうやって作られているの?(1), ひらがなはどうやって生まれたの?(1), 書きぞめをしよう(1)</li> <li>○ 第4学年 すずりはどうやって作られているの?(1), 手書き文字と活字(1), 和紙はどうやって作られているの?(1), 書きぞめをしよう(1)</li> <li>○ 第5学年 かたかなはどうやって生まれたの?(1), 書きぞめをしよう(1),</li> <li>○ 第6学年 書きぞめをしよう(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3学年 俳句(4)</li> <li>○ 第4学年 漢文(2), ことわざ(1), 俳句(1) 短歌(2)</li> <li>○ 第5学年 古文(1), ことわざ(1)</li> <li>○ 第6学年 漢文(1), いろは歌(2), ことわざ(1), 「行書」で書いてみよう(2)</li> </ul>

【書写】

<p>教 出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年 かきぞめ(2), なんのかたちからできたかんじかな(1)</li> <li>○ 第2学年 何の形からできたかん字かな(1) 年がじょうと書きぞめ(3)</li> <li>○ 第3学年 筆について知ろう(1) 暑中みまい(1) 書きぞめ(2・巻末), 「手書き文字」と「活字」(1), 漢字のなりたち(1)</li> <li>○ 第4学年 さまざまなかるた(1) 書きぞめ(2・巻末) 漢字の成り立ち(1)</li> <li>○ 第5学年 「活字」について知ろう(1) 平仮名のもとになる漢字(1), 「年賀状、絵はがきを書こう(4) 書きぞめ(1・巻末), すみ・すずり・紙の作り方(1), 漢字の成り立ち(1)</li> <li>○ 第6学年 文字の旅(2) 文字の成り立ち(1) 生活と文字(2) 書きぞめ(1・巻末), 漢字の成り立ち(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2学年 昔話(1)</li> <li>○ 第3学年 俳句(1)</li> <li>○ 第4学年 短歌(1)</li> <li>○ 第5学年 古文(1)</li> <li>○ 第6学年 古文(2), 俳句(4), 行書(1)</li> </ul>
<p>光 村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年 かん字ずかん(1) かきぞめ(2)</li> <li>○ 第2学年 かん字図かん(1) 書きぞめ(2), えんぴつのひみつ(1)</li> <li>○ 第3学年 漢字図かん(1) 書きぞめ(2・巻末) 筆ができるまで(1)</li> <li>○ 第4学年 身近な文字をさがそう(1), 漢字図かん(1) 書きぞめ(2・巻末) 紙・すみ・すずりができるまで(1)</li> <li>○ 第5学年 漢字図かん(1) 書きぞめ(2・巻末)</li> <li>○ 第6学年 文字の歴史(3), 漢字図かん(1) 書きぞめ(2・巻末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2学年 いろは歌(1)</li> <li>○ 第3学年 俳句(1)</li> <li>○ 第4学年 短歌(1)</li> <li>○ 第5学年 古文(1)</li> <li>○ 第6学年 俳句(1), 短歌(1), 行書(1)</li> </ul>
<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年 年がじょうをかこう(1) かきぞめをしよう(1)</li> <li>○ 第2学年 書きぞめをしよう(1)</li> <li>○ 第3学年 書きぞめ(3・巻末)</li> <li>○ 第4学年 書きぞめ(3・巻末), 年賀状のポイント(1)</li> <li>○ 第5学年 書きぞめ(3・巻末), わたしの町となりの町(1), 平仮名のもとになった漢字(1), 用具の産地をたずねて(1), いろいろな書き方(1)</li> <li>○ 第6学年 手書き文字と活字(1), 平仮名と片仮名ができるまで(2), 書初め(3・巻末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3学年 俳句・ことわざ(1)</li> <li>○ 第5学年 伝統的な色(1), いろは歌(1), 古文(1), 行書(1)</li> <li>○ 第6学年 古文・俳句・行書(1), 俳句(1), 五・七・五(2)</li> </ul>

【書写】

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑥配色, レイアウト等表現・表記の工夫
<b>方法</b>	筆順の示し方, 紙面構成等

第2学年「筆順」		
	筆順の示し方	紙面構成等（個数）
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 筆順のきまりにあたる部分の色を変えて示している。</li> <li>○ 筆順を赤字で示し, 一部を○（空欄）で示し書き込むようにしている。</li> <li>○ 筆順のきまりを赤矢印で示している。（上から, 左から）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書き込み欄を教材文字の下に配置している。（8）</li> <li>○ 書き込み欄を教材文の左右両方に配置し, 選んで記入できるようにしている。（一文）</li> <li>○ 書き込みマスが4等分されている。</li> </ul>
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 筆順の「カギ（見方, 考え方）」にあたる部分の色を変えて示している。</li> <li>○ 筆順（数字）を赤字で示している。</li> <li>○ 筆順のきまりを赤矢印で示している。（上から, 左から）</li> <li>○ 下部分に新出漢字の筆順を色で分けて示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書き方のカギを異なる書体と文字で2回示している。</li> <li>○ 書き込み欄を教材文字の下に配置している。（13）</li> <li>○ なぞり書きがある。（4）</li> <li>○ 書き込みのマスが4等分されている。</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書き順「よこ画から・長いたて画から」を色の違う太矢印で示している。</li> <li>○ 書き順のきまりにあたる部分を赤で示している。</li> <li>○ 一部の筆順（数字）を黒字で示している。</li> <li>○ 下部分に新出漢字の筆順を黒数字で示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書き順「よこ画から」「長いたて画から」を2回示している。</li> <li>○ なぞり書きがある。（2）</li> </ul>
光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書き順のきまり「上から下へ」「左から右へ」を緑色の矢印で示している。</li> <li>○ 上段：筆順（数字）を決められた色で示している。 下段：筆順を赤字で示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書き順のきまりを異なる書体と文字で2回示している。</li> <li>○ 書き込み欄を教材右側に配置している。（12）</li> <li>○ 書き込みのマスが4等分されている。</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 筆順（数字）を青字で示し, 一部を○（空欄）で示し書き込むようにしている。</li> <li>○ 新出漢字の書き順を教材文字横に示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書き込み欄を教材文字の下に配置している。（4）</li> <li>○ 初めに書く画に赤色を塗るようにしている。（4）</li> </ul>

【書写】

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑦学習や日常生活に生かす言語活動の工夫
<b>方法</b>	各教科等の学習や日常生活に生かす単元名，教材数及び教材例

	単元名	各学年の教材数（ ），教材例
<b>東 書</b>	○ 生活にひろげよう ○ 学びに生かそう	第1学年（4）「にっきを かこう」 第2学年（4）「かんさつした ことを かこう」 第3学年（4）「実験したことを記録しよう」 第4学年（4）「調べたことを伝える 新聞を作ろう」 第5学年（4）「委員会活動を伝える リーフレットを作ろう」 第6学年（4）「発表のためのポスターを書こう」
<b>学 図</b>	○ 書写の資料館 ○ 発展 （第6学年）	第1学年（7）「かんさつカードをかこう」 第2学年（5）「たて書きとよこ書き」 第3学年（6）「はがき・原こう用紙・手紙の書き方」 第4学年（7）「都道府県名を書こう」 第5学年（9）「感謝の気持ちを伝えよう」 第6学年（9）「読みやすく書こう」
<b>教 出</b>	○ レッツ・トライ ○ 書いて伝え合おう	第1学年（4）「ありがとうカードを かこう」 第2学年（3）「しょうたいじょう，本のしょうかいカードを書こう」 第3学年（6）「メモをとってまとめよう」 第4学年（6）「学級新聞を作ろう」 第5学年（4）「年賀状，絵はがきを書こう」 第6学年（6）「思い出に残る言葉を書こう」
<b>光 村</b>	○ 学習に生かそう ○ やってみよう （第2～5学年） ○ 書写ブック （第6学年） ○ 発展 （第2・6学年）	第1学年（4）「よこがきの かきかた」 第2学年（5）「しょうたいじょうの 書き方」 第3学年（4）「手紙の書き方」 第4学年（3）「リーフレットの書き方」 第5学年（4）「インタビューメモの書き方」 第6学年（9）「短歌を書こう」
<b>日 文</b>	○ 生活と書写 ○ 国語の広場 ○ チャレンジ （第5・6学年）	第1学年（5）「えにっきを かこう」 第2学年（5）「れんらくちょうに 書こう」 第3学年（3）「手紙の書き方」 第4学年（5）「都道府県の書き方」 第5学年（5）「原稿用紙の使い方」 第6学年（7）「手紙の書き方」

# 社 会

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい社会
17	教 出	小学社会
116	日 文	小学社会

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方	1時間ごとの学習問題の記載の仕方と具体例
		②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫	(第3学年) 地図帳の使い方の例 (第4学年) 47都道府県の学び方の例 (第5学年) 日本の位置と領土についての扱い (第5学年) 世界の主な大陸と海洋及び世界 の主な国の例 (第6学年) 世界文化遺産の扱いと国の形成に関する考え方 (第6学年) 歴史上の人物の扱いと事例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	興味・関心を高めるための工夫	導入の工夫と興味・関心を高める問いの例
		④	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	学び方のポイント、学び方の具体例及び体験的な学習を実施するための工夫
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤	単元や資料等の配列、分量	単元の構成と分量、補充的・発展的教材の分量、地域事例の扱い
		⑥	現代的な諸課題の扱い	(第4学年) 自然災害から人々を守る活動に関する内容の扱い (第5学年) 国土の自然災害に関する内容の扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑦	本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	写真、地図、グラフ等の資料及び小單元における資料の種類と数
		⑧	本文以外の記述の工夫	脚注・側注の扱い
(オ)	言語活動の充実	⑨	調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫	新聞、地図、年表、レポートなどでのまとめ例と具体例
		⑩	観察・調査や資料活用を通して収集した情報をもとに、お互いの考えを深めていくための工夫	収集した情報をもとに、単元末における話し合いや説明の活動を促す工夫と具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	1時間ごとの学習問題の記載の仕方と具体例

	1時間ごとの学習問題の記載（第3学年）	具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトルの左横に「つかむ」,「調べる」,「まとめる」の学習過程とともに,「どのような～でしょうか」,「～は,なぜでしょうか」等の問いかけの形態で提示している。</li> <li>○ 見開きごとに,各学習過程で示した問いを端的に表現したタイトルを項目で示している。</li> <li>○ 単元の途中で調べたことから学習問題を見出している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「わたしたちは,どんな店で買い物をしているのでしょうか」,「家の人は,なぜその店に行くのでしょうか」</li> <li>○ 「よく行く店」</li> <li>○ 学習問題「スーパーマーケットではたらく人は,多くの人々に買い物をしてもらうために,どのようなくふうをしているのでしょうか」</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きの左側に「この時間の問い」として「どのような～だろう」等と,右下側に「次につなげよう」のコーナーを設け,「～はどうなっているだろう」等と問いかけの形態で提示している。</li> <li>○ 「この時間の問い」を解決するための学習活動をタイトルとして項目で示している。</li> <li>○ 単元の途中で調べたことから学習問題を見出している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「家の人たちは,どのような店で買い物をしているのだろう」,「地図やグラフにまとめると,どこの店で買い物をしたのかわかるね。買い物のしくみはどうなっているのかな」</li> <li>○ 「買い物はどこで」</li> <li>○ みんなでつくった学習問題「店ではたらく人たちは,お客さんによろこんでもらえるようにどのようなくふうをして売り上げを高めているのだろう」</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトルの左横に「どのような～だろう」,「～わけは何だろう」等の問いかけの形態で本時の問いを提示している。</li> <li>○ 見開きごとに左横に提示している「問い」を解決するための学習活動をタイトルとして項目で示している。</li> <li>○ 「見方・考え方」,「学び方・調べ方コーナー」等を提示し,学習課題解決の見通しを持つことができるように示している。</li> <li>○ 単元の途中で調べたことから学習問題を見出している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「家の人がよく買い物をするのは,どのような店なのだろう」,「たくさんのお客さんが,買い物に来るわけは何だろう」</li> <li>○ 「買い物をしている店を調べる」</li> <li>○ 見方・考え方「買い物調べのけっかと,自分たちの生活は,どうつながっているだろう。次のようなことに注目して考えてみよう。①よく行く店はどこか。等」,学び方・調べ方コーナー「読み取る 買い物調べのまとめ方・読み取り方『どんな品物の買い物がいちばん多いか。』」</li> <li>○ 学習問題「スーパーマーケットは,たくさんのお客さんに来てもらえるようにするために,どのようなくふうをしているのだろう」</li> </ul>



観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	地図帳の使い方の例

地図帳の使い方の例（第3学年）	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地図帳を使おう」において、「地図帳を使うと、自分たちが住んでいる市や県についてくわしく知ることができます。」と示し、位置や様子等が地図帳で調べられることを提示している。</li> <li>○ 「市の様子」の単元において、「まなびのポイント」として「地図帳で、市の形や位置をかくにんしてみよう。」と学習活動を提示し、「地図帳で調べると、福岡市は、福岡県の中で西がわにあり、たくさんの市や町となりあっています。」「市の形を紙にかいてたしかめ、白地図をつくりました。」と本文中に示している。また、「まなび方コーナー」を設け、「さくいんを読み取る」として、「地図帳で福岡市の位置を調べる」手順を示している。</li> <li>○ 「店ではたらく人」の単元において、品物の産地を調べる資料として、「ねふだやパッケージに、つくられたところの地名が書いてあったよ。地図帳で見たら、どこにあるのかわかるかな。」「品物の産地やその国の国旗を、地図帳でたしかめよう。」等、調べた産地をまとめた図を示して地図帳の活用について示している。</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「店ではたらく人と仕事」の単元において、商品の仕入れを調べる資料として、「店がどこから商品を仕入れているのか、地図帳を使って調べました。次に、それらの産地を白地図にまとめました。」と、本文と産地をまとめた白地図を示して地図帳の活用について示している。</li> <li>○ 「じょうほうを読み取る 地図帳を使って調べよう」において、本文に「地図帳には、さまざまな地いきの地図がのっています。知らない地名が出てきたら、まず地図帳を開いて、その場所を、たしかめるようにしましょう。」と示している。例として大阪府を取り上げ、「自然の山や川、鉄道や道路など、知りたいことを決めて地図を見るといいよ。」「色によって土地の高さを分けているよ。うすい色の場所はひくい土地で、こい色の場所は高い土地だよ。」と、地図帳の活用目的及び土地の高低についての地図の見方を示している。また、「さくいんの使い方」の手順を示している。</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「わたしたちの住んでいる市のようす」の単元において、地図記号について、「地図帳には、どんな地図記号が使われているのかな。かくにんしてみよう。」と、地図帳の活用を示している。</li> <li>○ 単元「店ではたらく人びとの仕事」の「品物の産地を調べよう」において、品物の産地を調べる資料として、「地図帳で産地の場所を調べて、白地図にかきこんでいこう。」と吹き出しで示すとともに、本文で「調べた産地を白地図にかきこんで産地マップをつくりました。」と、調べたことをまとめた産地マップも示して地図帳の活用を示している。</li> <li>○ 「学び方・調べ方コーナー 見る・調べる」において、見開きで「地図帳の使い方」を示している。「地図帳のさくいんの使い方」では、自分の住んでいる市をさくいんを使って調べる手順について、「地図帳の地図の見方」では、姫路市を例にページや記号、色分け等地図帳の表記の特徴について示している。</li> </ul>

【社会】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	47 都道府県の学び方の例

47 都道府県の学び方の例（第4学年）	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「知っている都道府県を地図帳でたしかめよう」で、9つの都道府県の祭りや観光地について写真で例示し、8つの道県の特産物についてイラストで例示している。</li> <li>○ 「日本地図を広げて」で、各都道府県の名称と位置、県庁所在地を示している。</li> <li>○ 「都道府県の特産品」で、各都道府県の特産品を地図中に絵で例示している。</li> <li>○ 「空から日本を見てみると」で、各都道府県の海、山、川、湖等の地形を示している。</li> <li>○ 「都道府県の特産品」「空から日本を見てみると」で、各都道府県の形、特産品、特徴、県庁所在地などをカードにし、都道府県名を記入できるようにしている。</li> <li>○ 「この教科書に出てきた主な都道府県」で、関係都道府県を地図上に示している。</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みりよくがいっぱい！知りたいな、47 都道府県」で、特産物、祭り、観光地について17の道府県を写真で例示している。</li> <li>○ 「日本の都道府県の区分」で、各都道府県の名称と位置、県庁所在地を示している。</li> <li>○ 「47 都道府県のクイズ大会を開こう！」で、クイズを作ることを促し、広島県について、文章で特色を例示している。</li> <li>○ 「この教科書に出てくる主な都道府県」で、関係都道府県を地図上に示している。</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本の都道府県」で、各都道府県の名称と位置を示している。また、自分たちの住んでいる都道府県を問い、まわりの都道府県をたずねている。家族といっしょに訪れた都道府県をたずねている。</li> <li>○ 「教科書に出てきたおもな地名」で、取り上げた県・市・町を地図上に示している。</li> <li>○ 都道府県の特徴を調べる視点となる写真を掲示している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
<b>方法</b>	日本の位置と領土についての扱い

日本の位置と領土についての扱い（第5学年）	
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図…日本の国土の位置，領土・領海の範囲，竹島，尖閣諸島，北方領土</li> <li>○ 写真…与那国島，沖ノ鳥島，択捉島，南鳥島，竹島，尖閣諸島，歯舞群島，西之島</li> <li>○ 北方領土の記述               <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道の北東に続く歯舞群島，色丹島，国後島，択捉島は，日本固有の領土です。ところが，80年ほど前におきた太平洋戦争が終わったあとソビエト連邦が占領し，その後もソビエト連邦をひきついだロシア連邦が不法に占領しています。日本政府は，これらの島を返すように求めて，交しょうを続けています。</li> </ul> </li> <li>○ 竹島の記述               <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本海上にある竹島は，日本固有の領土ですが，韓国が不法に占領しているため，日本は抗議を続けています。</li> </ul> </li> <li>○ 尖閣諸島の記述               <ul style="list-style-type: none"> <li>・東シナ海にある尖閣諸島は，日本が有効に支配する固有の領土です。中国がその領有を主張していますが，領土問題は存在しません。</li> </ul> </li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図…日本の国土の位置，領土・領海の範囲，竹島，尖閣諸島</li> <li>○ 写真…北方領土，竹島，尖閣諸島               <ul style="list-style-type: none"> <li>①北方領土の記述                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・択捉島もふくめ国後島・色丹島・歯舞群島の，北海道の北東に連なる島々は，北方領土とよばれる日本の領土です。しかし，1945（昭和20）年，太平洋戦争が終わったあとソビエト連邦（今のロシア連邦）が不法に占領し，そこに住んでいた日本人は強制的に退去させられ，今にいたっています。日本は，北方領土の一日も早い返還をロシア連邦に求め続けています。</li> </ul> </li> <li>②竹島の記述                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県の竹島では，韓国が自国の領土であると主張し，不法な占拠を続けています。</li> </ul> </li> <li>③尖閣諸島の記述                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県の尖閣諸島については，領土問題はないというのが日本の立場ですが，中国も自国の領土であると主張しています。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○ （①～③に続き）日本は，これらの島々が日本の領土であることを相手国や国際社会にしっかり伝え，課題の平和的な解決に向けて，ねばり強く努力を続けていく必要があります。</li> <li>○ 「日本固有の領土，竹島と尖閣諸島」のトピックを1ページ設ける。</li> </ul>
<b>日 文</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図…日本の国土の位置，領土の範囲，竹島，尖閣諸島，北方領土</li> <li>○ 写真…与那国島，沖ノ鳥島，択捉島，南鳥島，竹島，尖閣諸島</li> <li>○ 北方領土の記述               <ul style="list-style-type: none"> <li>・75年ほど前，第二次世界大戦ののち，ソビエト連邦は，択捉島や，その近くにある国後島，色丹島，歯舞群島を占領しました。これらの島々は，北方領土とよばれ，現在，ソビエト連邦を引きついだロシアが不法に占拠しています。北方領土は日本固有の領土であるため，日本政府は，これらの島々を返すように，ロシアにはたらきかけ，話し合いを続けています。日本の人々は，これらの島々が一日も早く返ってくることを願っています。</li> <li>・北方領土や竹島，尖閣諸島も，日本固有の領土なんだね。</li> </ul> </li> <li>○ 竹島の記述               <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本海にある竹島は，日本固有の領土ですが，現在，韓国が不法に占拠しているため，韓国にくり返し抗議しています。</li> </ul> </li> <li>○ 尖閣諸島の記述               <ul style="list-style-type: none"> <li>・東シナ海にある尖閣諸島は，日本固有の領土で，その領有については，問題がないにも関わらず，中国が自国の領土であると主張しています。</li> </ul> </li> </ul>

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	世界の主な大陸と海洋及び世界の主な国の例

	世界の主な大陸と海洋の例 (第5学年)	世界の主な国の例 (第5学年)
東 書	<p>「わたしたちの国土」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユーラシア大陸, アフリカ大陸, オーストラリア大陸, 北アメリカ大陸, 南アメリカ大陸, 南極大陸</li> <li>○ 太平洋, 大西洋, インド洋</li> </ul>	<p>「わたしたちの国土」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界の国々 フランス, ドイツ, ロシア, 中華人民共和国, 大韓民国, アメリカ合衆国, カナダ, ブラジル, アルゼンチン, ニュージーランド, オーストラリア, インド, サウジアラビア, トルコ, 南アフリカ共和国, エジプト, イギリス</li> <li>○ まわりの国々 大韓民国 (韓国), 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮), 中華人民共和国 (中国), ロシア連邦, モンゴル, フィリピン</li> </ul>
教 出	<p>「日本の国土とわたしたちのくらし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユーラシア大陸, アフリカ大陸, オーストラリア大陸, 北アメリカ大陸, 南アメリカ大陸, 南極大陸</li> <li>○ 太平洋, 大西洋, インド洋</li> </ul>	<p>「日本の国土とわたしたちのくらし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界の国々 イギリス, フランス, ドイツ, ロシア連邦, 中華人民共和国 (中国), タイ, インド, インドネシア, サウジアラビア, エジプト, ガーナ, 南アフリカ共和国, オーストラリア, ニュージーランド, カナダ, アメリカ合衆国, メキシコ, ペルー, ブラジル, アルゼンチン</li> <li>○ まわりの国々 ロシア連邦, モンゴル国, 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮), 大韓民国 (韓国), 中華人民共和国 (中国), フィリピン共和国</li> </ul>
日 文	<p>「日本の国土と人々のくらし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユーラシア大陸, アフリカ大陸, オーストラリア大陸, 北アメリカ大陸, 南アメリカ大陸, 南極大陸</li> <li>○ 太平洋, 大西洋, インド洋</li> </ul>	<p>「日本の国土と人々のくらし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界の国々 フランス, ドイツ, イタリア, エジプト, 南アフリカ共和国, サウジアラビア, インド, ベトナム社会主義共和国, 中華人民共和国 (中国), 大韓民国 (韓国), フィリピン共和国, ロシア連邦 (ロシア), オーストラリア, カナダ, アメリカ合衆国 (アメリカ), チリ, ブラジル</li> <li>○ まわりの国々 ロシア, モンゴル, 中華人民共和国 (中国), 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮), 韓国, フィリピン共和国</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
<b>方法</b>	世界文化遺産の扱いと国の形成に関する考え方

	世界文化遺産の扱い（第6学年）	画像で掲載されている世界文化遺産（第6学年）	国の形成に関する考え方（第6学年）
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークで示している。</li> <li>○ 「日本の世界文化遺産」で世界文化遺産、世界自然遺産を写真入りで紹介している。</li> <li>○ 巻末の年表の中で世界文化遺産を写真で紹介している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 法隆寺地域の仏教建造物（法隆寺）、古都京都の文化財（金閣、銀閣、東求堂、竜安寺の石庭）、姫路城、石見银山遺跡とその文化的景観（石見银山）、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群（沖ノ島）、明治日本の産業革命遺産（端島炭鉱跡、官営八幡製鉄所）、琉球王国のグスク及び関連遺産群（首里城）、巖島神社、原爆ドーム、紀伊山地の霊場と参詣道（熊野古道）、古都奈良の文化財（正倉院、唐招提寺）、富士山 - 信仰の対象と芸術の源泉 - 、ル・コルビュジェの建築作品 - 近代建築運動への顕著な貢献 - （国立西洋美術館）、富岡製糸場と絹産業遺産群（官営富岡製糸場）、日光の社寺（日光東照宮の陽明門）、平泉 - 仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群（中尊寺金色堂、毛越寺の庭園）、白川郷・五箇山の合掌造り集落</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 取り上げている資料                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神話の中のヤマトタケル</li> </ul> </li> <li>○ 資料の記述内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヤマトタケルノミコトは、武勇にすぐれた皇子でした。ヤマトタケルは、天皇の命令を受けて、九州へ行って、クマノを平らげ、休む間もなく、東日本のエミシをたおしました。ヤマトタケルは、広い野原で焼きうちにあったり、あれる海とたたかたりして、苦勞をしながら征服を進めました。ところが、都へ帰る途中、病気でなくなってしまいました。すると、ヤマトタケルのたましいは、大きな白鳥に生まれ変わって、都の方へ飛んでいきました。</li> </ul> </li> </ul>
<b>教出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学びのてびき」で世界遺産のマークを紹介している。</li> <li>○ 本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークで示している。</li> <li>○ 年表の中で世界文化遺産を写真で紹介している。</li> <li>○ 「日本列島 歴史の旅に出かけよう」のイラストの中で世界文化遺産を紹介している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 法隆寺、東大寺の大仏、唐招提寺、正倉院、巖島神社、中尊寺金色堂、金閣、銀閣、東求堂、龍安寺の石庭、石見银山、日光東照宮、富岡製糸場、八幡製鉄所、原爆ドーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 取り上げている資料                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヤマトタケルの話</li> </ul> </li> <li>○ 資料の記述内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヤマトタケルは、天皇である父の命令で九州におもむき、クマノをうちとりました。次に関東のエミシを従えるよう命じられました。ヤマトタケルは、その途中で、広い野原で焼きうちにあったり、荒れる海とたたかたりするような困難にあいながらも、関東を征服しました。しかし、その帰り道に、病気でなくなってしまいました。ヤマトタケルは、大きな白い鳥になって、大和のほうへ飛んでいったということです。</li> </ul> </li> </ul>
<b>日文</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「教科書の中のいろいろなコーナー」で世界遺産を示すマークを紹介している。</li> <li>○ 本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 法隆寺、東大寺の大仏殿・大仏、姫路城、正倉院、平等院鳳凰堂、熊野本宮大社、巖島神社、金閣、銀閣、東求堂、龍安寺の石庭、日光東照宮、首里城、富岡製糸場、八幡製鉄所、原爆ドーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 取り上げている資料                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヤマトタケルノミコト</li> </ul> </li> <li>○ 資料の記述内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昔、ヤマトタケルノミコトという武勇にすぐれた皇子がいました。皇子は、朝廷に従わない豪族を討てという天皇の命令を受けました。皇子は、苦勞しながら各地の豪族をたおしていきました。しかし、都へ帰るとちゅうで病気になる、都がある大和の美しい景色を思いうかべながら、短い一生を終えたということです。</li> </ul> </li> </ul>

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	歴史上の人物の扱いと事例

	歴史上の人物の扱い ＜てびきの表記＞及び内容	事例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に例示されている42名の人物すべて扱っている。</li> <li>○ 上記42名以外で扱っている人物。 (写真や肖像画で記載している人物)</li> <li>・ 棚田嘉十郎, 北条政子, 竹崎季長, シャクシャイン, 前野良沢, 大塩平八郎, 坂本竜馬, 津田梅子, 与謝野晶子, 夏目漱石, 樋口一葉, 新渡戸稲造, 田中正造, 平塚らいてう, 市川房枝, 山田少年, 高木兼寛, ナイチンゲール, 昭和天皇, 大隅良典</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 囲み資料</li> <li>○ 肖像</li> <li>○ 「学問のすゝめ」(写真)(文章) 福沢諭吉が書いた「学問のすゝめ」全17編は、340万部以上売れたといわれています。「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言えり」で始まるこの本には、人間は生まれながらにして平等であること、一国の独立は個人の独立にもとづくこと、個人の独立には、学問が必要なことなどが記されています。明治の新しい時代にふさわしいと思われる人間の生き方が書かれたこの本を、当時の知識人を中心とした人々は競って読みました。</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に例示されている42名の人物すべて扱っている。</li> <li>○ 上記42名以外で扱っている人物。 (写真や肖像画で記載している人物)</li> <li>・ 北条政子, 竹崎季長, 伊東マンショ, シャクシャイン, 松尾芭蕉, 大塩平八郎, 徳川吉宗, 坂本竜馬, 徳川吉宗, 青木昆陽, 山口尚芳, 岩倉具視, 津田梅子, 渋沢栄一, 楠瀬喜多, 与謝野晶子, 田中正造, 北里柴三郎, 志賀潔, 新渡戸稲造, 山田孝野次郎, 平塚らいてう, 後藤新平, 石川倉次, 南方熊楠, 杉原千畝, オバマ大統領, 湯川秀樹, 山中伸弥</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 囲み資料</li> <li>○ 肖像(出没年)</li> <li>○ 福沢諭吉と「学問のすゝめ」(文章) 江戸時代の終わりに中津藩(大分県)の下級武士の家に生まれた福沢諭吉は、家がらなどによって身分が決まるしくみはまちがっていると考えました。諭吉は、「学問のすゝめ」という本で、「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずといえり。」と書いて、人は生まれながらにして平等であり、学問をすることで身を立てていくべきだと主張しました。「学問のすゝめ」はたくさんの部数が売れ、新しい時代の中で、多くの人々に影響をあたえました。</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に例示されている42名の人物すべて扱っている。</li> <li>○ 上記42名以外で扱っている人物。 (写真や肖像画で記載している人物)</li> <li>・ 阿倍仲麻呂, 菅原道真, 北条政子, 竹崎季長, シャクシャイン, 雨森芳洲, 前野良沢, 大塩平八郎, 岩倉具視, 坂本龍馬, 徳川慶喜, 山口尚芳, 与謝野晶子, 田中正造, 北里柴三郎, 津田梅子, 平塚らいてう, 山田孝野次郎, 斎藤隆夫, マッカーサー, 山中伸弥</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 肖像(生没年)(文章) 中津藩(大分県)出身で、下級武士の子どもでした。欧米にもわたり、『学問のすゝめ』を書くなど、教育者としてかつやくしました。</li> <li>○ 『学問のすゝめ』(写真)(文章) この本の中で福沢諭吉は、次のように書いています。 「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらずといわれるように、人はみな、生まれながらに平等である。 また、学問のなかでも世の中の役に立つ実学にはげむことで、人は独立することができる。一人一人の独立が、やがて日本の独立につながるのである。」</li> </ul>

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	③興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	導入の工夫と興味・関心を高める問いの例

	導入の工夫（第5学年）	興味・関心を高める問いの例
東 書	○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真で地球の様子や学習活動の具体を提示するとともに、キャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。	○ 「わたしたちの国土」の導入ページ ・アジアを中心とした衛星写真，地球儀を使った学習活動を示している。 ・疑問に思ったことをキャラクターによる話し言葉で掲載している。（吹き出し数4） 「日本は地球のどこにあるのだろう。」 「世界の陸地や海は，どのようになっているのかな。」 ・下段に単元の学習のめあてを掲載している。 「日本は，地球のどこにあり，人々のくらしはどのようになっているのでしょうか。」
教 出	○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真や地図などで地球の様子や学習活動を提示するとともに、キャラクターや児童の話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。	○ 「日本の国土とわたしたちのくらし」の導入ページ ・アジアを中心とした衛星写真，世界地図の一部，地球儀や地図を使った学習活動を示している。 ・分かったことや疑問に思ったことをキャラクターや児童による話し言葉で掲載している。（吹き出し数9） 「わたしの知っている外国は，地球のどのあたりにあるのかな。」 「日本は，大きな陸地のとなりにある島国だね。」 ・下段に「次につなげよう」を掲載している。 「世界の国々を地球儀で旅してみようよ。」
日 文	○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真で地球や日本，地域の様子を提示するとともに、キャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。	○ 「日本の国土と人々のくらし」の導入ページ ・アジアを中心とした衛星写真，日本，中部・関東地方，近畿・中国地方の衛星写真を掲載している。 ・分かったことや疑問に思ったことをキャラクターによる話し言葉で掲載している。（吹き出し数4） 「いくつかの大きな陸地のかたまりがあるね。それぞれがちがった形をしているよ。」 「わたしたちの住む大阪市は，どこにあるのかな。」 ・上段に見方・考え方を掲載している。 「宇宙から地球を見ると，どこに，何があるのだろう。」

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④課題の設定, 整理・分析, 振り返りを展開するための構成上の工夫
<b>方法</b>	学び方のポイント, 学び方の具体例及び体験的な学習を実施するための工夫

	学び方のポイント (第6学年)	学び方の具体例 (第6学年)	体験的な学習を実施するための工夫 (第6学年)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「政治・国際編」の最初の単元の中で (12～13 ページ) に, 見開きで「学習の進め方」のページを設け, 「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習の進め方を示している。</li> <li>○ 課題把握, 課題追究, 課題解決の学習過程については, 単元ごとに「つかむ」の後に「学習問題」を示し, 見開きページごとに問いを提示しながら「調べる」学習を進め, 学習問題について調べてわかったことを整理し, 「まとめる」というページを設けている。単元によっては, 単元末に, 学習したことを次の学習や生活に「いかす」, 学習したことをもとに, 他の学習に「ひろげる」というページを設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本とつながりの深い国々」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・つながりの深い国を見つけ発表し, 学習問題をつくる。</li> <li>・つながりの深い国について調べる。</li> <li>・調べたことを話し合い, 日本と似ているところとちがうところを表に整理する。</li> <li>・学習問題に対して考えたことを意見文にまとめ, 発表する。</li> <li>・学習をいかして, 国際交流について考える。</li> <li>・学習をひろげて, 他の国について調べる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「今に伝わる室町文化」 <ul style="list-style-type: none"> <li>「ひろげる」の学習の中で, 「室町文化を体験してレポートを書こう。」というページを設け, 茶の湯体験の様子と児童のレポートを例示している。</li> </ul> </li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭に, 見開きで「社会科の学習の進め方」のページを設け, 「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という学習の進め方を示している。</li> <li>○ 課題把握, 課題追究, 課題解決の学習過程については, 単元ごとに「みんなでつくった学習問題」を示し, 見開きページごとに「問い」と「次につなげよう」という項目を示して調べる学習を進め, キーワードに注目して学習を振り返る「まとめる」というページを設けている。単元によっては, 単元末に, 次の学習や暮らしに「つなげる」, 学習を「ひろげる」というページを設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本とつながりの深い国々」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・つながりの深い国についてみんなで学習問題をつくる。</li> <li>・つながりの深い国について調べる。</li> <li>・調べた国について, 観点ごとに表に整理する。</li> <li>・整理したものをもとに, みんなでつくった学習問題について, 視点の例を示し, 話し合う。</li> <li>・学習をひろげて, 他の国について調べる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「室町文化と力をつける人々」 <ul style="list-style-type: none"> <li>「まとめる」の学習の中で, 茶の湯の写真を提示し, 茶の湯を外国から来た旅行者に説明する活動を設け, 児童の説明文を示している。</li> </ul> </li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭に, 「この教科書の使い方」のページを設け, 「わたし(たち)の問題」「友だちの発言」「学習活動」「学習内容」「学習問題」「学習の計画」という言葉で, 学習の進め方を示している。</li> <li>○ 課題把握, 課題追究, 課題解決の学習活動については, 単元ごとに「学習問題」を示し, 見開きページごとに「問い」を提示しながら調べる学習を進め, これまで学習してきたことをもとに, 学習問題について話し合う活動を設定している。単元によっては, 単元末に, もっとくわしく調べてみたいことを取り上げる「わたしたちの学びを生かそう」というページを設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「つながりの深い国々のくらし」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・つながりの深い国について学習問題をつくる。</li> <li>・つながりの深い国について調べる。</li> <li>・日本とつながりの深い国をさらに調べる。</li> <li>・調べてきた国についての学習をふり返り, 学習問題について話し合う。</li> <li>・さらに考えたい問題をつくり, 調べ, 話し合う。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「今に伝わる室町文化と人々のくらし」 <ul style="list-style-type: none"> <li>「調べる」学習の中で, 茶の湯や生け花を体験する児童の写真と, 体験した児童の感想を提示している。</li> </ul> </li> </ul>



【社会】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑤単元や資料等の配列, 分量
方法	単元の構成と分量, 補充的・発展的教材の分量, 地域事例の扱い

	サイズ	第5学年における単元の構成と分量 (補助・選択教材を含む)	補充的・発展的教材の分量	地域事例 ※〈 〉は発展的教材
東書	ワイド	[上巻 116 ページ] ○ 国土 (58) ○ 農業・水産業 (58)  [下巻 138 ページ] ○ 工業 (54) ○ 情報 (42) ○ 環境 (42)	[上巻] (10)  [下巻] (26)	○ 国土 ・岐阜県海津市 ・群馬県嬭恋村 ・〈長野県飯田市〉 ・沖縄県 ・北海道札幌市, 十勝地方 ・〈秋田県横手市〉 ○ 農業・水産業 ※畜産業含む ・山形県庄内平野 ・〈福井県福井平野〉 ・長崎県長崎市 ・〈茨城県坂東市〉 ・〈福島県福島市〉 ・〈鹿児島県曾於市〉 ○ 工業 ・愛知県豊田市 ・〈長崎県長崎市〉 ・〈岡山県倉敷市〉 ・〈山口県和木町〉 ・〈静岡県焼津市〉 ・福井県鯖江市 ・東京都大田区 ○ 情報 ・〈広島県広島市〉 ・〈兵庫県姫路市〉 ・〈兵庫県豊岡市〉 ・〈和歌山県広川町〉 ○ 環境 ・白神山地 ・京都府京都市 ・〈熊本県水俣市〉
教出	ワイド	[242 ページ] ○ 国土 (5) ○ 農業・水産業 (62) ○ 工業 (52) ○ 情報 (32) ○ 環境 (42)	(11)	○ 国土 ・沖縄県 ・長野県南牧村 ・北海道 ・千葉県香取市 ○ 農業・水産業 ※畜産業含む ・新潟県南魚沼市 ・北海道根室市 ・鹿児島県長島町 ・〈岩手県一関市, 宮城県気仙沼市〉 ・徳島県藍住町 ・高知県高知市 ・岩手県岩手町 ・山梨県甲州市 ・熊本県阿蘇地方 ・〈大阪府〉 ・〈兵庫県明石市〉 ○ 工業 ・福岡県荊田町 ・東京都大田区 ・大阪府東大阪市 ・岩手県 ○ 情報 ・福岡県 ・熊本県 ・佐賀県 ○ 環境 ・岩手県宮古市 ・高知県土佐町 ・福岡県北九州市
日文	ワイド	[274 ページ] ○ 国土 (60) ○ 農業・水産業 (66) ○ 工業 (56) ○ 情報 (48) ○ 環境 (44)	(10)	○ 国土 ・沖縄県 ・北海道旭川市 ・岐阜県海津市 ・群馬県嬭恋村 ○ 農業・水産業 ※畜産業含む ・山形県庄内平野 ・千葉県銚子市 ・佐賀県佐賀市 ・宮崎県 ・和歌山県有田市 ・高知県安芸市 ・〈山形県鶴岡市〉 ○ 工業 ・三重県鈴鹿市 ・兵庫県たつの市 ・千葉県君津市 ・愛知県知多市 ・大阪府東大阪市 ・〈兵庫県神戸市〉 ○ 情報 ・福岡県福岡市 ・兵庫県豊岡市 ・福岡県久留米市 ・〈千葉県千葉市〉 ○ 環境 ・三重県四日市市 ・大和川 ・東京都多摩地区 ・狭山丘陵 ・小笠原諸島 ・〈神奈川県小田原市〉

※ ( ) はページ数

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑥現代的な諸課題の扱い
<b>方法</b>	(第4学年) 自然災害から人々を守る活動に関する内容の扱い (第5学年) 国土の自然災害に関する内容の扱い

	自然災害から人々を守る活動についての扱い (第4学年)	国土の自然災害についての扱い (第5学年)
<b>東書</b>	<p>【地震(20) 発展：風水害(2)火山災害(2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 静岡県内の自然災害を調べている。</li> <li>○ 静岡県内の地震及び地震によって起こる被害を調べている。</li> <li>○ 地震に備えた家庭や学校の取組や設備を調べている。</li> <li>○ 市役所職員の話から、地震に備えた市の役割を調べている。</li> <li>○ 避難行動計画やハザードマップ、自主防災隊を取り上げ、市や住民の取組を調べている。</li> <li>○ 地震から人々を守る取組をカードにまとめている。</li> <li>○ 地震が起きて、学校が避難所になった場合、自分はどうか考えている。</li> </ul>	<p>【自然災害 (12)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国の自然災害とその種類を調べている。</li> <li>○ 地震が発生する原因と地震災害から人々を守るための取組を調べている。</li> <li>○ 津波が発生する原因と津波の災害から人々を守るための取組を調べている。</li> <li>○ 風水害、火山や大雪による災害から人々を守るための取組を調べている。</li> <li>○ 自然災害と国土とのかかわりや、防災の取組をまとめ、調べて分かったことと考えたことをノートにまとめている。</li> </ul>
<b>教出</b>	<p>【地震(18) ※選択：水害(12)火山災害(2)雪害(2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国の自然災害による被害を調べている。</li> <li>○ 地震や津波に備えた身近な設備を調べている。</li> <li>○ 市役所職員の話やハザードマップを取り上げ、市の役割や情報伝達の取組を調べている。</li> <li>○ 避難地や津波避難タワーを取り上げ、災害に備えた施設や設備を調べている。</li> <li>○ 静岡県内の地震や津波の歴史を調べている。</li> <li>○ 地震に備えた地域住民の取組を調べている。</li> <li>○ 夜の避難訓練など、地震や津波に備えた更なる取組を調べている。</li> <li>○ 地震や津波に備えた取組をまとめ、これからの生活に生かすための標語を作っている。</li> </ul>	<p>【自然災害 (13)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国で起こった自然災害とその種類を調べている。</li> <li>○ 国土交通省の人の話や宮古市田老地区の取組を取り上げ、大津波から人々を守るための取組を調べている。</li> <li>○ 大地震の原因と大地震から人々を守るための取組を調べている。</li> <li>○ 津波や地震以外の自然災害について、国や都道府県、市町村の防災や減災の取組を調べている。</li> <li>○ 自然災害の発生とその対策について表にまとめ、自然災害との向き合い方を考えている。</li> </ul>
<b>日文</b>	<p>【水害(18) ※選択：地震(4)津波(6)火山災害(2)雪害(2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京都の自然災害を調べている。</li> <li>○ 東京都の水害及び水害の被害を調べている。</li> <li>○ 東京都で起こった水害の原因を調べている。</li> <li>○ 地下調節池を取り上げ、水害を防ぐ施設を調べている。</li> <li>○ 森林と水害の関係を調べている。</li> <li>○ メール配信サービスやハザードマップを取り上げ、災害に備えた情報伝達のための取組を調べている。</li> <li>○ 水害対策訓練を取り上げ、災害に備える取組を調べている。</li> <li>○ 災害に備える取組をまとめ、自分たちにできることを考えている。</li> </ul>	<p>【自然災害 (14)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国の自然災害とその種類を調べている。</li> <li>○ 自然災害が発生する原因を調べている。</li> <li>○ 東日本大震災を取り上げ、自然災害が人々の生活や産業に与える影響を調べている。</li> <li>○ 防災に関する情報やハザードマップを取り上げ、国や都道府県、市町村の防災や減災の取組を調べている。</li> <li>○ 自然災害から命を守るために自分たちにできることやどのような備えが必要か話し合っている。</li> </ul>

※ ( ) はページ数

【社会】

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑦本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
<b>方法</b>	写真，地図，グラフ等の資料及び小単元における資料の種類と数

	使用されている写真，地図，グラフ等の資料 (第5学年)	「我が国の工業」に関する資料の種類 と数(第5学年)
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真，イラスト</li> <li>○ 地図，主題図，図</li> <li>○ 棒グラフ，折れ線グラフ，帯グラフ，円グラフ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真(46)，イラスト(8)</li> <li>○ 地図(3)，主題図(8)，図(13)</li> <li>○ 棒グラフ(4)，折れ線グラフ(2)， 帯グラフ(8)，円グラフ(4)，</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真，イラスト</li> <li>○ 地図，主題図，図</li> <li>○ 棒グラフ，折れ線グラフ，帯グラフ，円グラフ， 表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真(60)，イラスト(5)</li> <li>○ 地図(3)，主題図(10)，図(19)</li> <li>○ 棒グラフ(1)，折れ線グラフ(4)， 帯グラフ(7)，円グラフ(6)， 表(2)</li> </ul>
<b>日 文</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真，イラスト</li> <li>○ 地図，主題図，図</li> <li>○ 棒グラフ，折れ線グラフ，帯グラフ，円グラフ， 表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真(44)，イラスト(11)</li> <li>○ 地図(4)，主題図(7)，図(6)</li> <li>○ 棒グラフ(2)，折れ線グラフ(3)， 帯グラフ(3)，円グラフ(5)， 表(1)</li> </ul>

【社会】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧本文以外の記述の工夫
方法	脚注・側注の扱い

脚注・側注の扱い（第3学年）	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元のはじめに「めあて」の欄を設け、この単元で学習するねらいを示している。</li> <li>○ 「学び方コーナー」を「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・つたえる」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。</li> <li>○ キャラクターを用いて、社会的な見方・考え方を広げる4つの視点・方法（「広がり」「時間」「関係するところ」「くらべる、分ける、まとめる、つなげる」）を示している。</li> <li>○ 「まなびのポイント」により、その時間の学習の流れを示している。</li> <li>○ 「ことば」により、用語の解説を示している。</li> <li>○ 「Dマーク」により、インターネットを使った学習ができることを示している。</li> <li>○ 「教科かんれんマーク」により、他教科の内容との関わりを示している。</li> <li>○ キャラクターによる疑問の投げかけ、考えるヒント、学習への働きかけ、気づき、分かったこと等の吹き出しがある。</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元のはじめに、キャラクターの吹き出しにより、この単元で学習するねらいを示している。</li> <li>○ 「学びのてびき」を「集める」「読み取る」「表す」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。</li> <li>○ 「活動」により、その時間の学習の流れを示している。</li> <li>○ 「やってみよう」により、具体的な学習活動を示している。</li> <li>○ 「キーワード」により、社会科の学習にとって大切な言葉を示している。</li> <li>○ 「まなびリンク」マークにより、インターネットを使った学習ができることを示している。</li> <li>○ 「かいせつ」により、用語の解説を示している。</li> <li>○ キャラクターによる疑問の投げかけ、考えるヒント、学習への働きかけ、気づき、分かったこと等の吹き出しがある。</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学び方・調べ方コーナー」を「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。</li> <li>○ 「見方・考え方コーナー」を設け、社会的な見方・考え方を広げる3つの視点・方法を示している。</li> <li>○ 「やってみよう」コーナーにより、具体的な学習活動を示している。</li> <li>○ 「キーワードコーナー」により、社会科の学習にとって大切な言葉を示している。</li> <li>○ 「むずかしいことば」マークにより、用語の解説を示している。</li> <li>○ 「デジタルマーク」により、インターネットを使った学習ができることを示している。</li> <li>○ 「世界いさんマーク」により、世界遺産に登録されているものを示している。</li> <li>○ キャラクターによる疑問の投げかけ、考えるヒント、学習への働きかけ、気づき、分かったこと等の吹き出しがある。</li> </ul>

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑨調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫
方法	新聞、地図、年表、レポートなどでのまとめ例と具体例

	新聞、地図、年表、レポートなどでのまとめ例(第3, 4学年)	具体例 (第3学年)
東 書	<p>○ 絵地図、白地図、しょうかい地図、メモ、せんでんシール、ノート、見学カード、しつもんカード、かべ新聞、ていあん文、関係図、仕事さがしメモ、表、標語、年表、たんざく、ポスター(第3学年)</p> <p>○ 白地図、産業マップ、図、カード、年表、ポスター、表彰状、4コマCM(第4学年)</p>	<p>くらしを守る</p> <p>1 火事からくらしを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係図(火事からわたしたちのくらしを守る人々のはたらきを関係図にまとめました。)</li> </ul> <p>2 事故や事件からまちを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事さがしメモ(「仕事さがしメモ」をつくり、けいさつの仕事について調べました。)</li> <li>・表(事故や事件からくらしを守るはたらきについて表にまとめました。)</li> <li>・標語(今まで学習したことをもとに、標語をつくってみようよ。)</li> </ul>
教 出	<p>○ 絵地図、表、白地図、ポスター、買い物調べカード、買い物地図、グラフ、かんけい図、メモ、ノート、作物カレンダー、ちらし、標語、安全マップ、道具調べカード、年表、絵カード(第3学年)</p> <p>○ 地図、表、図、ノート、カード、標語、関係図、すごろく、ガイドマップ(第4学年)</p>	<p>地いきの安全を守る</p> <p>1 火事からまちを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白地図(地いきの消防せつびを調べて、白地図にまとめました。)</li> <li>・かんけい図(火事からまちを守るしくみを、かんけい図にまとめました。)</li> <li>・標語(消防の取り組みの中から自分がいちばん大切だと思うことを標語にまとめ、発表することにしました。)</li> </ul> <p>2 事故や事件からまちを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かんけいず図(事故や事件からまちを守るはたらきについて、かんけい図にまとめることにしました。)</li> <li>・安全マップ(地いきの安全マップをつくりました。)</li> </ul>
日 文	<p>○ 発見カード、白地図、ガイドマップ、表、産地マップ、キャッチコピー、きけんカード、見学カード、校しゃの地図、ノート、安全マップ、年表、カード、表(第3学年)</p> <p>○ PR紙、ノート、カード、標語、すごろく、カルタ、人物カード、図、年表(第4学年)</p>	<p>安全なくらしを守る</p> <p>1 安全なくらしを守る人びとの仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学カード(ゆいさんたちは、見学カードをつくり、消ぼうしょへ見学に行くことにしました。)</li> <li>・校しゃの地図(学校の消ぼうせつびのある場所としゅるいを調べ、①のように校しゃの地図にかき入れました。)</li> <li>・安全マップ(学校のまわりの安全マップをつくりました。)</li> <li>・ノート(「さらに考えたい問題」についてノートにまとめました。)</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑩観察・調査や資料活用を通して収集した情報をもとに、お互いの考えを深めていくための工夫
<b>方法</b>	収集した情報をもとに、単元末における話し合いや説明の活動を促す工夫と具体例

	単元末等における話し合いや説明の活動を促す工夫	具体例 (第6学年)
<b>東 書</b>	○ 単元末の「まとめる」の場面や単元後の「いかす」場面において、「説明しよう」「話し合おう」「発表しよう」などと提示し、学習した内容を活用し、歴史上の主な事象や社会的事象について説明や話し合いの活動を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史上の人物になったつもりで、当時の世の中について説明する。</li> <li>・ 文化の特色について話し合ったり、キャッチコピーを作り発表したりする。</li> <li>・ ミニパネルディスカッションを行い、自分の考えを述べるとともに質問や意見を述べ合う。</li> <li>・ 歴史上の人物の業績について、まとめ説明する。</li> <li>・ 文化の特色について、キャッチフレーズを作り発表する。</li> <li>・ 調べたことを年表でふり返り、学習問題について話し合う。</li> <li>・ 一言コメントをつけた年表をもとに、時代を表すキャッチフレーズを作り、友だちと話し合う。</li> <li>・ 自分の意見をノートに書き、友だちと話し合う。</li> <li>・ 一人一人がノートにまとめた内容について話し合い、グループでまとめて発表する。</li> <li>・ カードを使って学習してきた歴史を振り返りみんなで発表し合う。</li> <li>・ 公園づくりについて自分の願いを出し合う。</li> <li>・ 多様な意見を取りまとめるためにどうすればよいか、みんなで話し合う。</li> <li>・ 新聞記事から気になったものについて整理して発表し、発表して感じたことや考えたことを話し合う。</li> <li>・ 学習問題について調べてきたことを話し合う。</li> <li>・ 学習問題に対して考えたことを意見文にまとめて発表する。</li> </ul>
<b>教 出</b>	○ 単元末の「まとめる」の場面や単元後の「つなげる」場面において、「説明しよう」「話し合おう」と提示し、学習した内容を活用し、歴史上の主な事象や社会的事象について説明や話し合いの活動を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主従関係について、関係図を見ながら説明する。</li> <li>・ 文化について学習したことを生かして説明する。</li> <li>・ 支配体制の確立に向けて行った政策を順位づけして並べ、また、そのような順位にした理由を説明する。</li> <li>・ 年表を見ながら、できごとのつながりや意味などについて考えたことを話し合う。</li> <li>・ 戦場が広がっていった経緯を、関係図に表して説明する。</li> <li>・ 歴史から学んだことを意見文に表して伝え合う。</li> <li>・ 調べてきたことを作品にまとめて発表し合い、お互いの発表から考えたことを話し合う。</li> <li>・ 三権分立のしくみを表した図を使って説明する。</li> <li>・ 住民になったつもりで、自分の考えを理由とともに説明する。</li> <li>・ 国民の政治への参加について話し合う。</li> <li>・ 心に残ったことを理由とともに発表する。</li> <li>・ 自分が実行したいと思うことを選び、理由とともに発表する。</li> </ul>
<b>日 文</b>	○ 単元末や単元後の「わたしたちの学びを生かさそう」場面において、の学習したことをまとめたノートの例や児童が話し合っている様子をイラストで示し、学習した内容を活用し、歴史上の主な事象や社会的事象について話し合いの活動を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分たちが調べてまとめたノートや資料をもとにしながら、学習問題について話し合う。</li> <li>・ 自分たちの考えを書いたノートや、資料をもとに話し合う。</li> <li>・ 学習したことをノートにまとめ、学習問題について自分たちの意見を出し合う。</li> <li>・ 学習問題について話し合い、自分の考えをノートにまとめた後、さらに友だちと話し合う。</li> <li>・ 文化の特色をたしかめ、学習問題について話し合う。</li> <li>・ 学習した内容について振り返り、学習問題について話し合う。</li> <li>・ 年表にまとめ、学習問題について話し合う。</li> <li>・ 新聞にまとめ、学習問題について話し合う。</li> <li>・ 学習したことを振り返り、学習問題についてみんなで話し合う。</li> <li>・ 区役所や区議会などはたらきを調べ、学習したことをもとに、学習問題について話し合う。</li> <li>・ 政治の問題点について話し合う。</li> <li>・ 奈良時代から現代までの交通について話し合う。</li> <li>・ さらに考えたい問題について話し合う。</li> <li>・ 自分ができることを考え、発表する。</li> </ul>

【地図】

地 図

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい地図帳
46	帝 国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元や活動の取扱い・説明の仕方の工夫	地図の見方の例
		② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫	国土の地理的環境や歴史的事象及び国際理解に関する学習への活用に向けた記載の例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味・関心を高めるための工夫	興味・関心を高めるための例
		④ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	作業的・体験的な学習課題の例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤ 単元や資料等の配列	統計資料と地図の扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑥ 学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	資料等の活用方法の例
(オ)	言語活動の充実	⑦ 観察・調査や各種資料の活用の工夫	地図を活用した調べ方の例
		⑧ 調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫	地図を活用した表現の例

【地図】

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	①単元や活動の取扱い・説明の仕方の工夫
<b>方法</b>	地図の見方の例

	<b>地図の見方の例</b> 『 』は主題名, 「 」は項目名, [ ]は使用ページ数
<b>東 書</b>	○ 読図に関しては、『地図帳の使い方』で、地図記号、索引、方位、縮尺について説明するとともに、具体的な活用の仕方を例示している。〔2〕
<b>帝 国</b>	○ 読図に関しては、『地図って何だろう』と『地図のやくそく (1) (2) (3)』で方位、地図記号、距離と縮尺について説明し、その後、『地図帳の使い方 (1) (2)』で地図記号、土地の高さの表し方、索引、縮尺について説明するとともに、具体的な活用の仕方を例示している。〔12〕

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
<b>方法</b>	国土の地理的環境や歴史的事象及び国際理解に関する学習への活用に向けた記載の例

	<b>国土の地理的環境や歴史的事象及び国際理解に関する学習への活用に向けた記載の例</b>
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末の『世界の国々』で世界の国々の国旗を、巻頭の『地図のぼうげんに出発！WORLD MAP』や世界の各地方図では、物産や建物・地域の特色を示すイラストや写真等を掲載している。</li> <li>○ 『日本とそのまわり』で、日本の国土と近隣諸国等の地理的環境を表記している。また、東西南北の端の島（択捉島、与那国島、南鳥島、沖ノ鳥島）の位置を示すとともに、同じ見開きページに写真入りで紹介している。さらに、尖閣諸島、竹島については、写真を掲載しているページへの案内を掲載している。</li> <li>○ 地方図の中に主要都市の拡大図を掲載している。</li> <li>○ 『日本の歴史－世界とのかかわり①②』で、年表、地図、イラストを用いて、各時代における国名や、日本と他国の関わりについて示し、年表とともに主な出来事について各地方図中の頁数も掲載している。</li> <li>○ 『日本の歴史と文化－日本の世界遺産－』の「むかしの国」で、明治元年当時の国名と昔の名前がついた特産物、歴史的な所や各地の祭り等の位置をイラストで示し、加えて、世界文化遺産や世界自然遺産の写真を掲載し、地図にその位置を掲載している。</li> <li>○ 各地方図には、歴史的な事象・建造物等を地図上に青地に白抜きで文字で掲載している。</li> </ul>
<b>帝 国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の『世界発見！』で民族衣装・あいさつの言葉、巻末の『世界の国々』で世界の国々の国旗を、世界の各地方図で、地域の国旗や特色を示すイラストや写真等を掲載している。</li> <li>○ 『日本の領土とそのまわり』で、日本の国土と近隣諸国等の地理的環境を表記している。また、東西南北の端の島（択捉島、与那国島、南鳥島、沖ノ鳥島）の位置を示すとともに、同じ見開きページに写真入りで紹介している。さらに、北方領土、竹島、尖閣諸島についても、同じ見開きページに写真入りで紹介している。</li> <li>○ 各地方図の中に主要都市の拡大図を掲載している。</li> <li>○ 『日本の歴史と世界文化遺産』で明治元年当時の国名、昔の国の名前がついた特産物、世界文化遺産の写真を掲載し、地図にその位置を掲載している。また、「1日本の歴史のおもなできごと」で、年表とともに主なできごとについて各地方図中の頁数も掲載している。</li> <li>○ 各地方図には、歴史的な事象・建造物等を地図上に青地に白抜きで文字で掲載している。</li> <li>○ 「広く見わたす地図」を掲載し、地理的環境を示している。</li> </ul>



【地図】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③興味・関心を高めるための工夫
方法	興味・関心を高めるための例

興味・関心を高めるための例	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しで、地図活用の手がかりやその土地の様子等を紹介している。</li> <li>○ 巻頭の『地図のぼうげんに出発！WORLD MAP』『発見！わたしたちの日本！JAPAN MAP』で、世界や日本の様々な事物をイラストで紹介している。</li> <li>○ 地図学習の導入として、『まちを上からながめてみよう』『真上から見ると地図になるよ』『市を見わたしてみよう』でイラストマップや地図を用いて地図の仕組みを紹介している。</li> <li>○ 『くらべてみよう日本と世界』で、世界各地の有名な山、川、建造物等をイラストで紹介している。</li> <li>○ 近畿地方図に「金閣」「銀閣」「東大寺の大仏」の写真を、中部地方図に「自動車工場と関連工場の分布」を掲載するなど、地域の特徴的な内容を紹介している。</li> <li>○ 『日本の歴史と文化ー日本の世界遺産ー』で、昔の国名がついている食べ物や祭りなどをイラストで、世界文化遺産を写真で紹介している。</li> <li>○ 『世界のおもな国の統計』で、オリンピックとワールドカップの開催国を地図上に色分けして示している。</li> <li>○ 『世界の地方図』の中には、料理や動物など、特徴的なものを写真で紹介している。</li> </ul>
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しや地図マスターで、地図活用のポイントやその土地の様子等を紹介している。</li> <li>○ 巻頭の『世界発見！』のイラストマップに、世界各地の名所や食事等をイラストで示すとともに「世界の国からこんにちは！」で、イラストを用いて世界のあいさつを紹介している。</li> <li>○ 地図学習の導入として、『地図のやくそく』の中に、イラストマップを用いた「たからさがしにちょうせんしよう」を掲載している。</li> <li>○ 各地方図で、広島市の原爆被害状況、札幌市中心部の雪の多い都市の工夫等、各地域の特徴的な内容を紹介している。</li> <li>○ 世界の各地方図の「集まれ！世界の子どもたち」で、各地域の特徴的な生活について写真で紹介している。</li> <li>○ 『日本の歴史と世界文化遺産』で、昔の国名がついている主な産物をイラストで、世界文化遺産を写真で紹介している。</li> <li>○ 『日本と世界の結びつき』の④オリンピック・パラリンピックでオリンピック・パラリンピックの開催国を地図上に示している。</li> </ul>

【地図】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④課題の設定, 整理・分析, 振り返りを展開するための構成上の工夫
<b>方法</b>	作業的・体験的な学習課題の例

作業的・体験的な学習課題の例	
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全般にわたってキャラクターの吹き出しで、「中国地方を東西に走る高速道路を指でたどって、どんな都市を通っているか確かめてみよう。」等、作業的な学習を例示している。</li> <li>○ 『世界全図と地球儀』の「地球儀を使って調べる」で、紙テープやトレーシングペーパーを使って、方位や国の大きさを調べる方法を写真入りで掲載している。</li> </ul>
<b>帝国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全般にわたって「地図マスターへの道」で、「新幹線で大阪市から福岡市まで行く間に通る府県はどこか、線路を指でたどりながら、府県の名前を言う」等、作業的な学習を例示している。</li> <li>○ 『日本の自然災害と防災(2)』では、防災マップの例を示しながら防災マップづくりの手順を示し、体験的な学習を例示している。</li> <li>○ 『世界と地球儀』の「地球儀を使おう」で、紙テープを使って、距離や方位を調べる方法やトレーシングペーパーで土地の面積や形を調べる方法を写真入りで掲載している。</li> </ul>

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑤単元や資料等の配列
<b>方法</b>	統計資料と地図の扱い

統計資料と地図の扱い	
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本列島全体を見渡す地図に始まり、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、主題図、統計資料、索引と系統的に配列している。</li> <li>○ 各地域を比較できるように、日本全図は縮尺 400 万分の 1、各地方図は原則として 100 万分の 1 (北海道は 160 万分の 1)、都市圏などの拡大図は 5 万分の 1 で統一されている。</li> <li>○ 陸の高さや海の深さが、地図に応じて細かく色分けされており (最大 17 段階)、土地利用も商業地、住宅地などを 8 種類で示している。</li> </ul>
<b>帝国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の地方ごとに広く見渡す地図に始まり、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、主題図、統計資料、索引と系統的に配列している。</li> <li>○ 各地域を比較できるように、各地方図は原則として 100 万分の 1 (北海道は 160 万分の 1)、都市圏などの拡大図は 5 万分の 1 で統一されている。</li> <li>○ 日本列島や地方図では、隣接地域の地図が何ページにあるかを記号で表示し、隣の地図とのつながりを示している。</li> <li>○ 陸の高さや海の深さが、地図に応じて細かく色分けされており (最大 13 段階)、土地利用も商業地、住宅地などを 8 種類で示している。</li> </ul>

【地図】

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑥学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
<b>方法</b>	資料等の活用方法の例

資料等の活用方法の例	
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『地図帳の使い方』で、地図記号、この地図帳での記号、方位の見方、縮尺の見方、土地利用の見方、土地の高さの見方、索引の使い方、広く見る時、詳しく見る時、地方別に見る時の見方について、イラストを使って説明している。</li> <li>○ 「Dマーク」を掲載し、Webページ上で資料等の活用方法等を紹介している。</li> <li>○ これまでの学習で調べた項目が記録できるように、索引の項目ごとにチェック欄が設けられている。(掲載数：日本の地名 約 2200 項目、世界の地名 約 470 項目)</li> </ul>
<b>帝国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『地図のやくそく (1) (2)』で、地図記号、この地図での記号、方位の見方、縮尺の見方、土地利用の見方、土地の高さの見方、索引の使い方、目的にあわせた見方等について、イラストを使ったり、ワークシート形式で記入したりして説明している。</li> <li>○ 二次元コードを掲載し、Webページ上で資料等の活用方法等を紹介している。</li> <li>○ 「さくいんの見かた」で、地名の種類を表す記号・色、列記号と行記号による場所の探し方を示している。(掲載数：日本の地名 約 2100 項目、世界の地名 約 400 項目)</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑦観察・調査や各種資料の活用の工夫
<b>方法</b>	地図を活用した調べ方の例

地図を活用した調べ方の例	
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『地図帳の使い方』の「どこにある？ (さくいん)」で、索引の使い方をまんがで説明し、地名の調べ方を例示している。</li> <li>○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しで、具体的な観察・調査方法を掲載している。</li> <li>○ 「資料地図、統計表」で、ページの上段の言葉やキャラクターの吹き出しで、調べる視点等を示している。</li> </ul>
<b>帝国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『地図帳の使い方 (2)』で、索引の使い方をキャラクターの吹き出しで説明し、地名の調べ方を例示している。</li> <li>○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しで、具体的な観察・調査方法を掲載している。</li> <li>○ 全般にわたって、「地図マスターへの道」で、学び方や調べ方等の簡単な作業を指示し、資料活用の仕方を示している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑧調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫
<b>方法</b>	地図を活用した表現の例

地図を活用した表現の例	
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『日本の自然災害』において、ハザードマップを示し、自分の地域のハザードマップで確認する点について掲載している。</li> <li>○ 日本の自然、産業、貿易、歴史、歴史と文化について主題図で示している。</li> </ul>
<b>帝国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『日本の自然災害と防災』において、「防災マップづくり」で地図を使ったまとめ方のヒントや手順を示し、地図の作品の例を掲載している。</li> <li>○ 日本の自然のようす、日本の自然災害と防災、日本の産業のようす、日本と世界の結びつき、日本の歴史と世界文化遺産について主題図で示している。</li> </ul>

【地図】

【算数】

# 算 数

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい算数
4	大 日 本	たのしい算数
11	学 図	みんなと学ぶ 小学校 算数
17	教 出	小学算数
61	啓 林 館	わくわく 算数
116	日 文	小学算数

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標を達成するための工夫	単元の流れ, 問題場面やまとめの示し方
		② 基礎的・基本的な知識・技能を定着させるための工夫	学年間でスパイラルに取り扱われている内容と練習問題数
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味・関心を高めるための工夫	単元の導入, 取り扱われている折れ線グラフ, 単元の終末
		④ 問題解決的な学習を実施するための工夫	単元の問題解決の過程
		⑤ 具体的な体験を伴う学習を実施するための工夫	具体的な体験を伴う学習場面の数と具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 単元や資料等の配列	ページ数・単元数, 単元内の構成, 単元内の配列と分量
		⑦ 中学校との関連に関する内容の記述	中学校から移行された学習内容の記述, 中学校との接続に関わる記述
(エ)	内容の表現・表記	⑧ イラスト・写真・吹き出し等の活用	キャラクター等の活用, 視覚資料の扱い, 図・表等の扱い, デジタルコンテンツの扱い
(オ)	言語活動の充実	⑨ 数学的な表現を用いて自分の考えを説明する活動の工夫	学習の流れと説明したり話し合ったりする活動の具体例
		⑩ 思考を深めるための記述の工夫	ノート指導の扱いと記載例, ページ数





【算数】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②基礎的・基本的な知識・技能を定着させるための工夫
方法	学年間でスパイラルに取り扱われている内容と練習問題数

第1学年～第3学年「数と計算」(学習指導要領内容項目から)

- ① 第1学年 A (1) カ「簡単な場合について、3位数の表し方を知ること。」
- ② 第1学年 A (2) ウ「簡単な場合について、2位数などについても加法及び減法ができることを知ること。」
- ③ 第2学年 A (1) オ「 $1/2$ ,  $1/3$  など簡単な分数について知ること。」
- ④ 第2学年 A (2) イ「簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算の仕方を知ること。」
- ⑤ 第2学年 A (3) エ「簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方を知ること。」
- ⑥ 第3学年 A (1) イ「10倍、100倍、1000倍、 $1/10$ の大きさの数及びそれらの表し方について知ること。」
- ⑦ 第3学年 A (4) オ「簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方を知ること。」

内容項目	単元名	取り扱われている内容	練習問題数
東書	① おおきいかず	・「100と3」の数量の表し方を知ること。	4
	② おおきいかず	・「 $30+4$ 」「 $34-4$ 」「 $25+3$ 」「 $28-3$ 」「 $30+20$ 」「 $50-20$ 」の例題	16
	③ 分数	・正方形の紙を二等分、長方形の紙を四等分して、その読み方と書き方を知ること。 ・テープのを三等分して、その長さの書き方を知ること。	8
	④ 3けたの数	・「 $300+200$ 」「 $600-200$ 」「 $500+30$ , $530-30$ 」の例題	10
	④ たし算とひき算のひっ算	・「 $415+32$ 」「 $345-21$ 」「 $18+345$ 」「 $526+9$ 」「 $483-27$ 」「 $524-6$ 」の例題	12
	⑤ かけ算(2)	・九九の表を拡張し、「1位数 $\times$ 12までの数」及び「12までの数 $\times$ 1位数」の表に答えを記入すること。	0
	⑥ 大きい数のしくみ	・「25を10倍」「25を10で割る」「250を10で割る」「25を100倍」の例題	4
⑦ 大きい数のわり算、分数とわり算	・「 $60\div 3$ 」「 $69\div 3$ 」の例題	8	
大日本	① 大きなかず	・「100と3」の数量の表し方を知り、「100と10と6」「100と20」を表す。	2
	② 大きなかず	・「 $40+30$ 」「 $50-30$ 」「 $32+6$ 」「 $38-6$ 」の例題	24
	③ 分数	・折り紙やおはじきを二等分、四等分して、その読み方、書き方を知ること。 ・折り紙やおはじきを三等分して、その読み方、書き方を知ること。	14
	④ たし算とひき算のひっ算	・「 $327+68$ 」「 $8+459$ 」「 $582-63$ 」「 $713-5$ 」の例題	7
	④ 1000より大きい数	・「 $700+400$ 」「 $900-400$ 」の例題	10
	⑤ かけ算のきまり	・九九の表を拡張し、「1位数 $\times$ 12までの数」及び「12までの数 $\times$ 1位数」の表に答えを記入すること。	2
	⑥ 大きな数	・「20を10倍」「32を10倍」「32を100倍」「32を1000倍」「200を10で割る」「450を10で割る」の例題	19
⑦ 大きな数のわり算	・「 $60\div 3$ 」「 $69\div 3$ 」の例題	10	
学図	① 20より大きいかずをかぞえよう	・「100と12」の数量の表し方を知ること。	2
	② 20より大きいかずをかぞえよう	・「 $20+30$ 」「 $50-20$ 」「 $23+6$ 」「 $38-5$ 」の例題	28
	③ 分数	・折り紙を二等分、四等分した大きさの読み方、書き方を知ること。	9
	④ 大きい数のたし算とひき算	・「 $400+300$ 」「 $700+300$ 」「 $628+7$ 」「 $234+57$ 」の例題	14
	④ 大きい数のたし算とひき算	・「 $500-300$ 」「 $1000-300$ 」「 $753-6$ 」「 $546-27$ 」の例題	14
	⑤ かけ算(3)	・3の段の九九を拡張し「 $3\times 10$ 」「 $3\times 11$ 」「 $3\times 12$ 」を考える。	1
	⑥ 大きい数	・「20の10倍」「150を10で割る」の例題	22
⑦ わり算	・「 $80\div 4$ 」「 $36\div 3$ 」の例題	6	



## 【算数】

内容項目	単元名	取り扱われている内容	練習問題数
教出	① 大きなかず	・「100と3」「100と15」「100と20」の例題	6
	② 大きなかず	・「30+20」「60-20」「24+3」「36-4」の例題	12
	③ 1を分けて	・折り紙、テープを二等分、テープを四等分した大きさの読み方・表し方 ・チョコレートを分け、1人分が同じになるような分け方を考える。	4
	④ たし算とひき算	・「437+6」「719+33」「282-6」「271-34」の計算の仕方	16
	100より大きい数	・「300+400」「700-200」「430+20」「360-40」の計算の仕方	10
	⑤ 九九の表	・「 $4 \times 10$ 、 $4 \times 11$ 、 $4 \times 12$ 」「 $10 \times 4$ 、 $11 \times 4$ 、 $12 \times 4$ 」の求め方を考え、九九表を「1位数 $\times 12$ までの数」「12までの数 $\times 1$ 位数」の範囲に拡張する。	0
	⑥ 10000より大きい数	・「20の10倍」「25の10倍」「25の100倍」「200を10で割る」の例題	16
⑦ わり算	・「 $60 \div 3$ 」「 $69 \div 3$ 」の計算の仕方	10	
啓林館	① 大きいかず	・「100と13」「100と20」「100と6」の例題	5
	② 100までのかずのけいさん	・「40+30」「20+6」「70-20」「34-4」の例題	32
	③ 分数	・正方形、長方形、円の紙を二等分に折る・切る。 ・テープ図で $1/2$ 、 $1/4$ 、 $1/3$ の読み方・書き方を知る。 ・箱に12個入り、18個入りのおかしで $1/2$ 、 $1/3$ を表す。	3
	④ たし算とひき算のひっ算(2)	・「234+57」「381-53」の計算の仕方	8
	100をこえる数	・「200+400」「800-600」の例題	6
	⑤ 九九のきまり	・「 $4 \times 12$ 」の立式と答えの求め方 ・「 $12 \times 4$ 」の立式と答えの求め方	1
	⑥ 一万をこえる数	・「20の10倍」「25の10倍」「25の100倍」「25の1000倍」「50を10で割る」「250を10で割る」の例題	17
⑦ わり算	・「 $40 \div 4$ 」「 $60 \div 3$ 」「 $69 \div 3$ 」の計算の仕方	13	
日文	① 20より大きいかず	・「100と12」「100と6」の数量の表し方を知る。 ・90~120までの数を読む。	5
	② たしざんとひきざん	・「20+30」「50-20」の計算の仕方 ・「20+4」「35+3」「26-6」「26-3」の計算の仕方	27
	③ 分数	・正方形の折り紙を二等分、三等分、四等分した、 $1/2$ 、 $1/4$ 、 $1/3$ の読み方・書き方を知る。	4
	④ たし算とひき算の筆算	・「543+24」「468+25」「156+9」「393-52」「276-29」「324-8」の計算の仕方	18
	10000までの数	・「800+500」「500-100」の例題	8
	⑤ 九九のひょう	・4の段の九九を拡張し、 $4 \times 10$ から $4 \times 12$ までつくる。 ・12の段をつくる。	0
	⑥ 大きい数	・「20を10倍」「25を10倍」「25の100倍」「25の1000倍」「200を10で割る」の例題	16
⑦ わり算	・「 $60 \div 3$ 」「 $69 \div 3$ 」の立式と計算の仕方	9	

【算数】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③興味・関心を高めるための工夫
方法	単元の導入, 取り扱われている折れ線グラフ, 単元の終末

第4学年「折れ線グラフ」			
	単元の導入	取り扱われている折れ線グラフ ※下線部は複数系列のグラフや組み合わせたグラフ	単元の終末
東 書	「4月なのに海水浴？」 神戸市に住むたくやさんに、神戸市の姉妹都市であるリオデジャネイロに住む友だちからメールがとどきました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の気温の変わり方(神戸)</li> <li>・1年間の気温の変わり方(リオデジャネイロ)</li> <li>・<u>1年間の気温の変わり方(神戸・リオデジャネイロ)</u></li> <li>・1日の気温の変わり方</li> <li>・那覇市の1年間の気温の変わり方</li> <li>・<u>横浜市の1年間の気温の変わり方</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いかしてみよう</li> <li>・<u>熱中しようできゅう急車で病院に運ばれた人数と最高気温(平成28年8月, 東京)</u></li> <li>○ つないでいこう算数の目～大切な見方・考え方</li> <li>・<u>晴れ, くもり, 雨, それぞれの天気の1時間ごとの気温</u></li> <li>・<u>1時間に学校の前の道を通る乗物の種類とその数</u></li> </ul>
大 日 本	「気温の変わり方は・・・」 あおいさんのところに、友達のジャンさんからメールがとどきました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の気温の変わり方(東京)</li> <li>・かげの長さの変わり方</li> <li>・<u>1年間の気温の変わり方(東京・ロサンゼルス)</u></li> <li>・気温の変わり方(シンガポール)</li> <li>・1年間の気温の変わり方(上海)</li> <li>・<u>1年間の気温の変わり方(上海・カイロ)</u></li> <li>・1年間の気温の変わり方(好きな場所を選択, 東京・仙台・沖縄・ベルリン・カイロ・上海・ニューヨーク・リオデジャネイロ)</li> <li>・体温の変わり方</li> <li>・りくさんの50m走の記録</li> <li>・なおさんの50m走の記録</li> <li>・<u>東京の気温とアイスクリームの売り上げ</u></li> <li>・<u>気温の変わり方と電気代</u></li> <li>・ひまわりの高さ</li> <li>・<u>ひまわりの高さとおさがおの高さ</u></li> <li>・<u>気温の変わり方</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グラフから読み取ろう</li> <li>・<u>4年生のクラス別の落とし物の数</u></li> <li>・5年1組と2組の落とし物の数の合計</li> </ul>
学 図	「気温をくらべるには？」 ななみさんの家に新潟市とオークランド市(ニュージーランド)の親せきが遊びにきました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市の月別気温</li> <li>・<u>新潟市とオークランド市の月別気温</u></li> <li>・山口市の気温の変わり方</li> <li>・那覇市の月別気温</li> <li>・<u>教室のまど側とろうか側の気温の変わり方</u></li> <li>・<u>6月のかげの長さと12月のかげの長さ</u></li> <li>・ゆきえさんの体温</li> <li>・気温の変わり方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まなびをいかそう</li> <li>・りょうたさんの体重の変わり方</li> <li>○ ふりかえろう つなげよう</li> <li>・<u>A小学校とB小学校の4か月で借りられた本の種類とさっ数</u></li> </ul>

【算数】

第4学年「折れ線グラフ」			
	単元の導入	取り扱われている折れ線グラフ ※下線部は複数系列のグラフや組み合わせたグラフ	単元の終末
教 出	「気温の様子を表そう！」 ゆきさんは、昨日より今日のほうがすずしく感じたので、気温を調べてみました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気温調べ（5月15日）</li> <li>・ ヒマワリの高さ</li> <li>・ <u>5月15日と5月16日の気温調べ</u></li> <li>・ <u>秋田市と大分市の気温</u></li> <li>・ ハムスターの体重</li> <li>・ 体温の変化</li> <li>・ やかんの水の温度</li> <li>・ ヘチマの草たけ</li> <li>・ <u>気温と地面の温度調べ</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学んだことを使おう</li> <li>・ <u>那覇市の気温と降水量</u></li> <li>○ ふり返ろう</li> <li>・ うさぎの体重</li> </ul>
啓 林 館	「1日の気温の変わり方」 あおいさんは、1日の気温の変わり方を調べようと思って、1時間ごとの気温をはかりました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1日の気温</li> <li>・ 地面の温度</li> <li>・ ももかさんの体温</li> <li>・ ゆうきさんの身長</li> <li>・ <u>東京とシドニーの月別気温</u></li> <li>・ <u>金沢市の月別気温とこう水量</u></li> <li>・ 赤ちゃんの体重</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学びをいかそう やってみよう</li> <li>・ 売れた乗り物図かんの数</li> <li>・ 売れたきょうりゅう図かんの数</li> </ul>
日 文	「一日の気温はどのように変わっているかな」 気温の変わり方について考えてみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1日の気温調べ</li> <li>・ <u>奈良市とキャンベラの月別の気温</u></li> <li>・ みおさんの体温</li> <li>・ ハムスターの体重</li> <li>・ <u>東京都の月別の気温と月別の降水量</u></li> <li>・ 1年間の気温</li> <li>・ あゆむさんの身長</li> <li>・ 1日の気温</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Hello!Math</li> <li>・ 6月1日の気温の変化</li> <li>・ 10月1日の気温の変化</li> <li>・ <u>6月1日と10月1日の気温の変化</u></li> </ul>

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④問題解決的な学習を実施するための工夫
方法	単元の問題解決の過程

第5学年「平面図形の性質」				
	導入	三角形（帰納的な考え方）	四角形（演繹的な考え方）	多角形への発展
東 書	<p>【図形の角を調べよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 円の半径を使ってかいたいろいろな二等辺三角形の角の大きさを調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「三角形の3つの角の大きさには、どのようなきまりがあるか、調べてみましょう。」</li> <li>○ 主な発問（帰納的な考え方） ・「いろいろな三角形をかいて、下の図のようにして3つの角の大きさの和を調べましょう。」 ・「ノートに三角形をかいて、3つの角の大きさを分度器ではかり、その和が<math>180^\circ</math>になることを確かめましょう。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「四角形の4つの角の大きさの和は、何度になりますか。」</li> <li>○ 主な発問 ・「次のページの～さんの図を見て、～さんの考えを式に表し、説明しましょう。」 ・「3人の考えで、共通していることはどんなことでしょうか。」</li> <li>○ 演繹的な考え方 『『三角形の3つの角の大きさの和は<math>180^\circ</math>』をもとにして、説明することができたね。』と示し、まとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 五角形、六角形の角の大きさの和を求める。 ↓</li> <li>○ 六角形までの三角形の数と角の大きさの和を表にまとめ、それを使って七角形・八角形の角の大きさの和を求める。</li> </ul>
大 日 本	<p>【図形の角の大きさを調べよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三角定規の3つの角の大きさの和を確認し、同じ三角定規2まいを使ってできる三角形の角の大きさを調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「三角形の3つの角の大きさの和を、いろいろな方法で調べましょう。」</li> <li>○ 主な発問（帰納的な考え方） ・「次のように分度器を使わずに、三角形の3つの角の大きさの和を調べましょう。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「四角形の4つの角の大きさの和が何度になるか調べましょう。」</li> <li>○ 主な発問 ・「～さん、～さん、～さんの考えの良いところや、似ているところについて話し合いましょう。」</li> <li>○ 演繹的な考え方 「四角形をいくつかの三角形に分けて、すでにわかっている三角形の性質を使うと、四角形の4つの角の大きさの和が<math>360^\circ</math>であることを説明することができます。」と、まとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 五角形の角の大きさの和を求める。 ↓</li> <li>○ 五角形で使った考え方をもとに、六角形の角の大きさの和を求める。 ↓</li> <li>○ 六角形までの角の大きさの和を表にまとめ、それを使って七角形、八角形の角の大きさの和を求める。</li> </ul>
学 図	<p>【三角形や四角形の角について調べよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三角定規の3つの角の大きさの和を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「右の直角三角形で、Aの角を<math>60^\circ</math>、<math>50^\circ</math>、<math>40^\circ</math>…と小さくして、頂点Bを頂点Cに近づけます。このときの角の大きさについて調べましょう。」</li> <li>○ 主な発問（帰納的な考え方） ・「三角形の3つの角の大きさの和がどうなるか、話し合いましょう。」 ・「次の3人の考えを説明しましょう。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「四角形の4つの角の大きさの和について、調べましょう。」</li> <li>○ 主な発問 ・「四角形の4つの角の大きさの和は何度になりますか。いろいろな方法で調べましょう。」</li> <li>○ 演繹的な考え方 「三角形の3つの角の大きさの和をもとにして考えているね。」と、吹き出しで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 五角形の角の大きさの和の求め方を考える。 ↓</li> <li>○ 六角形の角の大きさの和を求める。 ↓</li> <li>○ 九角形までの三角形の数と角の大きさの和を、表にまとめる。</li> </ul>

第5学年「平面図形の性質」				
	導入	三角形（帰納的な考え方）	四角形（演繹的な考え方）	多角形への発展
教出	<p>【合同と三角形・四角形】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三角形をまっすぐにならべられるか、2種類の三角形で考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「三角形の3つの角の大きさには、どんなきまりがあるか調べましょう。」</li> <li>○ 主な発問（帰納的な考え方） ・「いろいろな三角形で、3つの角の大きさの和が何度になるか調べましょう。」 ・「三角形の3つの角の大きさには、どんなきまりがあるでしょうか。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「四角形の4つの角の大きさには、どんなきまりがあるか調べましょう。」</li> <li>○ 主な発問 ・「～さんの考えを説明しましょう。」</li> <li>○ 演繹的な考え方 「三角形の角の性質を活用して、四角形について調べると、どんな四角形でも成り立つ性質が見つかる。」と示し、まとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 五角形の角の大きさの和を求める。 ↓</li> <li>○ 八角形までの三角形の数と角の大きさの和を表にまとめ、十角形の角の大きさの和を求める。</li> </ul>
啓林館	<p>【合同な図形】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 合同な三角形を横にならべて、テープのような形にしきつめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「三角形の3つの角の大きさについて調べてみましょう。」</li> <li>○ 主な発問（帰納的な考え方） ・「どんな三角形でも、3つの角の大きさの和は<math>180^\circ</math>になりますか。自分で形や大きさをきめて三角形をかき、①の①や②の②のしかたで調べてみましょう。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「四角形の4つの角の大きさの和を求めてみましょう。」</li> <li>○ 主な発問 ・「四角形を三角形に分けて調べて、4つの角の大きさの和が<math>360^\circ</math>になることを説明しましょう。」</li> <li>○ 演繹的な考え方 「四角形を三角形に分けると、三角形の3つの角の大きさの和が<math>180^\circ</math>であることをもとにして、四角形の4つの角の大きさの和が<math>360^\circ</math>になることを説明することができます。」と示し、まとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 五角形の角の大きさの和を求める。 ↓</li> <li>○ 六角形、七角形の角の大きさの和を求め、八角形までの角の大きさの和を表にまとめる。</li> </ul>
日文	<p>【ぴったり重なる形と図形の角を調べよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 合同な三角形なら、どんな形でもしきつめられるのか、3種類の三角形で考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「三角形の3つの角の大きさには、どのようなきまりがありますか。」</li> <li>○ 主な発問（帰納的な考え方） ・「いろいろな形の三角形を紙にかいて、3つの角の大きさの和を調べましょう。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題提示 「四角形の4つの角の大きさの和は、何度になりますか。」</li> <li>○ 主な発問 ・「考えを発表し合い、四角形の4つの角の大きさの和について話し合ひましょう。」</li> <li>○ 演繹的な考え方 「前に学習した三角形の3つの角の大きさの和を使って説明できたね。」と吹き出しで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 五角形、六角形の角の大きさの和を求める。 ↓</li> <li>○ 七角形までの三角形の数と角の大きさの和を表にまとめ、それをもとに八角形、九角形の角の大きさの和を求める。</li> </ul>

## 【算数】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤具体的な体験を伴う学習を実施するための工夫
方法	具体的な体験を伴う学習場面の数と具体例

	第1, 2, 3学年 「測定」領域			プログラミングを体験しながら 論理的思考力を身に付けるための活動		
	学年	学習場面の数	具体例と数	具体例	紙面	デジタルコンテンツ
東書	1	11	比べる 14 はかる 4 調べる 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5学年 「倍数を求める手順を考えよう」 「正多角形をかく手順を考えよう」</li> <li>第6学年 「数の並べかえ方を考えよう」 「中央値を求めよう」 「平均値を求めよう」 「最頻値を求めよう」</li> </ul>	○	○
	2	11	探す・見付ける 1 確かめる 0 合わせる 2		○	○
	3	7			○	○
大日本	1	8	比べる 8 はかる 10 調べる 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年「ゴールをめざそう」</li> <li>第2学年「すごろくゲーム」</li> <li>第3学年「数当てゲームをしよう」</li> <li>第4学年「アルゴリズム」</li> <li>第5学年「正多角形をかこう」</li> <li>第6学年「グラフをかこう」</li> </ul>	○	
	2	11	探す・見付ける 2 確かめる 2 合わせる 1		○	○
	3	11			○	○
学図	1	7	比べる 9 はかる 7 調べる 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年「ロボくんをおもいどおりにうごかしてみよう」</li> <li>第2学年「ロボくんに『ハノイのとうのリングのうつし方』を教えよう」</li> <li>第3学年「ロボくんに『重さのちがうもののさがし方』を教えよう」</li> <li>第4学年「ロボくんに『一筆がき』の方法を教えよう」</li> <li>第5学年「正多角形をかこう」</li> <li>第6学年「ロボくんに『量や数を小さい方から順にならべる方法』を教えよう」</li> </ul>	○	○
	2	8	探す・見付ける 0 確かめる 2 合わせる 2		○	○
	3	7			○	○
教出	1	8	比べる 8 はかる 8 調べる 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5学年「プログラミングにちょう戦しよう」(正多角形の作図)</li> </ul>	○	○
	2	10	探す・見付ける 1 確かめる 0 合わせる 1			
	3	9				
啓林館	1	13	比べる 13 はかる 14 調べる 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5学年「倍数をみつけよう」 「正多角形にそって、えんぴつ君を動かそう」</li> <li>第6学年「円の面積を求めよう」 「条件に合う整数を見つけよう」</li> </ul>	○	○
	2	19	探す・見付ける 3 確かめる 4 合わせる 2		○	○
	3	11			○	○
日文	1	12	比べる 13 はかる 13 調べる 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5学年「プログラミングを体験しよう」(Scratchを使った正多角形のかき方) 「正多角形をかくプログラムをつくる」(Scratchの使い方)</li> </ul>	○	○
	2	15	探す・見付ける 1 確かめる 0 合わせる 2		○	○
	3	13				

【算数】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量	
	視点	⑥単元や資料等の配列
	方法	ページ数・単元数, 単元内の構成, 単元内の配列と分量

	学年	ページ数 (上・下)	単元数	単元内の構成	単元内の配列と分量〔ページ数〕
					第4学年「C(2)簡単な場合についての割合」 が取り扱われている内容(下線)
東書	1	173(44・129)	18	○ 学習の入口 ○ 問題・めあて	○ 「倍の見方」 全6ページ ○ 導入:動物の親子の大きさの比べ方〔0.5〕 ・クジラの親子の体長の関係〔1.5〕 ・キリンの親子の身長の関係〔1〕 ・ヒョウの親子の体重の関係〔1〕 ・ <u>二つの包帯の伸びの比べ方</u> 〔2〕
	2	258(137・121)	17	○ 小発問・解決・まとめ	
	3	298(159・139)	18	○ 練習問題	
	4	322(159・163)	14	○ 学習の振り返り	
	5	310(157・153)	18	○ 単元末の問題 ・たしかめよう ・つないでいこう算数の目 振り返り	
	6	281	13		
大日本	1	177	19	○ 新しい学習がはじまるよ ○ 問題・めあて	○ 「倍とかけ算, わり算」 全5ページ ○ 基準にするテープの何倍かした大きさを 求める〔1〕 ・他のテープが基準にするテープの何倍か を求める〔1〕 ・基準にするテープの長さを求める〔1〕 ・ <u>二つのゴムの伸びの比べ方</u> 〔1〕 ・たしかめ問題〔1〕
	2	243	17	○ 小発問・解決・まとめ	
	3	263	18	○ 練習問題	
	4	287	15	○ 単元末の問題 ・しっかりチェック	
	5	289	18	・チャレンジ	
	6	269	13		
学 図	1	196(106・90)	19	○ ?を発見 ○ 問題・めあて	○ 「倍の計算 ゴムの長さ」全2ページ ・ <u>二つのゴムの伸びの比べ方</u> 〔2〕
	2	287(145・142)	21	○ 小発問・解決・まとめ	
	3	299(141・158)	21	○ 練習問題	
	4	323(162・161)	21	○ 単元末の問題 ・できるようになったこと ・まなびをいかそう	
	5	331(162・169)	21		
	6	245 別冊48	15 別冊2		
教 出	1	180	18	○ どんな学習がはじまるか な? ○ 問題・めあて	○ 「くらべ方」 全8ページ ○ 導入: <u>大根とキャベツの値上がりの仕方 を比べる</u> 〔2.5〕 ・大根とキャベツの数を変えた場合を考え た <u>値上がりの仕方を比べる</u> 〔1.5〕 ・ <u>れおさんのゴムひもと他のゴムひもの伸 び方を比べる</u> 〔2〕 ・ <u>同じゴムひもを二つに切ったときのそれ ぞれ伸ばした長さを求める</u> 〔1〕 ・ <u>くらべ方【まとめ】</u> 〔1〕
	2	279(149・130)	17	○ 小発問・解決・まとめ	
	3	298(156・142)	17	○ 練習問題	
	4	346(178・168)	17	○ 学んだことを使おう	
	5	308	16	○ 単元末の問題 ・ふり返ろう 4コマ漫画	
	6	274	12	・たしかめよう 考えるヒント	
啓 林 館	1	176	23	○ じゅんぴ ○ 問題・めあて	○ 「割合」 全6ページ ○ 導入: <u>イルカとクジラのうまれたときと 今の体長の比べ方</u> 〔1〕 ・ <u>イルカとクジラのうまれたときの体長の 何倍が今の体長になっているか</u> 〔1〕 ・基準にするサイズの重さから他の二つの サイズの重さを求める〔2〕 ・高さに係る3段階2要素の逆思考の問題 〔1〕 ・体重に係る3段階2要素の逆思考の問題 〔1〕
	2	291(148・143)	17	○ 小発問・解決・まとめ	
	3	296(157・139)	20	○ 練習問題	
	4	313(171・142)	16	○ 単元末の問題 ・たしかめよう ・ふりかえろう ・やってみよう	
	5	301	18		
	6	297	13		
日 文	1	190(97・93)	20	○ 新しい学習のじゅんぴ ○ 問題・めあて	○ 「わり算(2)」 全20ページ ○ 導入:わり算の振り返り〔1〕 ・何十でわる計算〔2〕 ・2けたの数でわる計算(1)〔5〕 ・2けたの数でわる計算(2)〔3〕 ・わり算のきまり〔3〕 ・倍の計算〔2〕 ・ <u>かんたんな割合</u> 〔3〕 ・ <u>二つのゴムの伸びの比べ方</u> ・たしかめポイント〔1〕
	2	281(150・131)	17	○ 小発問・解決・まとめ	
	3	294(160・134)	17	○ 練習問題	
	4	323(159・164)	16	○ 単元末の問題 ・わかっているかな ・まちがいがやすい問題 ・たしかめポイント	
	5	314(148・166)	17		
	6	281	13		

【算数】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦中学校との関連に関する内容の記述
方法	中学校から移行された学習内容の記述，中学校との接続に関わる記述

第6学年「Dデータの活用」領域		
	中学校から移行された学習内容の記述	中学校との接続に関わる記述〔ページ数〕
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平均値，最頻値，階級，中央値の順に記載</li> <li>○ 平均値               <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団のデータの平均</li> </ul> </li> <li>○ 中央値（メジアン）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの値を大きさの順に並べたときの中央の値</li> <li>・データの数が奇数のときは，ちょうど真ん中の値</li> <li>・データの数が偶数のときは，中央にある2つの値の平均値</li> </ul> </li> <li>○ 最頻値（モード）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの中で，最も多く出てくる値</li> </ul> </li> <li>○ 階級               <ul style="list-style-type: none"> <li>・データを整理するために用いる区間</li> </ul> </li> <li>○ 平均値を用いる際の留意点               <ul style="list-style-type: none"> <li>・上の40回のときのように，ほかの値と大きくはずれている値があるときは，平均値も変わってくるので，40回のときをはずして調べることもあります。(本文)</li> <li>・大きくはずれた値があっても，中央値は変わりにくいことが多いよ。(吹き出し)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体の様子と一部の様子〔1〕</li> <li>○ つないでいこう算数の目～大切な見方・考え方〔0.5〕</li> </ul>
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平均値，最頻値，中央値，階級の順に記載</li> <li>○ 平均値               <ul style="list-style-type: none"> <li>・平均の値</li> </ul> </li> <li>○ 中央値               <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの値を大きさの順に並べたとき，真ん中にある値</li> <li>・データの個数が偶数のときは，真ん中にある2つの値の平均</li> </ul> </li> <li>○ 最頻値（モード）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの中で最も多く出てくる値</li> </ul> </li> <li>○ 階級               <ul style="list-style-type: none"> <li>・㊸や㊹の表のように整理した1つ1つの区間</li> </ul> </li> <li>○ 平均値を用いる際の留意点               <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの中かけはなれた値があるときには，中央値を代表値として使う場合があります。(枠囲み)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あいこになるかな〔1〕</li> <li>○ 柱状グラフで比べよう〔1〕</li> <li>○ データのくわしい調べ方〔0.25〕</li> <li>○ 確率〔0.25〕</li> </ul>
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平均値，最頻値，中央値，階級の順に記載</li> <li>○ 平均値               <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに学習した平均のこと</li> <li>・平均値＝データの値の合計÷データの個数</li> </ul> </li> <li>○ 中央値               <ul style="list-style-type: none"> <li>・データを大きさの順にならべかえたときに，ちょうど真ん中に位置する値</li> <li>・データの数が奇数のとき…ちょうど真ん中の値</li> <li>・データの数が偶数のとき…中央にならぶ2つの値の平均値</li> </ul> </li> <li>○ 最頻値               <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの中で，もっとも多く現れた値</li> </ul> </li> <li>○ 階級               <ul style="list-style-type: none"> <li>・きよりが「30m以上35m未満」のような区間（区切り）</li> </ul> </li> <li>○ 平均値を用いる際の留意点               <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな記録の人がいるから，平均値だけでは比べられないよ。(吹き出し)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ○×ゲームで勝つ法則は？〔2〕</li> <li>○ 階級の幅を変えると？〔2〕</li> <li>○ ぴったり止められる？〔4〕</li> </ul>



第6学年「Dデータの活用」領域		
	中学校から移行された学習内容の記述	中学校との接続に関する記述〔ページ数〕
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平均値, 最ひん値, 中央値, 階級の順に記載</li> <li>○ 平均値 <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべてのデータの合計を求めて, データの個数でわった平均の値</li> </ul> </li> <li>○ 中央値 <ul style="list-style-type: none"> <li>・データを大きさの順に並べたとき, 中央にある値</li> <li>・データの個数が偶数のときは, まん中の2つの値の平均値</li> </ul> </li> <li>○ 最ひん値 <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの中で最も多く出てくる値</li> </ul> </li> <li>○ 階級 <ul style="list-style-type: none"> <li>・データをいくつかの区間に区切って整理した表(度数分布表)における区間</li> </ul> </li> <li>○ 平均値を用いる際の留意点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平均値はすべてのデータの値を使って計算している代表値なのでよく使われますが, 代表値として適さない場合もあります。</li> <li>例: 1か月で最も売れたくつのサイズを調べるとき ソフトボール投げの自分の記録がクラスのまん中より上かを知りたいとき データの中に飛びはなれた値があるとき(コラム)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ さいころの目の出やすさ〔1〕</li> </ul>
啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平均値, 中央値, 最頻値, 階級の順に記載</li> <li>○ 平均値 <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の値の平均</li> <li>・平均値=資料の値の合計÷資料の個数</li> </ul> </li> <li>○ 中央値 <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の値を大きさの順に並べたとき, ちょうど真ん中の値</li> <li>・資料の数が偶数のときは, 真ん中の2つの値の平均</li> </ul> </li> <li>○ 最頻値 <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の値の中で, いちばん多い値</li> </ul> </li> <li>○ 階級 <ul style="list-style-type: none"> <li>・区切った1つ1つの区間</li> </ul> </li> <li>○ 平均値を用いる際の留意点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・(靴や服など)どのサイズのものをいちばん多くつくるかを決定するには, 売れたサイズの記録の平均値よりも最頻値から判断するほうが望ましいといえます。(コラム)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 最大値・最小値・範囲〔0.5〕</li> <li>○ 学びをいかそう・やってみよう〔0.5〕</li> <li>○ 中学校で学ぶ「数学」の簡単なしょうかい(確率・統計)〔1〕</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 階級, 平均値, 最頻値, 中央値の順に記載</li> <li>○ 平均値 <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの値の平均</li> </ul> </li> <li>○ 中央値 <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの個々の値を小さい順にならべたとき, 中央にくる値</li> <li>・データの個数が偶数になるときは, 中央にくる2つの値の平均値</li> </ul> </li> <li>○ 最頻値 <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの中で最も多く出てくる値</li> </ul> </li> <li>○ 階級 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「15m以上20m未満」などのような区切り</li> </ul> </li> <li>○ 平均値を用いる際の留意点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平均値は, データが集中しているところからずれることがあるんだね。(吹き出し)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 起こりやすさを数で表す〔1〕</li> </ul>

【算数】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧イラスト・写真・吹き出し等の活用
方法	キャラクター等の活用, 視覚資料の扱い, 図・表等の扱い, デジタルコンテンツの扱い

	キャラクター等の活用, 視覚資料の扱い, 図・表等の扱い	デジタルコンテンツの扱い 【コンテンツ数】
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクター等の活用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクター（双葉）や複数の児童の吹き出しを手がかりにして、問題解決の見通しや方法に気付かせるようにしている。</li> </ul> </li> <li>○ 視聴覚資料の扱い                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・操作活動をしている児童や実際の場面を示した写真を取り入れている。</li> </ul> </li> <li>○ 図・表等の扱い                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや表, 図形の書き込みの箇所を作っている。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表紙裏にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所には、Dマークを示している。 [85]</li> </ul>
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクター等の活用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクター（うさぎ）や複数の児童の吹き出しを手がかりにして、問題解決の見通しや方法に気付かせるようにしている。</li> </ul> </li> <li>○ 視聴覚資料の扱い                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・操作活動をしている児童や実際の場面を示した写真を取り入れている。</li> </ul> </li> <li>○ 図・表等の扱い                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや表, 図形の書き込みの箇所を作っている。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『たのしい算数』の使い方にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所には、デジタルコンテンツマークを示している。 [88]</li> </ul>
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクター等の活用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクター（複数のモンスター）や複数の児童の吹き出しを手がかりにして、問題解決の見通しや方法に気付かせるようにしている。</li> </ul> </li> <li>○ 視聴覚資料の扱い                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・操作活動をしている児童や実際の場面を示した写真を取り入れている。</li> </ul> </li> <li>○ 図・表等の扱い                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや表, 図形の書き込みの箇所を作っている。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対応する箇所にある二次元コードから、コンテンツにアクセスできる。 [33]</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクター等の活用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクター（どんぐり）や複数の児童の吹き出しを手がかりにして、問題解決の見通しや方法に気付かせるようにしている。</li> </ul> </li> <li>○ 視聴覚資料の扱い                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・操作活動をしている児童や実際の場面を示した写真を取り入れている。</li> </ul> </li> <li>○ 図・表等の扱い                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや表, 図形の書き込みの箇所を作っている。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学びの手引き」にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所には、まなびリンクマークを示している。 [57]</li> </ul>
啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクター等の活用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクター（えんぴつ）や複数の児童の吹き出しを手がかりにして、問題解決の見通しや方法に気付かせるようにしている。</li> </ul> </li> <li>○ 視聴覚資料の扱い                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・操作活動をしている児童や実際の場面を示した写真を取り入れている。</li> </ul> </li> <li>○ 図・表等の扱い                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや表, 図形の書き込みの箇所を作っている。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対応する箇所にある二次元コードから、コンテンツにアクセスできる。 [370]</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクター等の活用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクター（りす）や複数の児童の吹き出しを手がかりにして、問題解決の見通しや方法に気付かせるようにしている。</li> </ul> </li> <li>○ 視聴覚資料の扱い                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・操作活動をしている児童や実際の場面を示した写真を取り入れている。</li> </ul> </li> <li>○ 図・表等の扱い                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや表, 図形の書き込みの箇所を作っている。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次にあるURLからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所には、Webマークを示している。 [41]</li> </ul>

【算数】

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑨ 数学的な表現を用いて自分の考えを説明する活動の工夫
方法	学習の流れと説明したり話し合ったりする活動の具体例

	学習の流れ	説明したり話し合ったりする活動の具体例
		第4学年「図形の面積」L字型の図形の面積の求め方
東 書	○ 学びのとびら 「問題をつかもう。」 「自分の考えをかき表そう。」 「友だちと学ぼう。」 「ふり返ってまとめよう。」	○ 下のような形の面積を求めましょう。(方眼上にある) ① 求め方の計画を立てましょう。 ② 自分の考えを、図や式を使ってかきましょう。 ③ こうたさんの図を見て、こうたさんの考えを式に表しましょう。 ④ しほさんの式を見て、しほさんの考えを説明しましょう。 ⑤ はるとさんの図を見て、はるとさんの考えを説明しましょう。 ⑥ 3人の考えで、共通していることはどのようなことでしょうか。 ⑦ 今日の学習をふり返ってまとめましょう。
大 日 本	○ 算数の学び方 「問題をつかもう」 「自分で考えよう」 「学び合おう」 「まとめよう 使ってみよう」 「ふりかえろう」	○ 右のような形の面積を求めましょう。(辺の長さが与えられている) ① 図をノートにはって、自分の考えをかきましょう。 ② 自分の考えを発表しましょう。また、友達が考えた式や図を読み取って、どのような考えか説明しましょう。 ③ ゆいさんは、右の式で面積を求めました。どのように考えたのか説明しましょう。 ④ 考えの良いところやにているところについて話し合ひましょう。
学 図	○ 3つの学び方で学習を進めよう ・ 主体的な学び 「問題」 「解決したいな」「考えたいな」等 「比べたいな」「表したいな」等 「たしかめたいな」 「やってみたいな」 ・ 対話的な学び 「話し合いたいな」「説明したいな」 ・ 深い学び 「深めたいな」「つなげたいな」	○ 次の図形の面積は、何 $\text{cm}^2$ ですか。(方眼上にある) ① 次の4人の考えを説明しましょう。 ・ $1\text{cm}^2$ の正方形の数を数えます。 ・ 2つの長方形に分けて計算します。 ・ 大きい長方形を考えて、へこんだところをひきます。 ・ 動かして1つの長方形にします。 ② ①の考えで、いつでも使える考えはどれですか。
教 出	○ 学習の進め方 「問題をつかむ」 「自分の考えをもつ」 「みんなで話し合う」 「ふり返る」	○ 下の図形の面積を、必要なところの長さをはかって求めましょう。(方眼上にある) ① 図や式、言葉などを使って、面積の求め方を考えましょう。 ② ゆきさんの考えを図で説明しましょう。 ③ はるさんの考えを式で説明しましょう。 ④ かえでさんとみなとさんの考えを式で説明しましょう。 ⑤ 学習をふり返りましょう。
啓 林 館	○ 学習のすすめ方 「どんな問題かな」 「自分で考えよう」 「みんなで話しあおう」 「たしかめよう、ふりかえろう」	○ 次の図形の面積は、何 $\text{cm}^2$ ですか。(辺の長さが与えられていない) ① だいちさんの考えを説明してみましょう。 ② ひなたさんやかいとさんの考えを説明してみましょう。 ③ ①の図形の面積を、辺の長さをはかって求めましょう。 ④ ①のだいちさんの考え方で、面積を求めましょう。 ⑤ ①のひなたさんやかいとさんの考え方で、面積を求めましょう。
日 文	○ 学び方ガイド 「どんな問題かな」 「考えよう」 「学び合おう」 「ふり返ろう」	○ 右の図のような形の面積は、何 $\text{cm}^2$ ですか。(方眼上にある) ① 面積の求め方について自分の考えをかきましょう。 ② 考えを発表し、面積の求め方について話し合ひましょう。 ・ えいたさんはどのような考え方で面積を求めたのか、式を見て説明しましょう。 ・ ななみさんはどのような考え方で面積を求めたのか、図や式を見て説明しましょう。 ③ 今日の学習でわかったことをまとめましょう。

【算数】

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑩思考を深めるための記述の工夫
方法	ノート指導の扱いと記載例, ページ数

	ノート指導の扱い	記載例 (第3学年)	学年	ページ数
東 書	○ 特設ページ「算数マイノートをつくろう」「算数マイノートを学習に生かそう」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントや学習の感想を説明している。	○ 日づけ, <もんだい>, <自分の考え>, <友だちの考え>, <まとめ>, <学しゅうかんそう> ○ <学習感想>には, 自分の成長をたしかめるために, ・わかったこと ・次に考えてみたいこと ・できるようになったこと ・友だちの考えをきいて思ったことなどを書きます。	1	1
			2	4
			3	8
			4	8
			5	8
			6	8
大 日 本	○ 特設ページ「算数まなびナビ」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。	○ ①問題, ②<見通し><自分の考え>, ③<友だちの考え>, ④<まとめ>, ⑤問題, ⑥<ふりかえり> ○ <ふりかえりのポイント> ・新しくわかったこと ・友だちの考えのよかったところ ・べんりだな, すごいなと思ったこと ・次に考えてみたいこと	1	1
			2	2
			3	2
			4	2
			5	2
			6	2
学 図	○ 特設ページ「考えるノート」「まとめるノート」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。	○ 学習した日, 問題, めあて, <自分の考え>, ほかのほうほう, まとめ, <ふりかえり> ○ ふりかえりには, ・わかったこと ・気がついたこと ・できるようになったこと ・わからなかったこと ・もっとやりたいことを書いておこう。	1	0
			2	3
			3	3
			4	4
			5	3
			6	3
教 出	○ 特設ページ「友だちのノートを見てみよう」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。	○ 問題, ②はてな, <自分の考え>, <友だちの考え>, <まとめ>, ①なるほど, <感想> ○ <感想> ・新しくわかったこと ・がんばって考えたこと ・いいなと思った考え方 ・これまでの学習とつながられること ・②が①にかわったこと ・もっとやってみよう	1	0
			2	4
			3	4
			4	4
			5	4
			6	4
啓 林 館	○ 特設ページ「考えがよくわかる わくわく算数ノート」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。	○ 学習した日づけ, 問題, 学習のめあて, 自分の考え, 友だちの考え, 学習のまとめ, ふりかえり ○ <ふりかえり> 学習をふりかえって, わかったことやできるようになったことなどをかきましょう。	1	0
			2	2
			3	2
			4	2
			5	2
			6	2
日 文	○ 特設ページ「算数ノートをつくろう」「つなげよう! 学びとノート」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。	○ ①問題・めあて, ②見通し・考え, ③学び合い (友だちの考えや方法), ④まとめ・ふり返り ○ <ふり返り> 自分や友だちの考えのよかったところやもっと知りたいことをかく。	1	2
			2	4
			3	4
			4	4
			5	4
			6	2

## 理 科

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい理科
4	大 日 本	たのしい理科
11	学 図 関	みんなと学ぶ 小学校理科
17	教 出	未来をひらく 小学理科
26	信 教	楽しい理科
61	啓 林 館	わくわく理科

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標とまとめの示し方	単元のねらいの示し方, 単元末のまとめの扱い
		② 知識や概念の定着を図り, 理解を深めるための工夫	日常生活や社会との関連付けを図る内容の扱い, 補充的な学習や発展的な学習の分量, ものづくりの数
		③ 観察・実験の技能を習得させるための工夫	観察・実験の数, 観察・実験の準備と手順の扱い, 観察・実験における安全確保の工夫, アルコールランプの操作の扱い
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	興味・関心をもたせるための問題の数, 単元の導入の工夫
		⑤ 問題解決の力を育成するための工夫	学習の進め方の示し方, 問題解決の過程の示し方, 課題発見の工夫, 問題解決の力の育成の扱い
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 単元や資料等の配列	判型, ページ数, 単元数, 単元以外の具体的内容
		⑦ 社会の変化に伴う課題への対応	防災・減災に関する内容の扱い, プログラミングの体験に関する内容の扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用の工夫	巻頭・巻末等の資料の扱い, イラスト・写真・図表等の示し方の工夫, キャラクターやマーク等の活用
(オ)	言語活動の充実	⑨ 観察・実験の結果を整理し, 考察する学習活動の工夫	考察文の記述例, 考察文の要素
		⑩ 科学的な言葉や概念を使用して自分の考えを論述する活動の工夫	話し合いや説明の活動を促す工夫, 話し合いの具体例

【理科】

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	①単元の目標とまとめの示し方
<b>方法</b>	単元のねらいの示し方, 単元末のまとめの扱い

	単元のねらいの示し方	単元末のまとめの扱い
東 書	○ 「～考えていきましょう。」等の呼びかけの形で問題を提示している。また、複数のイラストが、対話形式で、学習のめあてや視点を提示している。	○ 単元末に、「たしかめよう」を設け、学習内容をふり返り、知識・技能の定着を図るようにしている。また、どこをふり返ればよいか分かるように、ページ番号が示されている。単元によって、最後に「学びをつなごう」を設けている。
大 日 本	○ 生活の中での事象を示し、「～気付いたことを話し合しましょう。」と呼びかけの形で問題を提示している。また、キャラクターが、学習のめあてや視点を提示している。	○ 単元末に学習内容を見直す「たしかめよう」や、日常生活との関係を考える「学んだことを生かそう」を設け、授業だけでなく日常生活においても学習内容を意識させるようにしている。
学 図	○ 「～を調べていきましょう。」と呼びかけの形や「～でしょうか。」と問いかけの形で問題を提示している。また、単元での学習の流れを、写真を使って提示している。	○ 単元末に「まとめてみよう」を設け、知識・技能の定着を図るようにしている。また、「できるようになったこと」を設けて単元でできるようになったことを振り返るようにしている。単元によって、最後に「活用 学びを生かそう」を設けている。
教 出	○ イラストの吹き出しによる「～かな？」等の問いかけの形で問題を提示している。また、これまでの学習を系統的に想起させたり、生活の中での事象を想起させたりしている。	○ 単元末に「確かめ」を設け、単元で学習した言葉を使って、文章で説明させるようにしている。また、どこをふり返ればよいか分かるように、ページ番号が示されている。
信 教	○ 「～を調べてみましょう。」等の呼びかけの形や「～でしょうか。」等の問いかけの形で問題を提示している。また、イラストの会話の中に、「～のかな。」等の問いかけの形で問題を提示している。	○ 単元末に「まとめよう」を設け、理科用語を使うとともに、図、グラフ、表などを用いて単元で学習した内容がまとめられている。
啓 林 館	○ 「学習のめあて」という項目を設定し、「～を調べよう。」「～を考えよう。」等の呼びかけの形で学習のめあてを提示している。また、生活の中での事象を想起させ、単元のねらいにつなげている。	○ 単元末の「ふり返ろうまとめノート」では、まとめの例が示され、「新しく学習した言葉」では、理科用語が示され、自己チェックができるマークを設けている。また、「たしかめよう」、「活用しよう」では、基本・活用・応用の問題が示されている。

## 【理科】

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	②知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫
<b>方法</b>	日常生活や社会との関連付けを図る内容の扱い、補充的な学習や発展的な学習の分量、ものづくりの数

	日常生活や社会との 関連付けを図る内容の扱い	学 年	補充的な学習 (ページ数)	発展的な学習 (ページ数)	ものづくりの 数
東 書	○ 「理科のひろば」で、学習内容が 実生活・実社会に関連付けられている 内容を掲載している。また、「学 びを生かして深めよう」で、日常生 活での現象を取り上げ、説明させて いる。	3	10・1/2	3/4	10
		4	14	1・3/4	3
		5	13	2・3/4	6
		6	12	2・3/4	4
大 日 本	○ 「りかのたまたまばこ」で学習内容 が実生活・実社会に関連付けられて いる内容を掲載している。「学んだ ことを生かそう」では、日常での現 象を取り上げ、説明させている。	3	21・1/4	4・1/4	15
		4	17・3/4	9・1/4	7
		5	18	4・3/4	6
		6	16・1/4	10・1/4	3
学 図	○ 「しりょう」において、学習内容 が仕事や生活に生かされている様 子を掲載している。「調べてみよう」 では、日常生活での事象を取り上げ て説明させている。	3	6	2・1/2	14
		4	6・3/4	7・1/4	4
		5	10・3/4	7	4
		6	10・3/4	5・3/4	2
教 出	○ 「しりょう」や「科学のまど」に おいて、学習内容が実生活・実社会 に関連付けられている内容を掲載 している。「学びをひろげよう」で は、日常生活での事象を取り上げて 説明させている。	3	11・1/2	3	10
		4	12・1/4	10	8
		5	9・1/4	8	8
		6	9	10・1/4	1
信 教	○ 「しりょう」において、科学者の 発明や学習内容が実生活・実社会に 関連付けられていることを意識さ せる資料を掲載している。	3	6・1/2	4・3/4	13
		4	8・1/4	5	6
		5	8・1/2	5・1/4	9
		6	7・1/2	5・1/4	4
啓 林 館	○ 「理科の広場」や「つなげよう」 において、学習内容が実生活・実社 会に関連付けられている内容を掲 載している。また、「活用しよう」 で、日常生活での現象を取り上げ、 説明させている。	3	10	2・1/2	8
		4	9	5・1/2	4
		5	11	2	8
		6	11	15・3/4	4

(注) 1 ページ未満の場合は、約 1/4, 1/2, 3/4 ページとしてカウントしている。

【理科】

観点	(ア) 基礎・基本の定着	
視点	③観察・実験の技能を習得させるための工夫	
方法	観察・実験の数，観察・実験の準備と手順の扱い，観察・実験における安全確保の工夫，アルコールランプの操作の扱い	

	観察・実験の数		観察・実験の準備と手順の扱い	観察・実験における安全確保の工夫	アルコールランプの操作の扱い
	学年	数			
東書	3	32	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備物の表記がある。</li> <li>○ フローチャートと番号で手順を示すとともに、写真や図を用いて説明している。</li> <li>○ 器具の使い方を巻末に掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全に対して配慮が必要な場面では、その箇所に、「きけん」マークを付し、意味や対処の仕方を赤文字で強調している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末「アルコールランプの使い方」において、1ページで示している。</li> <li>○ 点検，着火，消火の手順を写真9点で示している。</li> <li>○ 「きけん」マークで4項目を示している。</li> </ul>
	4	35			
	5	24			
	6	28			
大日本	3	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備物の表記はない。</li> <li>○ 番号をつけて手順を示し、写真や図を用いて説明している。</li> <li>○ 器具の使い方を巻末に掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全に対して配慮が必要な箇所に「注意」マークを付し、赤線で枠を設け、意味や対処の仕方を赤文字で強調している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末「使い方を覚えよう」において、1ページで示している。</li> <li>○ 点検，着火，消火の手順を写真4点イラスト4点で示している。</li> <li>○ 「注意」マークで2項目を示している。</li> </ul>
	4	41			
	5	21			
	6	21			
学図	3	35	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備物の表記がある。</li> <li>○ 番号をつけて手順を示し、写真や図を用いて説明している。</li> <li>○ 手順と合わせて、使う器具について同ページや巻末に掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 器具や薬品の取り扱いで事故のおそれのある箇所に、「注意」マークを付し、意味や対処の仕方を赤文字で強調している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末「加熱器具」において、1ページで示している。</li> <li>○ 点検，着火，消火の手順を写真8点で示している。</li> <li>○ 「注意」マークで4項目を示している。</li> </ul>
	4	38			
	5	21			
	6	30			
教出	3	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備物の表記がある。</li> <li>○ 番号をつけて手順を示し、写真や図を用いて説明している。</li> <li>○ 手順と合わせて、使う器具について同ページや巻末に掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全面から指導すべきことは、「注意」マークや「危険」マークを付し、意味や対処の仕方を赤文字で強調している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「理科室で安全に実験しよう」において、半ページで示している。</li> <li>○ 点検，着火，消火の手順を写真4点で示している。</li> <li>○ 「注意」マークで2項目を示している。</li> </ul>
	4	34			
	5	27			
	6	25			
信教	3	44	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備物の表記はない。</li> <li>○ 番号をつけて手順を示し、写真や図を用いて説明している。</li> <li>○ 手順と合わせて、初めて使う器具について同ページに掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全に対して配慮が必要な場面に、「注意」マークを付し、赤線で枠を設け、意味や対処の仕方を強調している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ものの体積と温度」において、半ページで示している。</li> <li>○ 点検，着火，消火の手順を写真5点で示している。</li> <li>○ 「注意」マークで4項目を示している。</li> </ul>
	4	58			
	5	37			
	6	58			
啓林館	3	29	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準備物の表記がある。</li> <li>○ 番号をつけて手順を示し、写真や図を用いて説明している。</li> <li>○ 手順と合わせて、使う器具について同ページや巻末に掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全の徹底のため、「注意」マークを付し、意味や対処の仕方を赤文字で強調している。また、「換気」や「やけど」等のマークを付している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末「加熱器具の使い方」において、半ページで示している。</li> <li>○ 点検，着火，消火の手順を写真2点とイラスト4点で示している。</li> <li>○ ガスライターの代わりにマッチを使ってもよいことを示している。</li> </ul>
	4	34			
	5	23			
	6	26			



<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	興味・関心をもたせるための問題の数，単元の導入の工夫

	興味・関心をもたせるための問題の数		第3学年「身近な自然の観察」における単元の導入の工夫			
	学年	問題数	単元名	単元の導入のための写真やイラストの内容	単元の導入の問いかけ	キャラクターの吹き出し内容と数
東書	3	29	春のしぜんにとび出そう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 野原で多様な植物やチョウなどと児童が映っている見開き写真</li> <li>○ 児童が話し合うイラスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 春に見られる生き物のすがたについて，調べる問題をつかみ，いろいろな生き物をくわしくかんさつしましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 色や形をよく見てこようと思います。大きさも調べると，よいと思います。(他8)</li> </ul>
	4	37				
	5	22				
	6	38				
大日本	3	26	しぜんのかんさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校庭で多様な植物やチョウ，魚などと児童が描かれた見開きイラスト</li> <li>○ 児童が伝え合ったり，話し合ったりするイラストや生き物の写真</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 春になって，植物や動物などの生きものがたくさん見られるようになりまし。校庭で生きものをさがして，気づいたことを話し合しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ こうやって色，形，大きさに分けてみると…。(他11)</li> </ul>
	4	27				
	5	21				
	6	29				
学図	3	30	しぜんのかんさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アブラナを虫眼鏡で観察している児童が映っている見開き写真と児童が観察している写真</li> <li>○ 多様な場所の植物と児童が映っている写真や人物イラスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 春になり，校庭や野原にはいろいろな花がさき，虫や鳥なども見られるようになりました。どのようなところに，どのような生き物が見られるでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本当に同じ植物なのかな。他にどういうところをみればくらべられるかな。(他4)</li> </ul>
	4	35				
	5	26				
	6	35				
教出	3	34	生き物をさがそう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校庭のタンポポを観察する児童が映っている1ページの写真やシロツメクサ，モンシロチョウなどの写真</li> <li>○ 児童が話し合っているイラスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 春になって，校庭や野原には，タンポポなどの花がたくさん見られるようになりました。タンポポなどの植物のすがたをくわしく見ましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ くわしく見た植物は，どんな形や色，大きさをしていましたか？(他4)</li> </ul>
	4	35				
	5	22				
	6	30				
信教	3	36	身近なしぜんのかんさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校周辺の春の自然の様子と児童が動植物を観察している見開き写真及びイラスト</li> <li>○ 多様な植物や動物のイラストや人物イラスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あたたかくなってきました。学校のまわりや近くの野原に出かけて，身のまわりの植物や動物のようすを調べましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろいろな花がさいていたね。色や形，大きさをくわしく調べたいな。(他4)</li> </ul>
	4	46				
	5	33				
	6	53				
啓林館	3	30	生き物をさがそう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が植物を観察している見開き写真や動物・植物に分けたイラスト</li> <li>○ 多様な植物や動物を児童が観察しているイラスト，児童が話し合っている写真等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あたたかくなってきました，いろいろな花がさき，虫が見られるようになりました。校庭や野原に出かけ，生き物を見つけてみましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大きさはどれぐらいだったかな。どんな形や色だったかな。(他6)</li> </ul>
	4	35				
	5	27				
	6	35				

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑤問題解決の力を育成するための工夫
<b>方法</b>	学習の進め方の示し方, 問題解決の過程の示し方, 課題発見の工夫, 問題解決の力の育成の扱い

	学習の進め方の示し方	問題解決の過程の示し方	課題発見の工夫	問題解決の力の育成の扱い																
			第4学年「空気や水」	第5学年「植物の発芽と成長」における「条件に目を向けて調べる」																
東書	○ 巻頭の「理科の学び方」で示している。	①問題をつかむ ②調べる ・予想しよう ・計画しよう ・観察・実験 ・結果 ③まとめる ・考察しよう ・まとめ ・学びを生かして深めよう ・次の問題を見つけよう	○ 単元のはじめに筒に玉を詰めて飛ばす様子のイラストや写真, 吹き出し, 文を掲載している。	○ 変える条件, 変えない条件を区分して条件制御の視点を示すとともに, 表中に結果の見通し, 結果を位置付けている。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>変える条件</td> <td colspan="2">変えない条件</td> <td rowspan="2">結果の見通し</td> <td rowspan="2">結果</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>温度</td> <td>空気</td> </tr> <tr> <td>アあたえる</td> <td rowspan="2">同じ温度の場所に置く。</td> <td rowspan="2">おいておく。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>イあたえない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	変える条件	変えない条件		結果の見通し	結果	水	温度	空気	アあたえる	同じ温度の場所に置く。	おいておく。			イあたえない		
変える条件	変えない条件		結果の見通し	結果																
水	温度	空気																		
アあたえる	同じ温度の場所に置く。	おいておく。																		
イあたえない																				
大日本	○ 巻頭の「理科の学び方」で示している。	①問題を見つけよう ②予想しよう ③計画を立てよう ④調べよう ⑤記録しよう ⑥考えよう ⑦まとめよう	○ 単元のはじめに大きなビニル袋に空気を閉じ込めて活動する様子の写真や吹き出し, 文を掲載している。	○ 問題解決の過程に沿ったノート記述例を示し, 変える条件, 変えない条件を区分して条件制御の視点を示すとともに, 表中に結果を位置付けている。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>㉗</td> <td>㉘</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>あり</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>空気</td> <td colspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>温度</td> <td colspan="2">同じ温度のところ (約 20℃)</td> </tr> <tr> <td>結果</td> <td>発芽した。</td> <td>発芽しなかった。</td> </tr> </table>		㉗	㉘	水	あり	なし	空気	あり		温度	同じ温度のところ (約 20℃)		結果	発芽した。	発芽しなかった。	
	㉗	㉘																		
水	あり	なし																		
空気	あり																			
温度	同じ温度のところ (約 20℃)																			
結果	発芽した。	発芽しなかった。																		
学図	○ 巻頭の「科学の芽を育てよう」で示している。	①問題を見つける ②予想する ③計画する ④調べる ⑤整理する ⑥結果から考える ⑦まとめる ⑧生かす	○ 単元のはじめに大きなビニル袋に空気を閉じ込めて活動する様子の写真や文を掲載している。	○ 問題解決の過程に沿ったノート記述例を示し, 調べる条件, そろえる条件を区分して条件制御の視点を示すとともに, 表中に結果の予想を位置付けている。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>㉗</td> <td>㉘</td> </tr> <tr> <td>調べる条件</td> <td>水</td> <td>水をあたえない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">そろえる条件</td> <td>温度</td> <td>教室 (℃)</td> </tr> <tr> <td>空気</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>結果の予想</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		㉗	㉘	調べる条件	水	水をあたえない	そろえる条件	温度	教室 (℃)	空気	あり	結果の予想				
	㉗	㉘																		
調べる条件	水	水をあたえない																		
そろえる条件	温度	教室 (℃)																		
	空気	あり																		
結果の予想																				
教出	○ 巻頭の「学習の進め方」で示している。	・見つけよう ・はてな?問題 ・予想しよう ・計画しよう ・観察・実験 ・結果から考えよう ・結論 ・学びを広げよう	○ 単元のはじめに空気でつぼうに空気や水を閉じ込めて玉を飛ばす様子の写真や文を掲載している。	○ 問題解決の過程に沿ったノート記述例を示す中で, 変える条件, 同じにする条件を区分して条件制御の視点を示している。 また, 表の外に結果の見通しを位置付けている。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td>変える条件</td> <td>同じにする条件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">空気</td> <td>㉗あたえる</td> <td rowspan="2">空気以外 (温度, 水, 明るさなど)</td> </tr> <tr> <td>㉘あたえない</td> </tr> </table>		変える条件	同じにする条件	空気	㉗あたえる	空気以外 (温度, 水, 明るさなど)	㉘あたえない									
	変える条件	同じにする条件																		
空気	㉗あたえる	空気以外 (温度, 水, 明るさなど)																		
	㉘あたえない																			

【理科】

信 教	○ 巻頭の「理科の学習の進め方」で示している。	①自然とふれ合おう ②問題を見つけよう ③予想をもとう ④予想の確かめ方を考えよう ⑤確かめよう ⑥結果を記録しよう ⑦いえること・いえないことを考えよう ⑧まとめよう	○ 単元のはじめに水鉄砲で水を飛ばしたり空気や水を閉じ込めて押ししたりする様子の写真や文を掲載している。	○ 問題解決の過程に沿ったノートの記述例を示すとともに、あたえるものと、あたえないものを区分して条件制御の視点を示している。 <table border="1" data-bbox="949 280 1428 414" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">⑦</td> <td style="text-align: center;">⑧</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td style="text-align: center;">あたえる</td> <td style="text-align: center;">あたえない</td> </tr> <tr> <td>空気</td> <td style="text-align: center;">あり</td> <td style="text-align: center;">あり</td> </tr> <tr> <td>温度</td> <td style="text-align: center;">教室の温度</td> <td style="text-align: center;">教室の温度</td> </tr> </table>		⑦	⑧	水	あたえる	あたえない	空気	あり	あり	温度	教室の温度	教室の温度
	⑦	⑧														
水	あたえる	あたえない														
空気	あり	あり														
温度	教室の温度	教室の温度														
啓 林 館	○ 巻頭の「自然の不思議を、とき明かそう！」で示している。	①見つける ②調べる <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題をつかもう</li> <li>・問題</li> <li>・予想と計画</li> <li>・観察・実験</li> <li>・結果</li> <li>・結果から考えよう</li> <li>・まとめ</li> <li>・もっと知りたい</li> </ul> ③ふり返る	○ 単元のはじめに大きなビニル袋に空気を閉じ込めて活動する様子の写真や文を掲載している。	○ 問題解決の流れに沿ったノート記述例を示す中で、変える条件、同じにする条件を区分して条件制御の視点を示すとともに、表中に結果の予想、結果を位置付けている。 <table border="1" data-bbox="949 638 1428 862" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>変える条件</th> <th>結果の予想</th> <th>結果 (発芽した数)</th> <th>同じにする条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>☑水をあたえる。</td> <td>すべて発芽する。</td> <td></td> <td rowspan="2">○同じ温度の室内に置く。 ○空気にふれる。</td> </tr> <tr> <td>☒水をあたえない。</td> <td>すべて発芽しない。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	変える条件	結果の予想	結果 (発芽した数)	同じにする条件	☑水をあたえる。	すべて発芽する。		○同じ温度の室内に置く。 ○空気にふれる。	☒水をあたえない。	すべて発芽しない。		
変える条件	結果の予想	結果 (発芽した数)	同じにする条件													
☑水をあたえる。	すべて発芽する。		○同じ温度の室内に置く。 ○空気にふれる。													
☒水をあたえない。	すべて発芽しない。															

(注)「問題解決の過程」欄については、順序が明確に示されているものには番号を付している。

(注)「問題解決の能力の育成の扱い」欄の表については、掲載されているものの一部を示している。

【理科】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥単元や資料等の配列
方法	判型, ページ数, 単元数, 単元以外の具体的内容

	判型	学年	ページ数	単元数			単元以外	第6学年の単元以外の具体的内容 タイトル名(数)	
				計	A区分	B区分			A B区分
東書	A	3	176	16	6	9	1	5	○ 年間の学習ガイダンスを提示(1) 「いろいろな角度から, 考えてみよう。」 ○ 問題解決の流れと学習のポイントの提示(1) 「理科の学び方」 ○ 環境との関わりを考える事例を提示(1) 「地球と私たちの暮らし」 ○ 他単元や下学年の学習内容を系統的に整理(4) 「学びをつなごう」 ○ 自由研究の計画の立て方や調べ方, まとめ方の例示(1) 「私の研究」 ○ 資料(実験器具の使い方, 資料の集め方)(1) 「理科の調べ方を身につけよう」 ○ 1年間の学習のまとめと中学校理科の学習内容の紹介(1) 「学んだことをふり返ろう！」
		4	212	17	5	12	0	9	
		5	180	10	3	7	0	9	
		6	220	11	4	6	1	10	
大日本	A B	3	192	15	7	8	0	9	○ 問題解決の流れと学習のポイントの提示(1) 「理科の学び方」 ○ 自由研究のテーマ設定, 計画の立て方, 調べ方, まとめ方, 発表の仕方の例示(1) 「自由研究」 ○ 他学年の学習内容を整理(1) 「学びをリンク！」 ○ ノートの書き方を例示(1) 「理科のノートの書き方」 ○ 調べ方や学習の深め方についての紹介(2) 「コンピュータで調べよう・図書館の本で調べよう」「科学館・博物館に行ってみよう」 ○ 理科室及び実験器具の使い方の例示(2) 「私たちの理科室」「使い方を覚えよう」 ○ 1年間の学習のまとめと演習問題(2) 「6年のまとめ」「チャレンジ問題」 ○ 中学校理科の学習内容の紹介(1) 「中学生になったら」
		4	222	17	5	12	0	11	
		5	190	10	3	7	0	12	
		6	222	13	4	9	0	11	
学図	A B	3	180	16	7	9	0	6	○ 年間の学習ガイダンスを提示(1) 「6年生で学ぶこと」 ○ 第6学年の問題解決の力を提示(1) 「6年の科学の芽を育てよう」 ○ 自由研究のテーマ設定, 計画の立て方, 調べ方, まとめ方, 発表の仕方の例示(1) 「わたしの自由研究」 ○ 科学者の伝記の紹介(1) 「科学者の伝記を読もう」 ○ 理科に必要な技能や資料について, 見つける, 伝える・聞く, 記録する, 調べる, 実験器具の使い方整理して提示(1) 「考えよう調べよう」 ○ 1年間の学習のまとめ(1) 「6年生で学んだこと」
		4	204	17	5	12	0	6	
		5	192	12	3	9	0	6	
		6	228	11	4	7	0	6	

【理科】

教出	A 4 変形	3	200	14	7	7	0	7	○ 第5学年の学習の振り返り（1） 「5年で学んだこと」 ○ 問題解決の流れと学習のポイントの提示（1） 「学習の進め方」 ○ 研究のテーマ設定，調べ方，作り方，まとめ方，発表の仕方の例示（1） 「わたしの研究」
	210 mm	4	240	17	5	12	0	9	○ 科学研究の最前線や最先端の技術の紹介（1） 「広がる科学の世界」
	× 272 mm	5	228	13	3	10	0	9	○ 実験器具の使い方や調べ方（2） 「けんび鏡の使い方」「電源装置の使い方」 ○ 第6学年の学習の振り返り（1） 「6年で学んだこと」 ○ 研究者の紹介（1） 「科学の研究者たち」
		6	236	11	4	7	0	10	○ 生き物と環境との関わりの提示（1） 「環境ミニずかん」 ○ 中学校理科の学習の紹介（1） 「もうすぐ中学校」
信教	A B	3	162	14	6	8	0	4	○ 問題解決の流れと学習のポイントの提示（1） 「理科の学習の進め方」 ○ 自由研究のテーマ設定，計画の立て方，調べ方，まとめ方，発表の仕方の例示（1） 「やってみよう 自由研究」
		4	186	16	5	11	0	3	
		5	152	11	3	8	0	3	
		6	180	10	4	6	0	2	
啓林館	A B	3	179	15	7	8	0	7	○ 問題解決の流れと学習のポイントの提示（1） 「自然の不思議を解き明かそう！」 ○ 他単元の学習内容を整理（1） 「これまでの学習をつなげよう」 ○ 自由研究のテーマ設定，計画の立て方，進め方，まとめ方，発表の仕方の例示（1） 「自由研究」
		4	203	17	5	12	0	8	○ 薬品や実験器具の使い方の例示（1） 「みんなで使う理科室」 ○ 1年間の学習のまとめ（1） 「6年の理科をふり返ろう～理科の見方～」
		5	195	11	3	8	0	8	○ 調べる，表す，算数のまど，器具の使い方，ものづくり広場をまとめることによる，理科に必要な技能や資料を提示（1） 「フクロウ博士の資料室」
		6	219	10	4	6	0	8	○ 中学校理科の学習の紹介（1） 中学校の理科に向けて ○ 第6学年の問題解決の力と科学者のメッセージや具体的事例を提示（1） 「理科の考え方をはたらかせよう」

(注) 「単元の数」の「A区分」や「B区分」は，学習指導要領の「A物質・エネルギー」，「B生命・地球」の内容を示している。また，「AB区分」は「A物質・エネルギー」「B生命・地球」を併せた内容を示し，「単元以外」は年間の学習ガイダンス，自由研究，資料等を示している。

観点		(ウ) 内容の構成・配列・分量
観点	⑦社会の変化に伴う課題への対応	
方法	防災・減災に関する内容の扱い，プログラミングの体験に関する内容の扱い	
	防災・減災に関する内容の扱い	プログラミングの体験に関する内容の扱い
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「私たちの暮らしと災害」，「環境の変化に対応する」といった小単元を設けている。</li> <li>○ 「理科のひろば」において，防災・減災に関する内容を扱っている。</li> <li>○ 「理科室の使い方」において，地震が起きた時の対処についての記述がある。</li> </ul>	単元：第6学年「電気と私たちの暮らし」 内容：「人感センサー」を使い，人が近づくと明かりがつき，しばらくすると消えるプログラムを考え，シミュレーションしたり，実際に体験したりするプログラミング体験例を紹介している。また，「人感センサー」，「温度センサー」，「光センサー」とプログラミングを組み合わせたものづくりを紹介している。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災マークで関係する箇所を示したり，巻末資料に「災害に備えようブック」を掲載したりしている。</li> <li>○ 「りかのたまてばこ」，「深めよう」や単元末の問題において，防災・減災に関する内容を扱っている。</li> <li>○ 「理科室のきまり」において，地震が起きた時の対処についての記述がある。</li> </ul>	単元：第6学年「私たちの生活と電気」 内容：「明るさセンサー」，「人感センサー」を使い，発光ダイオードに明かりをつける二つのプログラム（「暗いとき」と「暗くなって人が通ったとき」）を考え，実際に体験するプログラミング体験例を紹介している。
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災マークで関係する箇所を示している。</li> <li>○ 「川と災害」，「火山の噴火や地震と私たちの暮らし」といった小単元を設けている。</li> <li>○ 「しらべてみよう！」，「資料」において，防災・減災に関する内容を扱っている。</li> <li>○ 「理科室の使い方」において，地震が起きたときの対処についての記述がある。</li> </ul>	単元：第6学年「電気と私たちの生活」 内容：LEDを点滅させる二つのプログラム（1回点滅と4回点滅）を考え，シミュレーションを使って体験するプログラム体験例を紹介している。また，「動きに反応するセンサー」，「明るさに反応するセンサー」，「温度に反応するセンサー」を紹介している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「台風と災害」，「川と災害」，「地震や火山と災害」といった小単元を設けている。</li> <li>○ 「資料」や単元末の問題において，防災・減災に関する内容を扱っている。</li> </ul>	単元：第6学年「電気の利用」 内容：ネコの絵が画面の中で鳴きながら半周動くプログラム例や実際の信号機の動作を再現したミニ信号機を動作させるシミュレーションやプログラム体験例を紹介している。また，「光センサー」，「温度センサー」，「赤外線センサー」，「ジャイロセンサー」を紹介している。
信教	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「しりょう」において，防災・減災に関する内容を扱っている。</li> <li>○ 「調査」として，調べ学習を設けている。</li> </ul>	単元：第6学年「電気の利用」 内容：「人がいることを感知するセンサー」を使い，人がいるときに明かりがつき，人がいないときに明かりが消えるプログラムを考え，実際に体験するプログラム体験例を紹介している。また，「人感センサー」，「温度センサー」，「光センサー」を紹介している。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地面や水とわたしたちの暮らし」，「風や雨とわたしたちの暮らし」，「川とわたしたちの暮らし」，「火山や地震とわたしたちの暮らし」という小単元を設けている。</li> <li>○ 「つなげよう」や単元末の問題において，防災・減災に関する内容を扱っている。</li> <li>○ 「みんなで使う理科室」において，地震が起きたときの対処についての記述がある。</li> </ul>	単元：第6学年「発電と電気の利用」 内容：「人感センサー」と「明るさセンサー」を使い，人が近づいて暗かったら明かりがつくプログラムをシートとシールを用いて考え，シミュレーションしたり，実際に体験したりするプログラム体験例を紹介している。また，「人感センサー」，「温度センサー」を使って実際に体験するプログラミング体験例を紹介している。

【理科】

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用の工夫
<b>方法</b>	巻頭・巻末等の資料の扱い，イラスト・写真・図表等の示し方の工夫，キャラクターやマーク等の活用

	巻頭，巻末等の資料の扱い	イラスト・写真・図表等の示し方の工夫	キャラクターやマーク等の活用
<b>東書</b>	○ 各学年の巻頭には、「理科の学び方」で，学習の進め方の資料を掲載している。巻末では，1年間の学習のふり返りの他，「理科の調べ方を身につけよう」，「こん虫の切り紙（第3学年）」等の学年に応じた資料を掲載している。	○ 各単元の冒頭では写真を使用しており，複数の写真を並べながら自然事象を提示している。子供のイラストが吹き出しで，疑問を投げかけたり，対話をしたりしている様子を掲載している。	○ 「問題」，「観察」，「実験」，「まとめ」をあらかじめマークを設定し，活動のねらいを明確にしている。全学年で同じキャラクターが登場し，「理科のミカタ」と題した枠内に「理科の見方・考え方」を働かせるための学習の進め方や活動のヒントを示している。
<b>大日本</b>	○ 各学年の巻頭には，「理科の学び方」で学習の進め方の資料を掲載している。巻末では，1年間の学習のまとめの他，次学年の学習例の紹介，「使い方を覚えよう」，「しぜんのかんさつ（第3学年）」等の学年に応じた資料を掲載している。	○ 各単元の冒頭では写真を使用して自然事象を提示している。子供のイラストが吹き出しで，自分の考えをもったり，対話をしながら学習したりしている様子を掲載している。	○ 「問題」，「予想しよう」，「計画を立てよう」，「観察」，「実験」，「わかったこと」等のマークを設定し，学習の過程を明確にしている。学年ごとに設定されたキャラクターが，単元の冒頭で「理科の見方」につながる着目点を示している。
<b>学図</b>	○ 各学年の巻頭には，「科学の芽を育てよう」で，学習の進め方等の資料を掲載している。巻末では，科学者の紹介と「見つける」，「伝える・聞く」，「実験器具の使い方」等の資料や各学年で学んだことのまとめを掲載している。	○ 各単元の冒頭では写真を使用して自然事象を提示している。子供のイラストと考えることを促したり，考える視点を与えたりする吹き出しを掲載している。	○ 「問題を見つけよう」，「予想」，「計画」，「観察・実験」，「結果」，「考察」，「わかったこと」等の各マークを示し，学習過程を明確にしている。学年ごとにキャラクターが設定され，単元の冒頭で，その単元で働かせる「理科の見方・考え方」を示している。
<b>教出</b>	○ 各学年の巻頭には，科学の専門家の「メッセージ」の他，「学習の進め方」で理科を学びの有用性や学習の進め方の資料を掲載している。巻末では，一年間の学習のふり返りや科学者の紹介の他，生き物，天体，気象，環境のミニ図鑑等を掲載している。	○ 各単元の冒頭では写真を使用して自然事象を提示している。子供のイラストが，疑問，気づき，願いをもつ様子が掲載されている。人体の実物大のイラストを掲載している。	○ アニメキャラクターが「問題（はてな？）」，「観察・実験」，「結論（わかった！）」等の各マークを示し，学習場面を明確にしている。また，別のアニメキャラクターが，問題解決の過程で必要となる支援を吹き出しで示している。

【理科】

<p>信 教</p>	<p>○ 各学年の巻頭には、「理科の学習の進め方」で学習の進め方の資料を掲載している。また、第3学年の巻頭では観察の仕方、第4学年の巻頭では記録の書き方、第5学年の巻頭では生命の誕生や花のつくりと実の学習の準備についての資料を掲載している。</p>	<p>○ 各単元の冒頭では写真を使用して自然事象を提示している。子供のイラストが吹き出しで、自分の考えをもったり、疑問を抱いたり、対話したりしながら学習する様子を掲載している。</p>	<p>○ 「?」、「問題」、「考えてみよう」、「実験」、「まとめよう」等の各マークを示し、問題を見つける場面や自分の考えをもつ場面、学習内容をまとめる場面等、学習の過程を明確にしている。</p>
<p>啓 林 館</p>	<p>○ 各学年の巻頭には、「自然の不思議をとき明かそう!」で学習の進め方の資料を掲載している。巻末では、「調べる」、「算数のまど」、「器具の使い方」や「理科の考え方ははたらかせよう」等の資料の他、「植物たんけんカード(第3学年)」等を掲載している。</p>	<p>○ 各単元の冒頭では写真を使用して自然事象を提示している。自分の考えや対話的な活動の様子を表す子供のイラストを掲載している。単元末の「つなげよう」では、大きな写真を掲載している。</p>	<p>○ 「問題」、「実験」、「結果から考えよう」、「まとめ」、「もっと知りたい」等の各マークを示し、学習過程を明確にしている。全学年で同じキャラクターが登場し、学習の進め方や活動のヒント、理科の見方を示している。</p>



<b>観点</b>	(才) 言語活動の充実
<b>視点</b>	⑨観察・実験の結果を整理し、考察する学習活動の工夫
<b>方法</b>	考察文の記述例、考察文の要素

	第4学年「金属、水、空気と温度」における考察文の記述例			考察文の要素
	空気	水	金属	
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「空気は、あたためられると、体積が大きくなり、冷やされると、体積が小さくなります。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「水は、あたためられると、体積が大きくなり、冷やされると、体積が小さくなります。」</li> <li>○ 「温度による水の体積の変わり方は、空気にくらべて、ずっと小さいです。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「金ぞくは、熱せられると、体積が大きくなり、冷やされると、体積が小さくなります。」</li> <li>○ 「温度による体積の変わり方が大きい順にならべると、空気、水、金ぞくの順になります。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関連付けられた結論の記述</li> <li>○ 比較に基づく特徴の記述</li> <li>○ 既習内容との比較を用いた記述</li> </ul>
大日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「空気の温度が変わると、空気の体積が変わる。」</li> <li>○ 「空気はあたためられると体積が大きくなり、冷やされると体積が小さくなる。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「水も空気と同じように、あたためられると体積が大きくなり、冷やされると体積が小さくなる。」</li> <li>○ 「水の体積の変化は、空気にくらべて小さい。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「金ぞくも、空気や水と同じように、あたためられると体積が大きくなり、冷やされると体積が小さくなる。」</li> <li>○ 「金ぞくの体積の変化は、空気や水にくらべてとても小さい。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関連付けられた結論の記述</li> <li>○ 比較に基づく特徴の記述</li> <li>○ 既習内容との比較を用いた記述</li> </ul>
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「空気は温められて温度が高くなると体積がふえ、冷やされて温度が低くなると体積がへる。」</li> <li>○ 「よう器を湯に入れるとせんが飛び出すのは、よう器の中の空気が温められることにより体積がふえ、せんを内側からおすからである。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「水も空気と同じように、温められて温度が高くなると体積がふえ、冷やされて温度が低くなると体積がへる。」</li> <li>○ 「水の体積の変わり方は、空気にくらべると、小さい。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「金ぞくも、温められて温度が高くなると体積がふえ、冷やされて温度が低くなると体積がへる。」</li> <li>○ 「金ぞくの体積の変わり方は、空気や水にくらべると、とても小さい。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関連付けられた結論の記述</li> <li>○ 比較に基づく特徴の記述</li> <li>○ 既習内容との比較を用いた記述</li> <li>○ 事象を解釈した記述</li> </ul>

【理科】

教出	○ 「空気は、あたためると体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」	○ 「水は、空気と同じように、あたためたり冷やしたりすると、体積が変化しますが、その変化は、空気よりも小さい。」	○ 「金ぞくは、空気や水と同じように、あたためたり冷やしたりすると、体積が変化しますが、その変化は、空気や水とくらべてひじょうに小さい。」	○ 関連付けられた結論の記述 ○ 比較に基づく特徴の記述 ○ 既習内容との比較を用いた記述
信教	○ 「せんざいのまくの様子から、空気は、あたためると体積がふえ、冷やすと体積がへることがわかります。」	○ 「フラスコの水面の高さが変わることから、水の体積は水の温度が上がるとふえ、温度が下がるとへることがわかります。」 ○ 「注しや器のピストンの動きから、空気と水の、温度による体積の変わり方は、水より空気の方が大きいことがわかります。」	○ 「金ぞくをあたためたり、冷やしたりすると、空気や水と同じように体積が変わります。」 ○ 「金ぞくの体積の変わり方は、空気や水とくらべて、わずかです。」	○ 関連付けられた結論の記述 ○ 比較に基づく特徴の記述 ○ 既習内容との比較を用いた記述 ○ 事象を解釈した記述
啓林館	○ 「空気はあたためると、体積が大きくなる。また、冷やすと体積が小さくなる。」	○ 「水も空気と同じように、あたためると体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」 ○ 「空気と水をくらべると、空気のほうが体積の変化が大きく、水のほうが体積の変化が小さくなります。」	○ 「金ぞくも空気や水と同じように、あたためると体積が大きくなり、冷やすと体積が小さくなる。」 ○ 「金ぞくの体積の変化は、空気や水の体積の変化に比べると、とても小さい。」	○ 関連付けられた結論の記述 ○ 比較に基づく特徴の記述 ○ 既習内容との比較を用いた記述

観点		(才) 言語活動の充実
視点		⑩科学的な言葉や概念を使用して自分の考えを論述する活動の工夫
方法		話し合いや説明の活動を促す工夫, 話し合いの具体例
	話し合いや説明の活動を促す工夫	第5学年「電流がつくる磁界」における話し合いの具体例
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「問題をつかもう」「予想しよう」「計画しよう」「考察しよう」といった学習過程において、吹き出しをつなぐ形で児童の対話を示している箇所がある。</li> <li>○ 巻末に「発表のしかた」「話し合いのしかた」として、発表や話し合いの際の留意点を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「電磁石のつよさ」の「計画しよう」での対話 「変える条件と変えない条件を考えないといけないね。」 「電流を大きくすると、電磁石が強くなると予想したから、変える条件は、電流の大きさだね。」 「ほかの条件は、どうすればいいかな。」 「導線のまき数は、そろえておく必要があるね。」 「電流を大きくするには、かん電池2個を直列つなぎにすればいいね。」 「電磁石が強くなったかどうかを調べるためには、どうすればよいですか。」 「つり上げた鉄のゼムクリップの数を比べれば、強さのちがいがわかるね。」 「予想が正しければ、電流を大きくすると、つり上げる鉄のゼムクリップの数が増えるはずだよ。」</li> </ul>
大日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題を発見する場面や「予想」「計画」「考察」「深めよう」といった学習過程において、机をはさんで話し合う形で児童の対話を示している箇所がある。</li> <li>○ 巻頭に「話し合いのしかた」として、話し合いの際の留意点を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「電磁石のつよさ」の「計画」での対話 「比べるときは、調べる条件を1つだけ変えて、それ以外の条件は同じにするから…」 「電流の大きさが関係しているか調べるときは、変える条件を…、変えない条件を…」 「コイルのまき数が関係しているか調べるときは、変える条件を…、変えない条件を…」</li> </ul>
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「話し合い・活動」「話し合い・予想」「話し合い・計画」「考察・話し合い」といった学習過程に関係づけられた項目において、児童の対話を示している箇所がある。</li> <li>○ 巻末に「伝える・聞く」として、発表の際の留意点を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「電磁石のつよさ」の「話し合い・計画」での対話 「調べる条件は、『電流の大きさ』だから…。」 「そうすると、そろえる条件は、『コイルの…』」 「コイルを作るときは、同じ長さのビニル導線を使い、余った導線は切らずに束ねたね。『導線の長さ』も条件をそろえて調べていこう。」 「もし、『コイルのまき数』も変えてしまったら、どちらの条件が関係しているかわからなくなるよ。」</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の導入や「見つけよう」「問題」「予想しよう」「計画しよう」「結果から考えよう」「結論」といった学習過程において、教師の問いかけに答える形で児童の対話を示している箇所がある。</li> <li>○ 巻頭に「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」として、説明する際の留意点を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「電磁石のはたらき」の「計画しよう」での対話 「自分の予想を確かめるためには、何と何を比べたらよいですか?」 「かん電池1個のときと2個の直列つなぎのときで、引き付けるクリップの数を比べればよいです。」 「100回まきの電磁石と200回まきの電磁石で、引き付けるクリップの数を比べればよいです。」</li> </ul>
信教	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 気付きを交流したり、意見を交換したりする場面において、机をはさんで話し合う形で児童の対話を示している箇所がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「電じ石の強さ」の「問題」提示後の対話 「流れる電流を大きくすると、モーターが速く回ったように、電じ石の強さも強くなるのではないかな。」 「電流を大きくして比べるときは、導線のまき数を同じにしておかないといけないね。」 「導線のまき数を増やすと、電じ石の強さが強くなると思う。」</li> </ul>
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「問題をつかもう」「予想」「予想と計画」「かんさつしたことをつたえ合おう」といった学習過程において、机をはさんで話し合う形で児童の対話を示している箇所がある。</li> <li>○ 巻末に「話し合いのしかた」として、話すときと聞くときの留意点を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「電磁石の強さ」の「予想と計画」での対話 「流す電流を大きくすると、電磁石の力は強くなると思うよ。」 「4年でモーターを速く回そうとしたときは、どうしたかな。」 「かん電池2個を直列つなぎにすれば、電流を大きくすることができたね。」 「エナメル線をまく回数を増やしたら、電磁石の力が強くなると思うよ。」</li> </ul>

# 生 活

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	どきどき わくわく あたらしいせいかつ上 あしたへ ジャンプ 新しい生活下
4	大	日 本	たのしいせいかつ上 なかよし たのしいせいかつ下 はっけん
11	学	図	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ下
17	教	出	せいかつ みんな なかよし上 せいかつ なかよし ひろがれ下
26	信	教	せいかつ上 あおぞら せいかつ下 そよかぜ
38	光	村	せいかつ上 まいにち あたらしい せいかつ下 だいすき みつけた
61	啓	林 館	わくわくせいかつ上 いきいきせいかつ下
116	日	文	わたしとせいかつ上 みんな なかよし わたしとせいかつ下 ふれあい だいすき

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫	飼育単元の学習活動の流れ、住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物
		② 自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもつための工夫	地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真、四季の変化を対比させたページ
		③ 自分自身や自分の生活について考えるための工夫	学習活動の例、相互評価・他者評価の示し方の例
		④ 生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫	生活のきまりや安全についての記述等
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 興味・関心を高めるための工夫	単元の導入ページの内容
		⑥ 振り返り表現する活動の工夫	栽培単元におけるワークシートの例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元や資料等の配列及び分量	単元名・総ページ数、スタートカリキュラムに関する内容
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	キャラクター・マークの工夫
(オ)	言語活動の充実	⑨ コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定	多様な表現方法（ICTの活用等）で伝え合う活動の例

【生活】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	① 具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫
方法	飼育単元の学習活動の流れ，住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物

	飼育単元の学習活動の流れ	住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物 ※表記は教科書の記載の通り
東 書	○ 〈上〉「いきものとなかよし」 ・むしを さがそう ・むしと なかよく なるう ・[いきものずかん] ・[やってみよう] みんなで どうぶつを かおう	ショウリョウバッタ オンブバッタ コオロギ
	○ 〈下〉「生きものなかよし大作せん」 ・生きものの ことを 話そう ・生きものを さがそう ・生きものを そだてよう ・[生きもの図かん] ・生きものの ことを つたえ合おう ・[アメリカザリガニをかうときのやくそく]	ダンゴムシ カエル トンボ アゲハ
大 日 本	○ 〈上〉「あきとなかよし」「いきものとなかよし」 ・どんな むしが みつかるかな ・むしの おうちを つくったよ ・むしの ふしぎを みつけたよ ・おしえて あげるね	コオロギ テントウムシ カマキリ
	○ 〈下〉「生きものはっけん」「生きているってすごい！」 ・どんな 生きものが いるのかな ・見つけたよ！かってみたいな ・大切に するよ ・生きものの ひみつ はっけん	ダンゴムシ カタツムリ やご ザリガニ
学 図	○ 〈上〉「いきものだいすき」 ・なかよく なるう ・もっと なかよく なるう ・[ちゃれんじずかん] ・もるもっと だいすき	もるもっと
	○ 〈下〉「生きものと友だち」 ・生きものを さがそう ・生きものを かおう ・[ものしりノート] ・生きものの ふしぎを 見つけよう ・ふりかえろう	ダンゴムシ おたまじゃくし やご アゲハ キリギリス アリ

【生活】

教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 〈上〉「なかよくなろうね 小さなともだち」</li> <li>・生きものを さがそう</li> <li>・じぶんたちで そだてよう</li> <li>・なにを かんじたかな</li> <li>・[生きものの そだてかた ずかん]</li> </ul>	ダンゴムシ コオロギ モルモット チャボ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 〈下〉「めざせ生きものはかせ」</li> <li>・生きものを つかまえよう</li> <li>・生きものを かってみよう</li> <li>・生きものの ことを つたえ合おう</li> <li>・何を かんじたかな</li> <li>・[生きものの そだて方 図かん]</li> </ul>	シオカラトンボ クロオオアリ ショウリョウバッタ アゲハ
信 教	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 〈上〉「いきものといっしょ①」</li> <li>・かって みたいな</li> <li>・きょうから いっしょ</li> <li>・よろこんで くれるかな</li> <li>○ 〈上〉「いきものといっしょ②」</li> <li>・きょうも げんきかな</li> <li>・やりたい こと いっぱい</li> <li>・さあ おはいいり</li> <li>・さむく なって きたね</li> </ul>	やぎ うさぎ カナヘビ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 〈下〉「いきものといっしょ③」</li> <li>・おかあさんに なったんだね</li> <li>・きょうも あいたいよ</li> <li>○ 〈下〉「いきものといっしょ④」</li> <li>・いつも いっしょだったね</li> </ul>	やぎ
光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 〈上〉「いきものと なかよし」</li> <li>・どんな いきものと なかよく なりたいかな</li> <li>・はじめまして、こんにちは</li> <li>・もっと なかよしに なりたいな</li> <li>・いっぱい わかったよ</li> <li>・ずっと 大すき</li> <li>・[めざせ、いきものはかせ]</li> </ul>	モルモット ダンゴムシ ショウリョウバッタ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 〈下〉「小さな友だち」</li> <li>・何が いるかな、どこに いるかな</li> <li>・いた いた、見つけた</li> <li>・かって みたいな、できるかな</li> <li>・よく 見ると、おもしろいよ</li> <li>・ふしぎ、びっくり、大はっけん</li> <li>・みんな 生きて いる</li> </ul>	ダンゴムシ アゲハ アメリカザリガニ

【生活】

啓 林 館	<p>○ 〈上〉「生きもの 大すき」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・[わくわくボックス] 生きものに あいにいこう</li> <li>・生きものと ふれあおう</li> <li>・見つけた ことを しょうかいしよう</li> <li>・どうぶつと なかよく ならう</li> <li>・大せつな いのち</li> <li>・[生きものの そだてかた]</li> </ul>	<p>ショウリョウバッタ オンブバッタ コオロギ ダンゴムシ ナナホシテントウ</p>
	<p>○ 〈下〉「みんな 生きて いる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・[わくわくボックス] どんな 生きものが 見つかるかな？</li> <li>・生きものを さがそう</li> <li>・大切に そだてよう</li> <li>・生きものを よく 見よう</li> <li>・はっ見した ことを 知らせよう</li> <li>・[生きものの そだて方]</li> </ul>	<p>アゲハチョウ やご クワガタ・カブトムシ おたまじゃくし ダンゴムシ カニ（海の カニ）</p>
日 文	<p>○ 〈上〉「生きものと なかよく ならう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生きものに あいに いこう</li> <li>・生きものと ふれあおう</li> <li>・生きものの ことを つたえよう</li> </ul>	
	<p>○ 〈下〉「生きもの はかせに ならう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生きものを さがす じゅんびを しよう</li> <li>・生きものを さがそう</li> <li>・生きものの せわを 考えよう</li> <li>・[ポケット図かん] 生きもの図かん</li> <li>・じっくり かんさつしよう</li> <li>・生きものの ひみつを つたえよう</li> <li>・どうぶつの せわを してみよう</li> </ul>	<p>カブトムシ やご（トンボ） ダンゴムシ ショウリョウバッタ メダカ アオムシ（モンシロチョウ） おたまじゃくし（アマガエル） カタツムリ モルモット</p>

【生活】

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	②自分と身近な人々，社会及び自然とのかかわりに関心をもつための工夫
<b>方法</b>	地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真，四季の変化を対比させたページ

	<b>地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真</b> ※内容(3)を扱った単元の内，下巻を調査	<b>四季の変化を対比させたページ</b> ※数字は掲載ページ
<b>東書</b>	○ 農家の人，消防署で働く人，和菓子屋で働く人，図書館で働く人，グラウンドゴルフの活動をしている人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。	○ 校庭 〈上〉 p. 42-43 (夏) → p. 68-69 (秋) → p. 94-95 (冬) → 〈下〉 p. 2-3 (春) ○ 公園 〈上〉 p. 44-45 (夏) → p. 70-71 (秋) → p. 96-97 (冬) ○ 季節のくらし 〈下〉 p. 6-7 (春) → p. 44-45 (夏) → p. 66-67 (秋) → p. 90-91 (冬) ○ 「ほんとうのおおきさ ポケットずかん」 〈上〉 p. 2-3 (春) → p. 4-5 (夏) → p. 6-7 (秋) → p. 8 (冬)
<b>大日本</b>	○ 交番で働く人，妊婦とその家族，福祉施設を利用する人，農家の人，果物屋で働く人，駄菓子屋で働く人，花屋で働く人，食品工場で働く人，図書館で働く人，和菓子屋で働く人，消防署で働く人，美容院で働く人，公園を利用している人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。	○ 校庭 〈上〉 p. 30-31 (夏) → p. 44-45 (秋) → p. 74-77 (冬) → 〈下〉 p. 8-9 (春)
<b>学図</b>	○ 和菓子屋で働く人，パン屋で働く人，消防署で働く人，花屋で働く人，図書館で働く人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。	○ 生物 〈上〉 p. 40-41 (春の草花) → p. 56-57 (夏の虫) → p. 62-63 (秋の木の葉) → p. 72-73 (冬の鳥) ○ 町の季節 〈下〉 p. 28-29 (春) → p. 30-31 (夏) → p. 32-33 (秋) → p. 34-35 (冬)
<b>教出</b>	○ 和菓子屋で働く人，靴屋で働く人，パン屋で働く人，おもちゃ屋で働く人，消防署で働く人，図書館で働く人，消防団の活動をしている人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。	○ 校庭 〈上〉 p. 16-17 (春) → p. 64-65 (夏) ○ 野原 〈上〉 p. 48-49 (春) → p. 74-75 (秋) → p. 106-107 (冬) ○ 「のはらのカレンダー」 〈上〉 p. 116-117 (春～冬) ○ 町 〈下〉 p. 4-5 (春) → p. 58-59 (夏) → p. 82-83 (秋) → p. 102-103 (冬)



【生活】

<p>信 教</p>	<p>○ 製菓店で働く人、公民館で獅子舞の活動をしている人、図書館で働く人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p>	<p>○ 「いつもの ばしょ」 〈上〉 p. 26, p. 31 (春) →p. 58, p. 63 (夏) →p. 86, p. 91 (秋) →p. 102, p. 107 (冬)</p> <p>○ 「さんぼみち」 〈上〉 p. 27-30 (春) →p. 59-62 (夏) →p. 87-90 (秋) →p. 103-106 (冬)</p>
<p>光 村</p>	<p>○ パン屋で働く人、消防署で働く人、図書館で働く人、駅で働く人、和菓子屋で働く人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p>	<p>○ 「なかよしの 木の 1年」 〈上〉 p. 107-110 (春～冬)</p> <p>○ 「きせつのおくりもの」(きせつのなかまたち) 〈上〉 p. 112-113 (春) →p. 114-115 (夏) →p. 116-119 (秋) →p. 120-121 (冬) →p. 122-123 (早春)</p> <p>○ 「きせつのおくりもの」(町) 〈下〉 p. 78-79 (春) →p. 80-81 (夏) →p. 82-83 (秋) →p. 84-85 (冬)</p>
<p>啓 林 館</p>	<p>○ 和菓子屋で働く人、花屋で働く人、交番で働く人、図書館で働く人、登下校の見守りをする人、農家の人、駅で働く人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p>	<p>○ 校庭 〈上〉 p. 12-13 (春) →p. 48-49 (夏) →p. 76-77 (秋) →p. 102-103 (冬)</p> <p>○ 公園 〈上〉 p. 36-37 (春) →p. 78-79 (秋)</p> <p>○ 「きせつだより」 〈下〉 p. 10-11 (春) →p. 56-57 (夏) →p. 70-71 (秋) →p. 96-97 (冬)</p>
<p>日 文</p>	<p>○ 地域センターの図書室で働く人、駅で働く人、交番で働く人、農園で働く人、和菓子屋で働く人、コンビニエンスストアで働く人、デイサービスセンターを利用する人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p>	<p>○ 学校、公園 〈上〉 p. 32-33 (春) →p. 50-51 (夏) →p. 76-77 (秋) →p. 104-105 (冬)</p> <p>○ 「きせつの ちがいを ふりかえろう」 〈上〉 p. 110-111 (春～冬)</p> <p>○ 「ポケットずかん」 〈上〉 p. 54-55, p. 62-63 (春・夏) →p. 80-81 (秋) →p. 112-113 (冬)</p> <p>○ 「ちえと わざの たからばこ」(きせつの へんか と くらし) 〈下〉 p. 126-127 (春～冬)</p>

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	③自分自身や自分の生活について考えるための工夫
<b>方法</b>	学習活動の例, 相互評価・他者評価の示し方の例

	学習活動の例 ※内容(9)自分の成長が中心となる単元を調査	相互評価・他者評価	
		単元名	示し方の例
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 〈上〉「もうすぐ2ねんせい」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・あたらしい1ねんせいをしょうたいしよう</li> <li>・しょうたいしたことをはなしあおう</li> <li>・いちねんかんをふりかえろう</li> <li>・ありがとうわたしたちのきょうしつ</li> <li>・2ねんせいもたのしみだね</li> </ul> </li> <li>○ 〈下〉「あしたヘジャンプ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きくなった自分のことをふりかえろう</li> <li>・大きくなった自分のことをしらべよう</li> <li>・自分のことをまとめよう</li> <li>・ありがとうの気持ちをつたえよう</li> <li>・3年生も楽しみだな</li> </ul> </li> </ul>	「じぶんでできるよ」	・「これからもつづけよう」で、家の仕事をしたことに対する家族からの評価を、吹き出しで掲載している。
		「もうすぐ2ねんせい」	・「しょうたいしたことをはなしあおう」で、園児からのお礼のカードを掲載している。 ・お互いの活動の評価を吹き出しで掲載している。
		「どきどきわくわくまちたんけん」	・「まちをたんけんしよう」で活動の様子について見守りの方からの評価を吹き出しで掲載している。
		「あしたヘジャンプ」	・「大きくなった自分のことをしらべよう」で、友達からの「ありがとうカード」や「すごいねカード」を掲載している。
大日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 〈上〉「ふゆとなかよし」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふゆとあそぼう</li> <li>・かぞくはなかよし</li> <li>・もうすぐ2年生</li> <li>・はるをさがそう</li> </ul> </li> <li>○ 〈下〉「自分のはっけん」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・はっけん自分のよいところ</li> <li>・自分のことをもっと知りたいな</li> <li>・おいでよ、自分のはっけんはっぴょう会</li> <li>・ありがとうをとどけよう</li> <li>・みらいにむかってはばたこう！</li> </ul> </li> </ul>	「ふゆとなかよし」	・「かぞくはなかよし」で、家族の評価を吹き出しで掲載している。
		「わたしの町はっけん」	・「みんなのはっけんをあつめよう」で、絵と吹き出しにより、相互に評価し合う場面を掲載している。
		「自分のはっけん」	・「はっけん自分のよいところ」で、友達のよいところやがんばったことを書いたカードを掲載している。
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 〈上〉「もうすぐ2ねんせい」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生をふりかえろう</li> <li>・ようこそ小学校へ</li> </ul> </li> <li>○ 〈上〉「2年生にむかって」</li> <li>○ 〈下〉「わたしたんけん」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生でがんばったことをふりかえろう</li> <li>・いまのわたしについて聞いてみよう</li> <li>・いままでのわたしについてしらべよう</li> <li>・わかったことをまとめよう</li> <li>・はっぴょうしよう</li> <li>・これからのわたしについて考えよう</li> </ul> </li> </ul>	「ありがとうがいっぱい」	・「どんなことができたかな」で、家の仕事に対する母親の評価を手紙で掲載している。
		「わたしたんけん」	・「いまのわたしについて聞いてみよう」で友達への「すてきカード」を掲載している。 ・「これからのわたしについて考えよう」で、先生からの手紙を掲載している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 〈上〉「もうすぐ2年生」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年かんをおもい出そう</li> <li>・あたらしい1年生をむかえよう</li> <li>・なにをかんだかな</li> </ul> </li> <li>○ 〈下〉「あしたへつなぐ自分たんけん」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分について考えよう</li> <li>・まわりの人に聞いてみよう</li> <li>・何をかんだかな</li> </ul> </li> </ul>	各単元末 「なにをかんだかな」	・お互いの活動を評価したコメントを掲載している。
		「かぞくにここに大きくせん」	・「大きくせんをつたえよう」で、活動に対する家族からの評価を吹き出しで掲載している。
		「あしたへつなぐ自分たんけん」	・「まわりの人に聞いてみよう」で、自分の成長について、周りの人からの手紙や友達からのカードを掲載している。

【生活】

信教	○ 〈上〉「もうすぐ二ねんせい」 ・だいじなおもいで ・こんなことがあったよ ・ありがとうーねんかん	「わたしとかぞく」	・「できるようになったよ」で、母親からの評価を吹き出しで掲載している。
	○ 〈下〉「大きくなったぼくわたし」 ・わたしのたんじょう ・小さいころのわたし ・大きくなってきたわたし ・ありがとう	「わたしたちがすむ町」	・「つたえあおう」で、招待者からの評価を手紙で掲載している。
	○ 〈下〉「すごいねぼくわたし」 ・楽しみだね三年生	「いっぱいみのったね」	・「しゅうかくいわい」で、活動に対する評価を農家の方からの手紙で掲載している。
光村	○ 〈上〉「もうすぐみんな2年生」 ・1ねんかん、どんなことがあったかな ・おもいでいっぱい、1年生 ・あたらしい1年生をしょうたいしよう ・ようこそ、わたしたちの学校へ ・おおきくなったね、わたしたち ・たのしみだね、2年生	「みんなのここにこ大きくせん」	・「おしえて、みんなのここにこ大きくせん」で、活動の評価を母親の手紙で掲載している。
	○ 〈下〉「広がれわたし」 ・今のわたしは、どんなわたし ・あつまれ、みんなのいいところ ・今のわたしになるまでに ・わたしのことはっぴょう会 ・今までのわたし、これからのわたし	「広がれわたし」	・「あつまれみんなのいいところ」で、友達の良いところを書いたカードを掲載している。 ・「わたしのことはっぴょう会」で、発表に対する母親の評価を吹き出しで掲載している。
啓林館	○ 〈上〉「もうすぐ2年生」 ・1年かんをふりかえろう ・できるようになったことをあつめよう ・あたらしい1年生をしょうたいしよう ・しょうたいしたことをふりかえろう ・もうすぐはる	「げんきにそだてわたしのはな」	・「みつけたひみつをつたえよう」で、先生からの賞状を掲載している。
	○ 〈下〉「これまでのわたしこれからのわたし」 ・大きくなった自分をふりかえろう ・自分についてしらべよう ・自分のせい長をまとめよう ・ありがとうをとどけよう ・もうすぐ3年生	「ひろがれえがお」	・「ひろがったえがおをつたえよう」で、父親からの評価を手紙で掲載している。
		「もうすぐ2年生」	・「できるようになったことをあつめよう」で、友達の活動を評価したカードを掲載している。 ・「しょうたいしたことをふりかえろう」で、活動の評価の手紙を掲載している。
日文	○ 〈上〉「もうすぐ2年生」 ・1年かんをふりかえろう ・じぶんのせいちょうをみんなにつたえよう ・あたらしい1年生をしょうたいしよう ・もうすぐ2年生だね	「ふりかえるつなげる」	・活動への評価を絵と吹き出しで掲載している。
	○ 〈下〉「こんなに大きくなったよ」 ・わたしのいいところ ・自分のせい長のひみつをみつけよう ・自分のものがたりをまとめよう ・せい長はっぴょう会をひらこう ・3年生になるのが楽しみだね	「ぐんぐんそだてみんなの野さい」 「あそび名人になろう」	・「野さいづくりをふりかえろう」、「あそんだことをふりかえろう」で、活動を評価した「名人にんていしょう」を掲載している。
		「こんなに大きくなったよ」	・「せい長はっぴょう会をひらこう」で、農家の方からの評価を手紙で掲載している。

【生活】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	④生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫
方法	生活のきまりや安全についての記述等

生活のきまりや安全についての記述等	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「やくそく」コーナーを設け、活動場面で必要なきまりや安全に関する情報を図や写真で示している。</li> <li>○ 「みんなでつうがくろをあるこう」「つうがくろのあんぜん」「がっこうのあんぜん」のページを設け、登下校の安全に関わる人やものや留意点、災害発生時の行動に関する留意点や情報、学校内の安全設備について掲載している。</li> <li>○ 安全面での配慮が必要な対象に「ちゅうい」マーク、「とげにちゅうい」マークを付けている。</li> <li>○ 安全面での配慮が必要な活動に「どうぐをただしくあんぜんにつかおう」マークを付けている。</li> <li>○ 外での活動や衛生面での配慮が必要なページに「てをあらおう うがいをしよう」マークを付けている。</li> <li>○ 巻末の「かつどうべんりてちょう」内に、防犯、防災、健康、衛生、道具の安全な使い方、後片付け、交通安全、乗り物の乗り方について掲載している。</li> </ul>
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小单元「がっこうにくるみちかえるみち」内で、登下校の安全に関わる人やもの、こども110番の家や表示を取り上げている。</li> <li>○ 小单元「がっこうにくるみちかえるみち」内で「あるくとき」、「春の町はっけん」内で「やくそくをたしかめよう」コーナーを設け、安全な歩行について掲載している。</li> <li>○ 小单元「がっこうにくるみちかえるみち」内で、あそびのきまりを掲載している。</li> <li>○ 小单元「いきものとなかよし」、「町にははっけんがいっぱい」で、衛生面での配慮する点や安全に活動するための留意点について「やくそく」カードを掲載している。</li> <li>○ 巻末の「かくしゅうどうぐばこ」で、身を守るために気を付けること、防犯、交通安全、防災、道具の安全な使い方、後片付け、乗り物の乗り方について掲載している。</li> </ul>
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「やくそく」コーナーを設け、安全面に関する内容や健康に関する情報を掲載している。</li> <li>○ 「ちゅうい」マークを付け、安全や衛生に関する注意を喚起している。</li> <li>○ 外での活動や衛生面での配慮が必要なページに、てあらいうがいのマークを付けている。</li> <li>○ 安全面での配慮が必要な活動や対象に「ちゅうい」マークを付けている。</li> <li>○ 「まちたんけん」で「ものしりノート」を設け、乗り物の乗り方について掲載している。</li> <li>○ 巻末の「あんぜんのぺえじ」で、交通安全、防犯、防災、避難の仕方、道具の安全な使い方、後片付けについて掲載している。</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「やくそく」コーナーを設け、安全面での配慮が必要な対象や道具の安全な使い方や活動の時の注意を掲載している。</li> <li>○ 「あんぜんなせいかつ」のページを設け、登下校の安全に関わる人や施設、学校での避難の仕方、学校内の安全設備について掲載している。</li> <li>○ 外での活動や衛生面での配慮が必要なページに「てあらいうがい」マークを付けている。</li> <li>○ 小单元「たんけんの計画を立てよう」内に、道路歩行時の留意点を掲載している。</li> <li>○ 巻末の「学びのポケット」で、道具の安全な使い方、後片付け、防犯、防災、天気の変化から留意することを掲載している。</li> </ul>

【生活】

<p>信 教</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「きをつけてかえるよ」のページで、登下校の安全に関わる人やものを掲載している。</li> <li>○ 小单元「あめふり」内に、「なつのおんぜん」コーナー、「おおゆきのひに」内に、「ふゆのおんぜん」コーナーを設け、道路歩行時の注意について掲載している。</li> <li>○ 小单元「きょうからいっしょ」内に、生き物に触れる前後に、手を洗ってもらうように、「！」を付けている。</li> <li>○ 小单元「どうやったら行けるかな」で、道路の歩き方や電車の待ち方を掲載している。</li> </ul>
<p>光 村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外での活動や衛生面での配慮が必要なページに注意を促すマークを付けている。</li> <li>○ 小单元「なかよしみつかるつうがくろ」内で、「どうすれば」コーナーを設け、登下校中、気を付けることを掲載している。</li> <li>○ 小单元「いろいろなあそびができそうだね」「作ってあそんでくふうして」内で、どうすればコーナーを設け、道具の安全な使い方や後片付けについて掲載している。</li> <li>○ 小单元「春のまちたんけんさくせんかいぎ」内に、どうすればコーナーを設け、町探検で気を付けることを掲載している。</li> <li>○ 巻末の「ひろがるせいかつじてん」で、交通安全、避難の仕方、防犯、道具の安全な使い方、健康、衛生について掲載している。</li> </ul>
<p>啓 林 館</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「つうがくのおんしんおんぜん」のページを設け、登下校中の安全、防災、防犯に関する情報について掲載している。</li> <li>○ 「がっこうのおんしんおんぜん」のページを設け、防災、防犯、避難の仕方について掲載している。</li> <li>○ 「みんなでつかう場しよに行ってみよう」のページで、図書館の利用について「こんなときどうしよう！」を掲載している。</li> <li>○ 動植物に触る活動のページに「てをあらおう」マークを付けている。</li> <li>○ 安全面での配慮が必要な対象に「気をつけよう！」マークを付けている。</li> <li>○ 小单元「きせつだより」内に、「なつやすみのやくそく」コーナーを設け、気を付けることを掲載している。</li> <li>○ 巻末の「がくしゅうずかん」で、乗り物の乗り方、道具の安全な使い方、後片付け、防災、健康、衛生について掲載している。</li> </ul>
<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全面で配慮が必要な活動について「でかけるまえにかくにんしておこう」コーナーや、「○○のちゅうい」のコーナーを設けている。</li> <li>○ 「みのまわりのおんぜん」のページを設け、学校内の安全設備や避難訓練、登下校の安全や防犯、防災に関する留意点を掲載している。</li> <li>○ 外での活動や衛生面での配慮が必要なページに、「手をあらおう」マークを付けている。</li> <li>○ 安全面、健康面で配慮が必要なページに注意を促すマークや「あれるぎいにきをつけよう」マークを付けている。</li> <li>○ 小单元「みんなのつうがくろをあるいてみよう」内で、登下校の安全に関わる人やものを掲載している。</li> <li>○ 巻末の「ちえとわざのたからばこ」で、道具の安全な使い方、後片付け、交通安全、防災、防犯、健康、衛生、乗り物の乗り方を掲載している。</li> </ul>

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤興味・関心を高めるための工夫
方法	単元の導入ページの内容

単元の導入ページの内容（※内容（6）を扱った単元の内、下巻を調査）	
東 書	<p>「うごく うごく わたしのおもちゃ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1ページの写真とイラスト <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童3名がはねるおもちゃで遊んでいる写真</li> <li>・児童3名と教師が動くおもちゃで遊んでいるイラスト</li> <li>・イラストの児童2名の吹き出し「うごいたよ。おもしろいね。」「つくってみたいな。」を記載している。</li> </ul> </li> </ul>
大 日 本	<p>「つくる楽しさ はっけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページの写真とイラスト <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童6名が飛ぶおもちゃで遊んでいる写真</li> <li>・イラストの児童1名が飛ぶおもちゃの写真を見ている。</li> </ul> </li> </ul>
学 図	<p>「作って あそぼう うごく おもちゃ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページの写真とイラスト <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童2名が動くおもちゃで競争している写真（大）（小）</li> <li>・児童1名が飛ばすおもちゃで遊んでいる写真（小）</li> <li>・児童4名がダンボールに入った材料を見ているイラスト</li> <li>・女の子がまわるおもちゃを想像している吹き出しのイラスト</li> </ul> </li> <li>○ 「自分のおもちゃを作って、みんなであそぼう。どんなあそびができるかな。」を記載している。</li> </ul>
教 出	<p>「作ってためして」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページの写真 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童6名がそれぞれ異なったおもちゃを持っている。</li> <li>・写真の児童2名の「ほいく園の時空きばこで車を作ったことがあるよ。」「うごいたらおもしろいね。」と写真の教師1名の「うごくおもちゃなんて作ることができるのかな。」の吹き出しを記載している。</li> </ul> </li> <li>○ 「学びのポケット」のページを記載している。</li> </ul>
信 教	<p>「すすめ すいすい号」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページのイラスト（6種類のイラストが記載） <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童2名がおもちゃの船で遊んでいる。</li> <li>・児童6名と教師1名がプールで水に浮く道具を使って遊んでいる。</li> <li>・話し合いをしているイラストの児童6名の内、1名の吹き出し「みんなでのれるふねをつくりたいね。」を記載している。</li> </ul> </li> </ul>

【生活】

<p>光 村</p>	<p>「あそんで ためして くふうして」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページの写真とイラスト <ul style="list-style-type: none"> <li>・数種類の材料が入った箱の写真</li> <li>・6つのキーワード「つむ」「ならべる」「回す」「ふく」「はじく」「ころがす」がイラスト入りで記載され、材料の箱（ガラクタカラバコと記載）と線で結んでいる。</li> <li>・学習の流れ「ホップ」（見つける。）→「ステップ」（くふうしてあそぶ。）→「ジャンプ」（ふりかえる。もっとやってみる。）をイラストで記載している。</li> </ul> </li> <li>○ 「ふる」「とばす」「たたく」「こする」のキーワードを材料の箱の周りに記載している。</li> </ul>
<p>啓 林 館</p>	<p>「せかいで ひとつ わたしのおもちゃ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページの写真 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童7名がそれぞれ異なったおもちゃを持っている。</li> <li>・材料10種類の写真</li> <li>・イラストの児童2名の吹き出し「5年生の作ひんはすごいね。」「ぼくもおもちゃを作りたいな。」を記載している。</li> </ul> </li> <li>○ 二次元コード <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はさみのつかいかた」「カッターナイフのつかいかた」をイラストで記載している。</li> </ul> </li> </ul>
<p>日 文</p>	<p>「あそび名人になろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページの写真 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童3名が材料の特徴を生かして、こままわしをしている。</li> <li>・児童2名がうちわを使って遊んでいる。</li> </ul> </li> </ul>

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑥振り返り表現する活動の工夫
<b>方法</b>	栽培单元におけるワークシートの例

		栽培单元におけるワークシートの例	
		様式	具体例（单元内1枚目の記述内容）
東 書	〈上〉	○ 絵と文で記述 ○ 罫線なし	・題 あさがお ・あさがおの種の絵 ・「はやくめがでてほしいな。」
	〈下〉	○ 絵と文で記述 ○ 横書き罫線5行	・題 わきめつみをしました。 ・キュウリの苗と農家の人の絵 ・「さいしょはどれがわきめか分からなかったけど、下田さんが教えてくれたので、分かるようになりました。これで大きなみができるよと言ってくれました。」
大 日 本	〈上〉	○ 絵と文で記述 ○ 横書き罫線2行	・題 あさがお（につき） ・あさがおの苗の絵 ・「はっぱがでたよ。うれしいな。」
	〈下〉	○ 絵と文で記述 ○ 横書き罫線4行	・題 まっ赤なイチゴができたよ ・イチゴの実と花、葉の絵 ・「3月ごろ花がさいて、やっと4月になってまっ赤なイチゴになりました。わたしが大せつにそだてたイチゴなのでたべるのがたのしみです。」
学 図	〈上〉	○ 絵と文で記述 ○ 罫線なし	・あさがおの種の絵（実際の大きさの絵と拡大した絵） ・「めをだしてね。」「くろくてちいさいよ。」 ・教師コメントが「たねをよくみているね。」
	〈下〉	○ 絵と文で記述 ○ 横書き罫線7行	・題 そだてるなえをきめたよ ・児童2人とミニトマトの苗 ・「あさがおは、たねからそだてたからはじめ、ミニトマトもたねからそだてるのかなと思いました。でも、なえやのおじさんが「なえの方がそだてやすいよ。」とおしえてくれました。だから、なえからそだてることにしました。じょうずにできたら、たねからそだててみたいな。」
教 出	〈上〉	○ 絵と文で記述 ○ 罫線なし	・題 たねをまいたよ ・あさがおの種の絵 ・「たねはくろくてちいさくてかわいいな。」
	〈下〉	○ 絵と文で記述 ○ 横書き罫線5行	・題 ミニトマトのなえをうえたよ ・ミニトマトの苗の絵 ・「はっぱもくきもみどり色でさわるとざらざらしていました。はっぱのはじっこはぎざぎざしていました。元気にそだってほしいです。」



【生活】

信 教	<p>〈上〉</p> <p>○ 絵と文で記述</p> <p>○ 縦書き野線 7 行</p>	<p>・題 あさがおにつき</p> <p>・あさがおの種の絵</p> <p>・「たねをもらったよ。こんなにちいさくてくろいたねからどんなはながさくのかな。たねさんがだいじにしてねっていつている。」</p>
	<p>〈下〉</p> <p>○ 絵と文で記述</p> <p>○ 縦書き野線 11 行</p>	<p>・大豆の種を畑に植えている児童の絵</p> <p>・「おじさんにおしえてもらったようにだいずのたねをまきました。『元気にそだってね。』と、だいずに声をかけながら、まきました。まい日、水やりをちゃんとやろうと思います。」</p>
光 村	<p>〈上〉</p> <p>○ 絵と文で記述</p> <p>○ 横書き野線 2 行</p>	<p>・題 あさがお (のたね)</p> <p>・あさがおの種の絵</p> <p>・「あさがおをそだてることにきめました。いっぱいさくといいな。」</p>
	<p>〈下〉</p> <p>○ 絵と文で記述</p> <p>○ 横書き野線 5 行</p>	<p>・題 ミニトマトのなえをうえた</p> <p>・ミニトマトの苗の絵</p> <p>・「土田さんが、なえのうえ方を教えてくれました。ポットからなえをそっと出すのがむずかしかったです。毎日おせわをがんばります。」</p>
啓 林 館	<p>〈上〉</p> <p>○ 虫眼鏡のイラストの中に絵と文で記述</p> <p>○ 野線なし</p>	<p>・あさがおの種の絵</p> <p>・「すいかみたいなかたちだよ。はやくさいてね。」</p>
	<p>〈下〉</p> <p>○ 絵と文で記述</p> <p>○ 横書き野線 4 行</p>	<p>・題 ふかふかの土ができた</p> <p>・土を耕している児童と名人の方の絵</p> <p>・「みんなではたけをたがやしました。野さい名人のさとうさんが『おいしい野さいをつくるには、土づくりが大切だよ。』と教えてくれました。」</p>
日 文	<p>〈上〉</p> <p>○ 虫眼鏡のイラストの中に絵と文で記述</p> <p>○ 横書き野線 3 行</p>	<p>・あさがおの種の絵</p> <p>・「たねをかんさつしました。くろくていしみたいにかたかったです。」</p>
	<p>〈下〉</p> <p>○ 絵と文で記述</p> <p>○ 横書き野線 5 行</p>	<p>・題 うえかえをしたよ</p> <p>・キュウリの苗の絵</p> <p>・「キュウリのなえをうえかえしました。ゆびでやさしくはさむとうまくできました。元気にそだってくれるといいな。夏になったらみがたくさんできるかな。」</p>

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦単元や資料等の配列及び分量
方法	単元名・総ページ数、スタートカリキュラムに関する内容

	単元名及び総ページ数※目次に記載のあるもののみ		スタートカリキュラムに関する内容
	上	下	
東 書	114 (9単元) ○ ときどきわくわく1ねんせい ○ がっこうだいすき ○ きれいにさいてね ○ なつがやってきた ○ いきものとなかよし ○ たのしいあきいっぱい ○ じぶんでできるよ ○ ふゆをたのしもう ○ もうすぐ2ねんせい	106 (9単元) ○ 春だ今日から2年生 ○ ぐんぐんそだてわたしの野さい ○ ときどきわくわくまちたんけん ○ 生きものなかよし大作せん ○ うごくうごくわたしのおもちゃ ○ みんなでつかうまちのしせつ ○ もっとなかよしまちたんけん ○ つながる広がるわたしの生活 ○ あしたヘジャンプ	「ときどきわくわく1ねんせい」 ○ 13ページ ○ 「つながるひろがる」のページで合科的・関連的な学習活動を示している。 ○ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の主な例をページ下段に示している。
	大 日 本	103 (5単元) ○ しょうがっこうせいかつはじまるよ ○ みんななかよし ○ なつとなかよし ○ あきとなかよし ○ ふゆとなかよし	105 (5単元) ○ 春はっけん ○ 生きものはっけん ○ わたしの町はっけん ○ つくる楽しさはっけん ○ 自分のはっけん
学 図		113 (11単元) ○ がっこうだいすき ○ がっこうたんけん ○ わたしのあきがお ○ あそびにいこうよ ○ あつくなったよ ○ あきをたのしもう ○ ふゆをたのしもう ○ いきものだいすき ○ むしだいすき ○ ありがとうがいっぱい ○ もうすぐ2年生	103 (6単元) ○ まちたんけん ○ あの人に会いたいな ○ わたしたちの野さいばたけ ○ 生きものと友だち ○ 作ってあそぼううごくおもちゃ ○ わたしたんけん
	教 出	126 (9単元) ○ きょうから1ねんせい ○ わくわくときどきしょうがっこう ○ きれいにさいてねわたしのはな ○ きせつとなかよしはる・なつ ○ なかよくなるうね小さなともだち ○ きせつとなかよしあき ○ かぞくにこにこ大きくせん ○ きせつとなかよしふゆ ○ もうすぐ2年生	116 (7単元) ○ わくわく2年生 ○ めぎせ野さい作り名人 ○ まちが大きたんけんたい ○ めぎせ生きものはかせ ○ えがおのひみつたんけんたい ○ 作ってためして ○ あしたへつなぐ自分たんけん

【生活】

<p>信 教</p>	<p>128 (12 単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ うれしいないちねんせい</li> <li>○ はるとなかよし</li> <li>○ わたしのあさがお</li> <li>○ いきものといっしょ①</li> <li>○ まぶしいなつ</li> <li>○ ひとつぶのたねから</li> <li>○ いきものといっしょ②</li> <li>○ あきがいっぱい</li> <li>○ わたしとかぞく</li> <li>○ ふゆもきらきら</li> <li>○ てづくりおもちゃ</li> <li>○ もうすぐ二ねんせい</li> </ul>	<p>104 (13 単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二年目の春</li> <li>○ わたしがすむ町</li> <li>○ いきものといっしょ③</li> <li>○ いっぱいみのって</li> <li>○ かがやく夏</li> <li>○ すすめすいすい号</li> <li>○ いっぱいみのったね</li> <li>○ みんなで行こう</li> <li>○ 冬とお正月</li> <li>○ はしれはしれ</li> <li>○ いきものといっしょ④</li> <li>○ 大きくなったぼくわたし</li> <li>○ すごいねぼくわたし</li> </ul>	<p>「うれしいないちねんせい」のうち、P7～P10</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4 ページ</li> <li>○ 「あそぼうよ」のページで合科的・関連的な学習活動を示している。</li> </ul>
<p>光 村</p>	<p>135 (9 単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ あたらしいいちねんせい</li> <li>○ なかよしいっぱいだいさくせん</li> <li>○ さかせたいわたしのはな</li> <li>○ なつだとびだそう</li> <li>○ いきものとなかよし</li> <li>○ あきといっしょに</li> <li>○ みんなのこにこ大きくせん</li> <li>○ ふゆとともだち</li> <li>○ もうすぐみんな2年生</li> </ul>	<p>95 (7 単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ さあ、きょうから2年生</li> <li>○ まちをたんけん大はっけん</li> <li>○ ぐんぐんそだておいしいやさしい</li> <li>○ 小さな友だち</li> <li>○ あそんでためしてくふうして</li> <li>○ もっともっとまちたんけん</li> <li>○ 広がれわたし</li> </ul>	<p>「あたらしいいちねんせい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 10 ページ</li> <li>○ 「きょうはなにをしようかな。」のページで合科的・関連的な学習活動を示している。</li> </ul>
<p>啓 林 館</p>	<p>118 (10 単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ がっこうだいすきあいうえお</li> <li>○ いくぞ! がっこうたんけんたい</li> <li>○ げんきにそだてわたしのはな</li> <li>○ あそびばにでかけよう</li> <li>○ なつとなかよし</li> <li>○ 生きもの大すき</li> <li>○ あきとなかよし</li> <li>○ ひろがれえがお</li> <li>○ ふゆとなかよし</li> <li>○ もうすぐ2年生</li> </ul>	<p>128 (8 単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新しいこといっぱい</li> <li>○ 大きくそだてわたしの野さい</li> <li>○ とび出せ! 町たんけんたい</li> <li>○ みんな生きている</li> <li>○ せかいでひとつわたしのおもちゃ</li> <li>○ もっと知りたいたんけんたい</li> <li>○ 町のすてきつたえたい</li> <li>○ これまでのわたしこれからのわたし</li> </ul>	<p>「がっこうだいすきあいうえお」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 17 ページ</li> <li>○ 「うきうきあそぼう」のページで合科的・関連的な学習活動を示している。</li> </ul>
<p>日 文</p>	<p>124 (8 単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ いちねんせいになったら</li> <li>○ がっこうをたんけんしよう</li> <li>○ きせつとあそぼうーはるからなつー</li> <li>○ 生きものとなかよくなるう</li> <li>○ きせつとあそぼうーあきー</li> <li>○ じぶんでできるよ</li> <li>○ きせつとあそぼうーふゆー</li> <li>○ もうすぐ2年生</li> </ul>	<p>111 (8 単元)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2年生がはじまるよ</li> <li>○ 町たんけん1ーみんなでつかう場しょへ行こうー</li> <li>○ ぐんぐんそだてみんなの野さい</li> <li>○ 夏休みを楽しくすごそう</li> <li>○ 生きものはかせになろう</li> <li>○ 町たんけん2ーグループで出かけようー</li> <li>○ あそび名人になろう</li> <li>○ こんなに大きくなったよー広がれわたしー</li> </ul>	<p>「いちねんせいになったら」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 14 ページ</li> <li>○ 「あそぼうまなぼう」のページで合科的・関連的な学習活動を示している。</li> </ul>

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
方法	キャラクター・マークの工夫

キャラクター・マークの工夫	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元名の前に、単元の内容に関連するマークを掲載している。</li> <li>○ 6名の児童(挿絵)が繰り返し登場し、活動を展開している。</li> <li>○ キャラクター「まなびい」「ずかんちゃん」が、児童に思考や活動、安全・衛生上で留意することを促している。</li> <li>○ 「てをあらおう・うがいをしよう」マークで、安全・衛生上の注意を促している。</li> <li>○ 「ちゅうい」「とげにちゅうい」マークで、安全上の配慮が必要な対象を示している。</li> <li>○ 「ずかんちゃん」マークで、ポケットずかんの活用を促している。</li> <li>○ 「かつどうべんりてちょう」マークで、巻末資料を参照するように促している。</li> <li>○ 他教科等との関連が深いところを、関連が分かるマークで示している。</li> <li>○ 「Dマーク」で、教科書と関連する情報がWebページにあることを示している。</li> </ul>
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクターが、児童に思考や活動を促したり、安全上の注意を促したりしている。</li> <li>○ 各見開き内の風船マークで、課題を示している。</li> <li>○ 「！」マークで、安全上の注意を促している。</li> <li>○ 見開きページ右端に「せいかつことば」や「きらきらことば」のマークをつけ、語彙力の向上や言語能力の育成を図ったり、仲間づくりを深めたりするための言葉を示している。</li> <li>○ リンクマークに資料ページ「がくしゅうどうぐばこ」のページを示している。</li> <li>○ 他教科との関連が深いところを、関連が分かるマークで示している。</li> <li>○ 「パソコン」のマークで、活動に際して参考となる情報がWebページにあることを示している。</li> </ul>
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元名の前に、単元の内容に関連するマークを掲載している。</li> <li>○ 4名の児童(挿絵)が繰り返し登場し、活動を展開している。</li> <li>○ 「どきどき」「いきいき」「ふむふむ」「にこにこ」を頁の左上に示し、学習の過程のどの場面かを示している。</li> <li>○ 「学び方図かん」マークで、生活科の学習に役立つ基本的な学習方法が分かる資料ページを見るように促している。</li> <li>○ 「手洗い・うがいマーク」で、安全・衛生上の注意を促している。</li> <li>○ 「注意マーク」で、安全上の配慮が必要な対象や安全・衛生上の注意を促している。</li> <li>○ 二次元コードで、活動に際して参考となる情報がWebページにあることを示している。</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同じ児童(写真)2名と先生(写真)2名(第1学年・第2学年)が繰り返し登場し、活動を展開している。</li> <li>○ 「サイコロ」のマークで、生活科で育成する6つの力(気づく・自分でできる・考える・伝える・挑戦する・自信をもつ)を抽出して示している。</li> <li>○ 「はてな」のキャラクターが問いを示している。</li> <li>○ 「はってん」マークで、第3学年の学習へのつながりを示している。</li> <li>○ 「手あらい・うがい」マークで健康や衛生面について注意を促している。</li> <li>○ 単元の導入ページに「学びのポケット」マークをつけ、巻末資料を参照するように促している。</li> <li>○ 見開きページ右端に「ヒント」や「やくそく」のマークをつけ、学習のヒントや約束事項を示している。</li> <li>○ キャラクター「いぐら」が振り返りの場面で「まんぞくハシゴ」を使って学習活動の自己評価を促している。</li> <li>○ 「まなびリンク」のマークで、学習に役立つ情報がWebページにあることを示している。</li> </ul>

【生活】

<p>信 教</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2名の児童（挿絵）と2名の先生（挿絵）が、繰り返し登場し活動を展開している。</li> <li>○ 2名の児童が活動の中で、児童に思考や活動を促している。</li> <li>○ 「！」マークで、衛生上の注意を促している。</li> <li>○ 単元名の前に、単元の内容に関連するマークを掲載し、単元観のつながりを示している。</li> <li>○ 「たんごの節句」、「七夕」、「お月見」、「節分」、「ひな祭り」等の節句や伝統行事にかかわる単元では、地域の特色を盛り込んだ「切り絵」で行事や遊びを表している。</li> <li>○ 二次元コードで、活動に際して参考となる情報がWebページにあることを示している。</li> </ul>
<p>光 村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元を「ホップ（思いや願いをもつ、見通しをもつ）」、「ステップ（やってみる、考える、表す）」、「ジャンプ（振り返る、伝え合う）」の3段階のマークで示している。</li> <li>○ 「もっとやってみたい」マークで、単元終了後も活動を続けるてがかりを示している。</li> <li>○ 「きせつのおくりもの」マークで、季節ごとの動植物を示している。</li> <li>○ キャラクター内の二次元コードで、季節の資料（四季の動植物および47都道府県の伝統行事）、交通安全、道具の使い方の資料）を見ることができることを示している。</li> <li>○ 「どうすれば」マークのついたコーナーを設け、自ら考える活動を促している。</li> <li>○ 「！」マークを付け、安全・衛生上の注意を促している。</li> </ul>
<p>啓 林 館</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページの左上に、単元導入の「わくわく」、主な活動の「いきいき」、表現活動の「ぐんぐん」の3段階のマークで単元の流れを示している。</li> <li>○ 「ぐるるっち」、「のびっく」、「ぴんぴん」のキャラクターが気付きのヒントや、安全上の留意点などを示している。</li> <li>○ 「てをあらおう」マークで、安全・衛生上の注意を促している。</li> <li>○ 「！」マークで、みんなで考える活動を促している。</li> <li>○ 「✓」マークで、活動の振り返りを促している。</li> <li>○ 「ひろがるきもち」マークで、学んだことを生活に生かすことを促している。</li> <li>○ 「がくしゅうずかん」マークで、巻末の学習図鑑の参照を促している。</li> <li>○ 他教科との関連が深いところに、関連が分かるマークで示している。</li> <li>○ 二次元コードで、活動に際して参考となる情報がWebページにあることを示している。</li> </ul>
<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元名の前に、単元の内容に関連するマークを掲載している。</li> <li>○ 5名の児童（挿絵）が繰り返し登場し、活動する物語性のある展開になっている。</li> <li>○ 「ぼいんとさん」、「ひんとさん」、「ちゅういさん」のキャラクターが、児童に思考や活動を促したり、安全上の注意を促したりしている。</li> <li>○ 見開き2ページの左下に、「本」、「電球」、「ハート」のマークで、学習のめあてを示している。</li> <li>○ 「てをあらおう」マークで、安全・衛生上の注意を促している。</li> <li>○ 「アレルギー」のマークで、健康面への注意を促している。</li> <li>○ 「注意」マークで健康や安全面について注意を促している。</li> <li>○ 「ぺえじもみてね」マークで、関連した資料を参照するように促している。</li> <li>○ 「ふりかえる、つなげる」マークで、学習活動を振り返ったり次の活動へつなげたりするよう促している。</li> <li>○ 「Dマーク」で、パソコンやインターネットの使用を促している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑨コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定
<b>方法</b>	多様な表現方法（ICTの活用等）で伝え合う活動の例

	多様な表現方法（ICTの活用等）で伝え合う活動の例 ※内容（3）を扱った単元の内、下巻を調査
<b>東 書</b>	<p>「どきどきわくわくまちたんけん」「もっとなかよしまちたんけん」「つながる広がるわたしの生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 友達と探検の計画を立てている。</li> <li>○ 不思議に思った事や聞いてみたいことなどを地域の人（和菓子屋、農家などで働く人）にインタビューしたり教えてもらったりして調べている。</li> <li>○ 見つけたことや活動したことについて電子黒板を使って友達に説明したり、探検マップに示したりして説明している。また、家に帰って家族に話している。</li> <li>○ インタビュー、電話、ファックス、手紙、メールで知りたくなったことをさらに調べている。</li> <li>○ 調べたことをポスターやパンフレット、新聞にまとめ、町に出かけて伝える活動をしている。</li> <li>○ まちの人を招待して発表会を開き、電子黒板を使って説明している。</li> </ul>
<b>大 日 本</b>	<p>「わたしの町はっけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町の大好きな場所や人を書いた紹介カードを基に、先生や友達と調べる計画を立てている。</li> <li>○ 地域の人（花屋、写真館、みそ工場、図書館で働く人）に取材して調べている。</li> <li>○ 見つけたことや出会った人などをタブレットや電子黒板で報告したり、カードにまとめて紹介コーナーに掲示したりしている。</li> <li>○ グループごとに、電子黒板、クイズ、紙芝居、地図、ポスターを用いて発表している。</li> <li>○ 地域の人を招いて、地図や電子黒板を使って発表している。</li> <li>○ ポスターや町内掲示板、ホームページなどで、調べたことを多くの人に伝えようとしている。</li> </ul>
<b>学 図</b>	<p>「まちたんけん」「あの人に会いたいな」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町について知っていることを紹介し合い、友達や先生と町探検の計画を立てている。</li> <li>○ 見つけたことや出会った人などについてカードにまとめたり、電子黒板を使って説明したり、クイズ形式で発表したりしている。</li> <li>○ 地域の人（パン屋で働く人、田で働く人、消防士など）に教えてもらったり、インタビューをしたりしながら調べている。</li> <li>○ 活動したり、質問したりしたことについて、発表会で地域の人に、電子黒板や新聞、地図にまとめて伝えている。</li> <li>○ 発表会の招待状や、お礼の手紙を書くように促している。</li> </ul>
<b>教 出</b>	<p>「まちが大好きたんけんたい」「えがおのひみつたんけんたい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ お気に入りの場所や、知っている人を友達と交流し、地図を見ながら探検の計画を立てている。</li> <li>○ 綿菓子屋や靴屋、パン屋やおもちゃ屋に行ってみたり、地域の人にインタビューをしたりして町のことを調べている。</li> <li>○ 1回目の町探検で見つけたことをカードにまとめた物を基に、活動の見通しを立てている。</li> <li>○ もっと知りたいことについて友達と付箋紙を使って整理している。</li> <li>○ 友達に体験したことや調べたことを、電子黒板で示している。</li> <li>○ 発表会に地域の人を招き、紙芝居、新聞、クイズ、実演などで発表している。</li> <li>○ 作成したポスターや感謝状を持って町に出かけ、伝え合う活動をしている。</li> </ul>

【生活】

<p>信 教</p>	<p>「わたしたちがすむ町」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ おみせやさんに行ってわかったことや疑問に思うことについて資料を基に交流している。</li> <li>○ 知りたいことについて、電話で問い合わせている。</li> <li>○ 製菓店で取材したことについて電子黒板を使って説明している。</li> <li>○ 獅子舞を公民館で教えてもらったり、地域の伝わる民話について聞いたり調べたりしている。</li> <li>○ 教えてもらった獅子舞を披露したり、地域に伝わる民話を紙芝居にして友達に読み聞かせたりしている。</li> <li>○ 公民館の掲示板に招待状を掲示し、地域の人を招いて発表会を実施し、紙芝居や太鼓を披露している。</li> </ul>
<p>光 村</p>	<p>「まちをたんけん大はっけん」「もっともっとまちたんけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ お気に入りの場所を地図に示したり、カードに書いて教え合ったりして、みんなで探検する計画を立てている。</li> <li>○ 地域の人（パン屋、消防署、駅で働く人、農家の人、公園で掃除する人）にインタビューをしたり、図書館を利用しながら教えてもらったりして調べたことをカードにまとめている。</li> <li>○ 町探検で見つけたことや、出会った人などをカードにまとめ、地図に置きながら交流をしている。</li> <li>○ 地域の人を発表会に招き、ポスターやクイズ、新聞や電子黒板、パンフレットを使って説明をしている。</li> <li>○ 作成したポスターやお礼の手紙を取材した方々へ渡している。</li> </ul>
<p>啓 林 館</p>	<p>「とび出せ！町のたんけんたい」「もっと知りたいたんけんたい」「町のすてきつたえたい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町について知っていることを出し合い、友だちと探検の計画を立てている。</li> <li>○ 地域の人（和菓子屋や花屋で働く人、警察官、登下校の安全を見守る人、伝統工芸品を作る人）にインタビューをしたり、教えてもらったりしたことを、インタビューカードに記入している。</li> <li>○ 発見したことについて、友達に電子黒板を使って写真を見せたり、ペープサートやクイズなどで伝えたり、カードを地図に置きながら交流している。また、発見したことを家の人にも話すことを促している。</li> <li>○ もっと知りたいことについて友達と付箋紙を使って整理している。</li> <li>○ 知りたくなったことを調べるために、電話で訪問の依頼をしている。</li> <li>○ 友達と見つけたことを伝える方法を相談している。</li> <li>○ 地域の多様な人（幼児や高齢者など）を招いて発表会を開き、地図、ポスター、電子黒板、体験、劇、ゲーム、クイズで説明している。</li> <li>○ 学習を通してわかったことやがんばったことを交流している。</li> </ul>
<p>日 文</p>	<p>「町たんけん1ーみんなでつかう場しょへ行こうー」「町たんけん2ーグループで出かけようー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知っている場所についてウェービングマップを基に交流している。</li> <li>○ 実物投影機を使用して、カードを全体に示しながら説明したり、電子黒板を使って、見学に行った時の気づきを交流したりしている。</li> <li>○ 1度目の町探検を基に書いた「見つけたカード」を基に交流し、グループで2度目の探検の計画を立てている。</li> <li>○ 地域の人（和菓子屋や農園、コンビニエンスストア、デイサービスセンター）に取材したことをインタビューカードに記録している。</li> <li>○ 友達と見つけたことを伝える方法や内容を相談している。</li> <li>○ 地域の人を招いて発表会を開き、新聞、ポスター、電子黒板、クイズ、体験コーナーで説明している。</li> <li>○ お礼の気持ちを歌や手紙で伝え合う活動をしている。</li> </ul>

音 楽
-----

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称	教科書名
17 教 出	小学音楽 音楽のおくりもの
27 教 芸	小学生の音楽

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点	視点	方法
(ア) 基礎・基本の定着	① 題材や学習目標等の示し方	題材名・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例
	② 歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫	歌唱教材の扱いの具体例
	③ 器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫	リコーダーの扱いの具体例
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	④ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫	音楽づくりに関する学習過程等の示し方と具体例
	⑤ 音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫	音や音楽と生活との関わりについての記述
(ウ) 内容の構成・配列・分量	⑥ 我が国の音楽に関する内容の扱い	学年ごとに扱う鑑賞曲・和楽器・歌唱教材
	⑦ 題材や資料等の配列	表現領域における系統的な扱い
(エ) 内容の表現・表記	⑧ 〔共通事項〕の指導を充実させる工夫	音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫
(オ) 言語活動の充実	⑨ 表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫	音楽科の特質に応じた言語活動の具体例



【音楽】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①題材や学習目標等の示し方
方法	題材名・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例

	題材名・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例	第3学年 旋律や変化等を扱った鑑賞の題材
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材名の表記の仕方</li> <li>○ 学習目標の表記の仕方</li> <li>○ 学習目標達成のための支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材名 「せんりつの流れとへん化」として、見開き左上に横書きで記載している。</li> <li>○ 学習目標 「せんりつのへん化をきき取りながらバイオリンのえんそうを楽しもう」と横書きで表記され、「せんりつ」、「へん化」、「バイオリン」、の文言には色が付いている。</li> <li>○ 学習活動の見通しを示す文 見開き左側に「せんりつの流れやへん化に気づきながらきけるかな。」と縦書きで記載している。</li> <li>○ 児童の気づきを引き出す支援 「まなびナビ(学び方を知ろう)」のマークを付け、「せんりつの流れに合わせて、手や体を動かしながらきいてみよう。せんりつの感じは、どのようにかわっていくかな。」「バイオリンの音色を味わってきこう。」と記載するとともに、旋律の流れや、手や体の動きの例がイラストで示している。</li> </ul>
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材名の表記の仕方</li> <li>○ 学習目標の表記の仕方</li> <li>○ 学習目標達成のための支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材名 「曲のかんじを生かそう」として、見開き左側に縦書きで記載している。</li> <li>○ 学習目標 「曲のかんじを味わってききましょう」と横書きで表記している。</li> <li>○ 学習活動の見通しを示す文 見開き左側に「曲のかんじを味わってきいたり、曲のかんじを生かしてえんそうしたりすることができるかな。」と縦書きで記載している。</li> <li>○ 児童の気づきを引き出す支援 キャラクターの吹き出しの中に、「音楽に合わせて、主なせんりつの図形を指でたどったり、体を動かしたりしながらきいてもいいね。」と記載するとともに、旋律の流れをイラストで示している。また、感じたことや気づいたことを書き込める欄がある。</li> </ul>

【音楽】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫
方法	歌唱教材の扱いの具体例

歌唱教材「ゆかいに歩けば」(第4学年)の例	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材における扱い</li> <li>○ 学習目標</li> <li>○ 歌詞</li> <li>○ 速度</li> <li>○ 合唱の扱い</li> <li>○ 発声の扱い</li> </ul>
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材における扱い</li> <li>○ 学習目標</li> <li>○ 歌詞</li> <li>○ 速度</li> <li>○ 合唱の扱い</li> <li>○ 発声の扱い</li> </ul>

歌唱教材「ゆかいに歩けば」(第4学年)の例

○ 「曲に合った歌い方」の中の歌唱教材として扱っている。

○ 学習目標「ひびきを大切にして歌い方をくふうしよう」及び扱う〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素について「せんりつ」「音色」を提示

○ 1, 2番

○ ♩=116 ぐらい

○ ア イに分かれイの部分が二部合唱になっている。

○ 歌い方のポイントの説明, 歌っている姿の写真を提示

おなかを使って歌おう

- ・ かたを楽にして, おなかに手を当てながら歌ってみよう。
- ・ 「ゆかいに歩けば」の前半の部分をピ, ポ, マなどの言葉で, 歌ってみよう。

○ 「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」の中の歌唱教材として扱っている。

○ 学習目標「せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。」及び目標達成のための支援となる活動文を提示

○ 1, 2, 3番

○ ♩=116~126

○ ア イに分かれイの部分が二部合唱になっている。

○ 歌い方のポイントの説明, 歌っている姿の絵を提示

歌声②

- ・ スタッカートのところは, わらったときのようなおなかの動きを感じて, 軽くはずむように歌いましょう。また, 言葉があいまいにならないように, はっきりと発音して歌いましょう。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫
方法	リコーダーの扱いの具体例

第3学年及び第4学年におけるリコーダー学習の具体例		
教 出	○ リコーダー学習の導入 (第3学年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>リコーダーのつくりや各部の名称を知る→鑑賞曲を聴く(5曲) →リコーダーの種類を知る(5種類)→楽器の構え方や持ち方を知る→「シ」の音をふく</li> </ul>
	○ 学習する音の順番	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3学年 「シ→ラ→ソ→ド→レ→ファ→ミ→レ」,</li> <li>第4学年 「ミ→ド→#ソ」</li> </ul>
	○ 指使いの説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>階名, 五線譜, 吹き口を下側にした, 子どもの目線でのリコーダーのイラストを加えている。</li> <li>第3学年で, 構えた時の子どもの目線や横から見た写真を掲載している。</li> </ul>
	○ 息の吹き込み方・タンギング・サミングの説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きなしゃぼん玉をつくるような息でふくよう説明している。</li> <li>第3学年の導入で, タンギングを「トゥ」「ル」と, また, 第4学年で高い音を吹くときには「ティ」と発音するように説明している。</li> <li>第4学年で, サミングの二つの方法を写真と言葉で説明している。</li> </ul>
教 芸	○ リコーダー学習の導入 (第3学年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>リコーダーのつくりや各部の名称を知る→鑑賞曲を聴く(2曲) →リコーダーの種類を知る(4種類)→楽器の構え方や持ち方・楽器の手入れの仕方を知る→「シ」の音をふく</li> </ul>
	○ 学習する音の順番	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3学年 「シ→ラ→ソ→ド→レ→ファ→ミ→レ→ド」</li> <li>第4学年 「ミ→ファ→ソ」</li> </ul>
	○ 指使いの説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>階名, 五線譜, 吹き口を下側にした, 子どもの目線でのリコーダーのイラストを加えている。</li> <li>「シ」「レ」では, 構えた時の目線や横から見た写真を掲載している。</li> </ul>
	○ 息の吹き込み方・タンギング・サミングの説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3学年の導入で, タンギングを「tu(トゥ)」とふいて, 「t」ととめるよう, また, 第4学年で, スタッカートで吹くときには「tu(t)(トゥッ)」, 高い音を吹くときには「ti(ティ)」と発音するように説明している。</li> <li>第4学年でサミングの二つの方法を写真と言葉で説明している。</li> </ul>

【音楽】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
方法	音楽づくりに関する学習過程等の示し方と具体例

	音楽づくりに関する学習過程等の示し方	第3学年及び第4学年における具体例
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習過程の示し方</li> <li>○ 音の様子を図形で表したカードの示し方</li> <li>○ 使用する楽器の例</li> <li>○ 音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫</li> </ul>	<p>「みんなで合わせて」(第3学年) 学習目標「音のひびきや組み合わせを楽しもう」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 楽きをえらぼう。</li> <li>2 楽きの音をたしかめよう。</li> <li>3 カードをえらんで、音で表してみよう。</li> <li>4 カードをつなげてえんそうしよう。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6種類のカードを示している。</li> <li>○ 木製(3種類)、皮製(3種類)、金属製(3種類)</li> <li>○ 「打ち方を変えたり、ばちを変えたりして、どんな音が出るかためしてみよう。」と示し、児童の吹き出しの中で次のように示している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カスタネットで音を長くひびかせるのはむずかしいね。</li> <li>・ トライアングルで短く音を切るには、どうしたらいいかな。</li> <li>・ 音の強さをかえることはできるかな。</li> <li>・ 打つところやばちによって、音色が変わるね。</li> </ul> </li> </ul>
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習過程の示し方</li> <li>○ 音の様子を図形で表したカードの示し方</li> <li>○ 使用する楽器の例</li> <li>○ 音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫</li> </ul>	<p>「いろいろな音のひびきを感じ取ろう」(第4学年) 学習目標「音のとくちょうを生かして音楽をつくりましょう。」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 いろいろな楽器を使って、鳴らし方をくふうしながら、ア～エのカードの図形を音で表しましょう。</li> <li>2 3人の組になり、音のひびき合いをたしかめながら、組み合わせる楽器をえらびましょう。</li> <li>3 下の例を参考にして、ア～エの4種類のカードをすべて使って、音楽をつくりましょう。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4種類のカードを示している。</li> <li>○ 皮製(4種類)、金属製(3種類)、木製(3種類)</li> <li>○ 児童の吹き出しの中で、「・と●では、打つ位置を変えて、音の高さをくふうしてみようかな。」「細かく打ちながらだんだん強くしていこうかな。それとも、ふりながらだんだん強くしていこうかな。」「金属でできている楽器を組み合わせました。」「皮がはってある楽器と木でできている楽器を組み合わせました。」「それぞれの楽器の音がよくきこえるように、1人ずつ順に鳴らしました。」「クラベスが目立つように、他の楽器とちがうカードをえらびました。」と示している。</li> </ul>

【音楽】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫
方法	音や音楽と生活との関わりについての記述

音や音楽と生活との関わりについての記述	
教 出	<p>○ 音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、表現者からのメッセージ等を掲載している。</p> <p>第1学年 おとのスケッチ：「ことばのリズムであそぼう」</p> <p>第2学年 音のスケッチ：「どんな音がきこえるかな」 題材：「おまつりの音楽」</p> <p>第3学年 音のスケッチ：「いろいろな声で表げんして遊ぼう」 題材：「遊び歌めぐり」</p> <p>第4学年 巻頭：「あなたの声は世界にただひとつ」 題材：「音楽今昔」 歌唱教材との関わり：「わたしたちの生活と音楽」</p> <p>第5学年 巻頭：「舞台から未来へ」 題材：「音楽の旅」</p> <p>第6学年 巻頭：「ひびきに心をのせて」 コーナー：「音楽にできること」 歌唱教材との関わり：「海を思う心」</p>
教 芸	<p>○ 音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、表現者からのメッセージ等を掲載している。</p> <p>第1学年 題材：「みのまわりのおとにみみをすまそう」</p> <p>第2学年 題材：「音楽でみんなとつながろう」 題材：「せいかつの中にある音を楽しもう」</p> <p>第3学年 鑑賞教材との関わり：「神田囃子ほぞん会立野喜久雄さんのお話」</p> <p>第4学年 歌唱及び鑑賞教材との関わり：「越中五箇山こきりこう たほぞん会の岩崎喜平 さんにインタビュー」</p> <p>第5学年 巻頭：「表現するときに大切なこと」 鑑賞教材との関わり：「仙台フィルハーモニー管弦楽団 バイオリン奏者神谷未穂さんのお話」</p> <p>第6学年 巻頭：「時代をこえて受けつぐ歌舞伎のこころ」 特集：「音の働きや役割について考えよう」 特集：「音楽が人と人をつなぐ」 歌唱教材との関わり：「あすという日が」</p>

【音楽】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥我が国の音楽に関する内容の扱い
方法	学年ごとに扱う鑑賞曲・和楽器・歌唱教材

	学年	鑑賞曲・和楽器・歌唱教材	
教 出	1	鑑賞曲	・ わらべうた（「おちゃらか」、「なべなべ」）
		歌唱教材	・ 共通教材：「ひらいたひらいた」、「かたつむり」、「うみ」、「ひのまる」 ・ きせつのうた：「たなばたさま」、「たきび」、「おしょうがつ」、「うれしいひなまつり」
	2	鑑賞曲	・ 日本のたいこ：（「つがるじょっぱりだいこ」、「さんきおどりのたいこ」、「ごじんじょだいこ」、「はちじょうだいこ」）
		和楽器	・ たいこ
		歌唱教材	・ 共通教材：「かくれんぼ」、「虫の声」、「夕やけこやけ」、「春がきた」 ・ しぜんのうた：「つき」、「とんぼのめがね」、「雪」
	3	鑑賞曲	・ 日本や世界の子ども歌（「十五夜さんのもちつき」）
		歌唱教材	・ 共通教材：「春の小川」、「茶つみ」、「うさぎ」、「ふじ山」 ・ こころのうた：「あの町この町」、「七つの子」、「まっかな秋」
	4	鑑賞曲	・ 「さくら変そう曲」 ・ 「ソーラン節」 ・ 「秩父屋台ばやし」 ・ 「葛西ばやし」
		和楽器	・ こと ・ 大だいこ ・ しめだいこ ・ かね ・ こと ・ ふえ ・ おおどう ・ つけだいこ
		歌唱教材	・ 共通教材：「さくらさくら」、「まきばの朝」、「とんび」、「もみじ」 ・ きせつのうた：「どこかで春が」、「みかんの花さくおか」、「里の秋」
	5	鑑賞曲	・ 「会津磐梯山」 ・ 「音頭の舟歌」 ・ 「長唄『越後獅子』から」 ・ 「京の夜」
		和楽器	・ しの笛 ・ こきりこ ・ 三線
		歌唱教材	・ 共通教材：「こいのぼり」、「子もり歌」、「冬げしき」、「スキーの歌」 ・ 「赤とんぼ」 ・ 「こきりこ節」 ・ 「谷茶前」 ・ 山田耕筰、中田喜直のうた：「ペチカ」、「待ちぼうけ」、「星とたんぼぼ」、 「ちいさい秋みつけた」
	6	鑑賞曲	「春の海」
		和楽器	・ こと ・ 尺八 ・ 三味線 ・ 雅楽の楽器（ふき物、ひき物、打ち物）
		歌唱教材	・ 共通教材：「おぼろ月夜」、「われは海の子」、「越天楽今様」、「ふるさと」 ・ 滝廉太郎のうた：「荒城の月」、「箱根八里」

【音楽】

		鑑賞曲・和楽器・歌唱教材	
教 芸	1	鑑賞曲	・ 「さんちゃんが」, 「おおなみこなみ」
		歌唱教材	・ 共通教材: 「ひらいたひらいた」, 「かたつむり」, 「うみ」, 「ひのまる」 ・ 「おちやらかほい」 ・ うたいつごうにほんのうた: 「たなばたさま」, 「おしょうがつ」, 「うれしいひなまつり」
	2	鑑賞曲	・ 「ずいずいずっころばし」 ・ 「あんたがたどこさ」 ・ 「なべなべそこぬけ」
		歌唱教材	・ 共通教材: 「かくれんぼ」, 「虫のこえ」, 「夕やけこやけ」, 「はるがきた」 ・ うたいつごう日本のうた: 「夕日」, 「とんぼのめがね」, 「シャボン玉」
	3	鑑賞曲	・ 「祇園囃子」 ・ 「ねぶた囃子」 ・ 「神田囃子『投げ合い』」
		和楽器	・ 長胴だいこ ・ しめだいこ ・ かね ・ しのぶえ
		歌唱教材	・ 共通教材: 「春の小川」, 「茶つみ」, 「うさぎ」, 「ふじ山」 ・ 歌いつごう日本の歌: 「ゆりかごの歌」, 「七つの子」, 「どこかで春が」
	4	鑑賞曲	・ 「こきりこ」 ・ 「ことの独奏による主題と6つの変奏『さくら』より」 ・ 「津軽じょんから節」 ・ 「ていんさぐぬ花」
		和楽器	・ こきりこ ・ びんざさら ・ たいこ ・ ふえ ・ ぼうささら ・ くわがね ・ つづみ ・ こと ・ 三味線 ・ 三線
		歌唱教材	・ 共通教材: 「さくらさくら」, 「まきばの朝」, 「とんび」, 「もみじ」 ・ 歌いつごう日本の歌: 「みかんの花さくおか」, 「せいくらべ」, 「みどりのそよ風」
	5	鑑賞曲	・ 「春の海」 ・ 「ソーラン節」 ・ 「かりぼし切り歌」 ・ 「待ちぼうけ」 ・ 「赤とんぼ」 ・ 「この道」
		和楽器	・ こと ・ 尺八
		歌唱教材	・ 共通教材: 「こいのぼり」, 「冬げしき」, 「スキーの歌」, 「子もり歌」 ・ 歌いつごう日本の歌: 「ちいさい秋みつけた」, 「海」
	6	鑑賞曲	・ 「花」 ・ 「箱根八里」 ・ 「荒城の月」 ・ 雅楽「越天楽」
		和楽器	・ 笛 ・ 小鼓 ・ 大鼓 ・ 太鼓 ・ 太棹三味線 ・ 細竿三味線 ・ 三線
		歌唱教材	・ 共通教材: 「おぼろ月夜」, 「われは海の子」, 「越天楽今様」, 「ふるさと」

【音楽】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦題材や資料等の配列
方法	表現領域における系統的な扱い

		表現領域における系統的な扱い	楽曲名及び楽器名
教出	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2学年から合唱を導入し、二部合唱を中心とした配列をしている。</li> <li>○ 第5学年から三部合唱を導入している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二部合唱導入曲 第2学年：「春がきた」、「ラララ歌おう」(部分二部合唱)</li> <li>○ 三部合唱曲 第5学年：「こげよマイケル」 第6学年：「ロックマイソウル」</li> </ul>
	器楽・音楽づくり	○ 各学年で扱う打楽器及び旋律楽器	第1学年：タンブリン、すず、カスタネット、けんばんハーモニカ、ハーモニカ、トライアングル、おおいこ、こだいこ、てっきん、もっきん 第2学年：ウッドブロック、ギロ、グロッケン、ビブラフォン、シンバル、マリンバ、オルガン 第3学年：リコーダー、カウベル、クラベス 第4学年：しめだいこ、大だいこ、かね、シェーカー、アゴゴ、フロアトム、こと、ボンゴ 第5学年：しの笛
	器楽	○ 合奏曲の配列	第2学年：「汽車は走る」、「チャチャマンボ」、「アンダルコの歌」 第3学年：「せいじやの行進」、「パフ」、「ミッキーマウスマーチ」 第4学年：「ラクンパルシータ」、「魔法のすず」 第5学年：「茶色の小びん」、「風とケーナのロマンス」、「ルパン三世のテーマ」、「ゴジラ」 第6学年：「マルセリーノの歌」、「カノン」、「L-O-V-E」、「八木節」
教芸	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3学年から合唱を導入し、二部合唱を中心とした配列をしている。</li> <li>○ 第5学年から三部合唱を導入している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二部合唱導入曲 第3学年：「歌おう声高く」(部分二部合唱)</li> <li>○ 三部合唱曲 第5学年：「こげよマイケル」、「A Good day」 第6学年：「星の世界」、「ふるさと」</li> </ul>
	器楽・音楽づくり	○ 各学年で扱う打楽器及び旋律楽器	第1学年：カスタネット、タンブリン、けんばんハーモニカ、トライアングル、すず、ウッドブロック、てっきん 第2学年：クラベス、小だいこ、大だいこ、オルガン、木きん、てっきん、キーボード 第3学年：リコーダー、しめだいこ、長胴だいこ、トライアングル、ギロ、シンバル、ウィンドチャイム 第4学年：マラカス、こと、コンガ、ボンゴ 第5学年：カバサ、サスペンデッドシンバル、カウベル、アゴゴ
	器楽	○ 合奏曲の配列	第1学年：「こいぬのマーチ」 第2学年：「こぐまの二月」、「アイアイ」 第3学年：「ゆかいな木きん」、「パフ」、「エーデルワイス」、「ミッキーマウスマーチ」 第4学年：「茶色の小びん」、「ジッパディー ドゥーダー」、「スーパーカリフラジリスティックエクスピアドーシャス」 第5学年：「リボンのおどり」、「キリマンジャロ」、「威風堂々」、「アフリカンシンフォニー」 第6学年：「ラバーズ コンチェルト」、「雨のうた」、「風を切って」、「木星」、「コンドルは飛んで行く」



【音楽】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧〔共通事項〕の指導を充実させる工夫
方法	音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫

音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫	
教 出	<p>○ 音楽を形づくっている要素の示し方</p> <p>○ 見開き右ページ上に「音楽のもと」として示し，中・高学年にはメモ欄がある。</p> <p>○ 〔共通事項〕の内容を，巻末の『音楽のもと』まとめに掲載している。</p>
	<p>○ 体を動かす活動を取り入れて，音楽の特徴を捉えさせる指導の工夫</p> <p>○ 歌唱「ふじ山」（第3学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「せんりつのリズムを手で打つなどして，♪・♪♪♪のリズムで始まるだとそうでないだんを見つけよう。」</li> <li>「それぞれのだんの，せんりつの流れを手で表してみよう。」と示している。</li> </ul> <p>○ 鑑賞「バイオリンとピアノのためのソナタ（第4楽章）」（第6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「まず，せん律の流れに合わせて手などを動かしたり，楽器のひきまねをしたりしながら，曲の最初の部分をきいてみよう。」</li> <li>「楽器を決めてひきまねをしたりしながら，曲全体をきいてみよう。」と示している。</li> </ul>
教 芸	<p>○ 音楽を形づくっている要素の示し方</p> <p>○ 見開き右ページ下に示している。</p> <p>○ 巻末の「ふり返りのページ」に，各学年で学習した音楽を形づくっている要素が，関連するページ番号とともに記載している。</p>
	<p>○ 体を動かす活動を取り入れて，音楽の特徴を捉えさせる指導の工夫</p> <p>○ 歌唱「ふじ山」（第3学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「せんりつを指でたどりながら『ふじ山』を歌って，音の上がり下がりをかんじとりましょう。」と示され，児童の吹き出しの中で「いちばん高い音はどこにあるかな。」と示している。</li> </ul> <p>○ 鑑賞「ハンガリー舞曲第5番」（第6学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「音楽に合わせて，体を動かしたり指揮のまねをしたりしながらきいて，速さや強さについて気付いたことや感じたことを話し合ひましょう。」と示している。</li> </ul>

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑨表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫
方法	音楽科の特質に応じた言語活動の具体例

		音楽科の特質に応じた言語活動の具体例	
教出	表現	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた歌唱の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面の設定</li> <li>・実際に歌って音楽表現を高めていく場面の設定</li> </ul>	<p>「演奏のみりよく」（第6学年）</p> <p>学習目標「思いや意図を大切にしながら、みんなで表現をくふうしよう」</p> <p>教材曲「ぼくらの日々」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習過程が①～⑤で示され、①「どんな曲かな？曲のみりよくを見つけよう。」の中で「曲全体のイメージやいいなと思ったところを話し合おう。」と示されている。⑤「自分たちの表現をめざそう。」では、「演奏を録音してきいたり、だれかにきいてもらったりして、自分たちの思いや意図が伝わっているか、『もっとこうしたいな』と思うところを話し合おう。」と示している。</li> <li>・ 学習過程⑤「自分たちの表現をめざそう。」において、「たがいによくきき合って、さらにまとまりのあるアンサンブルするために、いろいろ試してみよう。」&lt;例&gt;「パートどうしの音量のバランスなど」と示している。</li> </ul>
	鑑賞	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた鑑賞の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなどの様々な意見を共有する場面の設定</li> <li>・視点をもって再度音楽を聴く場面の設定</li> </ul>	<p>「ききどころを見つけて」（第4学年）</p> <p>学習目標「曲の流れを感じ取り、全体を味わってきこう」</p> <p>教材曲「ノルウェー舞曲 第2番」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「音楽に合わせて体を動かしたり、歩いたり、しきの動きをしたりしながらきいて、気がついたことや感じ取ったことを友達とお話ししよう。」と示している。</li> <li>・ きき取ったことや音楽の感じ等を記入する表がある。</li> <li>・ 「表に書いたことをもとに、この曲のよいなと思ったところやおもしろいなと思ったところなどを、友達と伝え合い、全体を味わってきこう。」と示している。</li> </ul>
教芸	表現	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた歌唱の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面の設定</li> <li>・実際に歌って音楽表現を高めていく場面の設定</li> </ul>	<p>「詩と音楽の関わりを味わおう」（第6学年）</p> <p>学習目標「人々が大切にしてきた歌を味わい、思いが伝わるように歌いましょう。」</p> <p>教材曲「ふるさと」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「歌詞や曲の特徴について話し合いましょう。」「『ふるさと』をどのように歌いたいかを考えて、発表し合いましょう。」と示している。</li> <li>・ 「工夫したい点をまとめたら、たがいの歌声をよくきき合いながら合唱しましょう。」と示している。</li> </ul>
	鑑賞	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた鑑賞の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなどの様々な意見を共有する場面の設定</li> <li>・視点をもって再度音楽を聴く場面の設定</li> </ul>	<p>「ききどころを見つけて」（第4学年）</p> <p>学習目標「曲の流れを感じ取り、全体を味わってきこう」</p> <p>教材曲「ノルウェー舞曲 第2番」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「音楽に合わせて体を動かしたり、歩いたり、しきの動きをしたりしながらきいて、気がついたことや感じ取ったことを友達とお話ししよう。」と示している。</li> <li>・ きき取ったことや音楽の感じ等を記入する表がある。</li> <li>・ 「表に書いたことをもとに、この曲のよいなと思ったところやおもしろいなと思ったところなどを、友達と伝え合い、全体を味わってきこう。」と示している。</li> </ul>

【音楽】

鑑賞	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた鑑賞の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなどの様々な意見を共有する場面の設定</li> <li>・ 視点をもって再度音楽を聴く場面の設定</li> </ul>	<p>「曲のかんじを生かそう」（第3学年）</p> <p>学習目標「曲のかんじを味わってききましょう。」</p> <p>教材曲「メヌエット」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ア</span>と<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>のかんじのちがいに気をつけてききましょう。</li> <li>・ 「<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ア</span>と<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>のせんりつをきいて、かんじたことと気づいたことをまとめましょう。」と示し、かんじたことと気づいたことを書くための表を掲載している。</li> <li>・ 「まとめたことをふりかえりながら、<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ア</span>→<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">イ</span>→<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">ア</span>の曲のまともに気をつけてききましょう。」と示している。</li> </ul>
----	--	---

【図画工作】

## 図画工作

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

	発行者の番号及び略称	教科書名
9	開 隆 堂	図画工作
116	日 文	図画工作

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

	観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	題材の目標・振り返りの示し方	題材の目標・振り返りの表記の仕方と具体例
		②	〔共通事項〕を視点とした学びの示し方	〔共通事項〕を視点とした学びの示し方, 具体例
		③	材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫	材料や用具の取扱い等の示し方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	興味・関心を高めるための工夫	導入の文の示し方と具体例
		⑤	表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫	表現と鑑賞との関連を図った学習活動の具体例
		⑥	身近な作品・我が国や諸外国の親しみのある美術作品等や生活の中の造形の取扱い	鑑賞の対象と示し方
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦	題材や資料等の配列	題材数, 構成や配列
(エ)	内容の表現・表記	⑧	作品等についての示し方の工夫	作品や造形活動の示し方, 具体例
(オ)	言語活動の充実	⑨	表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫	発想や構想, 鑑賞の場面における言語活動の示し方, 具体例

【図画工作】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①題材の目標・振り返りの示し方
方法	題材の目標・振り返りの表記の仕方と具体例

	題材の目標・振り返りの表記の仕方		具体例
開 隆 堂	<p>○ 各題材の目標を、3種類のマーク「知識及び技能（形や色，方法や材料を知って，くふうする力）」，「思考力，判断力，表現力等（試したり，見つけたりして，考えたり，思いついたりする力）」，「学びに向かう力，人間性等（心を開いてたのしく活動し，友達とかかわり，協力し合う力）」と文で示し，特に重点的に育てたい力には，下線を引き，色を変えて示している。</p> <p>○ 重点的に育てたい力に対応した，児童が自己評価する際の手助けになる「ふりかえり」を文で示している。</p>	第 3 ・ 4 学 年 （ 下 ）	<p>「トントンつないで」</p> <p>&lt;目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>つなぎ方や動き方をくふうしよう。</u> 「知識及び技能」</li> <li>・ 動くしくみから，つくりたいものを考えよう。 「思考力，判断力，表現力等」</li> <li>・ 切ったり，つないだりすることをたのしもう。 「学びに向かう力，人間性等」</li> </ul> <p>&lt;振り返り&gt;</p> <p>おもしろい動き方がくふうできたかな。</p>
日 文	<p>○ 資質・能力の三つの柱に基づいて，3種類のマーク「知識及び技能（見つけたり，くふうしたりすること）」，「思考力，判断力，表現力等（感じたり，考えたりすること）」，「学びに向かう力，人間性等（活動の中で，楽しんですること）」と文で示している。</p> <p>○ 学びに向かう力，人間性等の涵養へとつなげるために，活動を通して感じたり考えたりしてほしいことを例示している。</p>	第 3 ・ 4 学 年 （ 下 ）	<p>「ギコギコ トントン クリエイター」</p> <p>&lt;目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組み合わせた木の形や色の感じを見つけ，くふうしてつくる。 「知識及び技能」</li> <li>・ 切った木の組み合わせをたしかめながら，つくりたいものを考える。 「思考力，判断力，表現力等」</li> <li>・ 木を切ることや，生活で使えるものをつくることを楽しむ。 「学びに向かう力，人間性等」</li> </ul> <p>&lt;振り返り&gt;</p> <p>切った木を組み合わせると，いろいろな形が生まれるね。できた形を使えるものに生かすとうれしいね。</p>

【図画工作】

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	②〔共通事項〕を視点とした学びの示し方
<b>方法</b>	〔共通事項〕を視点とした学びの示し方，具体例

	〔共通事項〕を視点とした学びの示し方	具体例	
開隆堂	○ キャラクター「くふうさん」と「ひらめきさん」が，〔共通事項〕を視点として思考させるコメントを示しているものがあり，学びを促している。	表現	第1・2学年〈下〉「のりのり おはながみで」 ちがう 形や 色の お花紙をかさねると，どんな かんじに なるのかな。
		鑑賞	第5・6学年〈上〉「比べてみよう」 どんなところを比べてみたのかな。かかれているものやこと，書き方，形，色…。
日 文	○ キャラクター「ちろたん」が，子供の活動と〔共通事項〕を結び付けるコメントを示し，学びを促している。	表現	第1・2学年〈下〉「ひかりの プレゼント」 ざいりょうを つんだり かさねたり すると，ひかりのかたちや いろも かわるね。
		鑑賞	5・6上 「水から発見 ここきれい！」 水は，どんな形や色にも変わるんだね。どう組み合わせるといいかな。どこから見るときれいかな。

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	③材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫
<b>方法</b>	材料や用具の取扱い等の示し方

	材料や用具の取扱い等の示し方
開隆堂	○ 題材ごとに主に使用する用具や材料について，ページ左上にマークと用具名や材料名を記して示している。 ○ 全ての学年において巻末に，「造形の引き出し」を設け，学年に応じて必要な用具の扱い方や技法，材料についてイラストや写真を使って説明している。 ○ 題材によって「安全」「かたづけ」の囲みを設け，用具の安全な使い方や片付け方について，第1・2学年〈上・下〉は文で，第3・4学年〈上・下〉及び第5・6学年〈上・下〉は，写真やイラスト，文で示している。
日 文	○ 題材ごとに主に使用する用具について，ページ番号横にマークで示している。 ○ 全ての学年において巻末に，「使ってみよう材料と用具」を設け，学年に応じて必要な用具の扱い方や技法，材料についてイラストや写真を使って説明している。 ○ 題材によって「気をつけよう」，「かたづけ」の囲みを設け，用具の安全な使い方や片付け方について文で示している。

【図画工作】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	導入の文の示し方と具体例

	導入の文の示し方	具体例	
開 隆 堂	○ 各題材名の下に、活動のきっかけとなる文を示している。	造 形 遊 び	第1・2学年〈上〉「いろいろ ならべて」 おなじかたちがいっぱい。すきないろはなあに？どんなふうになる？
		絵	第5・6学年〈下〉「墨から生まれる世界」 墨の黒と、紙の白。二つが出合って、世界が豊かに広がっていく。思いのままに墨でかいて、黒と白の世界を味わおう。
		立 体	第1・2学年〈上〉「はこと はこを くみあわせて」 いろいろなものをつくることができるよ。
		工 作	第3・4学年〈下〉「飛び出すハッピーカード」 開けてびっくり、飛び出すカード。もらってうれしくなるようなカードをつくって伝えよう。
		鑑 賞	第3・4学年〈上〉「集めて、ならべてマイコレクション」 しぜんのものを集めて、形や色、手ざわりが気に入ったものを見つけよう。集めたざいりょうを空き箱にならべて、友だちとコレクションを見せ合おう。
日 文	○ 各題材名の下に、活動のきっかけとなる文を示している	造 形 遊 び	第1・2学年〈上〉「ならべて ならべて」 みのまわりにあるざいりょうをならべてみよう。どんなことができそうかな。どんなかたちができるかな。
		絵	第5・6学年〈下〉「墨と水から広がる世界」 ぽたっと落ちた墨、すうっとにじんだ形。水と和紙に出合ったしゅん間に、墨が動き出す。気持ちのままに手を動かし、体のリズムに乗せてかいていこう。
		立 体	第1・2学年〈上〉「はこで つくったよ」 いろいろなはこがあるね。どんなかたちやいろがあるのかな。どんなものがつくれそうかな。
		工 作	第3・4学年〈下〉「カードでつたえる気持ち」 とび出す仕組みを使って、気持ちをつたえるカードをつくろう。だれに、どんな気持ちをつたえたいかな。どんな形でつたえようかな。
		鑑 賞	第3・4学年〈上〉「み近なしぜんの形・色」 み近にある、葉や小石。見て、さわって、たしかめたら、どんな形や色が見つかるかな。

【図画工作】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫
方法	表現と鑑賞との関連を図った学習活動の具体例

	学年	表現と鑑賞との関連を図った学習活動の具体例
開 隆 堂	第1・2学年 (下)	「へんしんしよう」 身近にあるものをつかって変身し、何に見えるかを互いに鑑賞し合う活動の次ページ「小さなびじゅつかん」には、鑑賞者が実際に手に触れ、体験できる作家の作品が掲載されている。
	第3・4学年 (上)	「集めて、ならべて マイコレクション」 自然のものを集めて空き箱に並べ、友達とコレクションを見せ合う活動の次ページ「小さな美じゅつかん」には、児童の学習活動と同じように、様々なものを集めてつくられた、平面や立体の作家の作品が紹介されている。
日 文	第1・2学年 (上)	「でこぼこ はっけん！」 紙粘土やこすり出しで、身の回りにある面白いでこぼこを写し取り、互いに紹介し合う活動を設定している。
	第3・4学年 (下)	「色合いひびき合い」 小さなカードの上で、絵の具を多様な方法で混ぜ合わせ、お互いがつくったカードを見合っ て、どのような感じかを交流し合う活動を設定している。



【図画工作】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥身近な作品・我が国や諸外国の親しみのある美術作品等や生活の中の造形の取扱い
方法	鑑賞の対象と示し方

	学年	鑑賞の対象	示し方
開隆堂	第1・2学年	○ 自分たちの作品や身近な材料など	〈上〉(まなびのしりょう)「じぶんのさくひんにだいいいをつけよう」 作品に題名をつけるためのポイントを示し、題名と共に自分や友達の作品を示している。
			〈下〉(こうさく)「かぶって へんしん」 日本や外国の祭りで使われる3種類のお面を、写真で示している。
	3・4	○ 自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程など	〈上〉(りったい)「ねん土ランドへようこそ」 焼き物にして着色した作品を、方法を説明した文と共に写真で示している。
			〈下〉(かんしょう)「絵から聞こえる音」 感じたことを形や色で表す活動につなげるために、二つの美術作品を紹介している。
	5・6	○ 自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形など	〈上〉(かんしょう)「比べてみよう」 作品を比べるために、3組(6点)の我が国や諸外国の美術作品を紹介している。
			〈下〉(みんなのギャラリー)「伝統の技を学ぶ」 我が国の10種類の伝統工芸を、児童が製作する様子等と共に写真で紹介している。
日文	1・2	○ 自分たちの作品や身近な材料など	〈上〉(きょうかしよびじゅつかん)「すきな かたちや いろ なあに」 形や色について気付かせる文と共に、さまざまな自然物や人工物を示している。
			〈下〉(かんしょう)「ともだち 見つけた!」 自然物や人工物で顔に見える5種類の形を、写真で示している。
	3・4	○ 自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程など	〈上〉(りったい)「切ってかき出しくっつけて」 焼き物にした作品を、「色もかわってちがったかんじになるね。」という文と共に写真で示している。
			〈下〉(かんしょう)「ポーズのひみつ」 気付いたことや感じたことを伝え合うために、4点の美術作品を紹介している。
	5・6	○ 自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形など	〈上〉(図画工作のつながり ひろがり) 「形や色に思いをこめて」多くの人へ伝える 多くの人に分かりやすく伝わるよう視覚的な図で示された記号を紹介している。
			〈下〉(かんしょう)「この筆あと、どんな空?」 筆使いや絵の具の使い方を比べるために、4点の我が国や諸外国の美術作品を紹介している。

【図画工作】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑦題材や資料等の配列
<b>方法</b>	題材数，構成や配列

	学年	題材数	見開き題材	1ページ題材	構成や配列						
					項目						
					造形遊び	絵	立体	工作	鑑賞		
開隆堂	第1・2学年〈上〉	24	14	10	4	10	3	6	1	すべて学年の項目において題材を5項目に分類して配列している。 掲載している作品等にサイズを明記している。	
	第1・2学年〈下〉	25	13	12	4	11	2	7	1		
	第3・4学年〈上〉	20	18	2	2	7	2	8	1		
	第3・4学年〈下〉	20	18	2	2	7	2	8	1		
	第5・6学年〈上〉	18	16	2	2	7	2	6	1		
	第5・6学年〈下〉	18	16	2	2	7	2	6	1		
日 文	第1・2学年〈上〉	24	24	0	5	7	4	6	2	すべて学年の項目において題材を5項目に分類して配列している。 掲載している作品等にサイズを明記している。	
	第1・2学年〈下〉	23	23	0	4	8	4	5	2		
	第3・4学年〈上〉	23	23	0	4	8	5	5	1		
	第3・4学年〈下〉	23	23	0	5	7	4	5	2		
	第5・6学年〈上〉	21	21	0	2	8	5	4	2		
	第5・6学年〈下〉	20	20	0	3	6	4	5	2		

<b>観点</b>	(エ) 内容の表現・表記
<b>視点</b>	⑧作品等についての示し方の工夫
<b>方法</b>	作品や造形活動の示し方，具体例

	作品や造形活動の示し方	具体例
開隆堂	○ 作品や造形活動について，発想・構想に関する発言やヒントを吹き出し等で示したり，題名や作者の考え・感想を示したりしている。	第1・2学年〈下〉「すけるん たんじょう」 たくさん ひねると，ふしぎな生きものに 見えてきた。
		第3・4学年〈上〉「でこぼこさん大集合」 おいかけっこをする草原は絵の具で表しました。
		第5・6学年〈上〉「見つけて！ワイヤードリーム」 アルミはりがねをねじったり，たたいたりして形を変えていきました。空に向けて枝を広げています。
日 文	○ 作品や造形活動について，発想・構想に関する発言やヒントを吹き出し等で示したり，題名や作者の考え・感想(第3・4学年〈上〉以降)を示したりしている。	第1・2学年〈下〉「くしゃくしゃ ぎゅっ」 むすんだところが ちょうネクタイだよ。
		第3・4学年〈上〉「いろいろうつつて」 だんボールの形を組み合わせて，ツリーハウスをつくりました。半分の形でかぎあなをつくりました。かぎは一つなので，後ではりました。
		第5・6学年〈上〉「立ち上がれ！ワイヤーアート」 くるくるした形が花のように見えました。いろいろな大きさのくるくるの花が，くねくねしたくきの先にさいています。

【図画工作】

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑨表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫
方法	発想や構想, 鑑賞の場面における言語活動の示し方, 具体例

	発想や構想, 鑑賞の場面における 言語活動の示し方		具体例
開隆堂	○ 発想や構想, 鑑賞の場面における児童の関わり合う写真と共に, 対話や対話を促す文が示されている。	第3・4学年(上)	「ねん土ランドへようこそ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二人できょう力したらおもしろい形ができるよ。</li> <li>・ 次は何をつくろうかな。</li> <li>・ 何をどこにおくか, みんなで考えよう。</li> </ul>
		第5・6学年(下)	「夢の新製品」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アイデアに合う材料を探そう。</li> <li>・ この青い毛糸を生かせないかな。</li> <li>・ たのしい気持ちを体験できる機械だよ。</li> <li>・ どんな新製品になるの？</li> </ul>
日 文	○ 発想や構想, 鑑賞の場面における児童の関わり合う写真と共に, 対話や対話を促す文が示されている。	第3・4学年(上)	「ねん土マイタウン」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友だちと話をしながら, まちを考えよう。</li> <li>・ 友だちのまちの, どことつなげると楽しいかな。</li> <li>・ つながった友だちのまちも見にいこう。</li> </ul>
		第5・6学年(下)	「ドリーム・プロジェクト」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水に関係するような形がいいね。みんなに関心をもってもらえるような形にしよう。</li> <li>・ 水を大切にする学校がいいな。</li> <li>・ どんな材料を使うと水を表現できるかな。</li> <li>・ 作品をつかって, みんなに自分の願いをプレゼンテーションしよう。</li> </ul>

家 庭
-----

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

	発行者の番号及び略称	教科書名
2	東 書	新しい家庭 5・6
9	開 隆 堂	小学校 わたしたちの家庭科 5・6

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	題材の目標の示し方	題材ごとの目標の示し方と具体例
		②	基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫	基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る記述の工夫
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫	「生活の営みに係る見方・考え方」に気付かせ、意識させるための示し方
		④	学習した内容を家庭や地域で実践するための記述	生活の課題と実践の展開の示し方と実践例
		⑤	実生活での活用に関する記述	学習した内容を実生活で活用するための活動例と活動例数
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥	題材や資料等の配列	題材及び学習内容の配列と分量
		⑦	実践的・体験的な学習を実施するための工夫	実践的・体験的な学習の具体例
		⑧	各教科等と関連させて学習を進める工夫	各教科等と関連する内容の示し方と具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑨	本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	学習内容と関連した図・イラスト・写真・資料等の活用の工夫
(オ)	言語活動の充実	⑩	言葉や図表を用いて生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫	言語活動を取り入れた学習の示し方と活動例数

【家庭】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①題材の目標の示し方
方法	題材ごとの目標の示し方と具体例

題材ごとの目標の示し方と具体例	
東 書	<p>○ 全題材が三つの小題材から構成されている。(大題材：15 目標：45)</p> <p>○ 実生活にも役立つ問題解決的な学習が展開できるように、小題材はすべて「1 見つめよう」「2 計画しよう・実践しよう」「3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3ステップで構成している。3ステップを繰り返すことで、どのように学ぶのかを身に付け、実生活に活用できるようにしている。</p>
	<p>○ 示し方の具体例 (B 衣食住の生活)</p> <p>2 おいしい楽しい調理の力</p> <p>1 見つめよう「調理の目的や手順を考えよう」 めあて「どのように調理を進めたらよいか考えよう。」</p> <p>2 計画しよう・実践しよう「ゆでる調理をしよう」 めあて「食品や調理の目的に合ったゆで方が分かり、安全にいろいろな野菜やいもがゆでられるようになる。」</p> <p>3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう「工夫しておいしい料理にしよう」 めあて「ゆでる調理の仕方を工夫したりして、食事作りに生かそう。」</p>
開 隆 堂	<p>○ 全題材が二～三つの小題材から構成されている。(大題材：20 目標：59)</p> <p>○ 問題解決型学習を実現するために、「1 見つける・気づく」「2 わかる・できる」「3 生かす・深める」の三つのステップを基本として構成している。第5学年は、題材を細かく構成・配列し、スモールステップで学習ができるようになっている。</p>
	<p>○ 示し方の具体例 (B 衣食住の生活)</p> <p>2 クッキングのはじめの一步</p> <p>1 なぜ調理をするのだろう 見つける・気づく「調理をすることのよさを見つける。」</p> <p>2 ゆでて食べよう わかる・できる「調理の手順を知って、青菜やいもをゆでることができる。」</p> <p>3 工夫しておいしい料理にしよう 生かす・深める「ゆでる調理を生かして、調理することができる。」</p>

【家庭】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫
方法	基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る記述の工夫

基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る記述の工夫	
東 書	<p>○ 基礎的な用語は本文中の重要語句を厳選し、ゴシック体で表記している。 (記述例) 家庭, 家庭の仕事, 家族, 協力, 団らん, 家族のふれ合い, 栄養のバランス, 主食, 主菜, 副菜, 汁物等</p> <p>○ 身に付けさせたい基礎的・基本的な知識・技能のポイントとして, 巻末に「いつも確かめよう」を18か所とり上げ, 実習のページには, 「できたかな」の囲みを14か所掲載している。</p> <p>○ 安全に技能を身に付けられるように, 実習や活動時の注意喚起として, 「安全マーク」を28か所表示し, 解説している。また, くりかえし確認できるように, 巻末に「安全に実習しよう」にまとめている。</p> <p>○ 基礎的な技能の習得のために, 「D」マークが14か所あり, コンテンツを利用して動画で確かめることができる。また, 指定題材三つについては, 巻末に実寸大に拡大してあり, 実際に手を乗せて真似をしながら習得できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・包丁の使い方</li> <li>・皮のむき方</li> <li>・玉結びの仕方</li> <li>・なみぬいの仕方</li> <li>・玉どめの仕方</li> <li>・修理の仕方</li> <li>・布のたちかた</li> <li>・手洗いのしかた 等</li> </ul>
開 隆 堂	<p>○ 基礎的な用語は本文中の重要語句を厳選し、ゴシック体で表記している。 (記述例) 協力, 分担, 団らん, ふれ合い, 主食, しる物, 飲み物, 主菜, 副菜等</p> <p>○ 実習や製作のページには, 基礎的・基本的な技能の定着を図るため, 「できたかな」の自己評価の囲みを11か所掲載するとともに, ステップごとに「ふり返ろう」を掲載している。また, 巻末に, 調理実習・製作実習の資料を9か所示している。</p> <p>○ 実習時における安全面の重視と衛生面の注意を促すため, 「安全マーク」を25か所表示し, 解説している。ガスコンロの使い方については, チェック項目を設け, 自分で確認できるようになっている。</p> <p>○ 基本的な技能の習得のために「QR」マークが57か所あり, コンテンツを利用して実験動画等で学習内容を確認することができるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いのしかた</li> <li>・こんろの使い方</li> <li>・包丁のもち方, 取りあつかい方</li> <li>・ゆでる野菜</li> <li>・玉結びの仕方</li> <li>・玉どめの仕方</li> <li>・てぬいの仕方, ボタンのつけかた</li> <li>・作品製作 等</li> </ul>

【家庭】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	③「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫
<b>方法</b>	「生活の営みに係る見方・考え方」に気付かせ、意識させるための示し方

	「生活の営みに係る見方・考え方」に 気付かせ、意識させるための示し方	具体例：C消費生活・環境	数
<b>東 書</b>	<p>○ 学習指導要領で示された家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」として設定し、すべての大題材のタイトル横に示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最初の授業で取り扱えるよう、巻頭に解説を掲載している。</li> <li>巻頭では、見方・考え方を平易な言葉に置き換えて示している。</li> <li>巻頭では、キャラクターの吹き出しを用い、見方・考え方を具体的に示している。</li> </ul>	<p>「主に、協力の視点で考えよう」 4</p> <p>「主に、健康・快適・安全の視点で考えよう」 10</p> <p>「主に、生活文化の視点で考えよう」 10</p> <p>「主に、持続可能な社会の視点で考えよう」 1</p>	
		<p>4 持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「主に、持続可能な社会の視点で考えよう」</li> <li>リンク p. 4 家庭科の窓</li> </ul>	
<b>開 隆 堂</b>	<p>○ 学習指導要領で示された家庭科の見方・考え方を「生活の見方・考え方 4つの視点」として図化して示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最初の授業で取り扱えるよう、巻頭に解説を掲載している。</li> <li>それぞれの見方・考え方は四つのマークを示し、キャラクターの吹き出しの近くに配置している。</li> <li>キャラクターの吹き出しを用い、見方・考え方に気付く支援をしている。</li> <li>図化したものを p. 36, 122, 126 に配置し、それぞれの内容における見方・考え方を具体的に示している。</li> </ul>	<p>「協力する・助け合う」のマーク 4</p> <p>「健康・快適・安全な生活をする」のマーク 8</p> <p>「人びとの生活や文化の大切さに気付く」のマーク 5</p> <p>「持続可能な社会をめざす」のマーク 7</p> <p>(p. 36, 122, 126 を除く)</p>	
		<p>8 生活を支えるお金と物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「持続可能な社会をめざす」のマーク</li> <li>キャラクターの吹き出しとして「環境への影響も考えよう」と記述</li> </ul>	

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④学習した内容を家庭や地域で実践するための記述
<b>方法</b>	生活の課題と実践の展開の示し方と実践例

	生活の課題と実践の展開の示し方	実践例
<b>東 書</b>	<p>○ 学習指導要領に新設の「A家族・家庭生活」の「(4)生活の課題と実践」に対応したページを「生活を変えるチャンス！」として5か所 (p. 31, 61, 95, 115, 128) に掲載。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解決に向かうための実践の進め方を掲載している。 (1 課題の設定 2 計画 3 家庭・地域での実践 4 まとめ・発表 5 評価・改善)</li> <li>・計画を立てたり、振り返ったりする学習の流れがフローチャートで示している。</li> <li>・実践の例として、進め方に沿った具体的な方法を例示している。</li> <li>・レポートや新聞、スクラップブック形式、ポスター形式でのまとめ方を掲載し、言語活動の充実を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活を変えるチャンス！① (p. 31) 「手ぬいでつくる弟の小物入れ」</li> <li>・生活を変えるチャンス！② (p. 61) 「年末そうじ大作戦」</li> <li>・生活を変えるチャンス！③ (p. 95) 「家族のまくらカバーを作ろう」</li> <li>・生活を変えるチャンス！④ (p. 115) 「わが家の『おせち作り』に挑戦！」</li> <li>・生活を変えるチャンス！⑤ (p. 128) 「感謝を伝えるパーティーを開こう！」</li> </ul> <p>合計5事例</p>
<b>開 隆 堂</b>	<p>○ 学習指導要領に新設の「A家族・家庭生活」の「(4)生活の課題と実践」に対応したページを「レッツ トライ 生活の課題と実践」として、第5学年と第6学年の間のページ (p. 76~79) に掲載。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解決に向かうための実践の進め方を掲載している。 (1 課題を決める 2 計画を立てる 3 実践する 4 実践を振り返る 5 実践を評価し、改善策を考える)</li> <li>・計画を立てたり、振り返ったりする学習の流れがフローチャートで示している。</li> <li>・実践の例として、進め方に沿った具体的な方法を例示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題例1 「私の仕事 スペシャルデイ」</li> <li>・課題例2 「〇〇小学校の生活をバージョンアップ！」</li> <li>・課題例3 「お世話になった方がたに日ごろのお礼を伝えよう」</li> </ul> <p>合計3事例</p>



【家庭】

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	⑤実生活での活用に関する記述
<b>方法</b>	学習した内容を実生活で活用するための活動例と活動例数

活動した内容を実生活で活用するための活動例と活動例数	
<b>東 書</b>	<p>○ 各題材の第3小題材「ステップ3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」及びその「活動 深めよう」において、学習内容を生活に結びつける活動例を示している。(17 か所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分にできる仕事を見つけ、計画し、進んで実践しよう</li> <li>○ 「オリジナルのゆで野菜サラダ」を考えよう</li> <li>○ 生活の中で手ぬいを生かそう</li> <li>○ 環境や資源に配慮した生活の工夫をまとめ、発信しよう</li> <li>○ 「わが家のとっておきのみそ汁」を紹介しよう</li> <li>○ そうじの仕方をつたえよう</li> <li>○ 実践をふり返って提案書を書いてみよう</li> <li>○ 作品を生活でどのように役立たせるか話し合おう、作品制作を計画しよう</li> <li>○ これまでの学習をふり返り、生活の中で工夫しよう</li> <li>○ 快適に楽しく過ごせる計画を立てよう</li> <li>○ 朝食名人になろう</li> <li>○ 夏のおもてなし計画を立てよう</li> <li>○ 生活を豊かにする布作品の提案、交流、製作計画を立てよう</li> <li>○ 家族が喜ぶ食事作りの計画を立てよう</li> <li>○ 学校での寒さ対策を考えよう</li> <li>○ 家族の一員として家庭や地域でできることを考え発表しよう</li> <li>○ 2年間の学習をふり返り、生活の中で工夫しよう</li> </ul>
<b>開 隆 堂</b>	<p>○ 各題材の最後に設けられた「生活に生かそう」の欄において、学習内容を生活に結び付ける活動例を示すとともに、生徒が自分の考えを記述する枠を設けている。(19 か所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工夫しておいしい料理にしよう (ゆでる調理で食事を作る)</li> <li>○ 手ぬいを生活に生かそう (コースターの作成, ハンカチで小物入れを作る)</li> <li>○ 物の使い方を工夫しよう (「もったいない」物の見直し, 捨てるときにもう一度考える)</li> <li>○ 実行し, 続けよう (ごみの分類, 買い物メモの作成と買い物に行く)</li> <li>○ ミシンぬいを生活に生かそう (オリジナルランチョンマットの作成, さまざまな作品作り)</li> <li>○ 日常の生活に生かそう (炊飯とおにぎりづくり, 食事に合うみそしるを考える)</li> <li>○ 買い物の仕方を工夫しよう (購入時に食品の日付や表示を見る)</li> <li>○ 衣服の着方を工夫しよう (防寒のための着方の工夫, 下着の着用)</li> <li>○ 快適さアップを工夫しよう (窓ガラスに断熱シートをはる, 暖房器具の設置)</li> <li>○ 団らんでつながりを深めよう (食後の会話の工夫, 買い物メモの作成と商品の選択)</li> <li>○ 生活時間を工夫しよう (夕食後の時間を家族と過ごす)</li> <li>○ 朝食に生かそう (炒める調理で食事を作る)</li> <li>○ 身の回りを快適にしよう (湯ぶねのそうじ, 高いところのほこり取り)</li> <li>○ エコ生活ですずしきアップを工夫しよう (最も暑い場所の探索と改善, 風通しを考えた家具の配置の工夫)</li> <li>○ 快適な衣生活を工夫しよう (汗を吸い取る素材の服の着用, 早めに洗濯をおこなう)</li> <li>○ 作ったふくろで生活を豊かに (家族のための袋作り, 布の再利用による生活を豊かにするものづくり)</li> <li>○ 食事の仕方を工夫しよう (一食分の献立作りと食事)</li> <li>○ やってみよう・ふり返ろう (「音に注意5カ条」の作成, 地域の防災訓練・運動会への参加)</li> <li>○ 環境のことを考えた生活を続けよう (歯みがき時の節水と家族への普及)</li> </ul>

【家庭】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥題材や資料等の配列
方法	題材及び学習内容の配列と分量

	学年	題材名	ページ数	A 家族・家庭生活	B 衣食住の生活	C 消費生活・環境
東書	第5学年	目次, 成長の記録, 学習の進め方	5	○		
		私の生活, 大発見!	8	○		
		おいしい楽しい調理の力	10		○	
		ひと針に心をこめて	7		○	
		持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方	8			○
		食べて元気! ごはんとみそ汁	10		○	
		物を生かして住みやすく	8		○	○
		気持ちがつながる家族の時間	3	○		
		ミシンにトライ! 手作りで楽しい生活	11		○	
		5年生のまとめ	1	○		
		生活を変えるチャンス	2	○		
	第6学年	見つめてみよう生活時間	4	○		
		朝食から健康な1日の生活を	8		○	
		夏をすずしくさわやかに	9		○	
		思いを形にして生活を豊かに	10		○	
		まかせてね 今日の食事	9		○	○
		冬を明るく暖かく	6		○	
		あなたは家庭や地域の宝物	6	○		
		2年間のまとめ	1	○		
開隆堂	第5学年	目次, 学習の進め方, 安全に実習しよう	7	○	○	
		家族の生活再発見	2	○		
		クッキングはじめの一步	10		○	
		ソーイングはじめの一步	8		○	
		整理・整とんで快適に	6		○	○
		できるよ, 生活の仕事	3	○		
		ミシンでソーイング	10		○	
		食べて元気に	9		○	
		生活を支えるお金と物	6			○
		暖かく快適に過ごす着方	4		○	
		暖かく快適に過ごす住まい方	4		○	
		いっしょにほっとタイム	3	○		
		レッツトライ生活の課題と実践	4			
	第6学年	チャレンジコーナー	3	○	○	
		生活時間をマネジメント	4	○		
		できることを増やしてクッキング	6		○	
		クリーン大作戦	4		○	
		すずしく快適に過ごす住まい方	4		○	
		すずしく快適に過ごす着方と手入れ	5		○	
		生活を豊かにソーイング	8		○	
こんだてを工夫して	7		○			
共に生きる地域での生活	4	○				
持続可能な社会を生きる	2			○		
2年間の学習をふり返って	2	○	○	○		
チャレンジコーナー	2	○	○			

【家庭】

<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑦実践的・体験的な学習を実施するための工夫
<b>方法</b>	実践的・体験的な学習の具体例

	題材名	実践的・体験的な学習の具体例（数）
<b>東 書</b>	わたしの生活，大発見！	○ お茶を入れる（１）
	おいしい楽しい調理の力	○ ゆでる調理（６） ○ ソース（３）
	ひと針に心をこめて	○ 手縫いによる作品（１） ○ 作品例（９）
	持続可能な暮らしへ物やお金の使い方	○ 買い方（１）
	食べて元気！ごはんのみそ汁	○ 調理（２）
	物を生かして住みやすく	○ 整理・整とんの工夫（１） ○ 掃除の実践（１）
	気持ちがつながる家族の時間	○ 団らんの工夫（１）
	ミシンにトライ！手作りで楽しい生活	○ ミシンによる製作（５）
	見つめてみよう生活時間	○ 生活時間の工夫（１）
	朝食から健康な一日の生活を	○ いためる調理（３） ○ おかず例（３）
	夏をすずしくさわやかに	○ 衣類の手入れ（１） ○ 洗濯（１）
	思い出を形にして生活を豊かに	○ 製作（３） ○ 製品のリフォーム（３）
	まかせてね今日の食事	○ 調理（３） ○ おかず例（１１）
	<b>開 隆 堂</b>	クッキングはじめの一步
ソーイングはじめの一步		○ 手縫いによる作品（１） ○ 作品例（７）
整理・整とんで快適に		○ 整理・整とんの工夫（１）
できるよ，家庭の仕事		○ 家庭の仕事（１）
ミシンでソーイング		○ ミシンによる製作（３）
食べて元気に		○ 調理（２）
生活を支えるお金と物		○ 買い物（１）
いっしょにほっとタイム		○ ほっとタイムの実践（１） ○ おやつ例（１）
生活時間をマネジメント		○ 生活時間の工夫（１）
できることを増やしてクッキング		○ いためる調理（２） ○ おかず例（８）
クリーン大作戦		○ そうじの手順と実行（１）
すずしく快適に過ごす着方と手入れ		○ 衣類の手入れ（１） ○ 洗濯（１）
生活を豊かにソーイング		○ 製作（３） ○ 応用作品例（６）
こんだてを工夫して		○ 調理（４） ○ おかず例（１５）

【家庭】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑧各教科等と関連させて学習を進める工夫
<b>方法</b>	各教科等と関連する内容の示し方と具体例

各教科等と関連する内容の示し方と具体例	
<b>東 書</b>	<p>○ 各教科等の学習内容との関連については、「ほかの教科の学習との関わりを見てみよう。」として丸を重ねたマークを示し、教科、学年、単元概要を示している。(29個)</p> <p>○ 右ページ右下段、ページ番号のところに家庭科の用語の英語表記と絵を示し、次ページ左下段、ページ番号のところに日本語表記と絵を掲載している。(46個)</p>
	<p>○ 内容の示し方</p> <p>5 食べて元気！ご飯とみそ汁</p> <p>1 毎日の食事を見つめよう</p> <p>2 日常の食事のとり方を考えて、調理しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会5年 私たちの生活と食糧生産</li> <li>・社会3年 生活の道具</li> <li>・理科6年 人の体のつくりと働き</li> <li>・体育3年 健康な生活</li> <li>・理科5年 植物の発芽、成長、結実</li> </ul> <p>3 食生活を工夫しよう</p> <p>Japan, rice, miso soup, eat</p>
<b>開 隆 堂</b>	<p>○ 各教科等の学習内容との関連については、「関連マーク」を示し、教科、学年、単元概要を示している。(43個)</p> <p>○ 下段、ページ番号のところに家庭科の用語の日本語と英語の表記を掲載している。(109個) また、巻末に「ことばのページ」を設け、家庭科の用語の日本語表記と英語表記を一覧にして掲載している。(130個)</p>
	<p>○ 内容の示し方</p> <p>7 食べて元気に</p> <p>1 なぜ毎日食事をするのだろう</p> <p>2 ご飯とみそしるは食事の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳5・6年：伝統と文化の尊重</li> <li>・社会5年：食糧生産</li> <li>・理科5年：植物の発芽、成長、結実</li> <li>・社会3年：昔の暮らし</li> <li>・算数2年：体積のはかり方</li> <li>・理科6年：食べ物の消化・吸収・排出</li> <li>・保健4年：体の発育・発達</li> <li>・理科5年：種子の養分</li> </ul> <p>3 日常の食事に生かそう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会3年：生産の仕事</li> </ul> <p>rice</p> <p>miso soup, boil rice, chopsticks, soup stock, radish, energy, milk</p> <p>rice ball</p>

【家庭】

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
<b>方法</b>	学習内容と関連した図・イラスト・写真・資料等の活用の工夫

学習内容と関連した図・イラスト・写真・資料等の活用の工夫			
<b>東 書</b>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 示し方の例</li> <li>・学習上参考となる資料等を主に「資料」(36個)や「図」のマーク(49個)等ととりあげている。</li> </ul> </td> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 示している内容の具体例</li> <li>・プロに聞く</li> <li>・グラフ・表・写真・図</li> <li>・実習カード等の例示</li> <li>・授業で扱うことのできる実験や実習の例</li> </ul> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 示し方の例</li> <li>・学習上参考となる資料等を主に「資料」(36個)や「図」のマーク(49個)等ととりあげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 示している内容の具体例</li> <li>・プロに聞く</li> <li>・グラフ・表・写真・図</li> <li>・実習カード等の例示</li> <li>・授業で扱うことのできる実験や実習の例</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 示し方の例</li> <li>・学習上参考となる資料等を主に「資料」(36個)や「図」のマーク(49個)等ととりあげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 示している内容の具体例</li> <li>・プロに聞く</li> <li>・グラフ・表・写真・図</li> <li>・実習カード等の例示</li> <li>・授業で扱うことのできる実験や実習の例</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習上参考となるデータを示したグラフや写真等</li> <li>・「ゆでる調理によるかさの変化」の写真</li> <li>・「卵のゆで時間と固まり具合」の写真</li> <li>・「米の浸水時間と吸水量」の写真とグラフ</li> <li>・「米とだいず」の栄養素のグラフ</li> <li>・「掃除の頻度とダニの数の関係」のグラフ</li> <li>・「朝食と体温の関係」のグラフとサーモグラフィー</li> <li>・「朝食と健康状態」のグラフ</li> <li>・「野菜の加熱によるかさのちがい」の写真</li> <li>・「グリーンカーテン効果による温度のちがい」のサーモグラフィー</li> <li>・「打ち水の効果」のサーモグラフィー</li> <li>・「洗剤の量と落とす力」の写真</li> <li>・「月別電気使用量」のグラフ</li> <li>・「必要な明るさの基準」のグラフ</li> </ul>			
<b>開 隆 堂</b>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 示し方の例</li> <li>・学習上参考となる資料等を主に「参考」(18個)や「■」のマーク(66個)等ととりあげている。</li> <li>(巻末「わたしたちの生活の中にある伝統文化」は除くものとする)</li> </ul> </td> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 示している内容の具体例</li> <li>・かかわる人</li> <li>・グラフ・表・写真・図</li> <li>・製作カード等の例示</li> <li>・授業で扱うことのできる実験や実習の例</li> </ul> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 示し方の例</li> <li>・学習上参考となる資料等を主に「参考」(18個)や「■」のマーク(66個)等ととりあげている。</li> <li>(巻末「わたしたちの生活の中にある伝統文化」は除くものとする)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 示している内容の具体例</li> <li>・かかわる人</li> <li>・グラフ・表・写真・図</li> <li>・製作カード等の例示</li> <li>・授業で扱うことのできる実験や実習の例</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 示し方の例</li> <li>・学習上参考となる資料等を主に「参考」(18個)や「■」のマーク(66個)等ととりあげている。</li> <li>(巻末「わたしたちの生活の中にある伝統文化」は除くものとする)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 示している内容の具体例</li> <li>・かかわる人</li> <li>・グラフ・表・写真・図</li> <li>・製作カード等の例示</li> <li>・授業で扱うことのできる実験や実習の例</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習上参考となるデータを示したグラフや写真等</li> <li>・「生とゆでたときの変化」の写真</li> <li>・「卵のゆで具合と固まり具合」の写真</li> <li>・「米の浸水時間と吸水量」の写真とグラフ</li> <li>・「衣類の着方による温度の差」のグラフ</li> <li>・「年間の気温の変化」のグラフ</li> <li>・「目的に合った明るさ」のグラフ</li> <li>・「食品に含まれる栄養素の割合」のグラフ</li> <li>・「食事の前後の体の表面温度」のサーモグラフィー</li> <li>・「最低気温が25度以上の日」の表</li> <li>・「グリーンカーテン効果による温度のちがい」のサーモグラフィー</li> <li>・「よごれによる水のしみこみやすさのちがい」の写真</li> <li>・「洗剤の量とよごれの落ち具合」の写真</li> </ul>			

【家庭】

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑩言葉や図表を用いて生活をよりよくするための方法を考えたり，説明したりする学習活動の工夫
<b>方法</b>	言語活動を取り入れた学習の示し方と活動例数

<b>東 書</b>	<b>言語活動を取り入れた学習の示し方</b>	
	○ 主に「活動」のマークで示されているところで，生活をよりよくするための方法を考えたり，説明したりする活動を取り上げている。(題材の中で言語活動の充実を取り上げている数を示している。「生活を変えるチャンス！」内での活動は除く。)	
	<b>題材名</b>	<b>活動例数</b>
	私の生活，大発見	話し合おう (1)，調べよう (1)，やってみよう (1)，深めよう (1)
	おいしい楽しい調理の力	話し合おう (1)，考えよう (1)，調べよう (1)，深めよう (1)
	ひと針に心をこめて	話し合おう (1)，調べよう (1)，深めよう (1)
	持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方	考えよう (3)，話し合おう (1)，深めよう (1)
	食べて元気！ご飯とみそ汁	話し合おう (1)，調べよう (2)，やってみよう (2)，深めよう (1)
	物を生かして住みやすく	話し合おう (1)，やってみよう (1)，調べよう (2)，深めよう (1)
	気持ちがつながる家族の時間	話し合おう (1)，やってみよう (1)，深めよう (1)
	ミシンにトライ！手作りで楽しい生活	調べよう (1)，やってみよう (2)，交流しよう (1)，深めよう (1)
	5年生のまとめ	深めよう (1)
	見つめてみよう 生活時間	考えよう (1)，やってみよう (1)，深めよう (1)
	朝食から健康な1日の生活を	話し合おう (1)，調べよう (1)，やってみよう (1)，深めよう (1)
	夏をすずしく さわやかに	話し合おう (2)，調べよう (1)，やってみよう (2)，深めよう (1)
	思いを形にして生活を豊かに	考えよう (1)，やってみよう (1)，話し合おう (1)，深めよう (1)
	まかせてね 今日の食事	話し合おう (3)，やってみよう (2)，深めよう (1)
	冬を明るく 暖かく	話し合おう (1)，やってみよう (1)，調べよう (1)，深めよう (1)
	あなたは家庭や地域の宝物	考えよう (2)，調べよう (1)，深めよう (1)
	2年間のまとめ	深めよう (1)
<b>開 隆 堂</b>	<b>言語活動を取り入れた学習の示し方</b>	
	○ 主に「考えよう」，「話し合おう」，「発表しよう」のマークで示されているところで，生活をよりよくするための方法を考えたり，説明したりする活動を取り上げている。(題材の中で言語活動の充実を取り上げている数を示している。「レッツトライ生活の課題と実践」内での活動は除く。)	
	<b>題材名</b>	<b>活動例数</b>
	家族の生活 再発見	—
	クッキング はじめの一步	調べよう (1)，考えよう (1)
	ソーイング はじめの一步	考えよう (2)，話し合おう (1)
	整理・整頓で快適に	調べよう (1)，話し合おう (2)，考えよう (2)，まとめよう (1)
	できるよ，家庭の仕事	調べよう (1)，話し合おう (1)
	ミシンでソーイング	調べよう (1)
	食べて元気に	やってみよう (3)，考えよう (2)
	生活を支えるお金と物	考えよう (1)，話し合おう (1)，やってみよう (1)
	暖かく快適に過ごす着方	調べよう (2)，考えよう (1)，発表しよう (1)
	暖かく快適に過ごす住まい方	調べよう (2)，やってみよう (1)
	いっしょにほっとタイム	—
	生活時間をマネジメント	やってみよう (1)
	できることを増やしてクッキング	話し合おう (1)
	クリーン大作戦	調べよう (1)，やってみよう (1)
	すずしく快適に過ごす住まい方	考えよう (1)，やってみよう (1)
	すずしく快適に過ごす着方と手入れ	調べよう (1)，話し合おう (1)
	生活を豊かにソーイング	考えよう (2)，調べよう (1)，交流しよう (1)
こんだてを工夫して	やってみよう (2)	
共に生きる 地域での生活	—	
持続可能な社会を生きる	—	

【保健】

# 保 健

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しいほけん3・4 新しい保健5・6
4	大 日 本	たのしいほけん3・4年 たのしい保健5・6年
207	文 教 社	わたしたちのほけん3・4年 わたしたちの保健5・6年
208	光 文	小学ほけん3・4年 小学保健5・6年
224	学 研	みんなのほけん3・4年 みんなの保健5・6年

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	学習課題の示し方，学習の動機づけ
		② 体育・健康に関する内容の記述	学校における食育・安全・体力向上（運動領域との関連）に関する記述
		③ 実習に関する記述	不安や悩みへの対処，けがの手当てに関する実習事例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 学習の見通しを立てたり，振り返ったりする学習のための構成上の工夫	単元ごとの導入方法，まとめや振り返りの工夫
		⑤ 健康についての自己の課題を見付け，その解決に向けた学習活動の工夫	学習の進め方の示し方，課題解決の過程の扱い
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 単元や資料等の配列	単元における項目，資料等の配列
		⑦ 発展的な学習に関する内容の記述	発展的な学習の具体例と事例数
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 本文記述と関連付けがなされた学習資料の活用	本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の掲載内容
(オ)	言語活動の充実	⑨ 身近な健康について，自分の考えをまとめて書いたり，話したりする活動の工夫	自分の知識や経験に照らして自分の考えを記入する活動の数

【保健】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	学習課題の示し方, 学習の動機づけ

	第3・4学年		第5・6学年	
	学習課題の示し方	学習の動機づけ	学習課題の示し方	学習の動機づけ
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 項目ごとに「学習の課題」として質問形式の課題提示</li> <li>○ 動機づけの後に提示</li> </ul>	<p>【気づく・見つける】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活を振り返って, 書く(チェックする)活動(7)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 項目ごとに「学習の課題」として質問形式の課題提示</li> <li>○ 動機づけの後に提示</li> </ul>	<p>【気づく・見つける】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活を振り返って, 書く(チェックする)活動(15)</li> </ul>
大日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 項目ごとに質問形式の課題提示</li> </ul>	<p>【やってみよう】</p> <p>【話し合ってみよう】</p> <p>【調べてみよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活を振り返って, 書く(チェックする)活動(4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 項目ごとに質問形式の課題提示</li> </ul>	<p>【やってみよう】</p> <p>【話し合ってみよう】</p> <p>【調べてみよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活を振り返って, 書く(チェックする)活動(7)</li> </ul>
文教社	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 項目ごとに質問形式の課題提示</li> </ul>	<p>【ふり返ってみよう】</p> <p>【調べてみよう】</p> <p>【話し合ってみよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活を振り返って, 書く(チェックする)活動(5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 項目ごとに質問形式の課題提示</li> </ul>	<p>【調べてみよう】</p> <p>【考えてみよう】</p> <p>【ふり返ってみよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活を振り返って, 書く(チェックする)活動(7)</li> </ul>
光文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 項目ごとに「学習課題」として質問形式の課題提示</li> </ul>	<p>【はじめに】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活を振り返って, 書く(チェックする)活動(2)</li> <li>○ 生活を振り返って, 表を作る活動(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 項目ごとに「学習課題」として質問形式の課題提示</li> </ul>	<p>【はじめに】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活を振り返って, 書く(チェックする)活動(2)</li> </ul>
学研	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 項目ごとに「ここで学ぶこと」として質問形式の課題提示</li> </ul>	<p>【つかむ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活を振り返って, 書く(チェックする)活動(2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 項目ごとに「ここで学ぶこと」として質問形式の課題提示</li> </ul>	<p>【つかむ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活を振り返って, 書く(チェックする)活動(2)</li> </ul>



【保健】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②体育・健康に関する内容の記述
方法	学校における食育・安全・体力向上（運動領域との関連）に関する記述

	第3・4学年	第5・6学年
東 書	<p><b>【食育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「よりよく成長するために、特に必要な栄養素」の情報</li> <li>○ 「給食の栄養バランス」の情報</li> </ul> <p><b>【安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「けんこうを守る活動」の情報</li> <li>○ 「外で遊ぶときに注意すること」の情報</li> </ul> <p><b>【体力向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「運動が成長にもたらす効果」の情報</li> <li>○ 「毎日の生活に運動を取り入れよう」の情報</li> </ul>	<p><b>【食育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「心臓病や脳卒中の起こり方」の情報</li> </ul> <p><b>【安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「小学生の事故」の情報</li> <li>○ 「ユニバーサルデザインをさがそう」の情報</li> <li>○ 「自転車安全利用五原則」「車の内輪差と事故」の情報</li> <li>○ 「インターネットによる犯罪被害」「安全マップを作ろう」の情報</li> <li>○ 「自然災害によるけがの防止」の発展資料</li> <li>○ 「さまざまな事前災害」の情報</li> <li>○ 「熱中症の予防と手当」「歯のけが」の情報</li> <li>○ 「胸骨圧迫とAED」の情報</li> <li>○ 「健康や安全を守る活動」の情報</li> </ul> <p><b>【体力向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「人との関わり」の情報</li> <li>○ 「きん張を味方にする方法」の情報</li> <li>○ 「水泳がわたしにくれたもの」という読み物</li> </ul>
大 日 本	<p><b>【食育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「早ね、早起き、朝ごはん」の情報</li> <li>○ 「多くの種類の食品をバランスよく食べる」の情報</li> </ul> <p><b>【安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学校でのほけん活動」の情報</li> </ul> <p><b>【体力向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「健康からつながる夢」によるアスリートの情報</li> <li>○ 「いろいろな運動」の情報</li> </ul>	<p><b>【食育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ミニちしきによる、食育に関する情報</li> </ul> <p><b>【安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「しりょう」による、安全に関する情報</li> <li>○ ミニちしきによる、安全に関する情報</li> </ul> <p><b>【体力向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「しりょう」による体ほぐしの運動の情報</li> </ul>
文 教 社	<p><b>【食育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「バランスを考えて作られている学校給食」「育ちざかりに必要な栄養」の情報</li> <li>○ 「歴史や文化、食生活とともに受けつがれてきた郷土料理」の情報</li> </ul> <p><b>【安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学校で行われているほけん活動」の情報</li> </ul> <p><b>【体力向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「たつ人からのメッセージ」の情報</li> <li>○ 「年れいと新体力テストの記録」の情報</li> <li>○ 「毎日の生活の中で、続けている運動」「いろいろな運動のしょうかい」の情報</li> <li>○ 「生活習かんと新体力テスト合計点（10才）の関連」の情報</li> </ul>	<p><b>【食育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「主なおやつ塩分と脂肪の量」の情報</li> </ul> <p><b>【安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 警察官による、安全に関する情報</li> <li>○ 「もっと知りたい！」の情報</li> <li>○ 「水の事故を防止するための取り組み」の情報</li> <li>○ 「犯罪被害を防止するための取り組み」の情報</li> <li>○ 「AED」「熱中症」「災害が起きたら、あなたは どうしますか？」の発展</li> </ul> <p><b>【体力向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「見つけよう！自分に合った、きん張とじょうずに付き合う方法」の情報</li> <li>○ 「体を動かして、やってみよう！気分転かん！」による運動例の情報</li> <li>○ 「アスリートからのメッセージ」の情報</li> </ul>

【保健】

<p>光 文</p>	<p>【食育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「早ね早起き朝ごはん」の情報</li> <li>○ 「よりよい発育のために大切な栄養」の情報</li> <li>○ 「給食の栄養バランス」の情報</li> <li>○ 「スポーツ選手と食事」の発展情報</li> </ul> <p>【安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学校でのほけん活動」の情報</li> </ul> <p>【体力向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「わたしとけんこう」によるアスリートの情報</li> <li>○ 「これも運動！」による運動の情報</li> <li>○ 「生活のなかの運動」の情報</li> <li>○ 「運動の効果」「運動量」の情報</li> <li>○ 「体を動かそう」「スポーツ障害」の発展情報</li> </ul>	<p>【食育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「心臓病や脳卒中の病気の起こり方」の情報</li> </ul> <p>【安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「子どもが被害にあった事故」「自転車に安全に乗るために」「歩きスマホは危険！」「車の特徴を知ろう！」の発展情報</li> <li>○ 「犯罪被害を防ぐ環境づくり」「インターネットの正しい使い方」「心肺蘇生とAED」「ASUKAモデル」の発展情報</li> <li>○ 「いろいろな工夫や取り組み」の情報</li> </ul> <p>【体力向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「わたしと健康」によるアスリートの情報</li> <li>○ 「ゴルフで広がったわたしの人生」の発展情報</li> <li>○ 「深呼吸のしかた」の情報</li> </ul>
<p>学 研</p>	<p>【食育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「1日の生活のしかたと健康」の発展情報</li> <li>○ 「育ちざかりに、特に大切な栄養」の情報</li> <li>○ 給食献立の栄養バランスの情報</li> <li>○ 「バランスよく食べよう」の発展情報</li> </ul> <p>【安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みんなの健康を守るための活動」の情報</li> <li>○ 「安全な生活のために」の発展情報</li> </ul> <p>【体力向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「スポーツに親しもう」の情報</li> <li>○ 「1日の生活のしかたと健康」の発展情報</li> <li>○ 「発育・発達にてきた運動を続けていると…」の情報</li> <li>○ 「楽しく運動を続けよう」の発展情報</li> </ul>	<p>【食育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「心臓病や脳卒中の起こり方」の情報</li> </ul> <p>【安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「犯罪から身を守るために」の発展情報</li> <li>○ 「自然災害や緊急事態に備えて」の発展情報</li> <li>○ 「心肺蘇生とAED」「熱中症」の発展情報</li> <li>○ 「みんなの健康を守るさまざまな仕事」の情報</li> </ul> <p>【体力向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「スポーツに親しもう」の情報</li> <li>○ 「体がリラックスすると心もリラックスする」による運動例の情報</li> </ul>

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③実習に関する記述
方法	不安や悩みへの対処, けがの手当てに関する実習事例

第5・6学年	
東 書	<p>【不安や悩みへの対処】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 不安や悩みへの対処の方法例をイラストと言葉で掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人で考える。</li> <li>・生活習慣を整える。</li> <li>・体を動かす。</li> <li>・信らいてくれる人に話したり, 相談したりする。</li> <li>・好きなことをする。</li> <li>・気にしないことにする。</li> </ul> </li> <li>○ 「リラックス状態を体験しよう。」を掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・こきゅう法</li> <li>・軽い運動</li> </ul> </li> </ul> <p>【けがの手当て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 正しい手当の方法についての, イラストと解説を掲載 (けがの種類)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・すりきず</li> <li>・鼻血</li> <li>・やけど</li> <li>・切りきず</li> <li>・打ぼく, つき指, ねんざ</li> </ul> </li> <li>○ 「はってん」の内容として, イラストと解説を掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱中症の予防と手当</li> <li>・歯のけが</li> <li>・胸骨圧迫とAED</li> </ul> </li> </ul>
大 日 本	<p>【不安や悩みへの対処】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 不安やなやみを軽くする方法をイラストと言葉で掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談する。</li> <li>・運動する。</li> <li>・こきゅう法を行う。</li> <li>・仲間と遊ぶ。</li> <li>・音楽をきく。</li> <li>・原因を考え, 考え方を変えてみる。</li> </ul> </li> <li>○ 「やってみよう」でこきゅう法を掲載</li> <li>○ 「しりょう」として体ほぐしの運動を掲載</li> </ul> <p>【けがの手当て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 軽いけがの手当のしかたについての, イラストと解説を掲載 (けがの種類)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・すりきず</li> <li>・鼻血</li> <li>・切りきず</li> <li>・打ぼく・ねんざ</li> <li>・やけど</li> <li>・虫さされ</li> </ul> </li> <li>○ 「はってん」の内容として, 熱中症の予防について, 解説を掲載</li> </ul>
文 教 社	<p>【不安や悩みへの対処】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 不安やなやみへの対処法をイラストと言葉で掲載。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間と運動を楽しむ。</li> <li>・食事を楽しむ。</li> <li>・散歩をする。</li> <li>・ぐっすりねむる。</li> <li>・相談して, 話を聞いてもらおう!</li> <li>・体ほぐしの運動をする。</li> <li>・友達と会話を楽しむ。</li> <li>・お風呂に入る。</li> <li>・しゅ味を楽しむ。</li> </ul> </li> <li>○ 「体を動かして, やってみよう! 気分転換!」でいろいろな運動例をイラストで掲載               <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなすもう</li> <li>・ストレッチ</li> <li>・大根ぬき</li> <li>・人間ちえの輪</li> <li>・昔から伝わる遊び</li> <li>・ダンス</li> </ul> </li> <li>○ 「もっとくわしく!」で腹式呼吸をイラストと解説で掲載</li> </ul> <p>【けがの手当て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ かん単な手当のしかたについての, イラストと解説を掲載 (けがの種類)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・すり傷, 切り傷などのポイント・鼻血 (注意のポイント)</li> <li>・やけど (注意のポイント)</li> <li>・つき指・ねんざ・打ぼく (注意のポイント)</li> </ul> </li> <li>○ 「発展」の内容として, AEDについての, 写真と解説を掲載</li> <li>○ 「発展」の内容として, 熱中症の予防と手当てについての, イラストと解説を掲載</li> </ul>

【保健】

<p>光 文</p>	<p>【不安や悩みへの対処】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○不安やなやみなどへの対処のしかたをイラストと言葉で掲載             <ul style="list-style-type: none"> <li>・原因を考えて紙に書きだす。      ・信頼できる身近な人に相談する。</li> <li>・解説のために努力をする。      ・ゆっくり休む。</li> <li>・気分を変える。      ・体ほぐしの運動をする。</li> <li>・深呼吸をする。</li> </ul> </li> <li>○「やってみよう」において、「深呼吸のしかた」と「呼吸筋のストレッチのしかた」をイラストと解説で掲載。</li> </ul> <p>【けがの手当て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「やってみよう」において、手当のしかたをイラストと解説で掲載 (けがの種類)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・すりきず      ・切りきず</li> <li>・鼻血      ・やけど</li> <li>・打ぼく・ねんざ・つき指</li> </ul> </li> <li>○「発展」の内容として、熱中症の予防と手当についての、イラストと解説を掲載</li> <li>○「発展」の内容として、「心肺蘇生とAED」について写真やイラスト、解説を掲載</li> </ul>
<p>学 研</p>	<p>【不安や悩みへの対処】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○不安やなやみへの対処法をイラストと言葉で掲載             <ul style="list-style-type: none"> <li>・不安やなやみの原因を考える。      ・身近な人に話したり，相談したりする。</li> <li>・原因の解決のために努力する。      ・運動をしたり，音楽を聴いたり，気分転換をしたりする。</li> <li>・十分に休養をとる。      ・呼吸法を行って気持ちを楽にする。</li> <li>・体ほぐしの運動を行う。</li> </ul> </li> <li>○「体がリラックスすると心もリラックスする」において、「教室でもできる体ほぐしの運動」「呼吸法（腹式呼吸法）」をイラストと解説で掲載</li> <li>○「みんなはどうしたかな？なやみへの対処」として，対処法をイラストと解説で掲載             <ul style="list-style-type: none"> <li>・直接相手に言う      ・運動で気分転換</li> <li>・本を読む      ・相談する</li> </ul> </li> </ul> <p>【けがの手当て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○119番への通報のしかたについての，イラストと話型を掲載</li> <li>○救急救命士による情報として、「心肺蘇生とAED」についての，写真と解説を掲載</li> <li>○簡単なけがの手当てについての，イラストと解説を掲載 (けがの種類)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きなけがの場合      ・すりきず      ・切りきず</li> <li>・鼻血      ・やけど      ・ねんざや打撲・つき指</li> </ul> </li> <li>○「発展」の内容として，熱中症の予防と手当について掲載</li> </ul>

【保健】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④学習の見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方法	単元ごとの導入方法、まとめや振り返りの工夫

	第3・4学年	第5・6学年
東 書	<p><b>【導入方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載</li> <li>○ 学習のイメージを図示</li> </ul> <p><b>【振り返り】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己評価をする活動（2）</li> <li>○ 書く活動（2）</li> </ul>	<p><b>【導入方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載</li> <li>○ 学習のイメージを図示</li> </ul> <p><b>【振り返り】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己評価をする活動（3）</li> <li>○ 書く活動（3）</li> </ul>
大 日 本	<p><b>【導入方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載</li> <li>○ 見開きのイラストから、課題を見出す学習</li> </ul> <p><b>【振り返り】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己評価をする活動（2）</li> <li>○ 書く活動（4）</li> </ul>	<p><b>【導入方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載</li> <li>○ 見開きのイラストから、課題を見出す学習</li> </ul> <p><b>【振り返り】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己評価をする活動（3）</li> <li>○ 書く活動（7）</li> </ul>
文 教 社	<p><b>【導入方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の見通しをもたせるための記述及びイラストの掲載</li> <li>○ イラストから、学習をイメージ化</li> </ul> <p><b>【振り返り】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己評価をする活動（2）</li> <li>○ 書く活動（2）</li> </ul>	<p><b>【導入方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の見通しをもたせるための記述</li> <li>○ イラストや図、チェック表から、学習をイメージ化</li> </ul> <p><b>【振り返り】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己評価をする活動（3）</li> <li>○ 書く活動（3）</li> </ul>
光 文	<p><b>【導入方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の見通しをもたせるための記述やイラストの掲載</li> </ul> <p><b>【振り返り】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己評価をする活動（2）</li> <li>○ 書く活動（2）</li> </ul>	<p><b>【導入方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の見通しをもたせるための記述やイラストの掲載</li> </ul> <p><b>【振り返り】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己評価をする活動（3）</li> <li>○ 書く活動（3）</li> </ul>
学 研	<p><b>【導入方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載</li> </ul> <p><b>【振り返り】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己評価をする活動（2）</li> <li>○ 書く活動（4）</li> </ul>	<p><b>【導入方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の見通しをもたせるための記述及び写真の掲載</li> </ul> <p><b>【振り返り】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己評価をする活動（3）</li> <li>○ 書く活動（6）</li> </ul>

【保健】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けた学習活動の工夫
方法	学習の進め方の示し方、課題解決の過程の扱い

	学習の進め方の示し方	課題解決の過程
東書	○ 巻頭の「この教科書の使い方」で示している。	○ ステップ1「気づく・見つける」 ○ ステップ2「調べる・解決する」 ○ ステップ3「深める・伝える」 ○ ステップ4「まとめる・生かす」
大日本	○ 巻頭の「この教科書の使い方」で示している。	○ 課題をつかもう ○ いろいろな活動を通して課題を解決しよう ・「やってみよう」 ・「話し合ってみよう」 ・「調べてみよう」 ○ 活用して深めよう ・「活用して深めよう」 ○ まとめよう ○ 毎日の生活に生かそう
文教社	○ 巻頭の「私たちとっしょに学習していきましょう」でマークを紹介し、示している。	○ 「ふりかえってみよう」 ○ 「考えてみよう」 ○ 「調べてみよう」 ○ 「話し合ってみよう」 ○ 「やってみよう」 ○ 「新しい自分にレベルアップ」
光文	○ 巻頭の「学習の進め方を知ろう。」で示している。	○ 学習課題をつかむ ○ 課題解決に向けて、学習活動をする。 ・「調べよう」 ・「考えよう」 ・「やってみよう」 ・「話し合おう」 ○ 学習をまとめる
学研	○ 巻頭の「楽しく学ぼう！ほけん（保健）の学習」で示している。	○ 「つかむ」 ・「チェックする」 ・「ふり返る」 ・「話し合う」 ・「考える」 ・「たしかめる」 ・「くらべる」 ○ 「考える・調べる」 ・「考える」 ・「調べる」 ・「資料を読み取る」 ・「話し合う」 ・「くらべる」 ・「ふり返る」 ・「チェックする」 ○ 「まとめる・深める」 ・「学びを活用する」 ・「生活につなげる」 ・「目標を立てる」 ・「実習をふり返る」

【保健】

(ウ) 内容の構成・配列・分量	
視点	⑥単元や資料等の配列
方法	単元における項目，資料等の配列

	第3・4学年		第5・6学年	
	第3学年の内容	第4学年の内容	第5学年の内容	第6学年の内容
東 書	<p>「けんこうな生活」</p> <p>1 けんこうというたからもの ・体の部分の名前</p> <p>2 けんこうによい1日の生活 ・生活リズムをチェックしよう</p> <p>3 体のせいけつとけんこう ・手のあらい方</p> <p>4 けんこうによいかんきょう ・室内の空気のよごれ</p> <p>○ 学習をふり返ろう</p>	<p>「体の成長とわたし」</p> <p>1 育ちゆくわたしたちの体 ・骨や歯の発育</p> <p>2 思春期にあらわれる変化 ・月経の仕組み ・新しい命</p> <p>3 よりよく成長するための生活 ・すいみんと発育</p> <p>○ 学習をふり返ろう ・毎日の生活に運動を取り入れよう ・給食の栄養バランス ・コンピュータやスマートフォンと健康 ・外で遊ぶときに注意すること</p>	<p>「心の健康」</p> <p>1 心の発達 ・人との関わり</p> <p>2 心と体のつながり ・きん張を味方にする方法</p> <p>3 不安やなやみがある ・自分の気持ちや考えを上手に伝えよう ・ストレスカレンダーを作ろう ・水泳がわたしにくれたもの</p> <p>○ 学習をふり返ろう</p> <p>「けがの防止」</p> <p>1 事故やけがの原因 ・小学生の事故</p> <p>2 学校や地域でのけがの防止 ・ユニバーサルデザインをさがそう</p> <p>3 交通事故の防止 ・自転車安全利用五則 ・車の内輪差と事故</p> <p>4 犯罪被害の防止 ・インターネットによる犯罪被害 ・安全マップを作ろう</p> <p>○ 自然災害によるけがの防止 ・さまざまな自然災害</p> <p>5 けがの手当 ・熱中症の予防と手当 ・歯のけが ・胸骨圧迫とAED</p> <p>○ 学習をふり返ろう</p>	<p>「病気の予防」</p> <p>1 病気の起こり方 ・体のていこう力</p> <p>2 感染症の予防 ・エイズ ・インフルエンザ・新型インフルエンザ</p> <p>3 生活習慣病の予防 ・がんを予防しよう</p> <p>4 喫煙の害と健康 ・たばこの主な有害物質 ・さまざまな依存症</p> <p>5 飲酒の害と健康 ・喫煙や飲酒のさそいへの対処</p> <p>6 薬物乱用の害と健康 ・医薬品の使い方</p> <p>7 地域の保健活動</p> <p>○ 学習をふり返ろう</p> <p>○ どんな自分になりたかな</p>

【保健】

<p>大日本</p>	<p>「毎日の生活とけんこう」          1 けんこうな生活          2 1日の生活のしかた          3 体のせいけつ          4 けんこうによい生活かんきょう          ○ もっと知りたい          ・いろいろな運動          ・早ね、早起き、朝ごはん          ・手やハンカチのせいけつ          ○ 学校でのほけん活動          ○ 3年のまとめ</p>	<p>「育ちゆく体とわたし」          1 大きくなってきたわたし          2 大人の体になるじゅんぴー①          3 大人の体になるじゅんぴー②          4 よりよく育つための生活          ○ もっと知りたい          ・成長曲線を活用しよう          ・成長を祝う行事          ・思春期の体の変化とホルモン          ・いろいろな相談まど口          ・すいみんと成長ホルモン          ○ 4年のまとめ          ○ 受けつがれていく命</p>	<p>「心の健康」          1 心の発達          2 心と体のつながり          3 不安やなやみがあるとき          ○ もっと知りたい          ・いろいろな不安やなやみ          ・いろいろな相談まど口          ・自分と友達のよいところ          ○ 5年①のまとめ            「けがの防止」          1 けがの原因          2 交通事故によるけがの防止          3 身の回りで起こるけがの防止          4 犯罪被害から身を守る          ○ 自然災害から身を守る          5 けがの手当          ○ 5年②のまとめ</p>	<p>「病気の予防」          1 病気の起こり方          2 病原体と病気の予防          3 生活のしかたと病気の予防ー①          4 生活のしかたと病気の予防ー②          5 たばこの害と健康          6 飲酒の害と健康          7 薬物乱用の害と健康          8 地域で行われている保健活動          ○ もっと知りたい          ・がんの予防          ・目の健康を守ろう          ・たばこのけむりのおもな成分          ・オリンピック・パラリンピックとたばこ対策          ・健康や安全について調べよう          ○ 6年のまとめ          ○ ともに生きる</p>
<p>文教社</p>	<p>「毎日の生活とけんこう」          1 けんこうな生活とわたし          2 1日の生活のリズム          3 体のせいけつ          ○ もっとくわしく！          ・石けんを使って、ていねいに手を洗おう          4 けんこうによい部屋          ○ わたしのけんこうせん言          ○ もっと知りたい！          ・学校で行われているほけん活動</p>	<p>「体の発育・発達」          1 体の発育          2 思春期の体の変化①          3 思春期の体の変化②          ○ もっとくわしく！          ・体の中で起こる変化について          4 体のよりよい発育          ○ もっと知りたい！          ・毎日の生活の中で、続けていける運動          ○ もっと知りたい！          ・てきせつなすいみんをとるために          ○ わたしのすくすくせん言</p>	<p>「心の健康」          1 心の発達          2 心と体のつながり          3 不安やなやみへの対処①          ○ もっとくわしく！          ・腹式呼吸          4 不安やなやみへの対処②          ○ わたしのスッキリせん言            「けがの防止」          1 学校生活でのけがの防止          2 交通事故の防止          ○ もっと知りたい！          ・小学生の交通事故原因          3 地域での安全          ○ もっと知りたい！          ・犯罪被害を防ぐ標語          4 けがの手当て          ○ わたしの安全せん言          ○ 災害が起きたら、あなたはどうしますか？</p>	<p>「病気の予防」          1 病気の起こり方          2 病原体と病気          ○ もっとくわしく！          ・病気かなと思ったら…          3 生活のしかたと病気の予防ー①          ①ー生活習慣病の予防ー          4 生活のしかたと病気の予防ー②          ②ーむし歯や歯周病の予防ー          5 喫煙の害          6 飲酒の害          7 薬物乱用の害          8 地域の保健活動          ○ わたしのいきいき宣言</p>



【保健】

<p>光 文</p>	<p>「けんこうな生活」 1 けんこうって、なに？ 2 けんこうな1日の生活 ○ さらに広げよう深めよう ・これも運動！ ・早ね早起き朝ごはん ・スマートフォンやタブレットの使い方と生活のリズム 3 体のせいけつ 4 身の回りのかんきょう ○ さらに広げよう深めよう ・めざせ！手のあらいのこしゼロ ・目がつかれると、どうなるの？ ・学校でのほけん活動 学習のまとめ</p>	<p>「体の発育と健康」 1 変化していく体 2 思春期の体の変化① ～体の外にあらわれる変化～ 3 思春期の体の変化② ～体の中にあらわれる変化～ ○ さらに広げよう深めよう ・新しい生命のたんじょう ・「性」についてのなやみ 4 よりよい発育のために ○ さらに広げよう深めよう ・体を動かそう ・スポーツ障害 ・スポーツ選手と食事 ・すいみんの大切さ ○ 学習のまとめ ○ 共に生きる社会のために</p>	<p>「心の健康」 1 心の発達 2 心と体の関わり ○ さらに広げよう深めよう ・ゴルフで広がったわたしの人生 ・笑いの効果 ・よりよいコミュニケーション 3 不安やなやみなどへの対処 ○ さらに広げよう深めよう ・ストレスは悪いもの？ ・自分の見方を変えてみると… ○ 学習のまとめ</p> <p>「けがの防止」 1 けがや事故の起こり方 2 学校や地域でのけがの防止 3 交通事故の防止 ○ さらに広げよう深めよう ・子どもが被害にあった事故 ・自転車に安全に乗るために ・「歩きスマホ」は危険！ ・車の特徴を知ろう！ 4 犯罪被害の防止 5 けがの手当 ○ さらに広げよう深めよう ・犯罪被害を防ぐ環境づくり ・インターネットの正しい使い方 ・心肺蘇生とAED ・ASUKAモデル ○ 自然災害から身を守る ○ 学習のまとめ</p>	<p>「病気の予防」 1 病気の起こり方 2 感染症の予防 ○ さらに広げよう深めよう ・病気から体を守るはたらき ・結核 ・エイズ ・新しい感染症と再び注目された感染症 ・病気から早く回復するには 3 生活習慣病の予防① 4 生活習慣病の予防② ○ さらに広げよう深めよう ・「がん」のことを知ろう ・運動不足と生活習慣病 ・正しく歯をみがこう ・目を大切に 5 喫煙の害 6 飲酒の害 7 薬物乱用の害 ○ さらに広げよう深めよう ・両親の喫煙と赤ちゃんへのえいきょう ・危険ドラッグに注意！ ・医薬品の正しい使用のしかた ・喫煙・飲酒・薬物乱用から子どもを守るための取り組み 8 地域の保健活動 ○ 学習のまとめ ○ 共に生きる社会のために</p>
----------------	---	---	--	---

【保健】

<p>学 研</p>	<p>「健康な生活」            1 かけがえのない健康            2 1日の生活のしかた            ○ もっと知りたい・調べたい            ・1日の生活のしかたと健康            ・リズムのある生活を送ろう            3 体の清けつ            4 身の回りのかんきょう            ○ もっと知りたい・調べたい            ・手のあらい方            ・パソコンなどを使うときには            ・みんなの健康を守るための活動            ○ ふり返る・深める・つなげる 健康な生活</p>	<p>「体の発育・発達」            1 変化してきたわたしの体            ○ もっと知りたい・調べたい            ・わたしのこれまでとこれから            ・体が発育するって、どういうこと？            2 大人に近づく体            3 体の中で起こる変化            ○ もっと知りたい・調べたい            ・体の変化はどのように起こるの？            ・月経のしくみ            ・新しい命            ・体の変化，一人一人ちがうね            4 よりよい発育・発達のために            ○ もっと知りたい・調べたい            ・楽しく運動を続けよう            ・バランスよく食べよう            ・なぜ，すいみんは大切ななの？            ○ ふり返る・深める・つなげる 体の発育・発達            ○ 安全な生活のために            ①            ○ 安全な生活のために            ②</p>	<p>「心の健康」            1 心の発達            ○ もっと知りたい・調べたい            ・心って，どこにあるの？            ・思春期の心            ・自分のよいところを発見しよう            ・どのように気持ちを伝ええますか？            2 心と体のつながり            3 不安やなやみへの対処            ○ 体がリラックスすると心もリラックスする            ○ 思春期はだれもがなやむもの            ○ みんなはどうしたかな？なやみへの対処            ○ 考えてみよう。友達やクラスの仲間のこと            ○ ふり返る・深める・つなげる 心の健康            「けがの防止」            1 けがの発生            2 交通事故の防止            3 学校や地域でのけがの防止            ○ 犯罪から身を守るために            ○ もっと知りたい・調べたい            ・自然災害や緊急事態に備えて            4 けがの手当            ○ ふり返る・深める・つなげる けがの防止</p>	<p>「病気の予防」            1 病気の起こり方            2 病原体と病気            ○ もっと知りたい・調べたい            ・ていこう力って，何だろう？            ・食中毒            ・エイズ            3 生活のしかたと病気            ①            4 生活のしかたと病気            ②            ○ もっと知りたい・調べたい            ・「がん」って，どんな病気？            ・パソコンやタブレットと健康            ・いろいろな病気            ・医学や保健の分野での日本人の世界的な活躍            5 喫煙の害            6 飲酒の害            7 薬物乱用の害            ○ もっと知りたい・調べたい            ・喫煙・飲酒をしないために            ・医薬品の正しい使い方            8 地域のさまざまな保健活動            ○ ふり返る・深める・つなげる 病気の予防            ○ みんなの健康を守るさまざまな仕事</p>
----------------	--	---	--	---

【保健】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦発展的な学習に関する内容の記述
方法	発展的な学習の具体例と事例数

	第3・4学年	第5・6学年
東 書	<p>「けんこうな生活」(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体の部分の名前</li> </ul> <p>「体の成長とわたし」(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 骨や歯の発育</li> <li>○ 新しい命</li> <li>○ すいみんと発育</li> <li>○ コンピュータやスマートフォンと健康</li> <li>○ 外で遊ぶときに注意すること</li> </ul>	<p>「心の健康」(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ きん張を味方にする方法</li> <li>○ ストレスカレンダーを作ろう</li> </ul> <p>「けがの防止」(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自転車安全利用五則</li> <li>○ インターネットによる犯罪被害</li> <li>○ 自然災害によるけがの防止</li> <li>○ さまざまな自然災害</li> <li>○ 熱中症の予防と手当</li> <li>○ 歯のけが</li> <li>○ 胸骨圧迫とAED</li> </ul> <p>「病気の予防」(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ インフルエンザ・新型インフルエンザ</li> <li>○ がんを予防しよう</li> <li>○ たばこの主な有害物質</li> <li>○ さまざまな依存症</li> <li>○ 医薬品の使い方</li> </ul>
大 日 本	<p>「育ちゆく体とわたし」(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 成長曲線を活用しよう</li> <li>○ 成長を祝う行事</li> <li>○ すいみんと成長ホルモン</li> <li>○ 受けつがれていく命</li> </ul>	<p>「けがの防止」(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ヒヤリハット</li> <li>○ インターネットのトラブルにまきこまれないために</li> <li>○ 自然災害から身を守る</li> <li>○ AED</li> <li>○ 熱中症</li> </ul> <p>「病気の予防」(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろいろな病気と病原体</li> <li>○ 医薬品</li> <li>○ がんの予防</li> <li>○ たばこのけむりのおもな成分</li> <li>○ オリンピック・パラリンピックとたばこ対策</li> <li>○ ともに生きる</li> </ul>
文 教 社	<p>「体の発育・発達」(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴史や文化、食生活とともに受けつがれてきた郷土料理</li> <li>○ 生活習かんと新体力テストの合計点(10才)の関連</li> <li>○ おへそってすごいんだ</li> </ul>	<p>「心の健康」(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 寄りそうことの大切さ</li> </ul> <p>「けがの防止」(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ AED</li> <li>○ 熱中症</li> <li>○ 災害が起きたら、あなたはどうしますか?</li> </ul> <p>「病気の予防」(10)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教えて！保健室の先生Q&amp;A</li> <li>○ 気をつけよう！食中毒</li> <li>○ 細菌って全部悪者なの？</li> <li>○ すごいぞ！た液パワー</li> <li>○ 喫煙の害から健康な生活を守るためのこれからの課題</li> <li>○ ノンアルコール飲料なら、飲んでもいいの？</li> <li>○ 命に関わる飲酒</li> <li>○ 「危険ドラッグ」とは？</li> <li>○ みなさんの安全を守っている検疫所</li> <li>○ いつまでも健康に</li> </ul>

【保健】

<p>光 文</p>	<p>「けんこうな生活」(2) ○ スマートフォンやタブレットの使い方と生活のリズム ○ 目がつかれると、どうなるの？ 「体の発育と健康」(9) ○ 骨の成長のしかた ○ 歯の生え変わりと成長 ○ 新しい生命のたんじょう ○ 「性」についてのなやみ ○ 運動量 ○ 宇宙飛行士と運動 ○ スポーツ障害 ○ すいみんの大切さ ○ 共に生きる社会のために</p>	<p>「心の健康」(4) ○ 笑いの効果 ○ 不安やなやみと呼吸 ○ ストレスは悪いもの？ ○ 自分の見方を変えてみると… 「けがの防止」(7) ○ 自転車に安全に乗るために ○ 「歩きスマホ」は危険！ ○ 熱中症に注意！ ○ インターネットの正しい使い方 ○ 心肺蘇生とAED ○ ASUKAモデル ○ 自然災害から身を守る</p> <p>「病気の予防」(10) ○ 新しい感染症と再び注目された感染症 ○ 自分の「平熱」を知っておく ○ 「がん」のことを知ろう ○ 運動不足と生活習慣病 ○ たばこのけむりの中の主な有害物質 ○ 飲酒を始めた年齢とアルコール依存症 ○ 両親の喫煙と赤ちゃんへのえいきょう ○ 危険ドラッグに注意！ ○ 医薬品の正しい使用のしかた ○ 共に生きる社会のために</p>
<p>学 研</p>	<p>「健康な生活」(2) ○ 「早ね早起きの人」と「おそくねておそく起きる人」の1日の体温のリズム ○ パソコンなどを使うときには 「体の発育・発達」(5) ○ 体が発育するって、どういうこと？ ○ 新しい命 ○ なぜ、すいみんは大切な？ ○ 安全な生活のために① ○ 安全な生活のために②</p>	<p>「心の健康」(2) ○ 心って、どこにあるの？ ○ 背骨の中を通る神経 「けがの防止」(5) ○ 消防団員さんの話 ○ インターネットを正しく安全に使おう ○ 自然災害や緊急事態に備えて ○ 心肺蘇生とAED ○ 熱中症</p> <p>「病気の予防」(6) ○ 学校医さんの話 ○ 「がん」って、どんな病気？ ○ いろいろな病気 ○ 医学や保健の分野での日本人の世界的な活躍 ○ たばこのけむりの中の有害物質の例 ○ 医薬品の正しい使い方</p>

【保健】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧本文記述との関連付けがなされた学習資料の活用
方法	本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の掲載内容

具体例（「体の発育・発達」に関わる単元）	
東 書	<p>「体の成長とわたし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の体の成長に気付くための、乳児期の靴と手形の写真</li> <li>○ 入学時からの身長伸びを調べるための、作業用の表とグラフ</li> <li>○ 体が年齢とともに発育し、変化したことを示す、1年生と4年生の写真</li> <li>○ 成長の個人差を示す、6人の成長のイラスト</li> <li>○ 男女の体つきの違いに気づくための、1年生と大人のイラストと表</li> <li>○ 男女の体つきの変化に気づくための、1年生と6年生と大人の写真</li> <li>○ 思春期にあらわれる体つきの変化を示すイラスト</li> <li>○ 思春期にあらわれる体の働きの変化を示すイラストと卵子と精子の写真</li> <li>○ 初経や精通を経験した時期を示すグラフ</li> <li>○ 思春期の心の変化を示すイラスト</li> <li>○ よりよく成長するために、特に必要な栄養素を示すイラスト</li> <li>○ 睡眠・休養の様子を示すイラスト</li> </ul>
大 日 本	<p>「育ちゆく体とわたし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 成長の個人差を示す、4人の成長のイラスト</li> <li>○ 体が成長し、できることが増えたことを示す、上ばきの写真とソフトボール投げのきよりのグラフ</li> <li>○ 入学時からの身長伸びを調べるための、作業用のグラフ</li> <li>○ 思春期にあらわれる体つきの変化を示すイラスト</li> <li>○ 体つきの変化の時期や変わり方には個人差があることを示すグラフ</li> <li>○ 思春期にあらわれる体の中の変化を示すイラストと卵子と精子の写真</li> <li>○ 思春期の心の変化を示すイラスト</li> <li>○ 普段の運動量を調べるための作業用のイラスト</li> <li>○ 健康なほねと運動不足やカルシウム不足のほねの様子を示す写真</li> <li>○ 栄養バランスのよい食事を示す学校給食の写真</li> </ul>
文 教 社	<p>「体の発育・発達」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 男女の身長や体重、新体力テストの記録の年齢ごとの変化を示すグラフ</li> <li>○ 入学時からの身長伸びを調べるための、作業用の表とグラフ</li> <li>○ 成長の個人差を示す、4人の成長のイラスト</li> <li>○ 男女の乳児の顔つきを示す写真</li> <li>○ 年れいにともなう男女の体つきの変化を示すイラスト（3・4才、1・2年生、思春期）</li> <li>○ 思春期にあらわれる体の変化を示すイラスト</li> <li>○ 思春期にあらわれる体の中の変化を示すイラストと卵子と精子の写真</li> <li>○ 初経や精通を経験した時期を示すグラフ</li> <li>○ 年齢にともなう異性との関わり方の変化を示すイラスト</li> <li>○ 異性への関心の表れ方に気づくための作業用のイラスト</li> <li>○ 体のよりよい発育のために心がけていることを振り返る作業用のイラスト</li> <li>○ 運動・休養・睡眠の効果を示すイラスト</li> <li>○ 栄養バランスのよい食事を示す学校給食の写真</li> <li>○ 体の成長に必要な栄養素を示すイラスト</li> <li>○ てきせつな休養・すいみんを示すイラスト</li> </ul>
光 文	<p>「体の発育と健康」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入学時からの身長伸びを調べるための、作業用の表とグラフ</li> <li>○ 年齢とともに発育したことを示す衣服や靴の写真（1才ごろ、小学校中学年ごろ）</li> <li>○ 成長の個人差を示す、6人の成長のイラストとグラフ</li> <li>○ 男女の乳児の体つきを示す写真</li> <li>○ 年齢にともなう男女の体つきの変化の違いを示す写真（1年生、大人）</li> <li>○ 思春期にあらわれる体の変化を示すイラストとグラフ</li> <li>○ 思春期にあらわれる体の中の変化を示すイラストと卵子と精子の写真</li> <li>○ 初経や精通を経験した時期を示すグラフ</li> <li>○ 思春期の心の変化を示すイラスト</li> <li>○ よりよい発育のために気を付けるべきことができているか振り返る作業用のイラスト</li> <li>○ 無理なく毎日続けられる運動を示すイラスト</li> <li>○ 健康な骨と運動不足やカルシウム不足の骨の様子を示す写真</li> <li>○ よりよい発育のために大切な栄養素を示すイラスト</li> <li>○ 学校給食の栄養バランスを示す写真</li> <li>○ つかれをとる休養の例とすいみんのイラスト</li> </ul>

【保健】

学 研	<p>「体の発育・発達」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 年齢とともに発育していく様子を示す2人のグラフ</li><li>○ 発育のしかたの個人差を示す, 4人の成長のイラストとグラフ</li><li>○ 入学時からの身長伸びを調べるための, 作業用のグラフ</li><li>○ 男女の体つきの違いを示す写真(9~10さい, 大人)</li><li>○ 思春期に起こる体の変化を示すイラスト</li><li>○ 思春期に起こる体の中の変化を示すイラストと卵子と精子の写真</li><li>○ 思春期に起こる心の変化を示すイラスト</li><li>○ 給食の栄養バランスを示す写真</li><li>○ 体の成長に大切な栄養素を示すイラスト</li><li>○ 運動・休養・睡眠の効果を示すイラスト</li></ul>
--------	---

【保健】

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	身近な健康について、自分の考えをまとめて書いたり、話したりする活動の工夫
方法	自分の知識や経験に照らして自分の考えを記入する活動の数

	第3・4学年	第5・6学年
東書	「けんこうな生活」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (16) <input type="radio"/> 話し合う活動 (4)  「体の成長とわたし」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (15)	「心の健康」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (10)  「けがの防止」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (15) <input type="radio"/> 話し合う活動 (1) 「病気の予防」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (20) <input type="radio"/> 話し合う活動 (2)
大日本	「毎日の生活とけんこう」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (8) <input type="radio"/> 話し合う活動 (4)  「育ちゆく体とわたし」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (3) <input type="radio"/> 話し合う活動 (1)	「心の健康」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (5) <input type="radio"/> 話し合う活動 (4)  「けがの防止」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (9) <input type="radio"/> 話し合う活動 (5) 「病気の予防」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (7) <input type="radio"/> 話し合う活動 (3)
文教社	「毎日の生活とけんこう」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (7)  「体の発育・発達」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (2) <input type="radio"/> 話し合う活動 (4)	「心の健康」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (7) <input type="radio"/> 話し合う活動 (3)  「けがの防止」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (3) <input type="radio"/> 話し合う活動 (5) 「病気の予防」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (11) <input type="radio"/> 話し合う活動 (5)
光文	「けんこうな生活」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (7) <input type="radio"/> 話し合う活動 (4)  「体の発育と健康」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (7) <input type="radio"/> 話し合う活動 (3)	「心の健康」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (7) <input type="radio"/> 話し合う活動 (2)  「けがの防止」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (10) <input type="radio"/> 話し合う活動 (6) 「病気の予防」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (14) <input type="radio"/> 話し合う活動 (6)
学研	「健康な生活」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (5) <input type="radio"/> 話し合う活動 (3)  「体の発育・発達」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (4)	「心の健康」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く (7) <input type="radio"/> 話し合う活動 (2)  「けがの防止」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (4) <input type="radio"/> 話し合う活動 (2) 「病気の予防」 <input type="radio"/> 自分の考えを書く活動 (9) <input type="radio"/> 話し合う活動 (3)

## 英 語

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	NEW HORIZON Elementary English Course
9	開 隆 堂	Junior Sunshine
11	学 図	JUNIOR TOTAL ENGLISH
15	三 省 堂	CROWN Jr.
17	教 出	ONE WORLD Smiles
38	光 村	Here We Go!
61	啓 林 館	Blue Sky elementary

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	単元の目標の示し方	目標の示し方と具体例
		②	基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫	文及び文構造に繰り返し触れる機会の設定及び具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	興味・関心を高めるための工夫	単元の導入の工夫
		④	単元等における振り返りの工夫	単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定及び具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤	単元の構成・配列の工夫	単元における4技能5領域に関連した言語活動の構成・配列
		⑥	知識・技能の活用を促す配列の工夫	習得した知識・技能の活用を促す言語活動の設定及び具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑦	学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト、写真等の活用	キャラクターやマーク等の活用、多様なICT環境への対応
		⑧	巻末資料、付録等の工夫	巻末資料、付録等の内容
(オ)	言語活動の充実	⑨	児童の身近な暮らしに関わる場面設定の工夫	主として学校での学習や活動場面が取り上げられた単元
		⑩	対話的な学びを促す言語活動の工夫	自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容



観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	目標の示し方と具体例

	目標の示し方	第5学年「学校生活・教科」における具体例
東 書	○ 単元の冒頭に Our Goal として、各単元の学習目標を提示している。	○ Unit 3: What do you want to study? Our Goal 学びたい教科やなりたい職業を伝えよう。
開 隆 堂	○ 単元の冒頭に、各単元の学習目標を提示している。	○ Lesson 3: What do you have on Mondays? ある職業になるための時間割を作ろう。
学 図	○ 単元の冒頭にレッスンの目標として、各単元の学習目標を提示している。	○ Lesson 3: What do you have on Fridays? レッスンの目標 ・曜日・教科・習い事についての表現を聞き、言うことができる。 ・時間割や習い事などを伝え、たずね合う。 ・自分から進んで、時間割や習い事などを伝え、たずね合おうとする。
三 省 堂	○ 単元の冒頭に、各単元の学習目標を提示している。	○ Lesson 5: I play soccer on Mondays. ふだんよくすることや習慣を伝えよう。
教 出	○ 単元の冒頭に、各単元の学習目標を提示している。	○ Lesson 3: I have P.E. on Monday. 夢の時間わりをつくろう
光 村	○ 単元の冒頭に Goal として、各単元の学習目標を提示している。	○ Unit 3: What do you have on Monday? Goal 教科や曜日など時間割について伝えることができる。
啓 林 館	○ 単元の冒頭に GOAL として、各単元の学習目標を提示している。	○ Unit 2: I study math on Monday. GOAL 夢の時間わりを作って、勉強したい教科を言えるようになる。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫
方法	文及び文構造に繰り返し触れる機会の設定及び具体例

	文及び文構造に繰り返し触れる機会を設定した単元名（助動詞 can）	具体例（第6学年）
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 1: This is me!</li> <li>○ Unit 2: How is your school life?</li> <li>○ Unit 3: Let's go to Italy.</li> <li>○ Unit 5: We all live on the Earth.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 3: Let's go to Italy. Enjoy Communication 旅行代理店でおすすめの国の紹介文を読む活動を設定している。 Italy is a nice country. You <u>can</u> see the Colosseum. You <u>can</u> eat pizza. It's delicious.</li> </ul>
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 3: Where do you want to go?</li> <li>○ Lesson 4: Welcome to Japan.</li> <li>○ Project 1: 世界で活躍する自分をしようかいしよう。</li> <li>○ Lesson 7: Watch the world.</li> <li>○ Lesson 10: I have a dream.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 4: Welcome to Japan. Let's Play 6 日本のことを紹介するカードを作って、発表の練習をする活動を設定している。 Welcome to Japan. You <u>can</u> climb Mt. Fuji. It's very beautiful. Please try it.</li> </ul>
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 1: I'm from India.</li> <li>○ Lesson 3: What festival do you want to see?</li> <li>○ Lesson 5: We have a big park.</li> <li>○ Project Time 1</li> <li>○ Lesson 6: Where do you want to go?</li> <li>○ Lesson 9: Who is this?</li> <li>○ Lesson 10: What club do you want to join?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 5: We have a big park. Let's Listen Let's Chant 自分たちの地域でできることについての紹介文を聞いたり、話したりする活動を設定している。 We <u>can</u> play baseball at the park. We <u>can</u> read many books in the library. We <u>can</u> buy food at the supermarket. We <u>can</u> swim in the swimming pool.</li> </ul>
三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 1: We are from India.</li> <li>○ Lesson 7: At This Moment</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 7: At This Moment Write &amp; Talk 卒業を控えた今の自分を伝えるプロフィールカードを書く活動を設定している。 THIS IS ME My name is Sato Yumi. My birthday is on February 15th. I like chocolate. I <u>can</u> play the guitar. I like summer.</li> </ul>

【英語】

<p>教 出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 1: Let's be friends.</li> <li>○ Lesson 2: My town is beautiful.</li> <li>○ Lesson 3: Welcome to Japan.</li> <li>○ Lesson 5: What country do you want to visit?</li> <li>○ Lesson 6: Olympics and Paralympics</li> <li>○ Lesson 9: Junior High School Life</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 6: Olympics and Paralympics Activity 2 世界で活躍しているスポーツ選手を友達に紹介する活動を設定している。 This is Nishikori Kei. He is a tennis player. He <u>can</u> play tennis well.</li> </ul>
<p>光 村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 2: Welcome to Japan.</li> <li>○ Unit 3: What do you want to watch?</li> <li>○ Unit 5: He is famous. She is great.</li> <li>○ Unit 6: This is my town.</li> <li>○ Unit 9: Junior High School Life</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 2: Welcome to Japan. Let's listen and read. 「日本の行事紹介ブログ」について、音声を聞きながら、文字を指で追う活動を設定している。 In summer, we have a summer festival. You <u>can</u> enjoy delicious food. You <u>can</u> eat <i>yakisoba</i> and <i>takoyaki</i>. You <u>can</u> enjoy dancing, too.</li> </ul>
<p>啓 林 館</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 2: Welcome to Japan.</li> <li>○ Unit 3: I want a big park in our town.</li> <li>○ Unit 7: I want to be a vet.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 2: Welcome to Japan. Activity 例を参考にして、自分が住む地域や都道府県を紹介する活動を設定している。 Welcome to Kagawa! You <u>can</u> eat udon. It's delicious. You <u>can</u> see this pumpkin in Naoshima. It's beautiful.</li> </ul>

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
	視点 ③興味・関心を高めるための工夫
	方法 単元の導入の工夫

	単元名	「行ってみたい国や地域」における単元の導入の工夫
東書	第6学年 ○ Unit 3: Let's go to Italy.	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに、世界の建物や食べ物等の写真やイラストを掲載し、児童の興味・関心を高めている。</li> <li>二次元コードを活用し、世界の有名な建物や食べ物等について聞く・読む・書く活動、歌、チャンツを設定している。</li> </ul>
開隆堂	第6学年 ○ Lesson 3: Where do you want to go?	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに、世界の建物や動物、食べ物等の写真、国旗と国名を掲載し、児童の興味・関心を高めている。</li> <li>二次元コードを活用し、ツアープランナーの話を聞く活動、チャンツ、ゲーム、クイズを設定している。</li> </ul>
学図	第5学年 ○ Lesson 9: Where do you want to go?	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元冒頭にはレッスンのとびらとして、単元名、学習のめあてとともに、学習の進め方を掲載している。また、見開きページを活用して、行きたい場所について話している授業中のイラストを掲載し、児童の興味・関心を高めている。</li> <li>学級の児童が行きたい場所について話している内容を聞く活動、歌を設定している。</li> </ul>
三省堂	第5学年 ○ Lesson 7: I want to go to Kenya.	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに、世界地図、世界の建物や動物、食べ物等の写真やイラスト、国名を掲載し、児童の興味・関心を高めている。</li> <li>二次元コードを活用し、世界の有名な建物や食べ物等の写真やイラストを見ながら英語を聞く活動を設定している。</li> </ul>
教出	第5学年 ○ Lesson 6: Where do you want to go?	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに、日本の建物や祭り、食べ物等の写真を掲載し、児童の興味・関心を高めている。</li> <li>登場人物の行きたい旅行先について映像と合わせて聞く活動、チャンツ、外国の人におすすめしたい日本の旅行先について考える活動を設定している。</li> </ul>
光村	第5学年 ○ Unit 6: I want to go to Italy.	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに、世界地図、世界の建物や動物等の写真やイラスト、国旗を掲載し、児童の興味・関心を高めている。</li> <li>映像を見ながら、世界の国々についての会話を聞く活動やゲームを設定している。</li> </ul>
啓林館	第5学年 ○ Unit 6: I want to go to France.	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きページを活用して、単元名、学習のめあてとともに、世界地図、世界の建物や動物、食べ物等の写真やイラスト、国旗を掲載し、児童の興味・関心を高めている。</li> <li>夢の海外旅行計画について聞く活動を設定している。</li> </ul>

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④単元等における振り返りの工夫
<b>方法</b>	単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定及び具体例

	単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定	第5学年「身近な人の紹介」における具体例
東書	○ 学習した単元の内容に関連したテーマごとにスピーチを設定し、その振り返りを行う。	○ Check Your Steps 3: 「日本のすてき」を英語の先生に紹介しよう 自分が行ったスピーチについて、2観点で振り返りを行う。 ふり返ろう！ ・スピーチの内容は☆いくつ？ ・相手に伝える工夫は☆いくつ？
開隆堂	○ 学習した単元ごとに振り返りを行う。	○ Lesson 6: My Hero その単元で学習したことについて、3観点で振り返りを行う。 ふりかえりをしよう 1 あこがれの人をしょうかいする言い方がわかった。 2 自分のあこがれの人をしょうかいすることができた。 3 あこがれの人を友だちにわかりやすくしょうかいしようとした。
学図	○ 学習した単元ごとに振り返りを行う。	○ Lesson 10: Who is your hero? その単元で学習したことについて、4観点で振り返りを行うとともに、自分の感想やこれからの目標を書く。 Check Time Lesson 10 をふり返って当てはまる□に○を付けましょう。 ・家族の職業や表現、ヒーローがだれかについて聞き、言うことができた。 ・家族や職業を表す語句や、ヒーローがだれかを表す語句や文を読み、書き写すことができた。 ・自分や他の人のヒーローがだれかを伝え、たずね合うことができた。 ・自分から進んで、自分や他の人のヒーローがだれかについて伝え、たずね合おうとした。 ・ひとこと

三省堂	○ いくつかの単元で学習したことをもとに、プレゼンテーションを2回行い、それぞれの振り返りを行う。	○ <b>Presentation 2: He is a music teacher.</b> 自分が行った2回のプレゼンテーションについて、それぞれ3観点、2観点で振り返りを行う。 <b>JUMP 1</b> まとめとふりかえり ・ <b>Goal</b> は達成できましたか。よかったところはどこですか。 ・ 先生にインタビューをするとき、質問の順番で、どことなくふうをしましたか。 ・ <b>JUMP 2</b> では先生あてクイズを作ります。どことなくふうをしたいですか。 <b>JUMP 2</b> まとめとふりかえり ・ <b>HOP</b> (39 ページ) で立てた目標 ( <b>My Goal</b> ) は達成できましたか。 ・ 次は、どことなくふうをして活動したいですか。
教出	○ 学習した単元ごとに振り返りを行う。	○ <b>Lesson 9: This is my dream friend.</b> その単元で学習したことについて、4観点で振り返りを行う。 <b>Lesson 9</b> をふりかえろう ・ 人の得意なことや特ちょうの伝え方を知って、言うことができた。 ・ 人をしょうかいする表現を知って、言うことができた。 ・ 友達になってみたい人を考えて、ワークシートに書き、しょうかいすることができた。 ・ 相手にわかりやすく話そうとしたり、相手の話をよく聞こうとしたりした。
光村	○ 学習した単元ごとに振り返りを行う。	○ <b>Unit 9: My hero is my brother.</b> その単元で学習したことについて、3観点で振り返りを行う。 ふりかえろう ・ <b>CAN-DO</b> : 職業や性格などを言って、身近なあこがれの人を紹介することができた。 ・ 考える : 世界の小学生のあこがれの人の紹介の映像を見て、どんなことに気がつきましたか。 ・ 深める : あこがれの人の話から、身近な人のどんなことをもっと知りたいと思いましたか。
啓林館	○ 単元を細かく分けた <b>Part</b> ごとに振り返りを行うとともに、単元末に学習した単元の振り返りを行う。	○ <b>Unit 5: This is my sister.</b> <b>Part</b> ごとの達成度を3段階で振り返り、さらに、その単元で学習したことについて5観点で振り返りを行う。 ・ <b>Part 1~3</b> できたかな？ ・ <b>Looking Back</b> <b>Unit 5</b> の学習をふり返りましょう。 1 自分の家族をしょうかいできるかな。 2 自分の得意なことを言えるかな。 3 身近な人について、得意なことや性格、とくちょうなどをしょうかいできるかな。 4 <b>Unit 5</b> の学習中に「英語で言いたいけど言えなかった」ことや、「もっと知りたい」と思ったことを書いてみよう。 5 <b>Unit 5</b> で学習した英語をどんな場面で使いたいか書いてみよう。

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑤単元の構成・配列の工夫
方法	単元における4技能5領域に関連した言語活動の構成・配列

		4技能5領域に関連した言語活動のマーク数				単元における4技能5領域に関連した言語活動の構成・配列 (第6学年「夏休みの思い出」における具体例)	
		聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)		書く
東書		4	5	4	1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 4: Summer Vacations in the World</li> <li>・ Starting Out 聞く</li> <li>・ Let's Read and Write 1 読む, 書く</li> <li>・ Let's Try 1 話す(やり取り)</li> <li>・ Let's Read and Write 2 読む, 書く</li> <li>・ Let's Listen 1 聞く</li> <li>・ Let's Try 2 話す(やり取り)</li> <li>・ Let's Read and Write 3 読む, 書く</li> <li>・ Let's Listen 2 聞く</li> <li>・ Let's Try 3 話す(やり取り)</li> <li>・ Let's Read and Write 4 読む, 書く</li> <li>・ Enjoy Communication 聞く, 読む, 書く, 話す(やり取り), 話す(発表)</li> </ul>
開隆堂		5	3	0	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 6: My Summer Vacation</li> <li>・ Let's Listen 1 聞く</li> <li>・ Let's Listen 2 聞く</li> <li>・ Let's Play 2 聞く</li> <li>・ Let's Read and Write 読む, 書く</li> <li>・ Let's Try 話す(発表), 聞く</li> <li>・ 「夏休みの思い出を読もう」 読む, 聞く, 読む</li> </ul>
学図		7	4	3	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 4: I went to my grandparents' house.</li> <li>・ Let's Listen Let's Chant 聞く</li> <li>・ セクション名なし 聞く</li> <li>・ Small Talk 話す(やり取り)</li> <li>・ セクション名なし 読む, 書く</li> <li>・ Let's Listen Let's Chant 聞く</li> <li>・ セクション名なし 聞く</li> <li>・ Small Talk 話す(やり取り)</li> <li>・ セクション名なし 読む, 書く</li> <li>・ Let's Listen Let's Chant 聞く</li> <li>・ セクション名なし 聞く</li> <li>・ Small Talk 話す(やり取り)</li> <li>・ セクション名なし 読む, 書く</li> <li>・ Use &amp; Check 聞く, 読む, 話す(発表), 書く</li> </ul>

【英語】

三省堂	5	1	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 3: I went to Hawaii.</li> <li>・ Listen &amp; Talk 聞く, 話す (やり取り)</li> <li>・ Story 聞く</li> <li>・ Listen &amp; Talk 聞く, 話す (やり取り)</li> <li>・ Enjoy Reading 読む</li> <li>・ Listen &amp; Talk 聞く, 話す (やり取り)</li> <li>・ Talk to Friends 話す (やり取り)</li> <li>・ Enjoy Listening 聞く</li> <li>・ Write &amp; Speak 書く, 話す (発表)</li> </ul>
教出	2	1	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 4: My Summer Vacation</li> <li>・ Let's Listen 1 聞く</li> <li>・ Let's Listen 2 聞く</li> <li>・ Activity 1 話す (やり取り)</li> <li>・ Activity 2 話す (やり取り)</li> <li>・ Let's Read and Write 読む, 書く</li> <li>・ Final Activity 話す (やり取り)</li> </ul>
光村	2	1	2	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 4: My Summer Vacation</li> <li>・ Let's listen. 聞く</li> <li>・ Let's try. 話す (やり取り)</li> <li>・ Let's write. 書く</li> <li>・ Let's listen. 聞く</li> <li>・ Let's try. 話す (やり取り)</li> <li>・ Let's write. 書く</li> <li>・ Let's listen and read. 読む</li> <li>・ You can do it! 話す (発表)</li> </ul>
啓林館	8	1	1	5	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 4: My summer vacation was great.</li> <li>・ Listen and Guess 聞く</li> <li>・ Jingle 聞く, 話す (発表)</li> <li>・ Listen and Do 聞く</li> <li>・ Chant 聞く, 話す (発表)</li> <li>・ Activity 話す (やり取り), 書く</li> <li>・ Listen and Do 1 聞く</li> <li>・ Listen and Do 2 聞く</li> <li>・ Chant 聞く, 話す (発表)</li> <li>・ Activity 話す (発表), 書く</li> <li>・ Listen and Do 聞く</li> <li>・ Activity 読む, 話す (発表), 書く</li> </ul>



<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑥知識・技能の活用を促す配列の工夫
<b>方法</b>	習得した知識・技能の活用を促す言語活動の設定及び具体例

	習得した知識・技能の活用を促す言語活動の設定	第5学年「料理」における具体例
東 書	○ 各単元の終末 Enjoy Communication において、「話す」活動を設定している。また、3回の Check Your Steps でも、習得した知識・技能を活用するスピーチ活動を設定している。	○ Unit 6: What would you like? ・ Enjoy Communication ふるさとメニューを注文しよう。 ○ Check Your Steps 2 あなたの地域のおすすめを外国の人に紹介しよう
開 隆 堂	○ 各単元の終末 Let's Try において、「話す」活動を設定している。また、2回の Project で、習得した知識・技能を活用したクイズやスピーチ活動等を設定している。	○ Lesson 8: What would you like? ・ Let's Try 自分で考えたランチメニューを発表しよう。 ○ Project 2 自分のことを伝えよう。
学 図	○ 各単元の終末 Use & Check や2回の Project Time において、習得した知識・技能を活用する活動を設定している。	○ Lesson 8: What would you like? ・ Use & Check ○ Project Time 2 クラスの友達の前で、あなたの知っている人をしょうかいしましょう。
三 省 堂	○ 各単元で積み重ねてきたことを基に、3回の Presentation で、習得した知識・技能を活用する「インタビュー・紹介」活動を設定している。	○ Presentation 3: Mt. Fuji is beautiful. ・ JUMP 1 グループで日本のおすすめを伝えよう。 ・ JUMP 2 おすすめをポスターセッションで伝えよう。
教 出	○ 各単元の終末 Final Activity において、習得した知識・技能を活用する活動を設定している。	○ Lesson 7: I'd like a pizza. ・ Final Activity オリジナル・メニューを使って、レストランのロールプレイをしよう。
光 村	○ 各単元の終末 Jump!において、You can do it!として習得した知識・技能を活用する「話す(やり取り)」の活動を設定している。	○ Unit 7: What would you like? ・ Jump! レストランで、ねだんを確かめて注文しよう。 ・ You can do it! グループで空らんになだんを入れた後、客と店員に分かれ、客は1,000円以内で、昼食を注文しましょう。
啓 林 館	○ 各単元の終末 Activity において、「話す」活動を設定している。また、3回の Review で、「聞く」「読む」「話す」ことを通して、習得した知識・技能を活用する活動を設定している。	○ Unit 8: I'd like pizza. ・ Activity オリジナルランチを考えて、発表しましょう。友だちの考えたランチで印象に残ったものを書きましょう。 ○ Review 3 メニューを見て、次の人物になったつもりで、注文しましょう。

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑦学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト、写真等の活用
<b>方法</b>	キャラクターやマーク等の活用、多様なICT環境への対応

	キャラクターやマーク等の活用	多様なICT環境への対応
東書	○ 巻頭に「主な登場人物」として、6人の人物を紹介し、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5領域に関連した活動の種類を示すマークとキャラクターを設定し、紙面に明示している。	○ 「Let's Listen」等、実際の会話の音声等を聞く活動を複数設定している。また、単元の学習に関連した音声や映像等をweb上で視聴できる二次元コードを全体にわたって示している。
開隆堂	○ 巻頭に「おもな登場人物」として、7人の人物を紹介し、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、英語を書くときのポイントをアドバイスするキャラクター（鉛筆）等を設定している。さらに、5領域に関連した活動の種類を示すマークを設定し、紙面に明示している。	○ 「Let's Listen」等、実際の会話の音声等を聞く活動が複数設定している。また、単元の学習に関連した語句、表現やアニメーションをweb上で視聴できる二次元コードを全体にわたって示している。
学図	○ 巻頭に8人の人物が紹介しており、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、キャラクター（犬）を設定している。さらに、5領域に関連した活動の種類を示すマークを設定し、紙面に明示している。	○ 「Let's Listen」等、実際の会話の音声等を聞く活動が複数設定している。また、単元の学習に関連した音声をweb上で聞くことができる二次元コードを全体にわたって示している。
三省堂	○ 巻頭に「主な登場人物」として、6人の人物を紹介しており、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、児童の理解をサポートするキャラクターを設定している。さらに、5領域に関連した活動の種類を示すマークを設定し、紙面に明示している。	○ 「Listen & Talk」等、実際の会話の音声等を聞く活動を複数設定している。また、単元の学習に関連した語句や表現をweb上で聞くことができる二次元コードを全体にわたって示している。
教出	○ 第5学年の最初の単元に10人の人物を紹介し、第6学年には新しい担任と転入生が加わり、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、様々な活動の種類を示すマークを設定し、紙面に明示している。	○ 「Let's Listen」等、実際の会話の音声等を聞く活動が複数設定している。また、学習に役立つ情報をweb上で見ることができるURL及び二次元コードを巻頭に示している。
光村	○ 第5学年の巻頭に「主な登場人物」として、7人の人物と学習を助けるキャラクターを紹介し、第6学年には新たに転入生が加わり、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、様々な活動の種類を示すマークを設定し、紙面に明示している。	○ 「Let's Listen」等、実際の会話の音声等を聞く活動が複数設定している。また、単元の学習に関連した音声や映像等をweb上で視聴できる二次元コードを全体にわたって示している。
啓林館	○ 巻頭に「登場人物」として、9人の人物と2羽の鳥を紹介して、2学年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5領域に関連した活動の種類を示すマークを設定し、紙面に明示している。	○ 「Listen and Say」等、実際の会話の音声等を聞く活動が複数設定している。また、単元の学習に関連した単語や表現をweb上で聞くことができる二次元コードを全体にわたって示している。

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑧巻末資料，付録等の工夫
<b>方法</b>	巻末資料，付録等の内容

		巻末資料，付録等の内容	
		第 6 学年	第 5 学年
<b>東 書</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ STORY TIME</li> <li>・ Make an Original Song!</li> <li>・ Let's Read and Write</li> <li>・ Sounds and Letters</li> <li>・ 巻末絵カード</li> <li>・ 巻末コミュニケーションカード</li> <li>○巻末資料                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アルファベットチャート</li> </ul> </li> <li>○別冊                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Picture Dictionary</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ STORY TIME</li> <li>・ ローマ字表【ヘボン式】</li> <li>・ Sounds and Letters</li> <li>・ 巻末絵カード</li> <li>・ 巻末コミュニケーションカード</li> <li>○巻末資料                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アルファベットの書き方</li> </ul> </li> <li>○別冊                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Picture Dictionary</li> </ul> </li> </ul>
<b>開 隆 堂</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふろく 1 中学校へつなげよう①～④</li> <li>・ ふろく 2 発音クリニック</li> <li>・ ふろく 3 この教科書で学んだことリスト</li> <li>・ ふろく 4 単語リスト① 5年生</li> <li>・ ふろく 5 単語リスト② 6年生</li> <li>・ ふろく 6 絵カード</li> <li>・ ふろく 7 ローマ字表 (ヘボン式)</li> <li>・ ふろく 8 アルファベット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふろく 1 発音クリニック</li> <li>・ ふろく 2 この教科書で学んだことリスト</li> <li>・ ふろく 3 単語リスト</li> <li>・ ふろく 4 絵カード</li> <li>・ ふろく 5 ローマ字表 (ヘボン式)</li> <li>・ ふろく 6 アルファベット</li> </ul>
<b>学 図</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Songs for Lessons</li> <li>・ Word List</li> <li>・ 練習コーナー</li> <li>・ ローマ字表</li> <li>・ 英語で発表ができるようになったよ！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Songs for Lessons</li> <li>・ Word List</li> <li>・ 練習コーナー</li> <li>・ ローマ字表</li> <li>・ 世界の友達</li> </ul>
<b>三 省 堂</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ふろく                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界のまつり</li> <li>・ CAN-DO リスト</li> <li>・ Alphabet</li> <li>・ 「ことば」のおはなし</li> <li>・ 世界の小学校</li> <li>・ Words &amp; Phrases</li> <li>・ 6年生で学習した主な表現</li> </ul> </li> <li>○別紙                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アルファベット表</li> <li>・ 日本語のローマ字表 (ヘボン式)</li> <li>・ Memory Book 台紙</li> <li>・ 絵日記台紙</li> <li>・ プロフィールカード台紙</li> <li>・ お助け表現集</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ふろく                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本，大発見</li> <li>・ CAN-DO リスト</li> <li>・ アルファベット</li> <li>・ 英語の文字</li> <li>・ この日本語，どこから来たの？</li> <li>・ 英語が話されている国ぐに</li> <li>・ Words &amp; Phrases</li> <li>・ 5年生で学習した主な表現</li> </ul> </li> <li>○別紙                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本語のローマ字表 (ヘボン式)</li> <li>・ アルファベット表</li> <li>・ アルファベットカード</li> <li>・ 時差時計</li> </ul> </li> </ul>

【英語】

<p>教 出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知らない言葉を調べてみよう</li> <li>・ My Word Bank</li> <li>・ Let's Enjoy the Music</li> <li>○巻末資料             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Food Festival Jingle</li> <li>・ アルファベット表</li> <li>・ ローマ字表（ヘボン式）</li> <li>・ City Jingle</li> <li>・ 絵カード</li> <li>・ ワークシート</li> <li>・ My Book</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ My Word Bank</li> <li>・ Let's Enjoy the Music</li> <li>○巻末資料             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Supermarket Jingle</li> <li>・ アルファベット表</li> <li>・ ローマ字表（ヘボン式）</li> <li>・ Forest Jingle</li> <li>・ 活動用シール</li> <li>・ 絵カード</li> <li>・ ワークシート</li> </ul> </li> </ul>
<p>光 村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵辞典</li> <li>・ 6年生で学習した表現</li> <li>・ Sounds and Letters</li> <li>・ Let's play <i>sugoroku</i>.</li> <li>・ 学びのパスポート</li> <li>・ ローマ字の表（ヘボン式）</li> <li>○巻末             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵カード</li> <li>・ ペンマンシップ・シート</li> <li>・ アルファベット表</li> <li>・ シール</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵辞典</li> <li>・ 5年生で学習した表現</li> <li>・ Sounds and Letters</li> <li>・ Let's play <i>sugoroku</i>.</li> <li>・ 学びのパスポート</li> <li>・ ローマ字の表（ヘボン式）</li> <li>○巻末             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵カード</li> <li>・ ペンマンシップ・シート</li> <li>・ アルファベット表</li> <li>・ シール</li> </ul> </li> </ul>
<p>啓 林 館</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Word List</li> <li>・ アルファベット表</li> <li>・ ヘボン式ローマ字表</li> <li>・ Can-Do List</li> <li>・ 絵カード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Word List</li> <li>・ アルファベット表</li> <li>・ 教科書に出てきた英語の歌</li> <li>・ Can-Do List</li> <li>・ 絵カード</li> </ul>

<b>観点</b>	(才) 言語活動の充実
<b>視点</b>	⑨児童の身近な暮らしに関わる場面設定の工夫
<b>方法</b>	主として学校での学習や活動場面が取り上げられた単元

主として学校での学習や活動場面が取り上げられた単元（第6学年）	
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 2: How is your school life?</li> <li>○ Unit 7: My Best Memory</li> <li>○ Unit 8: My Future, My Dream</li> </ul>
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 1: We are friends.</li> <li>○ Lesson 9: My Favorite Memory</li> <li>○ Lesson 11: Junior High School Life</li> </ul>
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 1: I'm from India.</li> <li>○ Lesson 7: What's your best memory?</li> <li>○ Lesson 10: What club do you want to join?</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Presentation 1: This is our school.</li> <li>○ Presentation 2: My best memory is ....</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 1: Let's be friends.</li> <li>○ Lesson 7: My Best Memory</li> <li>○ Lesson 9: Junior High School Life</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 1: This is me.</li> <li>○ Unit 7: My Best Memory</li> <li>○ Unit 9: Junior High School Life</li> </ul>
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 6: I enjoyed school.</li> <li>○ Unit 8: I want to join the brass band.</li> </ul>

<b>観点</b>	(才) 言語活動の充実
<b>視点</b>	⑩対話的な学びを促す言語活動の工夫
<b>方法</b>	自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容
	自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容 (第6学年「小学校生活の思い出」を扱った単元)
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 7: My Best Memory</li> <li>・ Let's Try 3 一番思い出に残った行事やそこで楽しんだことをたずね合う。</li> <li>・ Enjoy Communication 小学校の思い出のアルバムシートを作り，グループで紹介し合う。</li> </ul>
<b>開隆堂</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 9: My Favorite Memory</li> <li>・ Let's Play 2 思い出に残っている学校行事について話す。</li> <li>・ Let's Play 4 思い出に残っている学校行事を言ってから，何をしたかを付け加える。</li> <li>・ Let's Try 学級で，思い出に残っている学校行事発表会をする。</li> </ul>
<b>学図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 7: What's your best memory?</li> <li>・ Small Talk 自分が運動会で楽しんだことを伝え合う。</li> <li>・ Small Talk 卒業文集にどの思い出をのせるかをたずね合う。</li> <li>・ Use &amp; Check 自分の小学校の思い出をペアで伝え合う。</li> </ul>
<b>三省堂</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Presentation 2: My best memory is ....</li> <li>・ 友だちに伝えよう メモをたよりに，友だちに最高の思い出を伝える。</li> <li>・ みんなに伝えよう みんなに最高の思い出を紹介する。</li> </ul>
<b>教出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Lesson 7: My Best Memory</li> <li>・ Activity 1 一番思い出に残っている学校行事についてたずね合う。</li> <li>・ Final Activity 思い出の学校行事をシートに書き，クラスで“School Memory Album”を作る。</li> <li>・ Let's Think 2 6年間を振り返って，お世話になった人に“Thank You Card”を渡す。</li> </ul>
<b>光村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 7: My Best Memory</li> <li>・ Let's Try. 小学校生活の一番思い出に残る行事を友達と伝え合う。</li> <li>・ Let's Try. 思い出に残る行事で行った場所やしたことなどを友達に伝える。</li> <li>・ You can do it! 小学校生活の一番の思い出を発表する。</li> </ul>
<b>啓林館</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 6: I enjoyed school.</li> <li>・ Activity 1 友達に思い出の学校行事をたずねて，ランキング表を作る。</li> <li>・ Say and Write 自分が思い出の学校行事でしたことを一つ言って，書く。</li> <li>・ Activity 小学校の思い出を発表して，書く。</li> </ul>

【英語】

## 道 徳

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	新訂 新しい道徳
11	学	図	かがやけみらい 小学校道徳 きづき かがやけみらい 小学校道徳 まなび
17	教	出	小学道徳 はばたこう明日へ
38	光	村	道徳 きみが いちばん ひかるとき
116	日	文	小学道徳 生きる力 小学道徳 生きる力 道徳ノート
208	光	文	小学道徳 ゆたかな心
224	学	研	新・みんなの道徳
232	廣	あ かつ き	みんなで考え、話し合う 小学生の道徳 自分を見つめ、考える 道徳ノート

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	道徳科の学び方等の示し方	オリエンテーションのタイトル、示し方、記載例
		②	発問の工夫	記載箇所、数、記載例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	問題解決的な学習を取り入れた工夫	問題解決的な学習の扱い、教材名・内容項目・問題意識のたせ方、発問の具体例
		④	体験的な学習を取り入れた工夫	体験的な学習の扱い、教材名等・内容項目・体験的な学習活動の概要、体験的な活動を促す具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤	分量や教材の数	判型、ページ数、四つの視点ごとの教材数
		⑥	現代的な課題等を踏まえた内容の示し方	いじめ問題の扱いと教材等の例
(エ)	内容の表現・表記	⑦	巻頭、巻末等の取扱いの工夫	巻頭、巻末等の示し方
		⑧	教材の内容を理解させる工夫	マーク・キャラクター等の示し方と活用の具体例
(オ)	言語活動の充実	⑨	考えを伝え合う活動の工夫	話し合いを促す示し方と具体例
		⑩	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方、まとめや振り返りの数等と具体例



【道徳】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	① 道徳科の学び方等の示し方
方法	オリエンテーションのタイトル, 示し方, 記載例

		第4学年		
		タイトル	示し方	記載例
東 書		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「これから一年間で学ぶこと」</li> <li>○ 「道徳の学習を進めるために」</li> <li>○ 「道徳の時間が始まるよ！」</li> <li>○ 「ちょっとみんなで話し合ってみよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページに, 四つの視点ごとに, 1年間に学ぶ内容項目と教材名を示している。</li> <li>○ 見開き2ページに, 道徳の学習の流れを「1気づく」「2考える話し合う」「3ふり返る見つめる」「4生かす」の四つで示している。また, 左ページ下には, 「話し合いのやくそく」を示している。</li> <li>○ 見開き2ページに, 道徳での六つの学習活動をイラストで示している。</li> <li>○ 折り込みに, ショートストーリーを基に, 話し合う視点を示すとともに, 自分の考えを書く欄を2か所設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自分自身のこと」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しいと思うことは自信を持って</li> <li>・正直に明るい心で</li> </ul> </li> <li>○ 「さあ, 四年生の道徳の学習を始めよう。道徳は, 心について考え, 自分の心をゆたかにしていく時間だよ。思ったことをすなおに話そう」</li> <li>○ 「いろいろな学習のしかたがあるね。なにをしているのかな。」</li> <li>○ 「そういう考えもあるんだ！」</li> <li>○ 「自分だったらと考えると, どうか。」</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「道徳の学習を始めよう」</li> <li>○ 「学級づくり」</li> <li>○ 「教科書『まなび』の使い方」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページに, 道徳の学習活動のイラストや吹き出しを使い, 考える視点等を示している。</li> <li>○ 見開き2ページに, 意見を言う環境づくりの活動を示している。</li> <li>○ 別冊「まなび」の見開き2ページの右ページには, 別冊「まなび」の使い方を示している。</li> <li>○ 別冊「まなび」の見開き2ページの左ページには, 「きづく」「かんがえよう」「みつめよう」の三つの学習活動をイラストとともに示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「どんな気持ちでいるのか, 登場人物の様子を考えましょう。」</li> <li>○ 「こまったことをかいつするには, どうしたらいいでしょう。友達と考えを出し合ってみましょう。」</li> <li>○ 「いよいよ四年生。これまでいっしょに学習してきたお友達も, この春からはじめましてのお友達も, みんなクラスの仲間です。」</li> <li>○ 「考えるための?がたくさんあるよ。」</li> <li>○ 「自分の考えをかいたり, いいなと思った考えをメモしたりして, 学習を深めていこう。」</li> </ul>
学 図				

【道徳】

<p>教 出</p>	<p>○ 「四年生の道徳の学習が始まるよ」</p> <p>○ 「道徳ではこんな学習をするよ。」</p>	<p>○ 見開き2ページの右ページには、道徳の学習では、どのような学び方をするかを示している。</p> <p>○ 左ページには、キャラクターの吹き出しの中に道徳の学び方を示すとともに、一番大切なものを書く欄を設けている。</p> <p>○ 見開き2ページに、キャラクターやイラストを使い、道徳の学習の流れを「気づく」「考える」「深める」「つなげる」の四つで示し、「話し合って考えよう」「役になって考えよう」の二つの学習活動を示している。</p>	<p>○ 「道徳では、みなさんがすすんで道徳的な行いができるように、気持ちや思いを発表し、友達の考えを聞いたり、質問したりしながら、話し合いをします。その話し合いをとおして、生きるうえで大切なことや道徳的な行いについての学びを深め、自分自身の心をみがきます。」</p> <p>○ 「これから一年間、よりよい自分を目ざしていっしょに勉強しよう！」</p> <p>○ 「授業で考えたいことを自分の中にもとう。」</p>
<p>光 村</p>	<p>○ 「『道徳の時間』は、今よりももっとよい生き方ができるよう、考えていく時間です。」</p> <p>○ 「『道徳の時間』に、みんなで考えていこう。」</p>	<p>○ 見開き2ページに、「話し合って考えよう」「えんじて考えよう」「読んで考えよう」「書いて考えよう」という四つの学習活動をイラストや吹き出しを使い、考える視点等を示している。</p> <p>○ 見開き2ページに、四つの視点と1年間に学ぶ内容項目と教材名を示している。</p>	<p>○ 「さまざまな考え方があることを、大切にしていこう。」</p> <p>○ 「考えたことは、毎日の生活の中で生かしていこう。」</p>
<p>日 文</p>	<p>○ 「道徳のとびら」</p> <p>○ 「道徳の学び方」</p> <p>○ 「道徳ノートの使い方」</p>	<p>○ 見開き2ページに、四つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を示している。また、キャラクターの吹き出しの中に、道徳科の意義について示している。</p> <p>○ 見開き2ページに、イラストや写真を使い、道徳の学び方を「1気づく」「2考える・深める」「3見つめる・生かす」の三つで示している。</p> <p>○ 「話し合ってみよう」「動いてみよう」「書いてみよう」の三つの学習活動を写真とともに示している。</p> <p>○ 別冊「道徳ノート」の「もくじ」の下段に、道徳ノートの使い方を示している。</p>	<p>○ 「『道徳』では、よりよく生きるためにたいせつなことについて、みんなで考えるよ。」</p> <p>○ 「みんなで考えたことを生かして、もっとすてきな自分になるうね。」</p> <p>○ 「よりよく生きるためにたいせつなことについて、どのように考えればいいのか。」</p> <p>○ 「そういう考え方もあるんだね。」</p>
<p>光 文</p>	<p>○ 「さあ、どうとくの学習が始まります」</p> <p>○ 「どうとくの時間は、こんな時間です」</p> <p>○ 「いろいろな場面です」</p> <p>○ 「この本の使い方」</p>	<p>○ 見開き2ページに、四つの視点ごとに、道徳の学習で学ぶ内容を示している。</p> <p>○ 見開き2ページに、イラストを使い、道徳の学び方を「問いをもつ」「考える」「まとめる」の三つで示している。</p> <p>○ 見開き2ページに、イラストや吹き出しを使い、道徳で学習したことが生活に生かされる流れを示している。</p> <p>○ 見開き2ページに、教科書の使い方や道徳ノートの例を示している。</p>	<p>○ 「四年生のどうとくでは、次のようなことについて考えます。どうとくの学習を通して、どんな自分になりたいか、考えてみましょう。」</p> <p>○ 「どうとくの時間では、クラスみんなで考え、話し合う中で、考えを広げたり、深めたりしていくことが大切です。」</p> <p>○ 「どうとくの時間だけではなく、生活の中でも、問いについて考えたり、考えたことを実行してみたりしましょう。そこで、どんなことに気づくでしょうか。」</p>

【道徳】

<p>学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「道徳の学習が始まるよ」</li> <li>○ 「大きな心を育てよう」</li> <li>○ 「これが今のわたし」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き2ページの上段に、「自分」「人」「社会」「命や自然」の四つの視点で考えを深めるポイントを示している。</li> <li>○ 見開き2ページの下段に、「自分を見つめ深めるポイント」として「1お話をもとに考えよう。」「2話し合いを高めよう。」「3自分を見つめ深めよう。」の三つの学習活動を示している。</li> <li>○ 見開き2ページに、四つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目と教材名を示している。</li> <li>○ 見開き2ページに、自分の「好きな食べ物」「好きな遊び」等10項目について書く欄を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「道徳って何する時間？」</li> <li>○ 「心の四つのとびらを開いて自分を見つめる時間です。」</li> <li>○ 「登場人物になりきって考えてみよう。」</li> <li>○ 「みんなの考えをよく聞いて自分の考えをもっとふくらませよう。」</li> <li>○ 「友達目を見て話そう。」</li> <li>○ 「しっかりうなずいて聞こう。」</li> <li>○ 「書く活動を通して自分を見つめよう。」</li> </ul>
<p>廣 あ か つ き</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「道徳の時間はこんな時間」</li> <li>○ 「今の自分を見つめて」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1ページに、子供の写真2枚とイラストとともに、道徳の時間の意義について示している。</li> <li>○ 見開き2ページに、道徳の学習について、六つの学習活動（記載例上段二つ目から六つ）を示している。</li> <li>○ 別冊「道徳ノート」に、自分の「一番うれしかったこと」「とく意なこと」「四年生でできるようになりたいこと」等8項目についての書きこみ欄を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「道徳の時間はあなたの心の成長をおうえんする時間です。」</li> <li>○ 「自分で感じ、考えて、自分の意見を伝えましょう」</li> <li>○ 「他の人の意見をよく聞きましょう」</li> <li>○ 「いろいろな答えがあります」</li> <li>○ 「みんなで考え、話し合いましょう」</li> <li>○ 「自分を見つめ、考えましょう」</li> <li>○ 「『道徳ノート』に書きましょう」</li> </ul>

【道徳】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②発問の工夫
方法	記載箇所, 数, 記載例

教材名「手品師」 内容項目A「正直, 誠実」			
	記載箇所	数	記載例
東 書	○ 教材文の終わり	2	<p>主題名「せいじつに明るい心で」(第6学年)</p> <p>○ 「考えよう①」「考えよう②」のコーナーに, キャラクター「こころん」とともに記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たった一人のお客さまの前で, 手品を演じているときの手品師の思いについて書いて, 話し合ってみましょう。</li> <li>・あなたは, そうしたほうがよいと思ったことを行動に移せたことはありますか。</li> </ul>
	○ 別冊「まなび」の中	3	<p>主題名「誠実であること」(第5学年)</p> <p>○ 手品師と男の子のイラストや「やってみよう」「かんがえよう」マークとともに記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「手品師」になったつもりで「男の子」, 「友人」役の人と話し, 手品師の心の様子を考えましょう。</li> <li>・男の子の前で手品を演じている時, 手品師は, どのようなことを思っていたでしょう。</li> </ul> <p>○ 「みつめよう」マークとともに記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「誠実」であることとはどういうことでしょう。</li> </ul>
学 図	○ 冒頭の教材名の 下	5	<p>主題名「誠実に明るい心で」(第6学年)</p> <p>○ キャラクター「とりどり先生」とともに記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「誠実な人」, 「誠実な行動」などと言うことがあるよね。「誠実」って, ということかな。</li> </ul>
	○ 教材文の終わり		<p>○ 「考えよう」のコーナーに記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友人からステージへの出演の電話を受けたとき, 手品師はどのようなことを考えたでしょう。</li> <li>・手品師のすばらしいところはどこでしょう。みんなの意見を聞いてみましょう。</li> </ul> <p>○ 「深めよう」のコーナーに記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誠実に生きるとは, どのようなことでしょう。自分の考えをまとめて発表しましょう。</li> </ul> <p>○ キャラクター「とりどり先生」とともに記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんながこれから, 誠実に生きていくために必要なことはなんだろう。</li> </ul>
教 出	○ 冒頭の教材名の 下	5	<p>主題名「誠実に明るい心で」(第6学年)</p> <p>○ キャラクター「とりどり先生」とともに記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「誠実な人」, 「誠実な行動」などと言うことがあるよね。「誠実」って, ということかな。</li> </ul>
	○ 教材文の終わり		<p>○ 「考えよう」のコーナーに記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友人からステージへの出演の電話を受けたとき, 手品師はどのようなことを考えたでしょう。</li> <li>・手品師のすばらしいところはどこでしょう。みんなの意見を聞いてみましょう。</li> </ul> <p>○ 「深めよう」のコーナーに記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誠実に生きるとは, どのようなことでしょう。自分の考えをまとめて発表しましょう。</li> </ul> <p>○ キャラクター「とりどり先生」とともに記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんながこれから, 誠実に生きていくために必要なことはなんだろう。</li> </ul>

【道徳】

光 村	○ 冒頭の教材名の下	5	<p>主題名「自分の心に誠実に」(第6学年)</p> <p>○ キャラクター「こころん」とともに記載している。</p> <p>・だれかと約束したのに守れなかったことって、ある？</p>
	○ 教材文の終わり		<p>○ 「考えよう・話し合おう」のコーナーに、『『誠実に生きる』とは、どういうことだろう。』というめあてとともに記載している。</p> <p>・友人の「いい話」を聞きながら、手品師は、どんなことを思っていたでしょう。</p> <p>・手品師は、どうしてたった一人のお客さまの前で手品をするを選んだのでしょうか。</p> <p>・あなたは、「誠実に生きる」とは、どんな生き方のことだと思いますか。</p> <p>○ 「つなげよう」のコーナーに、キャラクター「きらりん」とともに記載している。</p> <p>・人々から誠実さがなくなると、世の中はどうなるかな。</p>
日 文	○ 冒頭の教材名の下	8	<p>主題名「誠実に生きる」(第6学年)</p> <p>○ キャラクター「ココロウ」とともに記載している。</p> <p>・「手品師」というお話をとおして、「誠実」ということについてみんなで考えましょう。</p> <p>○ 「考えてみよう」のコーナーに、キャラクター「はるひと」とともに記載している。</p> <p>・どんな思いから、手品師は男の子との約束を選んだのだろう。</p> <p>○ 「見つめよう 生かそう」のコーナーに、キャラクター「あかね」とともに記載している。</p> <p>・この学習をとおして、「誠実に生きる」ということについて、自分の思いをまとめよう。</p>
	○ 教材文に続く見開き2ページ		<p>○ キャラクター「ココロウ」とともに「学習の手引き」に記載している。</p> <p>・「誠実に生きる」ことについて、手品師になりきって考えてみよう。</p> <p>○ 手品師と男の子のイラストや、児童二人が会話する写真とともに記載している。</p> <p>・迷いに迷っている手品師の気持ちについて考えましょう。</p> <p>○ 手品師と友人のイラストとともに記載している。</p> <p>・どんな思いから手品師は男の子との約束を選んだのでしょうか。</p> <p>○ 手品師と男の子のイラストとともに記載している。</p> <p>・たった一人のお客さまの前で、手品を演じているときの手品師は、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>○ 「見つめよう 生かそう」のマークとともに記載している。</p> <p>・この学習をとおして、「誠実に生きる」ということについて、自分の思いをまとめよう。</p>
	○ 別冊「道徳ノート」の中		<p>○ 手品師のイラストとともに記載している。</p> <p>・どんな思いから手品師は男の子との約束を選んだのでしょうか。</p>

【道徳】

光 文	○ 冒頭の教材名の横	7	<p>主題名「誠実に生きる」(第5学年)</p> <p>○ イラストとともに記載している。</p> <p>・あなたは、本気でなやんだことがありますか。</p>
	○ 教材文の下段		<p>○ キャラクター「ゆたかさん」の吹き出しに記載している。</p> <p>・男の子に、「きっと来るよ。」と答えたとき、手品師は、どのようなことを考えていたのかな。</p> <p>○ キャラクター「みらいさん」の吹き出しに記載している。</p> <p>・「友人」から電話をもらって、手品師がなやんだのは、どんなことだったのかな。</p> <p>○ キャラクター「わんだ先生」の吹き出しに記載している。</p> <p>・手品師は、なぜ大劇場に出られるチャンスをことわったのかな。</p> <p>○ キャラクター「トーリー」の吹き出しに記載している。</p> <p>・手品師は、どのような思いで、男の子の前で手品をしているのでしょうか。</p>
	○ 教材文の終わり		<p>○ 「まとめるマーク」とともに記載している。</p> <p>・手品師の生き方をどう思いますか。また、あなたはどのような生き方がしたいですか。</p> <p>○ 「ひろげるマーク」とともに、記載している。</p> <p>・「誠実に生きる」とは、どういうことだと思いますか。みんなで話し合ってみましょう。</p>
学 研	○ 教材文の終わり	2	<p>主題名「誠実な生き方」(第5学年)</p> <p>○ 「考えよう」のコーナーに記載している。</p> <p>・友人からのさそいの電話がかかってきたとき、手品師は心の中でどんなことを考えただろう。</p> <p>・自分が手品師だったら、どんなことを大切にするだろう。</p>
廣 あ か つ き	○ 教材文の終わり	5	<p>主題名「大切なもの」(第6学年)</p> <p>○ 「考えよう話し合おう」の「学習の道すじ」のコーナーに、「手品師の迷いと決断を通して、誠実であることのすばらしさについて考える。」というめあてとともに記載している。</p> <p>・手品師は、どのようなことを考えて迷っていたのでしょうか。</p> <p>・手品師はどのように考えて、友人のさそいをきっぱりと断ったのでしょうか。</p> <p>・「ぼくにとっては」という手品師の言葉の意味を、生き方として考えてみましょう。</p> <p>・人に対して誠実に応えることができたとき、どんな気持ちになりますか。</p>
	○ 別冊「道徳ノート」の中		<p>○ タイトル「誠実に明るく生きて」の中に記載している。</p> <p>・誠実に生きることは、どうして大切なのでしょうか。</p>

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	③問題解決的な学習を取り入れた工夫
<b>方法</b>	問題解決的な学習の扱い，教材名・内容項目・問題意識のもたせ方，発問の具体例

	問題解決的な学習の扱い	第6学年	
		教材名・内容項目・問題意識のもたせ方	発問の具体例
東 書	<p>○ 問題を見つけて考える教材には，目次及び該当ページに，マークを付けて示し，教材の終わりに，問題を解決するための「考えるステップ」を設けている。</p>	<p>○ 「タマゾン川」</p> <p>○ 「D 自然愛護」</p> <p>○ 「とびらページ」に，川の写真とともに「この川になにがおこっているのだろうか？」と示している。</p> <p>○ 外来種によって生態系が破壊されていることを基に，自然とのふれ合い方について考えさせている。</p>	<p>○ 「考えるステップ」に記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飼えなくなった生き物を多摩川へにがす人の気持ちについて考えましょう。</li> <li>・ 「タマゾン川」はどうして生まれるのでしょうか。</li> <li>・ 自然や生き物とふれ合ううえで，大切にしたい心とはなんのでしょうか。</li> <li>・ あなたが考える，解決していく必要のある自然環境の問題はなんですか。</li> </ul>
学 図	<p>○ 問題解決的な学習に適した教材には，別冊「まなび」の中に，「かんがえよう」のマークを付けて示している。</p>	<p>○ 「羊飼いの指輪」</p> <p>○ 「A 善悪の判断，自律，自由と責任」</p> <p>○ 長老の問いかけをとおして，自分勝手な行動の結果や自由であるために必要なことについて考えさせている。</p>	<p>○ 別冊「まなび」の中に，「かんがえよう」「みつめよう」のマークとともに記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この指輪を持つ人が考えなければいけないことは，どのようなことだと思いますか。</li> <li>・ 自分が「自由」であるために，自分自身に必要なことはどのようなことでしょうか。</li> </ul>
教 出	<p>○ 問題解決的な学習ができるよう，教材の終わりに，「学びの手引き」を設けている。</p>	<p>○ 「天から送られた手紙」</p> <p>○ 「A 真理の探究」</p> <p>○ 冒頭の教材名の下に「みんなはわからないことに出合ったとき，どうしているかな。」と示している。</p> <p>○ 雪の研究の第一人者である中谷宇吉郎の生き方とおして，真理を追い求めることについて考えさせている。</p>	<p>○ 「学びの手引き」の中に記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何度も失敗をくり返しながらも，上空と同じように水蒸気の温度や量を調整できる実験装置を作り上げることができたのは，宇吉郎にどのような考えがあったからでしょう。</li> <li>・ 遠い遠い空のかなたからまい降りてくる雪を見ながら，宇吉郎はどのようなことを考えていたでしょう。</li> <li>・ 「まだよくわかっていないこと」を探究するために大切なのは，どのような考え方でしょう。</li> </ul>

【道徳】

<p>光 村</p>	<p>○ 問題解決的な学習ができるよう、教材の終わりに、「考えよう・話し合おう」のコーナーを設け、学習のめあて等を示している。</p>	<p>○ 「六年生の責任って？」 ○ 「C よりよい学校生活、集団生活の充実」 ○ 冒頭の教材名の横に「六年生として、君が、下級生や先生からたよりにされていると思うのは、どんなときかな。」と示している。 ○ よりよい学校にしていくなために、最高学年として何ができるかを話し合う場面をもとに、社会の発展のために寄与する大切さについて考えさせている。</p>	<p>○ 「考えよう・話し合おう」のコーナーに、「よりよい学校にしていくなために、六年生として、どんなことができるだろう。」というめあてとともに記載している。 ・「ぼく」の意見を受けて、六年生が見回って片づけをしたら、学校はどうなるでしょう。また、横山さんの意見を受けて、六年生も美化委員会も片づけをしなかったら、学校はどうなるでしょう。 ・あなたのクラスで、この話し合いの続きをしてみましょう。 ・六年生の責任とは、どのようなものだと思いますか。</p>
<p>日 文</p>	<p>○ 問題解決的な学習ができる教材には、目次及び該当ページに、マークを付けて示し、教材の終わりに、「学習の手引き」を設け、学習展開例を示している。</p>	<p>○ 「ほんとうのことだけど……」 ○ 「A 善悪の判断、自律、自由と責任」 ○ 冒頭の教材名の横に『『自由』』と聞いて、どんなことを想像しますか。」と示している。 ○ 校内行事を知らせるかべ新聞に掲載する記事の内容を基に、やってよいことと、よくないことについて考えさせることをとおして、自由と責任について考えさせている。</p>	<p>○ 「学習の手引き」の中に、『『自由と責任』』について、考えてみよう。」というめあてとともに、「1問題をつかもう。」「2自分なりに考えよう。」「3問題について話し合おう。」「4問題を解決するときにはたいせつな考え方について話し合おう。」の順に記載している。 ・みえ子は、なつみのどのような考え方に問題があると思っているのでしょうか。 ・すっきりしない気持ちでいたみえ子が、去年の記事を読んで、「もう一度考えてみようよ。」となつみに言ったのは、どのような考えからでしょうか。</p>
<p>光 文</p>	<p>○ 問題の解決に取り組むことができるよう、冒頭の教材名の横や教材文の下段に、問いを示している。</p>	<p>○ 「マナーからルールへ、そしてマナーへ」 ○ 「C 規則の尊重」 ○ 冒頭の教材名の横に『『マナー』』と『『ルール』』は、どちらがうのでしょうか。『たばこのポイ捨て』の例から考えてみましょう。」と示している。 ○ たばこのポイ捨てを減らす取組をもとに、ルールやマナーの大切さを考えさせている。</p>	<p>○ 教材文の下段にキャラクターとともに記載している。 ・たばこのポイ捨てがなくならないのは、どうしてかな。 ・あなたは、過料をとることについて、どう思いますか。 ・ルールをマナーに高めるためには、どうしたらいいのかな。</p>



【道徳】

<p>学 研</p>	<p>○ 「深めよう」のコーナーを教材の終わりに設け、問題解決的な学習の道筋を示している。</p>	<p>○ 「チョモランマ清掃登山隊」 ○ 「D 自然愛護」 ○ 「深めよう」のコーナーの中に、「清掃登山を続ける野口さんを支えているのは、どんな思いだろう。」と示している。 ○ 登山家野口さんの体験と活動をとおして、自然と共存するために必要なことについて考えさせている。</p>	<p>○ 「深めよう」のコーナーの中に、「自然と共存するために」というテーマとともに、「つかもう→探そう→ふみ出そう」の順に記載している。 ・チョモランマに捨てられたごみの写真を見て、どう感じましたか。 ・自然との共存のために、どんなことを大切にしたいと思いますか。 ・様々な命が生きる、かけがえのない地球。「自然とともに生きている」と感じたことを、みんなで話し合しましょう。 ・グループやクラスで、考えたことを話し合ってみましょう。</p>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 問題解決的な学習ができるよう、教材の終わりに、「考えよう話し合おう」のコーナーを設け、「学習の道すじ」の中で、学習のめあて等を示している。</p>	<p>○ 「自由という名の席」 ○ 「C 規則の尊重」 ○ 「考えよう話し合おう」のコーナーの中に、「新幹線の中での出来事を通して、きまりを守って自他の権利を尊重し、義務を果たすことの大切さについて考える。」と示している。 ○ 満員の新幹線で、席取りをしている人と、座れない人との言い合いをもとに、自他の権利について考えさせている。</p>	<p>○ 「学習の道すじ」にめあてとともに記載している。 ・車両のおくで言い合う男女それぞれの言い分を、あなたはどのように思いますか。 ・吉村さんは「自由席」と書かれたプレートを見上げて、どんなことを考えていたのでしょうか。 ・だれもが気持ちよく過ごせるように、公共の場では、どんなことに注意しなければならないのでしょうか。</p>

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④体験的な学習を取り入れた工夫
<b>方法</b>	体験的な学習の扱い，教材名等・内容項目・体験的な学習活動の概要，体験的な活動を促す具体例

	体験的な学習の扱い	第3学年	
		教材名等・内容項目・体験的な学習活動の概要	体験的な活動を促す具体例
東書	○ 「出会う・ふれ合う」のマークを使い，目次及び該当ページに示している。	○ 「さいこうにうれしい『おはよう！』」 ○ 「B 礼儀」 ○ 気持ちのよいあいさつを実際にやってみて考える活動	○ 「さいこうにうれしい『おはよう！』」をするとしたらどうするか考え，シートに書く。 ○ シートをもとに，グループで「さいこうにうれしい『おはよう！』」を考え，実際にやってみる。 ○ 活動を通して気付いたことや感じたことを発表し合う。
学図	○ 「やってみよう」のマークを使い，別冊「まなび」の中に示している。	○ 「言葉のまほう」 ○ 「B 礼儀」 ○ 言い争いになった時と自分の悪さをみとめて声をかけ合った時を演じて，気持ちのちがいを考える活動	○ 別冊「まなび」の中で，「やってみよう」のマークとともに発問を記載し，役割演技を促している。 ・男の子と「ぼく」の役になって，二人の男の子とぶつかった時の「ぼく」の気持ちのちがいを考えましょう。
教出	○ 「スキル」のマークを使い，目次及び該当ページに示したり，教材の中に，「やってみよう」のマークを示したりしている。	○ 「どうしていけないのかな」 ○ 「B 礼儀」 ○ スーパーマーケットの店員のおじさんや客のおばあさんに，どのように話せばよいかを演じて考える活動	○ 教材文の途中の「やってみよう①②③」のコーナーに，場面の状況を示した挿絵とともに発問を記載し，役割演技を促している。 ・まなみさんと店員のおじさんになってえんじてみましょう。 ・まなみさんとお客のおばあさんになってえんじてみましょう。 ・まなみさんはどう言えばよかったのでしょうか。もう一度えんじてみましょう。
光村	○ 「えんじて考えよう」のコーナーの中に，「友だちがえんじるのを見ながら，考えよう。」と学習活動を示している。	○ 「持ってあげる？食べてあげる？」 ○ 「B 親切，思いやり」 ○ みきちゃんやたけし君に頼まれた時，どのように行動すればよいかを演じて考える活動	○ 教材文の中に，二つの場面を示し，発問とともに役割演技を促している。 ・みきに「重いから，持って。」と言われたとき，「わたし」は，何と答えたらよいと思いますか。「わたし」と「みき」を，えんじてみましょう。 ・「わたし」の「やさしさ」について，どう思いますか。 ・「わたし」は，たけしに何と答えたらよいと思いますか。「わたし」と「たけし」を，えんじてみましょう。

【道徳】

<p>日 文</p>	<p>○ 「劇をしたり、体を動かしたりして考える」マークを使い、目次及び該当ページに示している。</p>	<p>○ 「足りない気持ちは何だろう」 ○ 「B 礼儀」 ○ 「友だちの家に行って」「教室で」「図書館で」「通学路で」「雨の日に…」「校外学習に行って」の各場面での気持ちを演じて考える活動</p>	<p>○ 「学習の手引き」に、めあてを示し、発問とともに役割演技を促している。 ・「教室で」の場面をえんじてみましょう。まわりの人は、どんなことを感じるでしょう。 ・「通学路で」の場面をえんじてみましょう。ボランティアの人は、どんなことを感じるでしょう。 ・教科書のほかの場面を見て、グループで話し合いながら、「足りない気持ち」を考えてみましょう。 ・どの場面にも言える「足りない気持ち」は、何でしょう。では、どんな気持ちがあるといいでしょう。</p>
<p>光 文</p>	<p>○ 学習したことが生活の場での体験につながるよう、体験的な学習を促す教材を掲載している。</p>	<p>○ 「おはしのつかい方」 ○ 「B 礼儀」 ○ 礼儀について学習した後、和食のマナーであるはしの正しい使い方をやってみて考える活動</p>	<p>○ 「おはしのつかい方」と示し、正しい箸の持ち方や取り方をイラストとともに示している。 ○ 当たり前のように使っている箸の使い方を見直すよう促している。 ・毎日のしょくじで当たり前のようにつかっている「おはし」。正しいつかい方ができているか、見直してみましょう。</p>
<p>学 研</p>	<p>○ 「やってみよう」のマークを使い、目次及び該当ページに示している。</p>	<p>○ 「貝がら」 ○ 「B 友情、信頼」 ○ 教材の主人公「ぼく」が中山君にどのように話すかを演じて考える活動</p>	<p>○ 教材の終わりに、「やってみよう」のマークや「役わりえんぎ」のイラストとともにめあてと発問を記載している。 ・病気がなおった「ぼく」が学校で中山君に会ったときの場面を、想ぞうしてえんじましょう。 ・自分なら中山君に何を話すか、考えてみましょう。 ・えんぎする人は自由にえんじてみましょう。 ・見る人は自分ならどう言うか、考えながら見ましょう。</p>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 「考えよう 話し合おう」のコーナーに、学習を広げる内容として、「活どうしよう」のマークを示している。</p>	<p>○ 「あめ玉」 ○ 「C 規則の尊重」 ○ 女の子たちの行動とそれを見た「わたし」の思いを演じて考える活動</p>	<p>○ 「考えよう 話し合おう」のコーナーの中に、「学習を広げる」内容として、マークとともに発問を記載し、役割演技を促している。 ・女の子（お姉さん）と妹のやり取りを、役わりを交代しながらえんじてみましょう。えんじることで、それぞれの気持ちを感じ取りましょう。</p>

## 【道徳】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑤分量や教材の数
<b>方法</b>	判型, ページ数, 四つの視点ごとの教材数

	学年	判型 (別冊判)	ページ数 (別冊ページ数)	四つの視点ごとの教材数 (※複数内容項目教材)			
				A	B	C	D
東 書	第1学年	A B	128	10	9	9	6
	第2学年		146	10	8	10	7
	第3学年		168	9	8	11	7
	第4学年		172	9	8	11	7
	第5学年		184	8	7	12	8
	第6学年		200	8	7	12	8
学 図	第1学年	A B (A B)	118 (50)	10	8	10	6
	第2学年		114 (50)	10	8	11	6
	第3学年		134 (50)	10	8	11	6
	第4学年		138 (50)	10	8	11	6
	第5学年		150 (54)	9	7	13	6
	第6学年		150 (54)	9	7	13	6
教 出	第1学年	A B	134	9	7	11	7
	第2学年		142	9	8	10	8
	第3学年		150	10	9	12	4
	第4学年		162	9	9	12	5
	第5学年		166	8	6	13	8
	第6学年		170	12	6	11	6
光 村	第1学年	B 5 変型	145	10	8	11	5
	第2学年		169	10	8	12	5
	第3学年		185	9	9	12	5
	第4学年		193	9	9	12	5
	第5学年		205	9	9	11	6
	第6学年		221	8	9	11	7

【道徳】

日 文	第1学年	A B (A B)	154 (42)	11	8	13	5
	第2学年		170 (42)	11	8	13	6
	第3学年		182 (42)	11	9	12	6
	第4学年		190 (42)	9	10	13	6
	第5学年		190 (42)	8	9	14	7
	第6学年		190 (42)	9	8	13	8
光 文	第1学年	A 4 変型	158	12	9	12	7
	第2学年		166	11	10	13	6
	第3学年		182	7	12	14	7
	第4学年		186	8	11	14	7
	第5学年		190	10	9	13	8
	第6学年		194	10	8	13	9
学 研	第1学年	A 4	138	11	8	9	6
	第2学年		142	12	8	9	6
	第3学年		154	9	9	11	6
	第4学年		158	9	9	11	6
	第5学年		166	9	9	9	8
	第6学年		170	9	9	9	8
廣 あ か つ き	第1学年	A B (A B)	118 (44)	11	8	10	5
	第2学年		118 (52)	11	8	11	5
	第3学年		126 (52)	10	9	11	5
	第4学年		138 (52)	10	9	11	5
	第5学年		162 (56)	11	8	10	6
	第6学年		170 (56)	11	8	10	6

【備考】全ての発行者に掲載されている教材 ※発行者によって教材名が異なる場合、複数を表示している

教材名	学年	教材名	学年
かぼちゃのつる	第1学年	はしの上のおおかみ	第1学年
金のおの きんのおの ぎんのおの	第1, 2学年	七つの星 ひしゃくぼし 七つぼし	第1, 2学年
ブラッドレーのせい求書 お母さんのせい求書	第3, 4学年	花さき山	第3, 4学年
雨のバス停留所で	第4学年	手品師	第5, 6学年

【道徳】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
方法	いじめの問題の扱いと教材等の例

	いじめの問題の扱い	第5学年
		教材等の例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめ問題を題材としていじめを直接的に扱う教材と、間接的に扱う教材の二つを、一つのユニットとして組み合わせた「いじめのない世界へ」を設けている。</li> <li>○ 「いじめのない世界へ」は、マークを使い、目次及び該当ページに示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ とびらページ「いじめのない世界へ やなせたかしさんの言葉」</li> <li>○ 「転校生がやってきた」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」</li> <li>・いじめに対する勇馬の考えをとおして、いじめをなくすために必要なことについて考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ 「ノンステップバスのできごと」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「B 親切, 思いやり」</li> <li>・車椅子のお兄さんとおじさんの会話を聞きながら和也が自分を振り返り考えている姿をとおして、親切にすることの大切さについて考えさせる教材</li> </ul> </li> </ul>
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめの問題について、日常生活で起こりうる問題から考えられる教材を選定している。</li> <li>○ 「公正, 公平, 社会正義」の内容項目をいじめの問題に向き合う教材の中心として、複数選定している。</li> <li>○ 「学級づくり」のページを設けるとともに、「ともにいきる」マークを使い、目次の教材及び該当ページに示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「言葉のおくりもの」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「B 友情, 信頼」</li> <li>・友達と信頼し合い、友情を深めることのよさについて考えることをとおして、男女に関係なく、友達と仲良く過ごすために大切なことについて考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ 「しらんぷり」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」</li> <li>・いじめを見てもしらんぷりするしかなかった多くの気持ちについて考えることをとおして、公正, 公平な態度のよさやこれからの自分にできることについて考えさせる教材</li> </ul> </li> <li>○ 「たったひとつのたからもの」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「D 生命の尊さ」</li> <li>・全ての命の有限性を知り、そのことを考えることを通して、命の尊さについて考えさせる教材</li> </ul> </li> </ul>

【道徳】

<p>教 出</p>	<p>○ いじめ問題を扱う教材には、重点的に扱うマークを使い、目次及び該当ページに示している。</p> <p>○ いじめ問題は、直接的に扱う教材と間接的に扱う教材を選定している。</p> <p>○ 第2, 4, 5学年において、問題意識をもたせるための、拡大導入のページを設けている。</p>	<p>○ 「知らない間のできごと」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「B 友情, 信頼」</li> <li>・不用意なメールの使い方により気付かないうちに友達を傷つけてしまったできごとについて考えることをとおして, 友達と関わる時に大切にしたいことについて考えさせる教材</li> </ul> <p>○ 「差別のない社会へ」</p> <p>○ 「だれかをきずつける機械ではない」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」</li> <li>・携帯電話等の使い方が原因となるネットいじめについて考えることをとおして, いじめを防ぐために大切にしたいことについて考えさせる教材</li> </ul>
<p>光 村</p>	<p>○ 様々な内容項目からいじめ問題に結びつく教材を、よびかけとコラムとともに一つのユニットとして設けている。</p> <p>○ ユニット「いじめを許さない心」を設けている。</p>	<p>○ 「すれちがい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「B 相互理解, 寛容」</li> <li>・すれちがいが起きてしまった出来事を、それぞれの立場で考えることをとおして, 友達とよりよい関係を築くにはどうすればよいかについて考えさせる教材</li> </ul> <p>○ 「どうすればいいのだろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」</li> <li>・二つの出来事について, どうすればよいかを話し合うことをとおして, 公正, 公平に行動するためには, どんな心が必要なのかについて考えさせる教材</li> </ul> <p>○ コラム「おたがいを大切にしよう」</p>
<p>日 文</p>	<p>○ 「人との関わり」をテーマに複数の教材や関連するコラムを一つの「いじめ防止」のユニットとして、いじめを直接的に扱う教材と間接的に扱う教材に、コラム「心のベンチ」を組み合わせ、学期に1回ずつ設けている。</p> <p>○ 「いじめ防止」に関わる教材の一部では、問題解決的な学習や、役割演技を用いた体験的な学習等を取り入れている。</p>	<p>○ 「真由, 班長になる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C よりよい学校生活, 集団生活の充実」</li> <li>・班長の役目について考え, 行動する真由の姿をとおして, 集団の役に立つようにするための心がまえについて考えさせる教材</li> </ul> <p>○ 「名前のない手紙」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 公正, 公平, 社会主義」</li> <li>・吉野さんの行動や発言をとおして, 集団や社会の中で正義を実現することの大切さについて考えさせる教材</li> </ul> <p>○ 心のベンチ『『いじめ』の傍観者』</p>

【道徳】

<p>光 文</p>	<p>○ いじめの防止について、いじめを直接的に扱う教材と間接的に扱う教材を選定し、児童が自身の問題として捉えられるようにしている。</p> <p>○ コラム「みんな仲よし楽しい学校」を設けている。</p>	<p>○ とびらページ「広い心で、おたがいをみとめ合おう」</p> <p>○ 「まかせてみようよ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「B 相互理解, 寛容」</li> <li>・ぼくが石井さんに任せた理由について考えることをとおして、いろいろな考えをもつ仲間と認め合うために必要なことについて考えさせる教材</li> </ul> <p>○ 「みんなの劇」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「B 相互理解, 寛容」</li> <li>・ドッジボール大会に向けた練習を通して変わっていくクラスの様子から、男女の隔てなく相手の考えを尊重し、よさを認め合う友達関係のよさについて考えさせる教材</li> </ul>
<p>学 研</p>	<p>○ いじめ防止につながる教材として、いじめを直接的に扱う教材と、間接的に扱う教材を選定している。</p> <p>○ 「公正, 公平, 社会正義」の内容項目を中心として、発達段階に応じて「友情, 信頼」, 「親切, 思いやり」等の内容項目においても教材を選定している。</p>	<p>○ 「いじめをなくすために」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」</li> <li>・二つのメッセージをとおして、いじめについて正面から向き合うこと、生命を尊ぶということについて考えさせる教材</li> </ul> <p>○ 「言葉のおくりもの」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「B 友情, 信頼」</li> <li>・友達関係で悩む児童の姿をとおして、友情を高め合い、異性についても理解しながら人間関係を築くことの重要性について考えさせる教材</li> </ul> <p>○ 「日本の『まんがの神様』」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「A 個性の伸長」</li> <li>・手塚治虫の幼少期の話をとおして、自分の特徴を知り、積極的に長所を伸ばそうとすることの大切さについて考えさせる教材</li> </ul>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 低・中学年では「仲間はずれ」「友達同士のトラブル」等、いじめを間接的に扱った教材を選定し、高学年では、いじめを直接的に扱った教材も合わせて選定している。</p> <p>○ 「善悪の判断, 自律, 自由と責任」の内容項目を中心として、発達段階に応じて「友情, 信頼」, 「公正, 公平, 社会正義」等の内容項目においても教材を選定している。</p>	<p>○ 「金曜日の班活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「A 善悪の判断, 自律, 自由と責任」</li> <li>・班活動で起こった問題をとおして、自分で考え、判断し、責任ある行動をすることの大切さについて考えさせる教材</li> </ul> <p>○ 「魚の世界」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」</li> <li>・さかなクンの体験と魚の世界の話をとおして、いじめをなくし、だれに対しても公正, 公平に、正義をつらぬくことの大切さについて考えさせる教材</li> </ul> <p>○ 「ぼくの名前よんで」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容項目「C 家族愛, 家庭生活の充実」</li> <li>・両親の願いを知った太郎の思いをとおして、家族の大切さ、そして、自分にできることについて考えさせる教材</li> </ul>



【道徳】

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑦巻頭、巻末等の取扱いの工夫
<b>方法</b>	巻頭、巻末等の示し方

	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次には、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、「これから一年間で学ぶこと」として、四つの視点ごとに教材名を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳の学習を進めるために」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 第2学年以上は、「道徳の時間が始まるよ!」を折り込み4ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、「学習の記録」を1ページ、「学習のふり返し」を2ページ、「これからもかがやく自分に!」を1ページで設けている。</li> <li>○ 各学年、各教科等における道徳教育と関連する付録を6ページで示している。</li> <li>○ 「学習のまとめ」のページを、学期ごとに色分けをし、第1学年は2ページ、第2学年以上は3ページで設けている。</li> </ul>
<b>学 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次には、四つの視点で色分けしたマークとともに、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳の学習を始めよう」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「学級づくり」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年の別冊「まなび」の目次には、四つの視点で色分けしたマークとともに、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年の別冊「まなび」には、「まなびの道しるべ」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年の別冊「まなび」には、「教科書『まなび』の使い方」を2ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、「ふるさとコラム」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、内容項目別教材一覧を四つの視点別で示し、関連する現代的な課題等を記載している。</li> <li>○ 別冊「まなび」には、「まなびのヒント」として、話し合いの仕方等を、第1・2学年は4ページ、第3学年以上は2ページで示している。</li> <li>○ 各学年の別冊「まなび」には、保護者向けに四つの視点の内容とともに、めざすこと、教材を示している。</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次には、四つの視点で色分けしたマークとともに、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳の学習が始まるよ」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳ではこんな学習をするよ」を見開き2ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、「学びの記録」を3ページ、「1年間の道徳の学習を振り返ろう」を1ページで設けている。</li> <li>○ 第1・2学年には、「みにつけよう れいぎ・マナー」を4ページで示している。</li> <li>○ 各学年、内容項目別教材一覧を四つの視点別で示し、現代的な課題との関係、他教科・領域との関係、第3学年以上には「まなびリンク」のマーク等を記載している。</li> </ul>
<b>光 村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次の前には、命をテーマにした詩を見開き2ページで掲載している。</li> <li>○ 各学年の目次には、学習のまとまりを表すマークとともに、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 第2学年以上は、「道徳の時間」を示すとともに、第2学年は見開き2ページ、第3学年以上は4ページで示している。</li> <li>○ 第2学年以上は、「この本で学ぶみなさんへ」を1ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第5・6学年には、「あなたへのメッセージ」を1ページで示している。</li> <li>○ 人とよりよい関係を築くための付録を、第1学年～4学年は1ページ、第5・6学年は2ページで示している。</li> <li>○ 第3学年以上には、日本の伝統文化について2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、内容項目別教材一覧を四つの視点別で示し、現代的な課題等との関わり、他教科・領域との関わりを記載している。</li> </ul>

【道徳】

日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次には、四つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材について、第1学年は教材の内容に関するイラストで、第2学年以上は教材名で示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳のとびら」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳の学び方」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 別冊「道徳ノート」の目次には、各学年、四つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材について、第1学年はかるた風のイラストを1ページで、第2学年以上は教材名を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 別冊「道徳ノート」には、道徳ノートの使い方等を、第1学年は1ページで、第2学年以上は目次の下に見開き2ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、「あすをみつめて」を1ページで示している。</li> <li>○ 各学年、内容項目別教材一覧表を四つの視点別で示し、他教科等との関連をマークとともに記載している。</li> <li>○ 各学年の別冊「道徳ノート」には、「道徳の学習で学んだことを書きましよう。」を2ページで設けている。</li> <li>○ 第1学年の別冊「道徳ノート」の目次には、四つの視点で色分けし、全ての教材名を示している。</li> </ul>
光 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次には、四つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、「さあ、道徳の学習が始まります」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳の時間は、こんな時間です」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「いろいろな場面で・・・」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、「この本の使い方」を見開き2ページで示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容項目別教材一覧を四つの視点別で示し、現代的課題との関係や関連性のある内容項目等を記載している。</li> <li>○ 各学年、折り込みで、「学びの足あと」を設けている。</li> </ul>
学 研	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次の前には、詩を見開き2ページで掲載している。</li> <li>○ 各学年の目次には、四つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、「道徳の学習が始まるよ」を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、四つの視点ごとの教材一覧を見開き2ページで設定している。</li> <li>○ 「自分のことを書いてみよう」を見開き2ページで設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、内容項目別教材一覧を四つの視点別で示している。</li> <li>○ 各学年、「心の宝物」を1ページで設けている。</li> </ul>
廣 あ か つ き	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目次には、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 各学年、詩を1ページで掲載している。</li> <li>○ 第1学年は、「どうとくのじかんは」を1ページ、第2学年以上は、「道徳の時間はこんな時間」を3ページで示している。</li> <li>○ 別冊「道徳ノート」の各学年の目次には、四つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 「今の自分を見つめて」を1ページで設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年、内容項目とともに、掲載している全ての教材名を示している。</li> <li>○ 第3学年以上には、教材と関連して学びを深める特集のページを6ページで示している。</li> <li>○ 各学年、四つの視点ごとに色分けされた教材一覧を見開き2ページで示している。</li> <li>○ 各学年、別冊「道徳ノート」には、折り込みで「心のしおり」を設けている。</li> </ul>

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧教材の内容を理解させる工夫
方法	マーク・キャラクター等の示し方と活用の具体例

	マーク・キャラクター等の示し方	活用の具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 四つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 「出会う・ふれ合う」のマークを設定している。</li> <li>○ 第3学年以上は、「つながる・広がる」のマークを設定している。</li> <li>○ 第3学年以上は、「問題を見つけて考える」のマークを設定している。</li> <li>○ 「いじめのない世界へ」のマークを設定している。</li> <li>○ 「情報モラル」のマークを設定している。</li> <li>○ キャラクター「こころん」を設定している。</li> <li>○ 「Dマーク」を設定し、QRコードを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名の上に、該当する四つの視点を示している。</li> <li>○ 「出会う・ふれ合う」は、コミュニケーション活動による相互理解を深める学習ができることを示している。</li> <li>○ 各教科等と関連づけた学習を取り入れていることを示している。</li> <li>○ 問題解決的な学習ができることを示している。</li> <li>○ いじめをしない、許さない心を育てることができる学習を示している。</li> <li>○ 情報モラルを扱った教材であることを示している。</li> <li>○ キャラクター「こころん」を使い、第1・2学年は教材のはじめに、第3学年以上は教材の終わりに発問を示している。</li> <li>○ インターネットを活用して内容に関連した動画を見ることができる教材を「Dマーク」で示すとともに、教科書裏の表紙にQRコードを示している。</li> </ul>
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 四つの視点をマークと旗の色で示している。</li> <li>○ 「!きづき」「?まなび」のマークを設定している。</li> <li>○ 「ともにいきる」のマークを設定している。</li> <li>○ 「情報モラル」のマークを設定している。</li> <li>○ 「コラム」を旗の色で示している。</li> <li>○ 別冊「まなび」には、「こころのパレット」のマークを設定している。</li> <li>○ 別冊「まなび」には、「かんがえよう」「みつめよう」「やってみよう」のマークを設定している。</li> <li>○ 別冊「まなび」には、「つなげていこう」のマークを設定している。</li> <li>○ 別冊「まなび」には、鉛筆マークを設定している。</li> <li>○ QRコードを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名の上に、該当する四つの視点を示している。</li> <li>○ 「!きづき」は本冊、「?まなび」は別冊を示している。</li> <li>○ いじめにかかわる教材であることを示している。</li> <li>○ 情報モラルを扱った教材であることを示している。</li> <li>○ 関連する補助資料として読みものコラムを示している。</li> <li>○ 主に授業の導入等で活用する教材を示している。</li> <li>○ 「かんがえよう」は中心発問、「みつめよう」は後段での発問、「やってみよう」は体験的な学習活動を示している。</li> <li>○ 授業を振り返って自己評価をすることを示している。</li> <li>○ 自分や友達の考えを書く欄であることを示している。</li> <li>○ 各教材と巻末に、補助資料にリンクするQRコードを示している。</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 四つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 現代的な課題等に対応する教材をマークで示している。</li> <li>○ 中心的な発問をマークで示している。</li> <li>○ 「スキル」のマークを設定している。</li> <li>○ 「考えよう」「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」のマークを設定している。</li> <li>○ キャラクター「とりどり先生」を設定している。</li> <li>○ 「まなびリンク」のマークを設定し、QRコードを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名の上に、該当する四つの視点を示している。</li> <li>○ 現代的な課題に対応するための教材として「いじめをなくす」は黄色「情報モラル」は青色「生命尊重」は赤色の色別のマークで分け、目次及び該当ページに示している。</li> <li>○ 中心的な発問をマークで示している。</li> <li>○ 体験的な学習ができることを示している。</li> <li>○ 学びの手引きとして、問題解決的な学習ができるように示している。</li> <li>○ キャラクター「とりどり先生」が、主題へ誘う発問を示している。</li> <li>○ 第3学年以上は、学習内容一覧に、児童が学習したり指導資料として活用したりできる教材をウェブサイトで見ることができる「まなびリンク」のマークを示すとともに、巻末にQRコードを示している。</li> </ul>

【道徳】

<p>光 村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年間の三つのまとまりに分けた「学習のまとまり」をマークで示している。</li> <li>○ 四つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 中心的な発問をマークで示している。</li> <li>○ 「コラム」をマークで示している。</li> <li>○ 「考えよう・話し合おう」のマークを設定している。</li> <li>○ 第2学年以上は、「つなげよう」のマークを設定している。</li> <li>○ キャラクター「こころん」「きらりん」を設定している。</li> <li>○ QRコードを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校生活の実態に即して、1年間の三つのまとまりに分け、4～8月、9～12月、1～3月のまとまりを色別のマークで示している。</li> <li>○ 主題名の上に、該当する四つの視点を示している。</li> <li>○ 中心的な発問をマークで示している。</li> <li>○ 現代的な課題について考えることができる内容について、「コラム」として示している。</li> <li>○ 学びのめあてを示している。</li> <li>○ 他教科等との関連や日常生活、次の道徳の授業へとつなげられるよう示している。</li> <li>○ 主題名の下に、キャラクター「こころん」が児童と教材を結び付ける問いかけを示している。また、教材の最後に、キャラクター「きらりん」がめあてに沿った発問を示している。</li> <li>○ 巻頭や教材の下に、教材に関する朗読や動画、写真等のデジタルコンテンツにリンクするQRコードを示している。</li> </ul>
<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 四つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 教材の学び方をマークで示している。</li> <li>○ キャラクター「ココロウ」を設定している。</li> <li>○ キャラクター「はるひと」「あかね」「なおや」「りさ」を設定している。</li> <li>○ 「考えてみよう」「見つめよう生かそう」のマークを設定している。</li> <li>○ 「ふろく」をマークで示している。</li> <li>○ 「心のベンチ」のマークを設定している。</li> <li>○ 「教科書デジタルコンテンツ」のマークを設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名の上に、該当する四つの視点を示している。</li> <li>○ 教材名の下に、学び方マークで、豊かな学びの参考例として、体験的な学習、問題解決的な学習を取り入れた指導例と、多様な実践活動を生かす学習に対応した指導例を示している。</li> <li>○ 教材の中で、学習をガイドするキャラクター「ココロウ」が、教材に入り込むきっかけとなる発問を示している。</li> <li>○ 教材の終わりに、キャラクター「はるひと」「あかね」「なおや」「りさ」が、学習をガイドしている。</li> <li>○ 教材の終わりに、ねらいに迫る発問等を示している。</li> <li>○ 補充教材を「ふろく」として示している。</li> <li>○ 道徳的価値について考えを広げ深めるためのコラムを、「心のベンチ」として示している。</li> <li>○ 関連する動画や画像等の資料にリンクする「教科書デジタルコンテンツ」のマークを示している。</li> </ul>
<p>光 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 四つの視点と、各学年で特に考えたいことをマークで示している。</li> <li>○ キャラクター「みらいさん」「ゆたかさん」「トリー」「わんだ先生」を設定している。</li> <li>○ 「命をかがやかせる」「いじめを生まない心」「情報社会を生きる」のマークを設定している。</li> <li>○ 「まとめる」「ひろげる」マークを設定している。</li> <li>○ 「みんなでやってみよう！」のマークを設定している。</li> <li>○ 「情報モラル」「コラム」をマークで示している。</li> <li>○ 「みんな仲よし楽しい学校」のマークを設定している。</li> <li>○ 「ことばのたからもの」のマークを設定している。</li> <li>○ 第3学年以上は、「オリンピック・パラリンピック」のマークを設定している。</li> <li>○ 「学びの足あと」のマークを設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主題名の上に該当する四つの視点や各学年で特に考えたいことを示している。</li> <li>○ 指導の思考をサポートするキャラクターが、考えるためのポイントや考えを広げるための見方等を示している。</li> <li>○ 現代的な課題について考えることができる内容について、マークで示している。</li> <li>○ 教材の終わりに、「まとめる」「ひろげる」マークを使い、学習を振り返り、授業後につなげる発問を示している。</li> <li>○ 「みんなでやってみよう！」のマークを使い、よりよい人間関係の構築に向けたコラムを示している。</li> <li>○ 情報モラルを扱った教材、関連する教材であることを示している。</li> <li>○ 児童自らがいじめの防止等に主体的にかかわる態度を育むためのコラムを、キャラクターやイラストを使って示している。</li> <li>○ 語彙の獲得にもつなげるための名言や格言を紹介する「ことばのたからもの」をマークで示している。</li> <li>○ オリンピック・パラリンピックを題材とした教材であることを示している。</li> <li>○ 授業の記録を書く「学びの足あと」をマークで示している。</li> </ul>

【道徳】

<p style="text-align: center;">学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 四つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 最重点テーマと重点テーマをマークで示している。</li>   <li>○ キャラクター「明日香」「未来」を設定している。</li> <li>○ 「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」のマークを設定している。</li> <li>○ 「考えよう」のマークを設定している。</li> <li>○ 鉛筆のマークを設定している。</li>   <li>○ 家のマークを設定している。</li> <li>○ 情報モラルのマークを設定している。</li> <li>○ インターネットにつながるマークを設定し、QRコードを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名の上に、該当する四つの視点を示している。</li> <li>○ 最重点テーマの「いのちの教育」を扱ったユニット教材を「いのち」のマークで示し、2学年ごとの重点テーマを扱ったユニット教材をキーワードを使ったマークで示している。</li> <li>○ 表紙とともに、各学年の一つの教材の登場人物として示している。</li> <li>○ 「学び方のページ」として、学習を広げ、深めるページに示している。</li>   <li>○ 各教材の最後に、「考えよう」のマークを使い、発問を示している。</li> <li>○ 自分の思いや考えを書き込む欄を示している。</li>   <li>○ 家庭や地域社会と連携する学習活動を示している。</li> <li>○ 情報モラルを扱った教材であることを示している。</li>   <li>○ インターネットで写真を見たり音声を聞いたりできる教材をマークで示すとともに、巻頭にQRコードを示している。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">廣 あ か つ き</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 四つの視点をマークで示している。</li> <li>○ 第3学年以上には、教材と関連し学びを深める特集をマークで示している。</li> <li>○ 第3学年以上には、「学習の道すじ」を表すマークを示している。</li> <li>○ 第3学年以上には、「学習を広げる」マークを示している。</li> <li>○ 別冊「道徳ノート」に鉛筆のマークを設定している。</li> <li>○ 第3学年以上には、「インターネット」のマークを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材名の下に、該当する四つの視点を示している。</li> <li>○ 第3学年以上は、教材と関連して、学びを深めるための特集のページであることを葉のマークで示している。</li> <li>○ 第3学年以上は、学びの手掛かりとなる「考えよう話し合おう」のコーナーの中に、「学習の道すじ」を表すマークとともに、学習のめあてを示している。</li> <li>○ 第3学年以上の「考えよう話し合おう」のコーナーの中に、「学習を広げる」マークとともに、学習内容を広げたり深めたりできるよう示している。</li> <li>○ 別冊「道徳ノート」の中に、教材を通して感じたことや考えたことをまとめるための書き込み欄を示している。</li> <li>○ インターネットを使用して、関わりのある情報にリンクできることを示している。</li> </ul>

【道徳】

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑨考えを伝え合う活動の工夫
方法	話し合いを促す示し方と具体例

		第5学年	
		話し合いを促す示し方	具体例
東 書		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の「道徳の学習を進めるために」の中に、「考える 話し合う」活動を示し、「話し合いの約束」として、話し合いのポイントを示している。</li> <li>○ 巻頭の「ちょっとみんなで話し合ってみよう」の中にショートストーリーを例とし、自分の考えをもつ活動を設定し、話し合いの状況を示している。</li> <li>○ 教材の終わりに、議論させることを促し、多様な考えを引き出すための活動を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「話し合いの約束」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞くときは・・・</li> <li>・話すときは・・・</li> </ul> </li> <li>○ 「あなたの考えを書いてみよう。」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくとはちがう考えだけど参考になるな。</li> <li>・人によっていろいろな考えがあるんだな。</li> </ul> </li> <li>○ 教材名「大きなじこをよぶ『ヒヤリ・ハット』」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで、○でかこんだところと、おこりそうなじこの予想を発表し合いましょう。そして、そのじこをふせぐために、どうしたらよいか話し合いましょう。</li> </ul> </li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の「道徳の学習を始めよう」の中に、話し合いの状況を示している。</li> <li>○ 別冊「まなび」の巻末に「まなびのヒント」のページを設け、上手な話し方・聞き方、上手な話し合いのポイントを示している。</li> <li>○ 別冊「なまび」の中に、「かんがえよう」「やってみよう」のマークを使い、教材における話し合いの場面を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ぼくだったらこうするよ。」「なるほどね。」「わたしは、こうしたほうがいいと思うな。」</li> <li>○ 「上手な話し方・きき方」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手がきき取れる速さで、ゆっくりと話しましょう。</li> <li>・友達が話しているときには、その人の話をただきくだけではなく、何を伝えようとしているのか。どんなことを強調しているのか。など、話し手の意図していることを感じ取ったり、共感したり、ぎもんに思ったり、考えたりしながらきくことを心がけましょう。</li> </ul> </li> <li>○ 教材名「手品師」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・男の子の前で手品を演じているとき、手品師はどのようなことを思っていたでしょう。</li> </ul> </li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の「五年生の道徳の学習が始まるよ」の中に、話し合いの意義や活動について示している。</li> <li>○ 巻頭の「道徳ではこんな学習をするよ」の「考える」の中に、「話し合って考えよう」として、話し合いのポイントを示している。</li> <li>○ 教材の終わりの「学習の手引き」の中に、話し合いのための具体的な状況を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自分の思いや考えを発表し、友達の考えを聞いたり、質問したりしながら、話し合いをします。」</li> <li>○ 「授業の中で考えたことを話し合おう。自分の考えを伝えるときは、大きな声で話そう。友達の考えは最後までしっかり聞いて、自分の考えと比べよう。」</li> <li>○ 教材名「ロレンツの友達」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分だったら、友達にどうしてあげるだろう。</li> <li>・どうすることが友達のためになるのかな。</li> </ul> </li> </ul>

【道徳】

<p>光 村</p>	<p>○ 巻頭の「道徳の時間は」の中に、「考えよう」というキーワードを用いた学習活動の一環として、「話し合って考えよう」で、話合いの具体的な状況を示している。</p> <p>○ 教材の終わりの「考えよう・話し合おう」の中に、教材における話し合う活動を示している。</p> <p>○ 「自分の考えを深めるとき」の中に、自分の考えを表すときや、友達の考えを受けとめる時の言い方を具体的に示している。</p>	<p>○ 「話し合って考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしとは、ここが同じで、ここがちがう。</li> <li>・もっとくわしく考えを聞かせて。</li> </ul> <p>○ 教材名「いこいの広場」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・責任ある行動とは、どんなものだろう。</li> <li>・二人の中学生がキャッチボールをしているのを見て、「ぼく」がなんとなく気になっていたのは、なぜでしょう。</li> </ul> <p>○ 「自分の考えを深めるとき」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは、○○だと思います。理由は、□□だからです。</li> <li>・田中さんの考えを聞いて、自分の考えが□□に変わりました。</li> </ul>
<p>日 文</p>	<p>○ 巻頭の「道徳の学び方」の「考えを深める」の中に、話合いの具体的な状況を示している。</p> <p>○ 「学習の手引き」や「心のベンチ」の中に、話合いの流れを示している。</p> <p>○ 教材の終わりの「学習の手引き」の中に、教材における話し合う活動を示している。</p>	<p>○ 「話し合ってみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その考えをもう少しくわしく聞かせてよ。</li> <li>・前はこう考えていたけど、今はこんな考えになったよ。</li> </ul> <p>○ 「話し合ってみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で考える。</li> <li>・グループで意見を出し合う。</li> <li>・全体で意見の交流や話し合いを行う。</li> </ul> <p>○ 教材名「真由、班長になる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで話し合ったことをもとに、「集団でのやくわり」を果たすことについて、どんな「考え方がたいせつか、学級全体で話し合ってみましょう。」</li> </ul>
<p>光 文</p>	<p>○ 巻頭の「道徳の時間は、こんな時間です」の中の、学習の手順に、話し合う活動を提示し、話合いのポイントを示している。</p> <p>○ 教材の終わりに、教材における話し合う活動を示している。</p>	<p>○ 「話し合って考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな人の考えを聞いて話し合い、考えを広げたり、深めたりしましょう。</li> <li>・友だちの話をよく聞こう。質問やつけ足しもできるといいね。</li> </ul> <p>○ 教材名「帰ってきた、はやぶさ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・國中教授の生き方から学んだことをまとめ、話し合いましょう。</li> </ul>
<p>学 研</p>	<p>○ 巻頭の「道徳の学習が始まるよ」の、学習の手順「考える」の中に、話し合う活動を提示し、話合いのポイントを示している。</p> <p>○ 教材の終わりの「学び方のページ」の中に、「活動」の欄を設け、話合いのポイントを示している。</p> <p>○ 教材の終わりの「学び方のページ」の中に、話し合う活動を示している。</p>	<p>○ 「話し合おう、やってみよう、書いてみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなものの見方、感じ方、考え方にふれよう。</li> </ul> <p>○ 「活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループやクラスで、考えたことを話し合ってみましょう。</li> <li>・クラス全体で、さまざまな考えを確かめてみましょう。</li> </ul> <p>○ 教材名「人生という教科」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたの考える「自由」はどんなものですか。話し合ってみましょう。</li> </ul>

【道徳】

廣あかつき	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 巻頭の「道徳の時間はこんな時間」の中に、学習全体でねらいとする活動や内容を紹介し、話合いの意義やポイントを示している。</li><li>○ 教材の終わりの「考えよう 話し合おう」の中に、教材における話し合う活動を示している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 「自分で感じ、考えたことを伝え、他の人の意見をよく聞きましょう」</li><li>○ 「さまざまな答えがあります」</li><li>○ 「みんなで考え、話し合いましょう」</li><li>○ 教材名「ちゃんとやれよ、健太」<ul style="list-style-type: none"><li>・「ぼく」になったつもりで、健太をはげますメールの文章を書いてみましょう。また、友達と文章を交かんし合って、メールを受け取った相手がどのような気持ちになるか、話し合ってみましょう。</li></ul></li></ul>
-------	--	---



【道徳】

<b>観点</b>	<b>(才) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑩考えをまとめたり，振り返ったりする活動の工夫
<b>方法</b>	考えをまとめたり，振り返ったりする活動の示し方，まとめや振り返りの数等と具体例

		第4学年		
		考えをまとめたり， 振り返ったりする活動の示し方	まとめや振り返りの 数等	具体例
東 書		○ 巻末に，1時間の授業ごとに色を一コマ塗ったり，学習を振り返って自己評価をマークで描いたりするページを設けている。また，1年間を振り返ったり，心に残った教材を振り返ってまとめたりするページを設けている。	○ 「学習の記ろく」 (35 時間分)  ○ 「学習のふり返り」 (43 時間分)  ○ 「これからもかがやく自分に！」 (記入欄 2 か所)  ○ 「学習のまとめ」 (学期ごと記入欄 3 か所，長期休業前 3 回分)	○ 「学習の記ろく」 ・ 一時間のじゅぎょうが終わったら，じゅんばんにすきな色をぬろう。 ○ 「学習のふり返り」 ・ 道徳の学習をふり返ってみよう。当てはまる☺に色をぬろう。 ○ 「これからもかがやく自分に！」 ・ 4年生になって成長したことはなにか。8 ページとくらべてみよう。 ○ 「学習のまとめ」 ・ 学習のまとめをしよう
		○ 別冊「まなび」に，学習を振り返って自己評価をマークで描いたり，「まなびの道しるべ」に，心に残った話等を書いたりする欄を設けている。	○ 「つなげていこう」 (35 時間分)  ○ 「まなびの道しるべ」 (2 回分)	○ 「つなげていこう」 ・ 今日の学習について気づきがあった♡ ・ 深く考えた♡ ・ これから見つめた♡ ○ 「まなびの道しるべ」 ・ 心に残った話や，考えたこと，感じたことを書きましょう。
		○ 巻末に，学習した日付や教材で心に残ったこと等を記述したり，1年間の道徳の学習で振り返ったことを記入したりする振り返りのページを設けている。	○ 「学びの記録」 (41 時間分) (記入欄 3 か所)  ○ 「一年間の道徳の学習をふり返ろう」 (記入欄 3 か所)	○ 「学びの記録」 ・ 学んだことを，ふり返りましょう。学んだ日を書きましよう。 ・ 道徳のお話で，心にのこったのはどれですか。そのわけも書きましよう。 ○ 「一年間の道徳の学習をふり返ろう」 ・ 一年間の道徳の学習で，いちばん大切だと考えたのは，どの時間でしたか。

【道徳】

<p>光 村</p>	<p>○ 「学習のまとめ」ごとに、区切りのページを設け、「学びの記録」とともに、自分の学びの変化や学んだことが生かされたことを記入する、「まとめ」の欄を設けている。</p>	<p>○ 「学びの記録」 (35 時間分)</p> <p>○ 「まとめ」 (記入欄 3 か所)</p>	<p>○ 「学びの記録」 ・ 一時間ごとに、どんなことを学んだのかや、学んだことについての感想などを記録しましょう。</p> <p>○ 「まとめ」 ・ 道徳の時間に学んだことが生かされたと思った出来事や、こんなときに学んだことを生かしていきたいと考えたこと、自分で自分が「変わったな」と思えたことなどを書きましょう。</p>
<p>日 文</p>	<p>○ 別冊「道徳ノート」に、学習を振り返って自己評価をマークで描く欄とともに、巻末に、道徳の学習で学んだこと等を記入する、振り返りのページを設けている。</p>	<p>○ 「今日の学習はどうでしたか。あてはまるところに○をつけましょう。」 (38 時間分)</p> <p>○ 「道徳の学習で学んだことを書きましょう」 (4 回分)</p>	<p>○ 「今日の学習はどうでしたか。あてはまるところに○をつけましょう。」 ・ しっかり考えた ・ 新しく気づいたことがあった ・ これからたいせつにしたいことがわかった</p> <p>○ 「道徳の学習で学んだことを書きましょう」 ・ 心に残ったお話を書きましょう。その理由も書きましょう。</p>
<p>光 文</p>	<p>○ 巻末に、学習した日付け、教材番号授業後の心の動きや学びを記録する、振り返りの欄を設けている。また、学期末や年度末に、道徳で学んだことを振り返って記入する、「まとめ」の欄を設けている。</p>	<p>○ 「学びの足あと」 (36 時間分)</p> <p>○ 「まとめ」 (3 回分)</p>	<p>○ 「学びの足あと」 ・ 授業を受けた後の気持ちを矢印で表しましょう。 ・ そのような矢印にしたわけや、分かったこと、感じたこと、やってみたくと思ったことを書きましょう。</p> <p>○ 「まとめ」 ・ どうかで学んだことを、まとめましょう。</p>
<p>学 研</p>	<p>○ 巻末に、道徳の学習を通して、心に残った言葉や話等を記入し、1年間の学びを振り返るページを設けている。</p>	<p>○ 「心のたから物」 (記入欄 1 か所)</p>	<p>○ 「心のたから物」 ・ 道徳の学習をして、心にふえたたから物や、心に残った言葉や話を書きとめておきましょう。</p>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 別冊「道徳ノート」に、考えたり振り返ったりしたことを書く欄や、巻末に、心に残っている授業等について記録するページを設けている。また、学習を振り返って自己評価をマークで描く折り返しを設けている。</p>	<p>○ 「学習の記録」 (36 時間分)</p> <p>○ 「心に残っているじゅ業の記録」 (4 回分)</p> <p>○ 「心のしおり」 (35 時間分)</p>	<p>○ 「学習の記録」 ・ 感じたことや考えたこと</p> <p>○ 「心に残っているじゅ業の記録」 ・ 心に残っている理由</p> <p>○ 「心のしおり」 ・ できたかな</p>